

第2次 山梨市まちづくり総合計画

資料編

～ ほこ 誇れる日本を、ここ山梨市から。～

山 梨 市

平成29年3月

目次

山梨市の現状と課題	1
1. 山梨市の人口	2
2. 山梨市の経済	6
3. 山梨市の生活	15
4. 山梨市の行財政	22
第2次山梨市まちづくり総合計画住民アンケート結果	23
1. 回答者の属性	26
2. 山梨市の魅力・住みやすさ	30
3. 満足度、重要度等	36
4. 分野ごとの各施策の必要性	38
5. 市民と行政とのあり方について	46
6. 山梨市の将来像や望ましい地域イメージについて	49
7. まちづくり指標について	50
8. 男女共同参画について	51
9. アンケート調査結果から見える山梨市の課題	52
10. 自由記述について	54
山梨市まちづくり総合計画策定 事業レビュー実施結果	77
・事業レビュー実施概要	78
・次世代エネルギーパーク推進事業	80
・介護予防事業	84
・万力公園他松くい虫防除・被害木倒木事業	87
・地域生活支援事業	90
・農業廃棄物処理事業	93
・健康増進事業	96
・橋梁長寿命化修繕事業	99
・地域子育て支援事業	101
・小学校英語教育推進事業	104
・収納率向上対策事業	107
・文化財管理活用事業	110
・広聴広報活動推進事業	112
・観光宣伝事業	115
・ふるさと納税推進事業	117
・事業レビューから見えた問題と課題	120

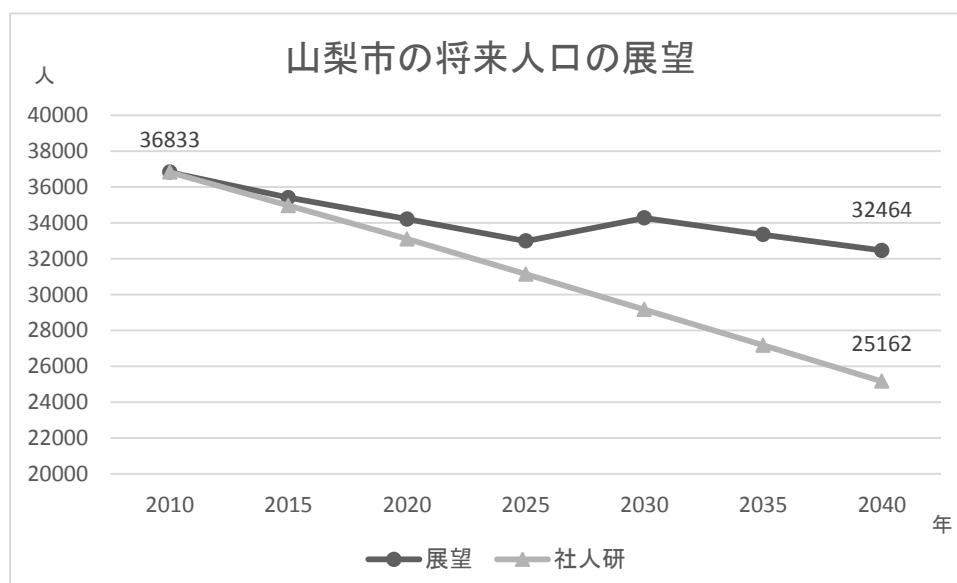
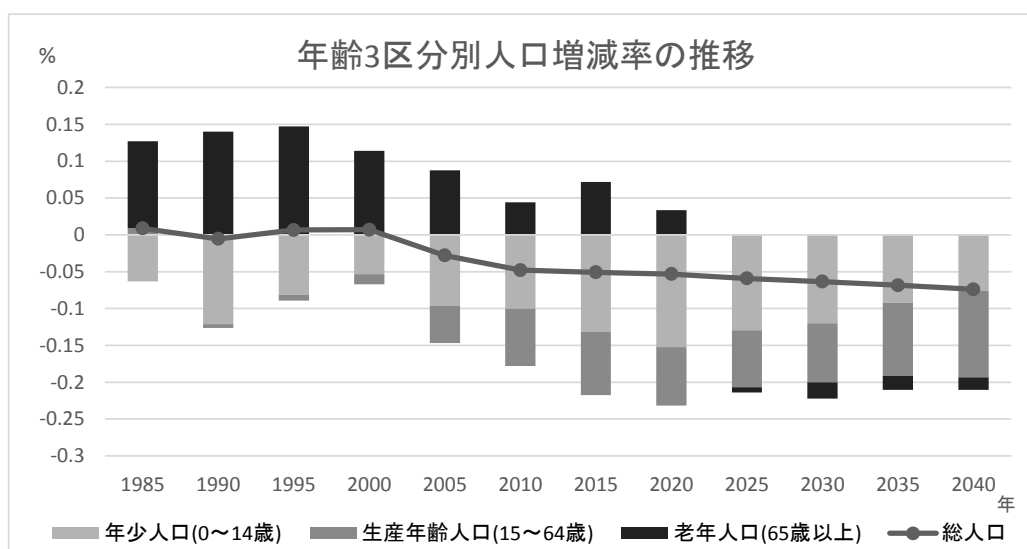
山梨市まちづくり総合計画策定市民部会WS（ワークショップ）結果	1 2 1
・市民が考えた山梨市の課題（第1回市民部会WS結果）	1 2 2
・山梨市の目指すべき方向（第2回市民部会WS結果）	1 3 2
・第3回市民部会WS結果取りまとめ	1 4 6
・ビジョン実現策のアイデア（第4回市民部会WS結果）	1 6 9
・【再】ビジョン実現策のアイデア（第5回市民部会WS結果）	1 8 2
・プロジェクト案の深堀（第6回市民部会WS結果）	1 9 3
・山梨市未来会議（第9回市民部会WS結果）	1 9 9
・市民部会WSの成果と反映について	2 1 1
山梨市まちづくり総合計画審議会諮問・答申関連資料	2 1 5
・「第2次山梨市まちづくり総合計画」（案）について（諮問）	2 1 6
・「第2次山梨市まちづくり総合計画」（案）について（答申）	2 1 7
・山梨市まちづくり総合計画策定条例	2 2 4
・山梨市まちづくり総合計画審議会条例	2 2 6
・山梨市まちづくり総合計画策定委員会設置要綱	2 2 8
・第2次山梨市まちづくり総合計画策定経過	2 3 0
・山梨市まちづくり総合計画審議会委員名簿	2 4 0
・山梨市まちづくり総合計画審議会専門部会（市民部会）委員名簿	2 4 1
・山梨市未来会議委員名簿	2 4 3
・第2次山梨市まちづくり総合計画策定委員会委員名簿	2 4 4
・第2次山梨市まちづくり総合計画策定委員会 専門部会員名簿	2 4 5

山梨市の現状と課題

1. 山梨市の人口¹

山梨市の人口は減少の一途をたどっており、国立社会保障・人口問題研究所（社人研）によれば、このまま何も策を講じない場合、2020年まで増えていく老年人口も、2025年には減少に転じ、平成22年(2010年)に36,833人であった人口が、平成52年には25,162人まで減少すると予測されています²。

このため平成27年に策定した「山梨市人口ビジョン」では、平成39年のリニア開業を機に人口が増加することが予想されることから、定住促進策を強化することによって、平成52年に33,000程度の人口にとどめることを目標に掲げています。



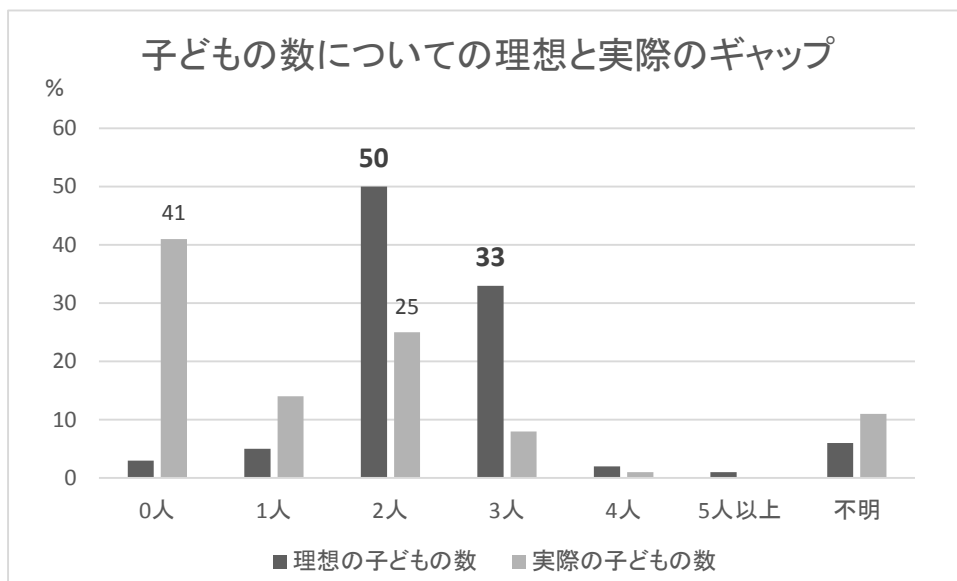
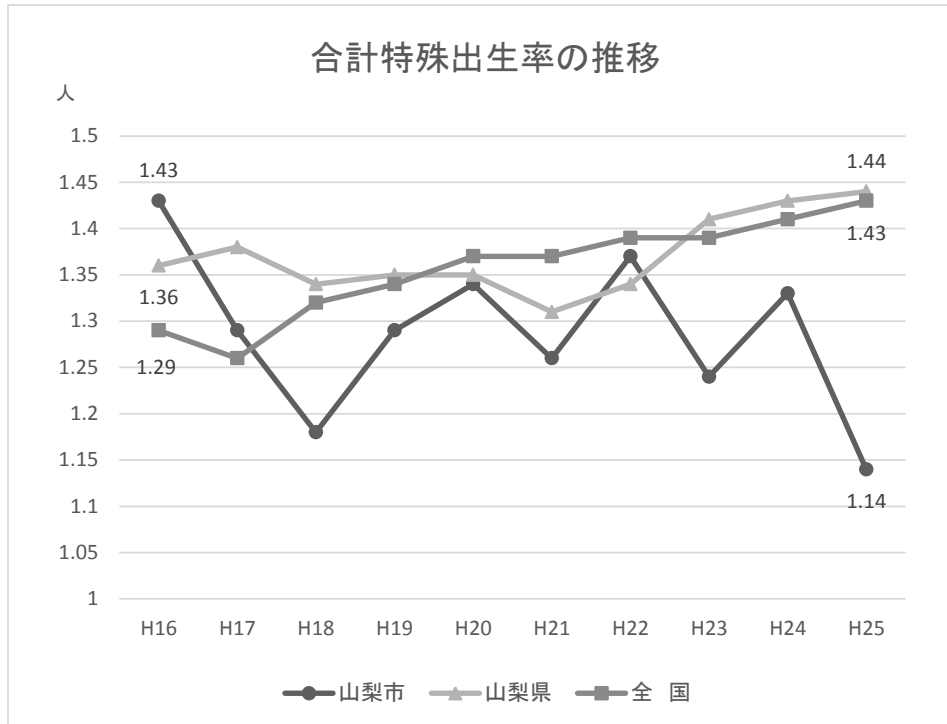
¹ 山梨市の人口に関わる現状の詳細については、「山梨市 人口ビジョン」（平成27年9月）参照。

² 出所：地域経済分析システム。

■自然増減

山梨市の合計特殊出生率は、近年は全国や山梨県の平均より低めの傾向にあります³。

また、人口ビジョンにおけるアンケート調査結果によれば、子育て世代の50%が理想の子ども数として2人と回答しており、3人とする回答も33%と多く、実際の子ども数とのギャップが大きいことがうかがえます⁴。



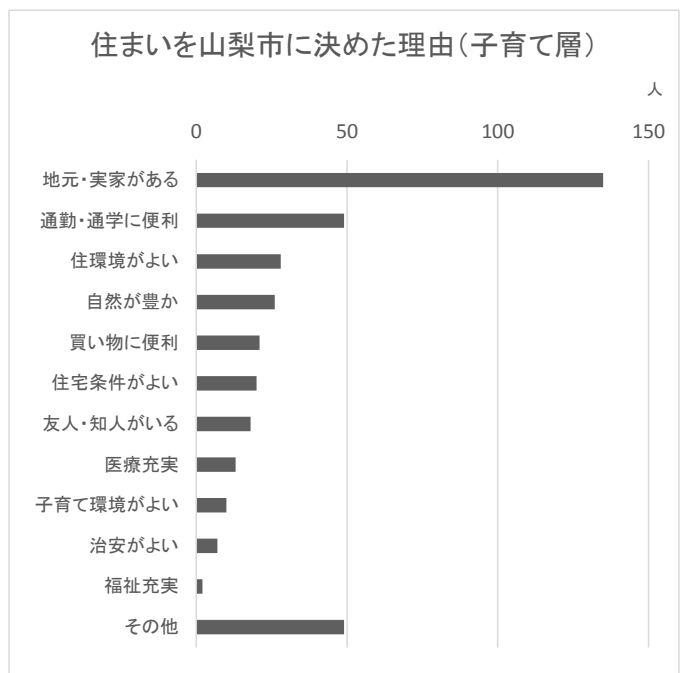
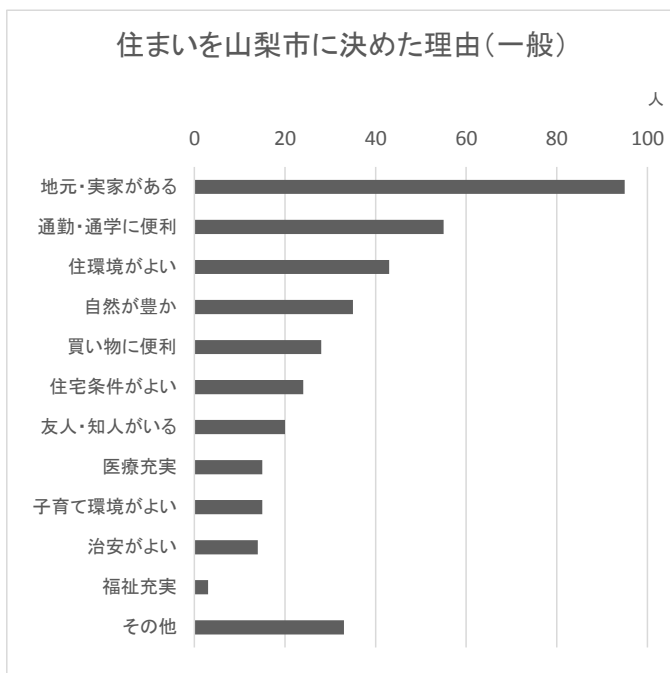
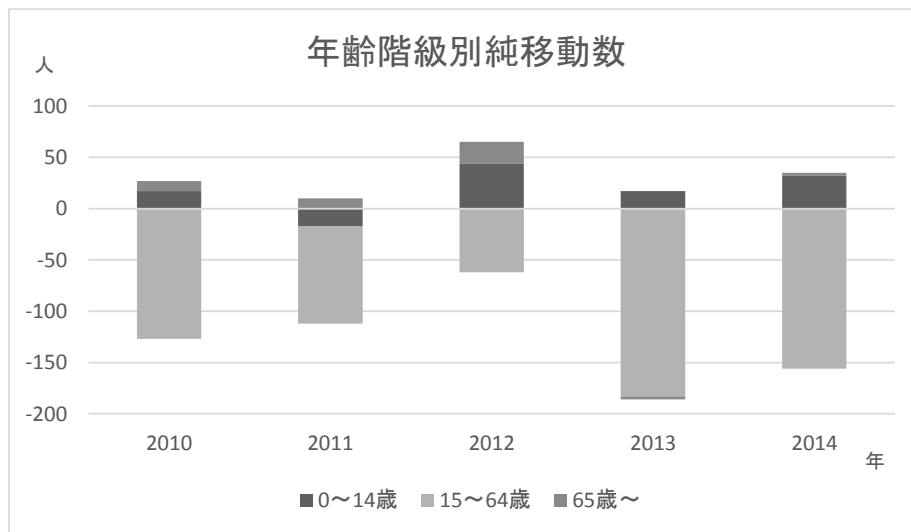
³ 出所：「山梨市 人口ビジョン」（平成27年9月）。

⁴ 出所：「山梨市 人口ビジョン」（平成27年9月）アンケート。

■ 社会増減

山梨市の純移動数（人口の流入数と流出数の差）をみると、0～14歳は2011年、65歳以上は2013年でマイナスにはなりますが、それ以外はプラスで推移しています⁵。これは、子育て層や退職してセカンドライフを始める高齢者等が山梨市に流入しているためと考えられます。

また、「山梨市人口ビジョン」におけるアンケート結果によれば、山梨市における在住年数が20年未満の人に対して、住まいを山梨市に決めた理由をたずねる設問では、「地元・実家がある」が一般（95人）、子育て世代（135人）ともに最も多い結果となっています。



⁵ 出所：地域経済分析システム。

人口面の課題

(1) リニア開業へ向けた人口誘致策の推進

- ・市の人口ビジョンでは、リニア開業へ向けた人口誘致による人口目標を設定しています。
- ・山梨県の「リニア影響基礎調査業務報告書」におけるアンケート調査によれば、県外住民の山梨県での居留意向は全体で 6.8%に対し、二地域居住への興味は 29.5%で首都圏の割合が高くなっています。
- ・また、同調査で県外住民の居住したい理由は「豊かな自然環境など山梨県での生活に魅力を感じるから」が 67.6%と最も高くなっています。
- ・こうしたことから、二地域居住に関心を持つ層の誘致を視野に入れながら、自然や農業など、都会では味わえない生活環境の魅力を高め、PR していく施策を強化することが課題となります。

(2) 自然増のために

- ・市の人口ビジョンにおけるアンケート調査結果によれば、2人、もしくは3人子どもを欲しい人が子育て世代の8割以上を占め、実際とのギャップが大きいことから、このギャップを埋めていくことが課題となります。
- ・山梨市の女性の平均婚姻年齢は上昇傾向にありますが⁶、今後、結婚や家族についての考え方が多様化していくことが考えられるため、それらの動向を見極めながら、必要な施策を講じていくことが求められます。

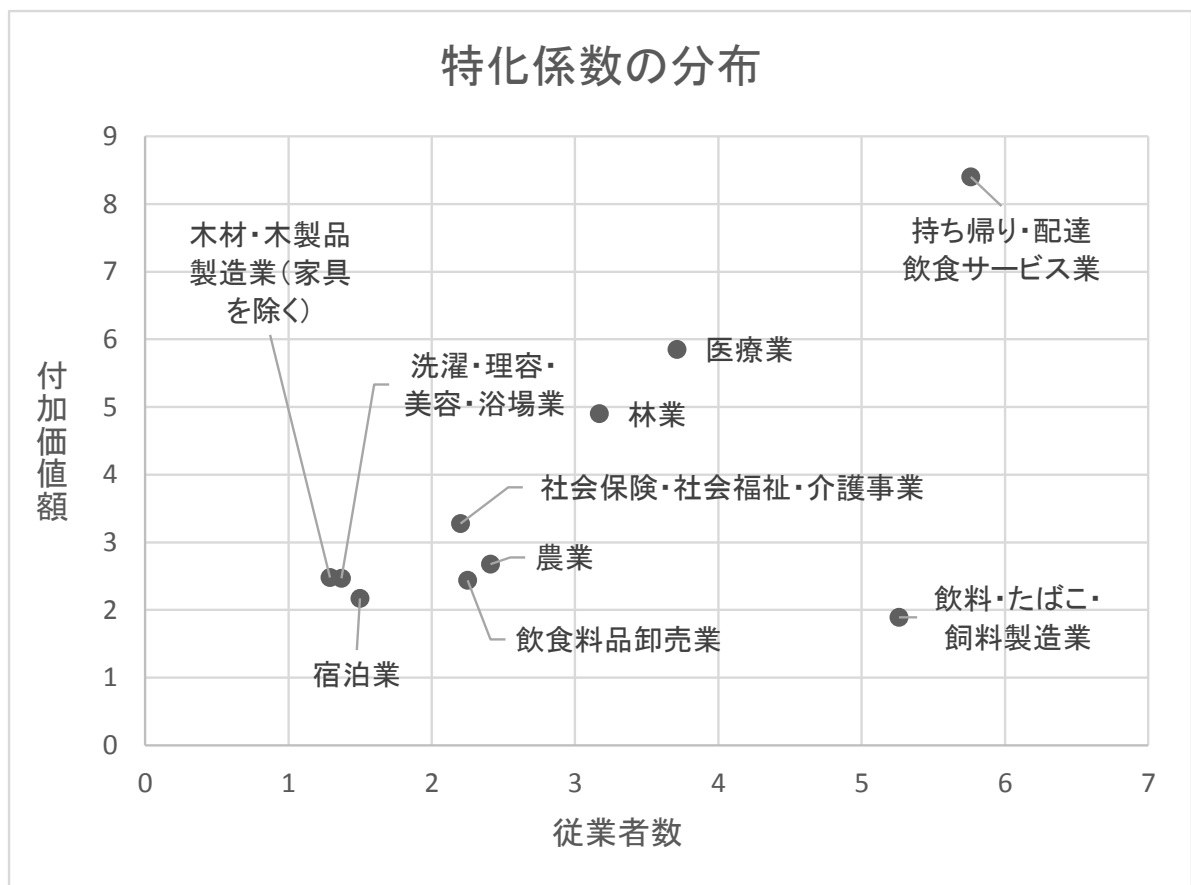
(3) 社会増のために

- ・子育て層や退職してセカンドライフを始める高齢者で、かつ「地元・実家がある」人を主なターゲットとして、上記の二地域居住の支援も視野に入れながら、誘致策を強化していくことが求められます。
- ・「地元・実家がある」ということは、山梨市に親などの親類が住んでいる可能性が高いため、そうした山梨市民の力を借りながら、協働で誘致策を進めていくことが有効と考えられます。

⁶出所：「山梨市 人口ビジョン」（平成 27 年 9 月）。

2. 山梨市の経済

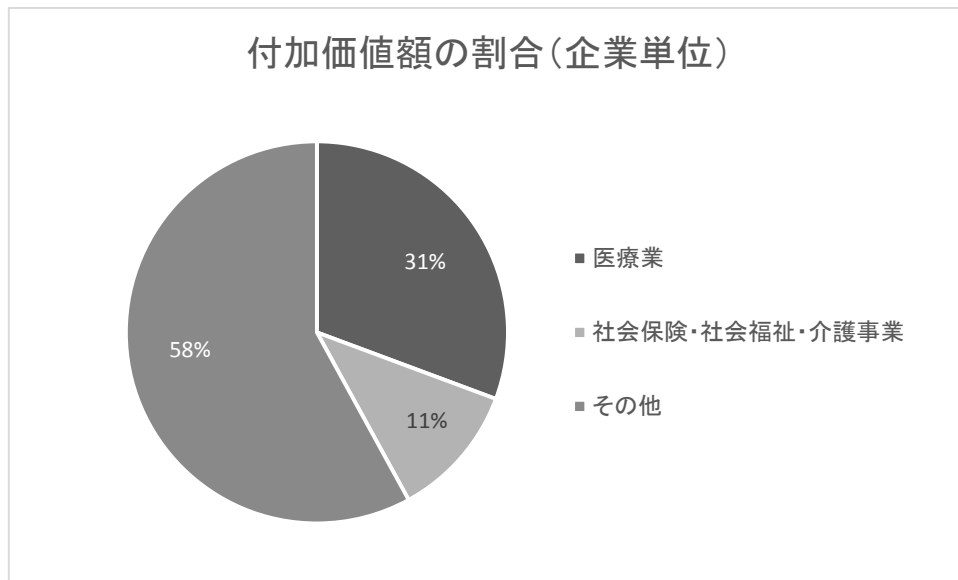
本市の基幹産業を統計的に導くうえで目安となる特化係数⁷（企業単位）について、従業員数及び付加価値額⁸が1より大きく、いずれかが2より大きいのは「農業」、「林業」、「飲料・たばこ・飼料製造業」、「木材・木製品製造業（家具を除く）」、「飲食料品卸売業」、「宿泊業」、「持ち帰り・配達飲食サービス業」、「洗濯・理容・美容・浴場業」、「医療業」、「社会保険・社会福祉・介護事業」の10産業です。



⁷ 特化係数：域内のある産業の比率を全国と同産業の比率と比較したもの（企業単位）。1.0を超えていれば、当該産業が全国に比べて特化している産業とされる。

⁸ 付加価値額＝売上高－費用総額＋給与総額＋租税公課（費用総額＝売上原価＋販売費及び一般管理費）

付加価値額（企業単位・実数）では「医療業」、「社会保険・社会福祉・介護事業」、「その他の小売業」、「食料品製造業」、「持ち帰り・配達飲食サービス業」の順に高く、「医療業」だけで全体の31%を占め、「社会保険・社会福祉・介護事業」を合わせると42%であり、医療・福祉産業がもう少しで半分に届く割合を占めています⁹。



産業別の従業者数（事業所単位）に着目すると、「社会保険・社会福祉・介護事業」（1145人）、「医療業」（970人）、「飲食料品小売業」（890人）、「飲食店」（683人）、「洗濯・理容・美容・浴場業」（417人）、「持ち帰り・配達飲食サービス業」（405人）、「食料品製造業」（295人）の順に多くなっています¹⁰。

また、経済センサスでは法人・事業所が対象であり農業従業者の実態が把握できないため、農業センサスで確認すると、仕事として農業に従事している基幹的農業従事者数¹¹は2,843人であり¹²、農業が最も雇用に貢献している産業の一つであることがうかがえます。

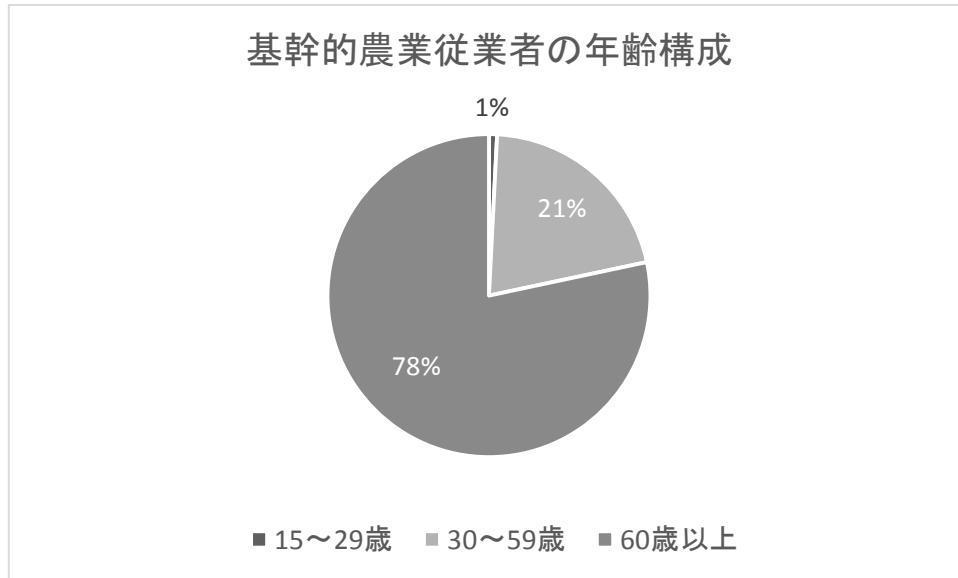
⁹ 出所：地域経済分析システム。総務省・経済産業省「平成24年経済センサスー活動調査」再編加工。

¹⁰ 出所：地域経済分析システム。総務省「経済センサスー基礎調査」再編加工、総務省・経済産業省「経済センサスー活動調査」再編加工。

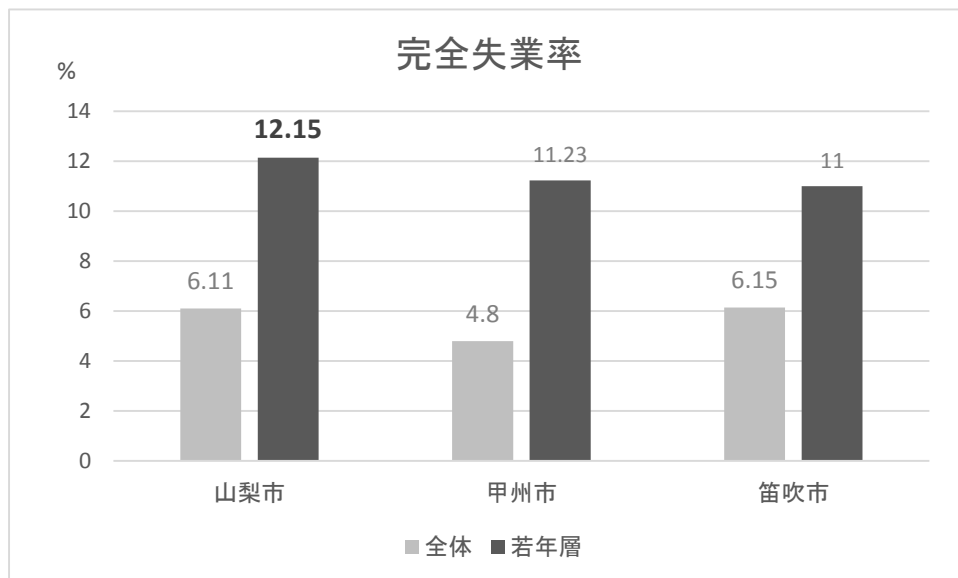
¹¹ 農業に主として従事した世帯員（農業就業人口）のうち、農業センサス調査期日前1年間のふだんの主な状態が「仕事に従事していた者」のこと。

¹² 出所：2015年農業センサス。

ただし、基幹的農業従業者の年齢構成をみると、60歳以上が78%と大半を占めており、若者の従業者は極めて少なく、その雇用源にはなっていない状況です¹³。



また、雇用に関連して、完全失業率をみると、近隣自治体と同様に、若年層（15歳～29歳）の完全失業率が12.15%と高い状況にあります¹⁴。



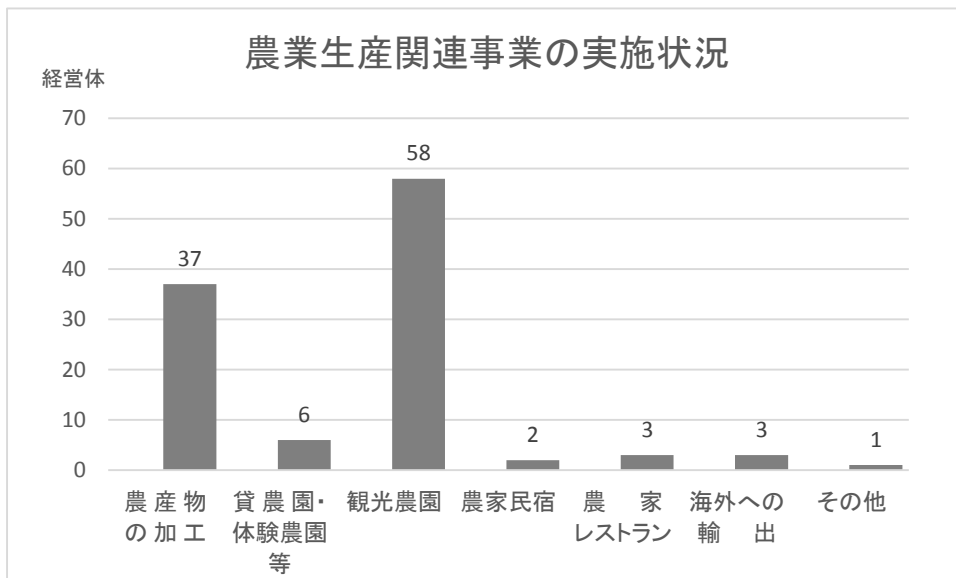
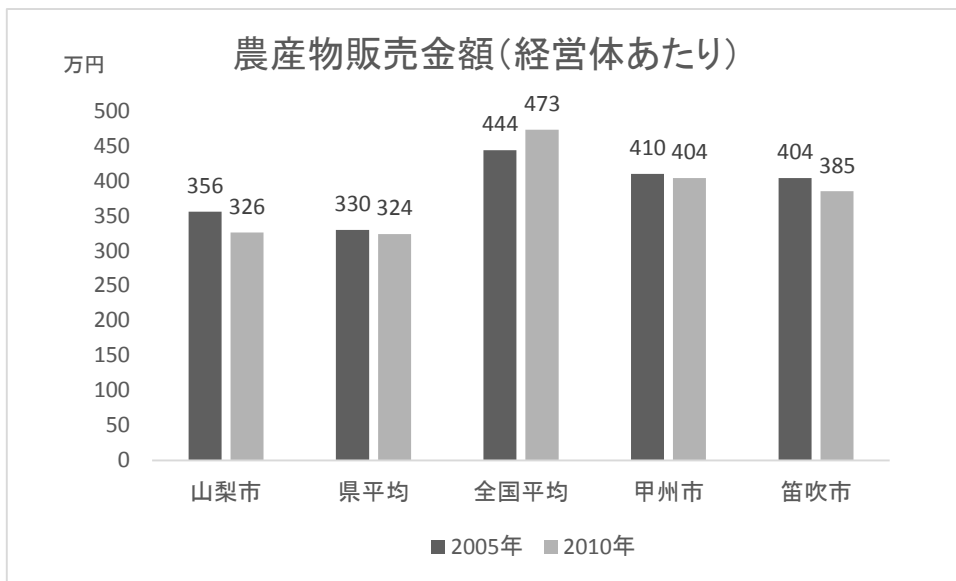
¹³ 出所：2015年農業センサス。

¹⁴ 出所：2010年国勢調査。

■ 農業

今まで基幹産業と位置付けられてきた農業においては、経営体あたりの農産物販売金額が県平均よりも若干高いものの、近隣自治体と比較して低い状況にあり¹⁵、稼ぐ農業への転換が求められます。

その方法の一つとして六次産業化¹⁶が考えられますが、山梨市では観光農園、次いで農産物の加工に取り組む経営体が群を抜いて多い状況です¹⁷（消費者への直接販売を除く）。



¹⁵ 出所：地域経済分析システム。

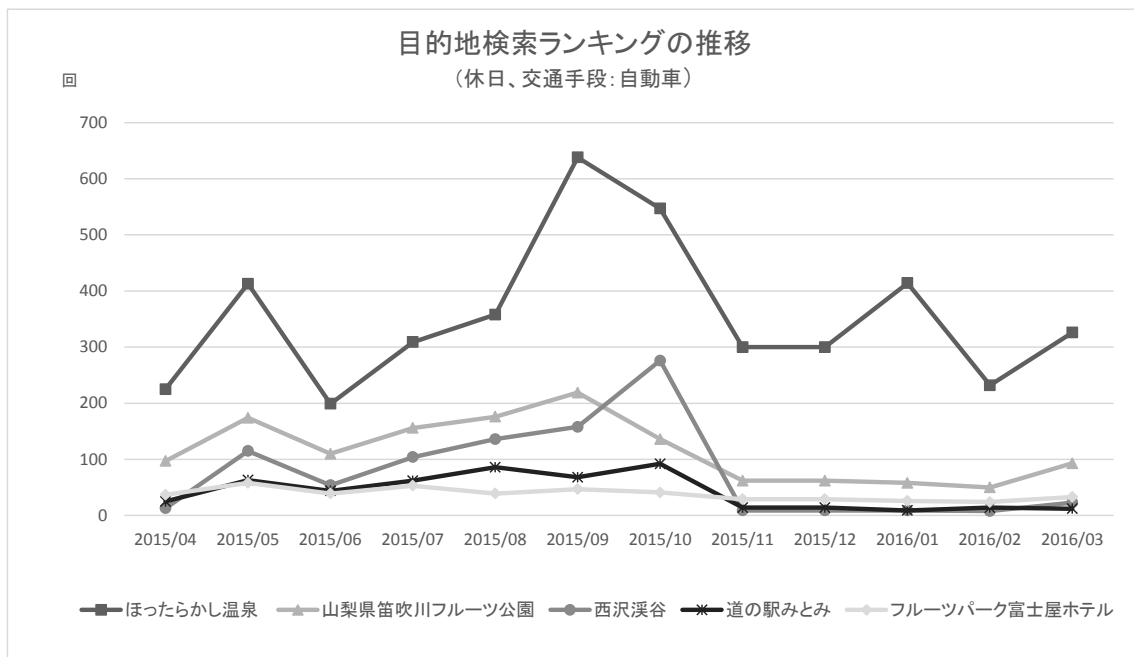
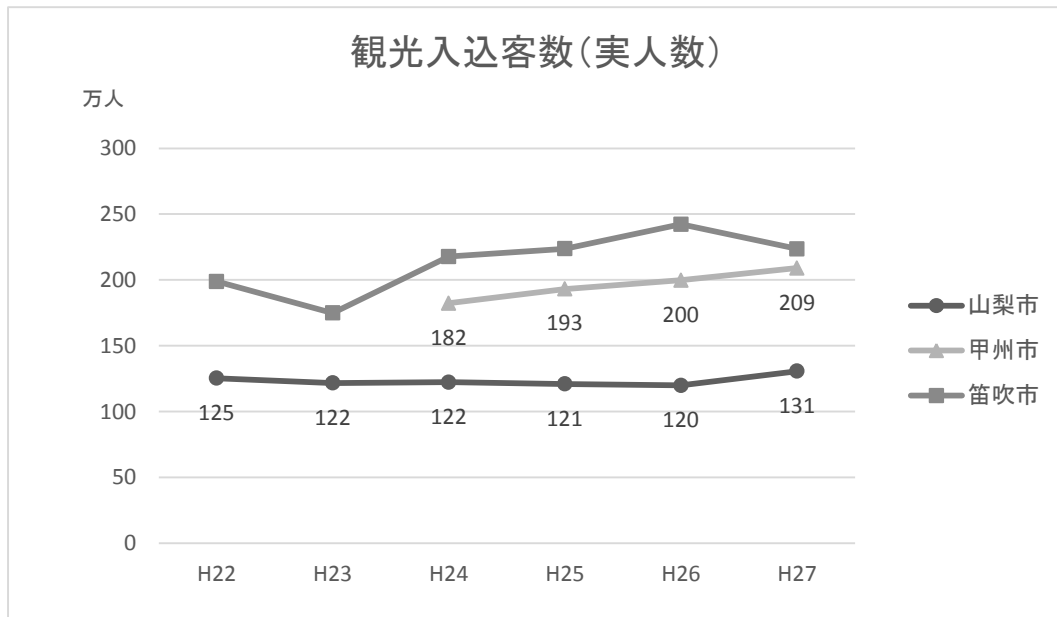
¹⁶ 地域ごとの資源を活かして、農林漁業者が生産・加工・流通販売を一体化することや、2次産業・3次産業と連携して新しいビジネスの展開や営業形態を創り出すこと。

¹⁷ 出所：2015年農業センサス。

■観光

本市の観光入込客数（実人数）は、年々漸増している甲州市と比べ、さほど大きな変化がない状況です¹⁸。

また、株式会社ナビタイムジャパンの「経路検索条件データ」によれば、休日の自動車利用者による検索が多いのは、「ほったらかし温泉」であり、1年を通して最も多く検索されています¹⁹。



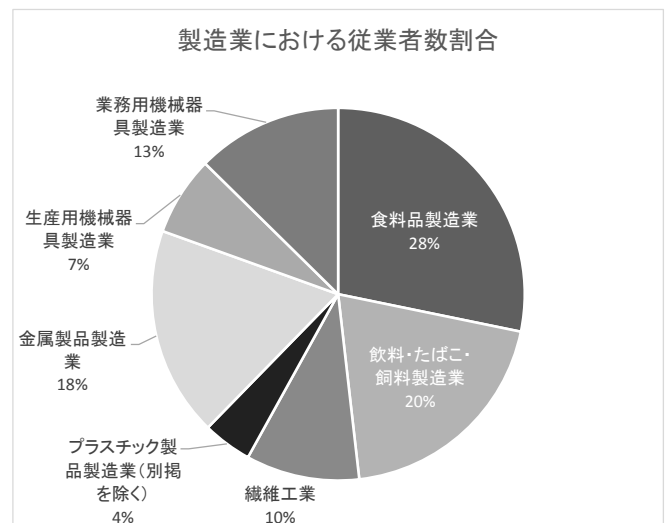
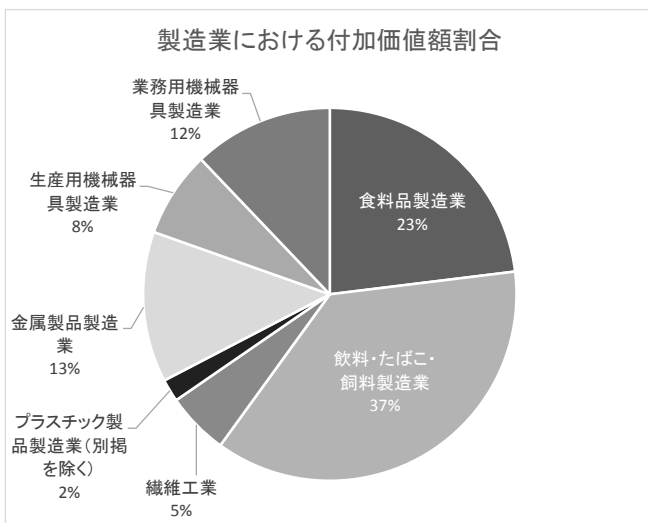
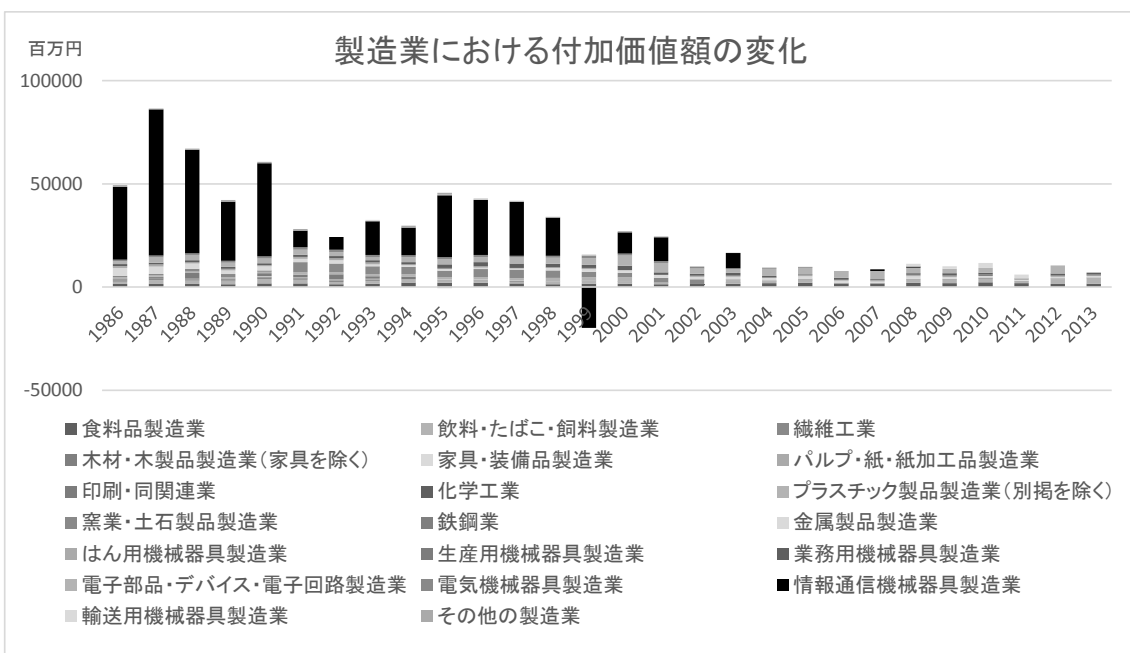
¹⁸ 出所：山梨県観光入込客統計調査。

¹⁹ 出所：地域経済分析システム。

■ 製造業

製造業における付加価値額の変化をみると、1999年にマイナスに転じたり、一定の上下はあるものの、2003年まで情報通信機械器具製造業が大きな割合を占めています。2002年撤退の NEC 山梨工場（半導体工場）、2004年閉鎖のセレスティカジャパン（半導体工場）の影響が大きいものと考えられ、それらの穴を埋めることができずに今日まで至っています。

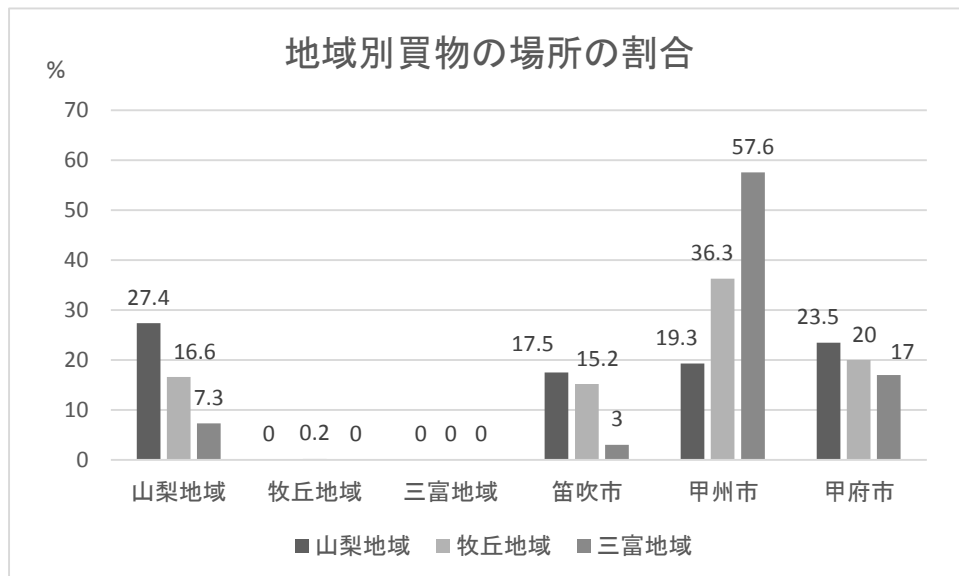
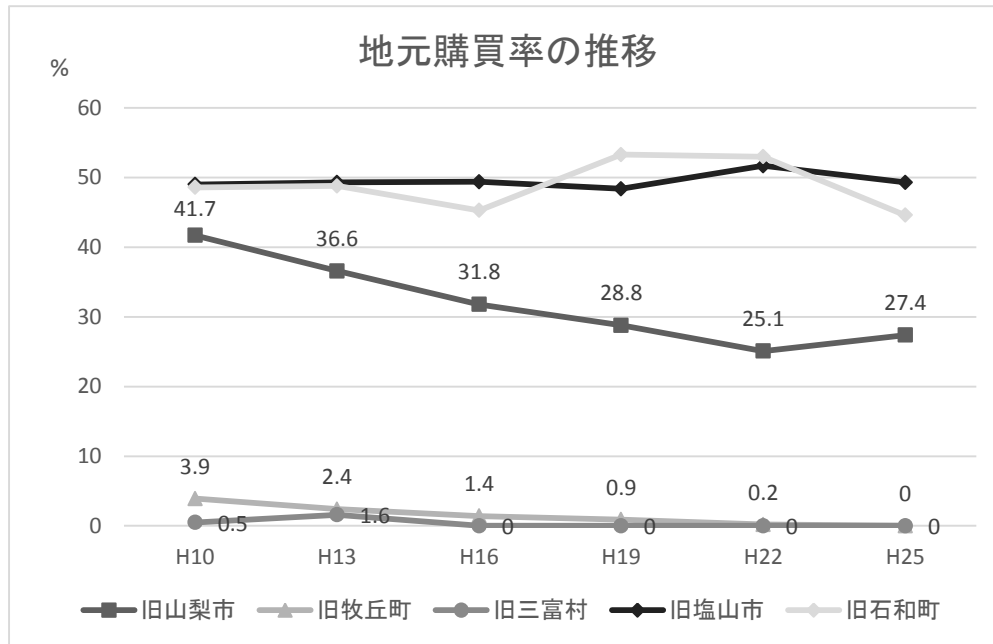
そうした中で、2013年においては、食料品製造業、飲料・たばこ・飼料製造業の2産業が、付加価値額、従業者数ともに製造業全体の50%前後を占めています。



■商業

本市の地元購買率²⁰については、山梨地域に比べて、牧丘地域、三富地域で著しく低い状況です²¹。その山梨市地域も、近隣の塩山地域や石和地域と比べると低く、平成 25 年には少し持ち直しているものの、低下傾向にあります²²。

また、牧丘・三富地域の住民は、地元で買物をするのはほぼなく、山梨地域より甲州市で買物をしています²³。



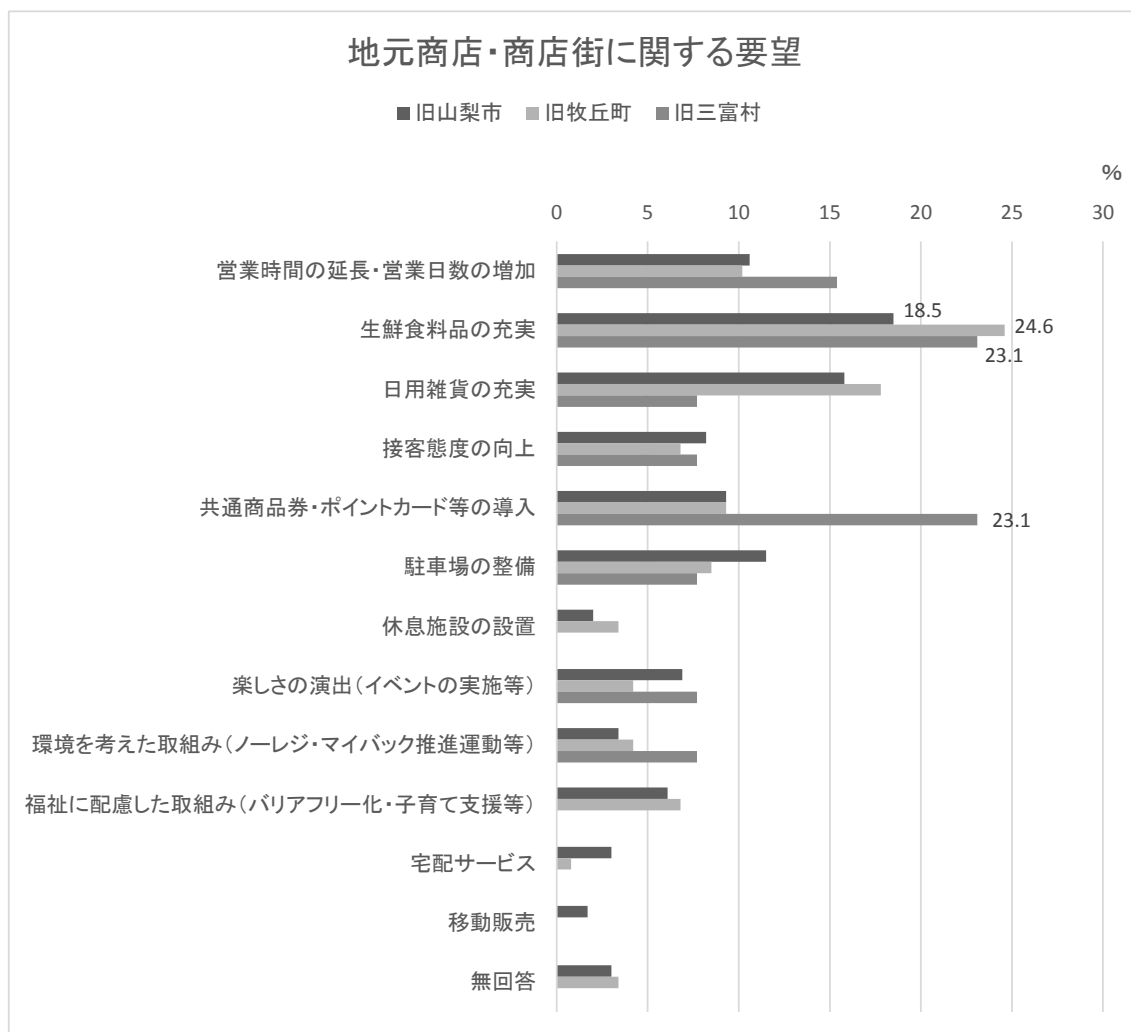
²⁰ 各市町村に居住する消費者が、地元市町村で買物あるいは飲食をする割合。

²¹ 出所：山梨県商工会連合会他「平成 25 年度 山梨県商圈実態調査」。

²² 同上。

²³ 同上。

地元商店・商店街への要望を見ると、山梨、牧丘、三富のどの地域も、「生鮮食料品の充実」が多く、また、買い物環境に不利な牧丘や三富で、特に宅配サービスや移動販売を求めているわけではないことがわかります²⁴。



²⁴ 出所：山梨県商工会連合会他「平成25年度 山梨県商圈実態調査」。

経済面の課題

(1) 重点的に支援すべき産業は何か？

・特化係数や付加価値額・従業員数の実数値から、医療・福祉業、農林業、観光業、飲料・食料品製造業、持ち帰り・配達飲食サービス業の五つが支援を重点化すべき産業（群）と考えられます。

・また、観光農園や農産物の加工など、農業の六次産業化はもちろん、病院が人間ドッグと地元のホテルのパックツアーを展開するなど、産業の垣根を越えた取り組みが既に始まっています。

・今後は政府が進めている医福食農連携²⁵も視野に入れながら、高付加価値化に向けた新たな産業間の連携をどのように促し、支援していくかが課題となります。

(2) 農業

・経営体あたりの農産物販売金額が近隣自治体と比較して低い状況にあるため、稼ぐ農業への転換へ向けた、販路拡大や6次産業化への支援が課題となります。

・また、若年層の失業率が高いことから、若者と担い手確保が必要な農業をどうマッチングするかも課題になってくるものと考えられます。

(3) 観光

・観光入込客数に大きな変化がないため、観光客を増やすための目玉の創出が課題です。

・西沢溪谷などの自然を満喫できる観光名所は、冬季に閉鎖されてしまうため、温泉資源を活用しながら、冬場の誘客をどう支援できるかも課題となると考えられます。

(4) 製造業

・NEC等が抜けた穴をどのように埋めるのか、企業等の誘致戦略が求められています。

・付加価値額、従業員数ともに貢献している食料品製造業、飲料・たばこ・飼料製造業の2産業をいかに支援していくかが課題です。

(5) 商業

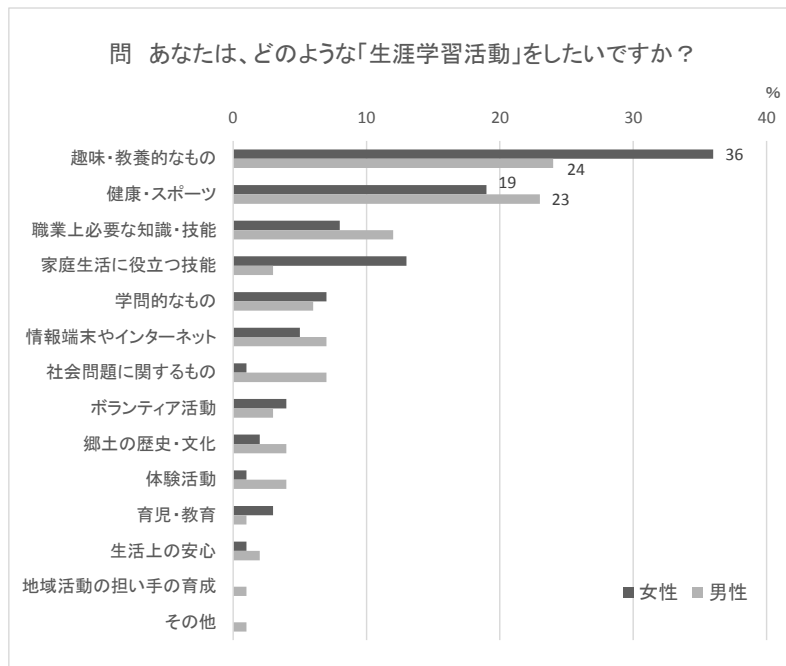
・地元購買率を高めるためには、アンケート調査で見られるような地域住民のニーズに沿ったサービス展開を支援するとともに、特に牧丘・三富住民が市内で買物しやすい環境を整えていくことが課題となります。

²⁵ 医福食農連携とは、機能的食品や介護食品の開発・普及、薬用作物の国内生産拡大、障がい者等の就労支援など「農」と「福祉」の連携等の医療・福祉分野と食料・農業分野との連携の取組を指します。

3. 山梨市の生活

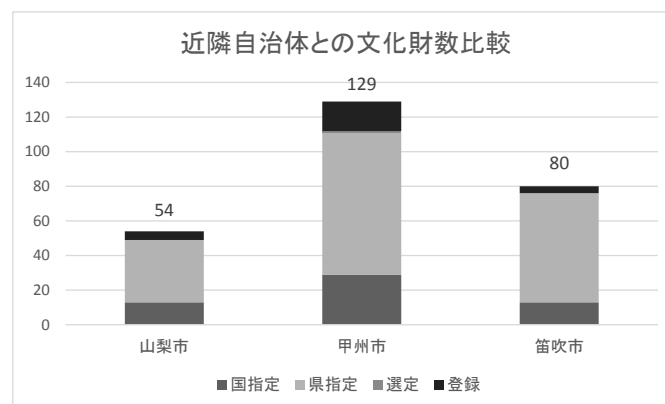
■生涯学習

「山梨市生涯学習推進計画」（平成 28 年度～平成 32 年度）によれば、山梨市民にどのような生涯学習活動をやってみたいかたずねた設問では、女性(36%)、男性(23%)ともに「趣味・教養的なもの」を最も多く回答しています。



■文化

山梨市は文化財の数で比較すると近隣自治体より少ないですが、山梨県で5つしかない国宝のうち、関東における禅宗建築の傑作とされる清白寺仏殿を三ヶ所に有しています²⁶。



²⁶ 山梨県ウェブサイト。

https://www.pref.yamanashi.jp/gakujutu/bunkazaihogo/bunkazai_data/yamanashinobunkazai_ka0001.html

■教育

本市の小学校・中学校の平成 27 年度全国学力調査における結果²⁷を全国平均と比較すると、小学校ではすべての教科で全国平均よりも低い結果となっています。

● 小学校

すべての教科（国語 A・国語 B、算数 A・算数 B、理科）において、0.3～2.8 ポイント全国の平均正答率を下回っています。

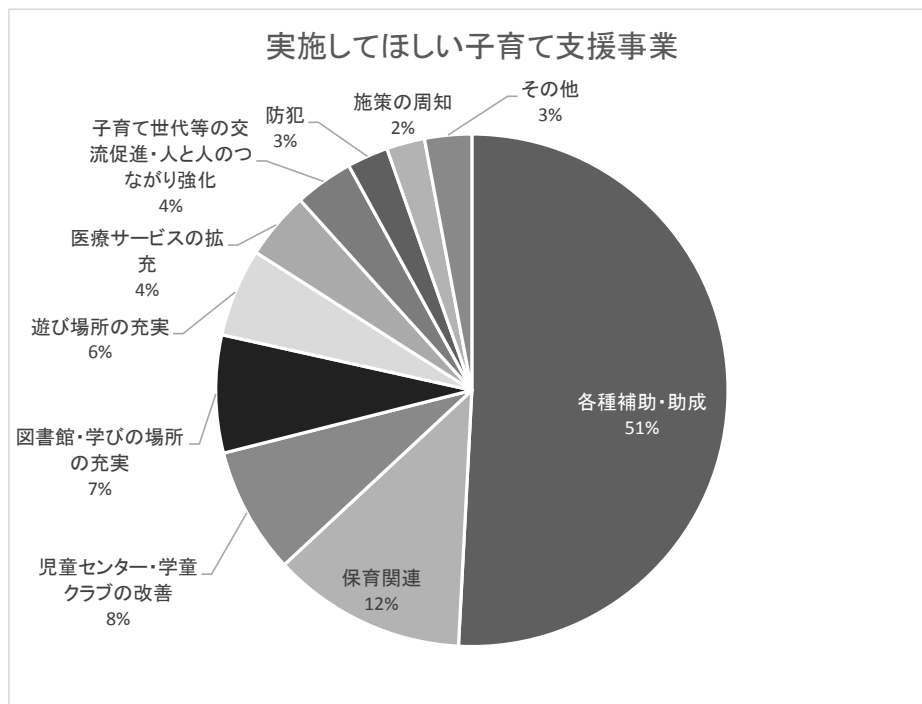
● 中学校

・国語 A 問題、数学 A 問題、数学 B 問題において、全国の平均正答率を 0.1～2.1 ポイント下回っています。

・国語 B 問題、理科問題については、それぞれ 0.8、0.6 ポイント上回っています。

■子育て

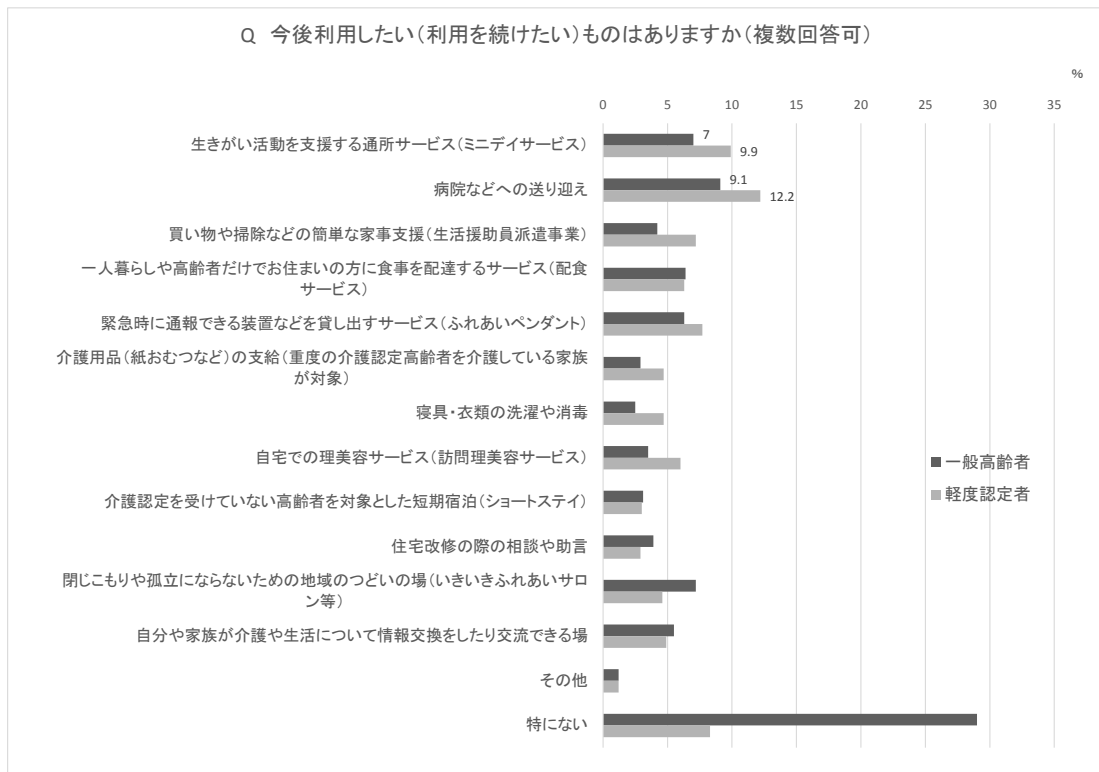
平成 27 年策定の人口ビジョンに関わるアンケート調査によると、子育て世代が実施してほしい子育て支援事業として、経済的負担軽減のための「各種補助・助成」が突出して多く、次いで病児・病後児保育やファミリーサポートセンターの充実を含めた「保育関連」が多い結果となっています。



²⁷ 出所：山梨市教育委員会「みんなでつくろう！やまなしの学び」。

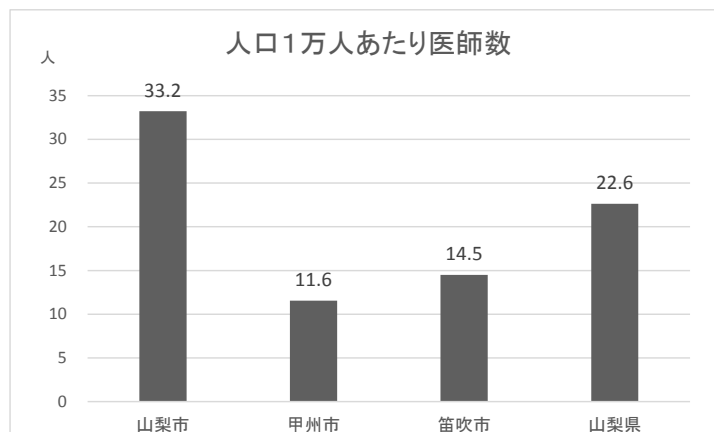
■高齢者福祉

65歳以上の山梨市民を対象とした平成26年度日常生活圏域ニーズ調査によれば、要支援1・2、要介護1・2の認定を受けている軽度認定者、認定を受けていない一般高齢者ともに、今後利用したい（利用を続けたい）福祉サービスとして回答が最も多かったのは、「病院などへの送り迎え」でした。



■医療

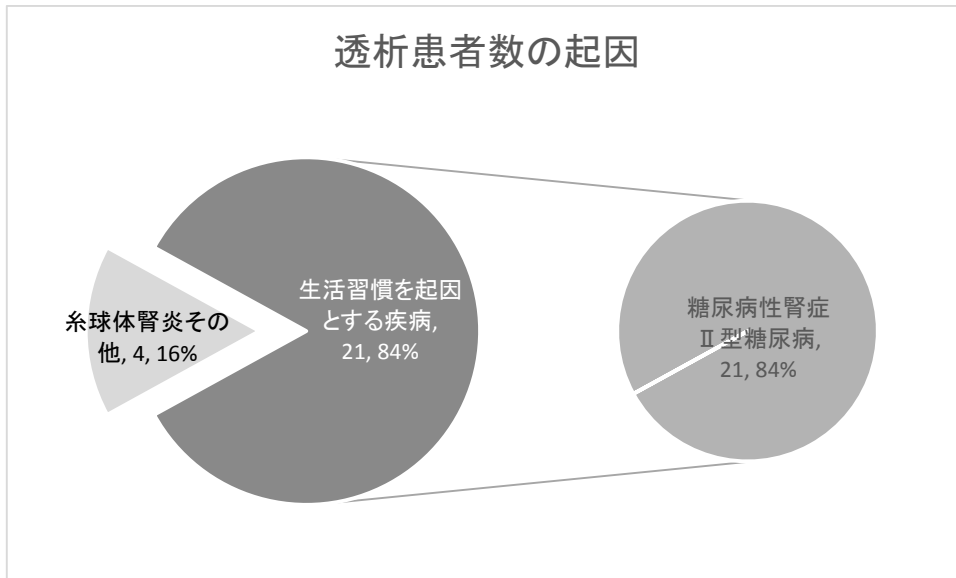
本市は二大病院が立地し、恵まれた医療環境を有しています。人口1万人あたりの医師数は33.2人と、近隣自治体と比較して倍以上の数値を誇っています²⁸。



²⁸ 厚生労働省「平成26年 医師・歯科医師・薬剤師調査」。

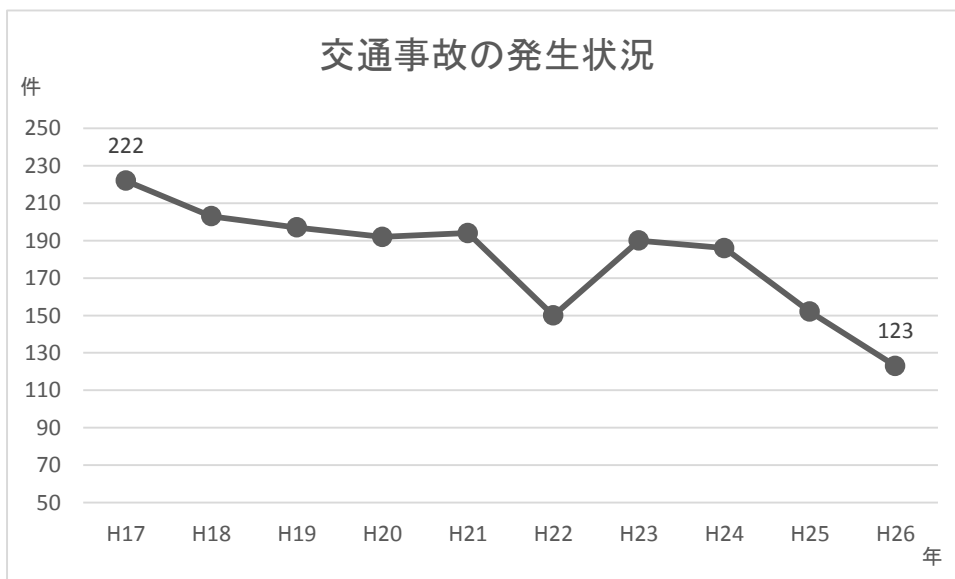
■健康

本市の透析関連の年間一人当たりの医療費は約 500 万であり、透析患者の 84%が、生活習慣病である糖尿病性腎症Ⅱ型糖尿病に起因しています²⁹。



■安全

本市の交通事故件数は、H17 に比べ、近年では徐々に減ってきています³⁰。

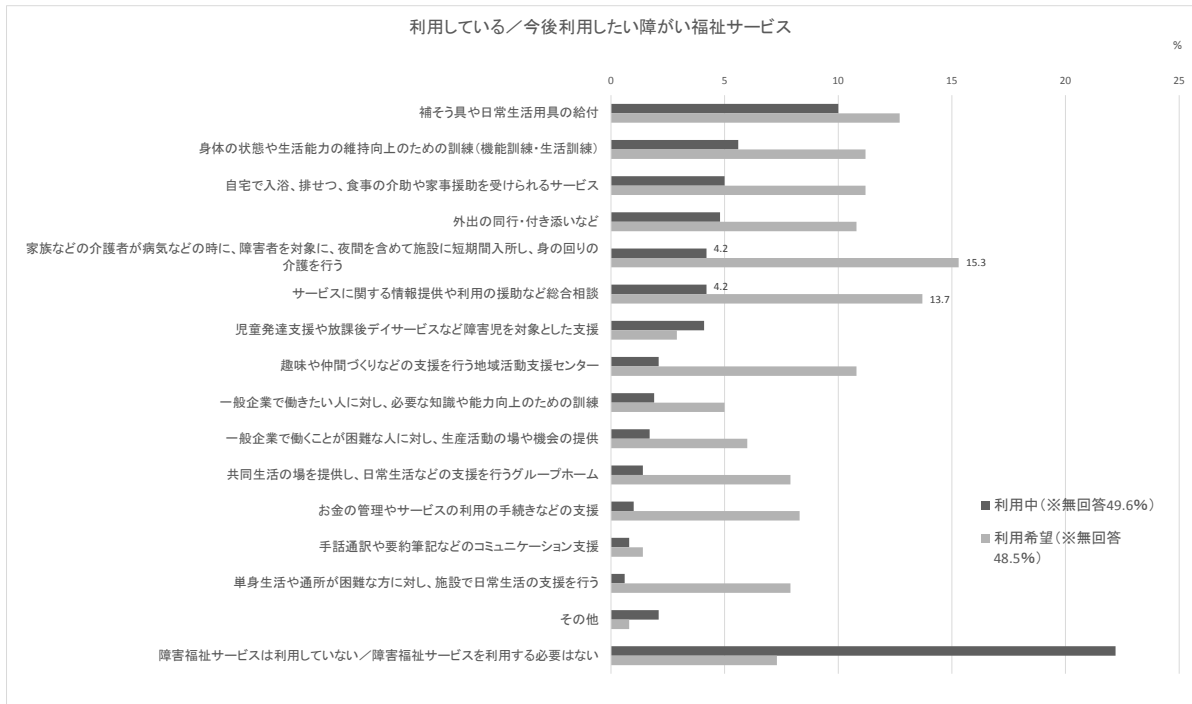


²⁹ 出所：山梨市健康増進課資料。

³⁰ 出所：山梨市「統計やまなし」。

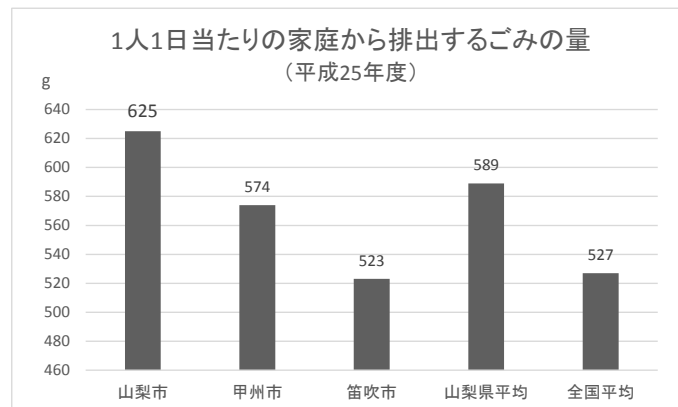
■障がい者福祉

市在住の各種障がい者手帳所持者を対象としたアンケート調査によると、今後使用したいサービスと利用しているサービスでの割合で最もギャップが大きいのは、「家族などの介護者が病気などの時に、障害者を対象に、夜間を含めて施設に短期間入所し、身の回りの介護を行う」です（11.1%）³¹。



■環境

本市の1人1日当たりの家庭から排出するごみの量は625gで、近隣自治体や山梨県・全国平均よりも多い水準となっています³²。

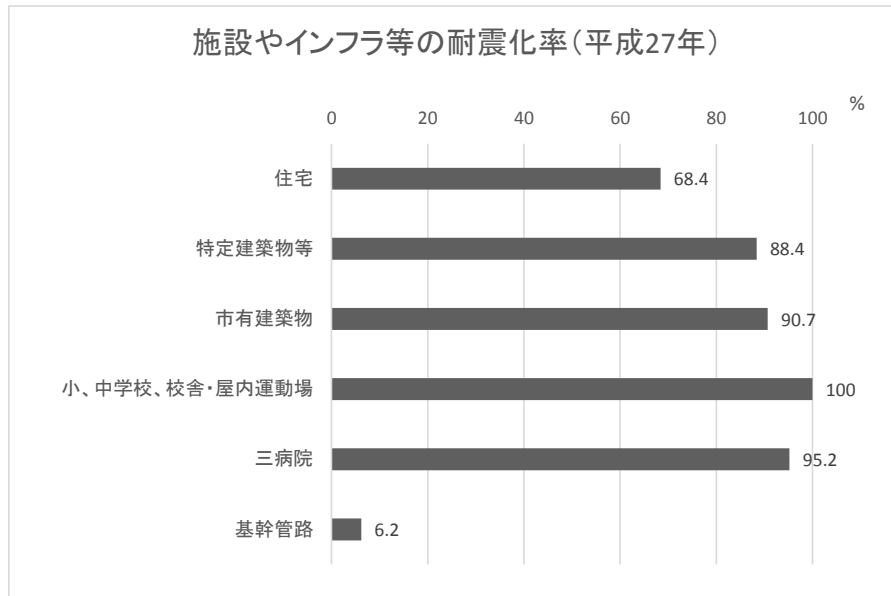


³¹ 出所：「山梨市障害者計画」（平成28年3月）。

³² 出所：山梨県「第3次山梨県廃棄物総合計画」（平成28年3月）。1人1日当たりの家庭から排出するごみの量=(ごみ排出量-事業系ごみ排出量-集団回収量-生活系資源ごみ排出量)/総人口/年日数。
※ごみの減量化に加え分別収集への取組を評価するため、生活系資源ごみ排出量を控除している。

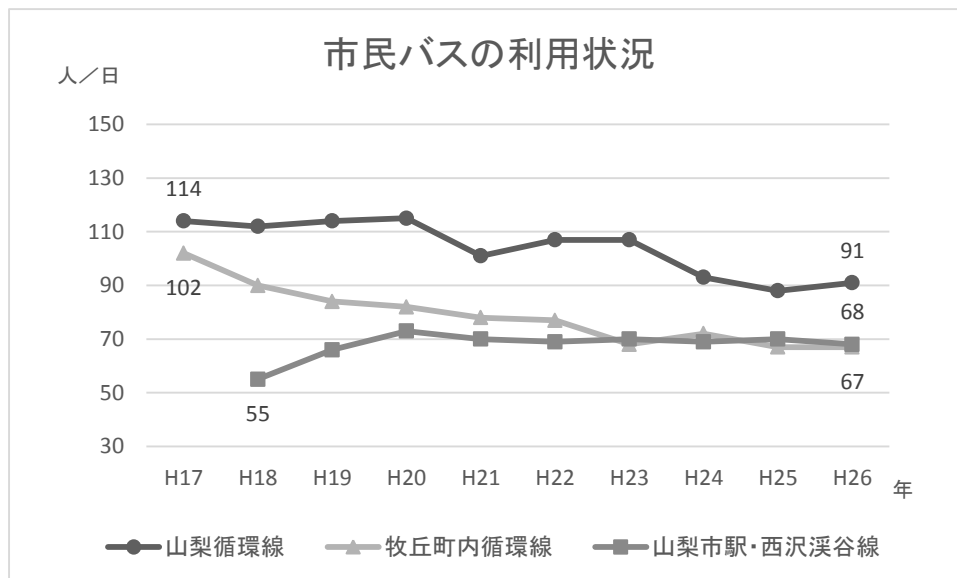
■防災

本市では、三つの病院（加納岩総合病院、山梨厚生病院、牧丘病院）や学校、市有建築物などの耐震率が90%以上であるのに対し、水道施設である基幹管路³³の耐震率が6.2%と低い状況です。³⁴



■公共交通

本市の市民バスの利用状況をみると、山梨循環線と牧丘町内循環線は、一日平均の利用者数が減少してきているのに対し、山梨市駅・西沢溪谷線については微増しています³⁵。



³³ 基幹管路とは、導水管、送水管及び配水本管のことを指す。

³⁴ 出所：「山梨市強靱化計画」（平成28年度～平成32年度）。

³⁵ 出所：山梨市「統計やまなし」。

生活面の課題

(1) 市民のニーズと現実のギャップを埋める

各種アンケート調査から以下のニーズが高いことが確認できています。これらが本当に市民に必要とされていることなのかを見極めながら、ニーズに適応した施策を講じていくことが求められます。

- ・生涯学習：「趣味・教養的なもの」、「健康・スポーツ」
- ・子育て：「各種補助・助成」（経済的負担の軽減）、「保育関連」
- ・高齢者福祉：「病院などへの送り迎え」、「生きがい活動を支援する通所サービス」（ミニデイサービス）
- ・障がい者福祉：「家族などの介護者が病気などの時に、障害者を対象に、夜間を含めて施設に短期間入所し、身の回りの介護を行う」サービス、「サービスに関する情報提供や利用の援助など総合相談」

(2) 公共交通

- ・市民バスの1日平均の利用者数は山梨市駅・西沢溪谷線で微増しているものの、山梨循環線と牧丘町内循環線は年々減少傾向にあります。
- ・こうした中、特に免許返納後の移動に対して不安をもつ高齢者から公共交通の充実を求める声が強く³⁶、そうした不安を払拭するための施策が求められています。

(3) その他

- ・教育：特に小学校の全国学力調査の結果が全国平均と比べて全ての教科で低いため、学力向上策の強化が課題となります。
- ・健康：透析につながる糖尿病患者の割合が高いため、市民の糖尿病予防を支援することがより一層求められます。
- ・環境：1人1日当たりの家庭から排出するごみの量が近隣自治体や県・全国平均と比べて多いため、ごみの減量化へ向けた施策強化が課題となります。
- ・防災：首都直下型地震の発生が予想される中、特に耐震化率の低い基幹管路をはじめ、市有建築物など、耐震化をさらに推進していくことが求められます。
- ・安全：交通事故発生件数は刑法犯認知件数とともに減少傾向にあり、今後は警察や地域と連携しながら、さらに件数を減らしていくための取り組みを進めることが望まれます。

³⁶ 例えば、第2次山梨市まちづくり総合計画住民アンケート結果 自由回答参照（本資料集 p54～76）。

4. 山梨市の行財政

行財政の状況を示す指標について、本市と類似団体³⁷や全国の平均を比較した結果は以下の通りです（全国平均を 100 とした指数で比較）³⁸。

- ・ 財政力指数³⁹は全国平均より低いが、類似団体平均より高い。
- ・ 経常収支比率⁴⁰は全国・類似団体平均より低い。
- ・ 実質公債費比率⁴¹は全国・類似団体平均より高い。
- ・ 将来負担比率⁴²は全国・類似団体より高く、全国平均の約 2.5 倍。
- ・ 人口千人あたり職員数は全国平均より多く、類似団体より少ない。
- ・ 人口 1 人あたり人件費・物件費等の決算額⁴³は全国平均より大きく、類似団体平均より小さい。
- ・ ラスパイレス指数⁴⁴は全国・類似団体平均より低い。

以上から、特に将来負担比率の高さが際立っており、将来の財政を圧迫しないよう、対策を進めることが課題となっています。



³⁷ 国が人口と産業構造により類型化したグループのうち、同じグループに属する自治体のこと。

³⁸ 出所：地域経済分析システム。

³⁹ 財政力指数：地方公共団体の財政力を示す指数で、基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の過去3年間の平均値。財政力指数が高いほど、財源に余裕があるといえる。

⁴⁰ 経常収支比率：財政構造の弾力性を測定する指標。地方税や地方交付税などの一般財源に対し、人件費や扶助費、公債費など縮減することが容易でない経費（義務的経費）が占める割合。

⁴¹ 実質公債費比率：当該地方公共団体の一般会計等が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模を基本とした額に対する比率。借入金（地方債）の返済額及びこれに準じる額の大きさを指標化し、資金繰りの程度を示す指標ともいえる。

⁴² 将来負担比率：地方公社や損失補償を行っている出資法人等に係るものも含め、当該地方公共団体の一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模を基本とした額に対する比率。将来財政を圧迫する可能性の度合いを示す指標ともいえる。

⁴³ 人口1人あたり人件費・物件費等の決算額：人口1人あたりの人件費、物件費及び維持補修費の合計。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

⁴⁴ ラスパイレス指数：国家公務員行（一）の俸給月額を100とした場合の地方公務員一般行政職の給与水準。

第2次山梨市まちづくり総合計画 住民アンケート結果

調査概要

① 調査の目的

山梨市の主な施策に対する、市民の満足度や必要度を把握し、住民のニーズに対応した施策を推進するための基礎資料とする。併せて、総合計画に示されたまちづくり指標についても確認する。

② 調査時期

アンケート期間：平成 28 年 5 月 11 日(水)～5 月 30 日(月)

③ 調査対象

20 歳以上の市民 2,000 人を対象とした。

標本抽出方法としては、旧市町村ごとの人口に注目した比例配分法による層化無作為抽出を行った。

④ 調査方法

郵送配布・郵送回収方式

⑤ アンケート内容

大項目	小項目	対応設問	設問数
山梨市の魅力・ 住みやすさ	山梨市の魅力	問 1	1 5
	山梨市の住みやすさ	問 2	1
	住みやすさ／住みにくさの理由	問 3	1 1
	山梨市に対する愛着	問 4	1
満足度・重要度	施策に対する満足度と重要度の認識	問 5	各 2 6
分野ごとの各施策の 必要性	高齢者福祉分野	問 6	1 1
	次世代育成（子育て）分野	問 7	9
	産業（農林業・商業・工業・観光業）分野	問 8	1 3
	観光分野	問 9	1 0
	学校教育・生涯学習分野	問 1 0	1 4
	環境エネルギー分野	問 1 1	9
	防災分野	問 1 2	1 1
	行政体制・行政運営	問 1 3	9
市民と行政との あり方	行財政改革と市民負担	問 1 4	5
	公共施設整備の進め方	問 1 5	1
	窓口サービスの向上	問 1 6	1
	今後参加したい公共活動	問 1 7	1
山梨市の将来像 と望ましい地域 イメージ	10 年後の山梨市について	問 1 8	1
まちづくり指標	総合計画に示すまちづくり指標について	問 1 9	1 5
男女共同参画の 実現	男女共同参画の認知度、状況について	問 2 0	1 0
自由意見		問 2 1	1

⑥ 回収結果

送付数：2,000

回収数：1,005

有効回収数：993

有効回収率：50%

⑦ 本報告書中の記号、調査結果の数値について

(SA) ……単一回答 (Single Answer) の略。選択回答は1項目のみ。

(MA) ……複数回答 (Multi Answer) の略。

(一部回答を限定しているものもある。)

複数回答における回答率は100%を超える場合があります。

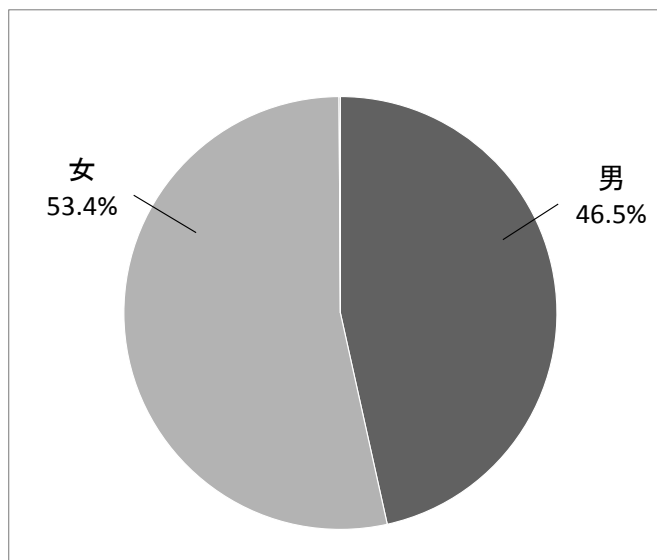
※ 各回答項目の構成比は、小数点第二位を四捨五入しているため、各項目の合計が100%にならない場合もあります。

※ また、回答によっては「不明」があるため、合計が993にならない場合もあります。

1. 回答者の属性（S A）

① 性別

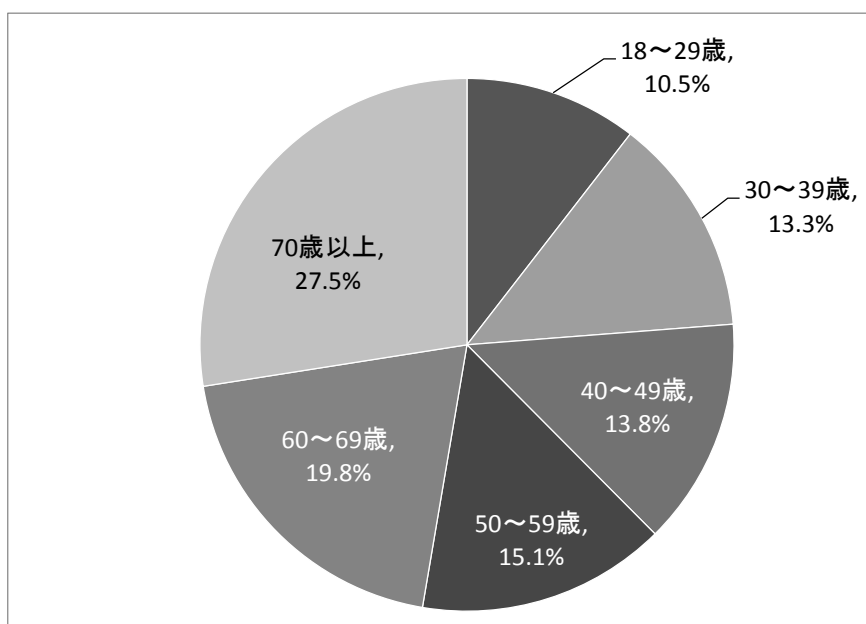
今回のアンケート調査で回答が得られた 993 人のうち、男性は 46.5%、女性は 53.4% であった。



② 年齢

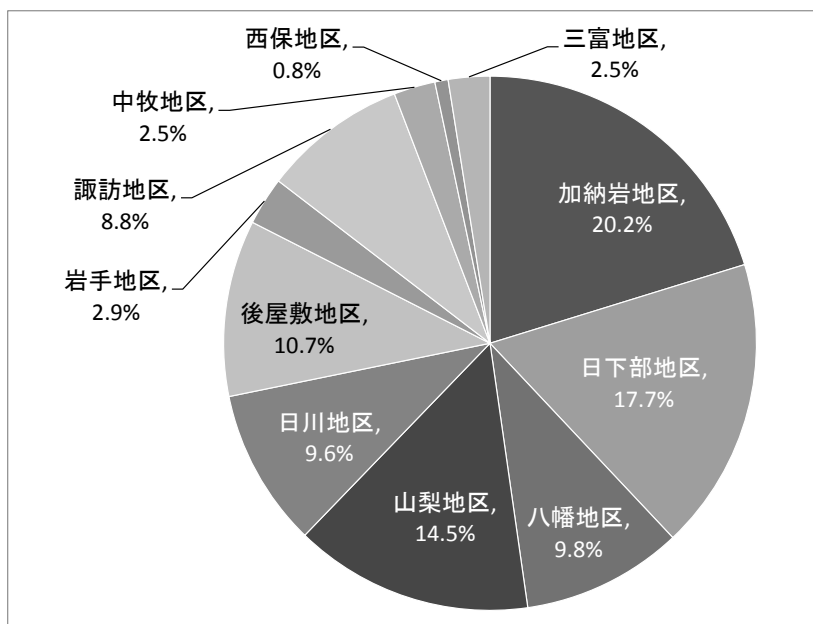
今回のアンケート調査に回答した市民の年齢構成は、「70 歳以上」が 27.5%と最も高く、「60～69 歳」（19.8%）、「50～59 歳」（15.1%）と続いた。

その一方、最も低いのは「18～29 歳」で 10.5%だった。



③ 居住地区

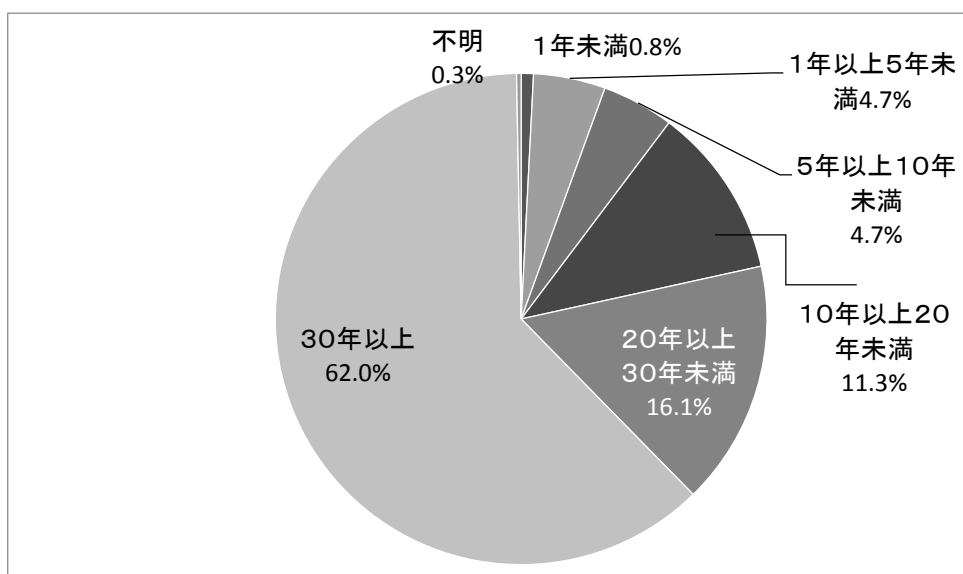
今回のアンケート調査に回答した市民の居住地の割合は、「加納岩地区」が20.2%と最も高く、次いで「日下部地区」(17.7%)、「山梨地区」(14.5%)と続いた。



④ 居住年数

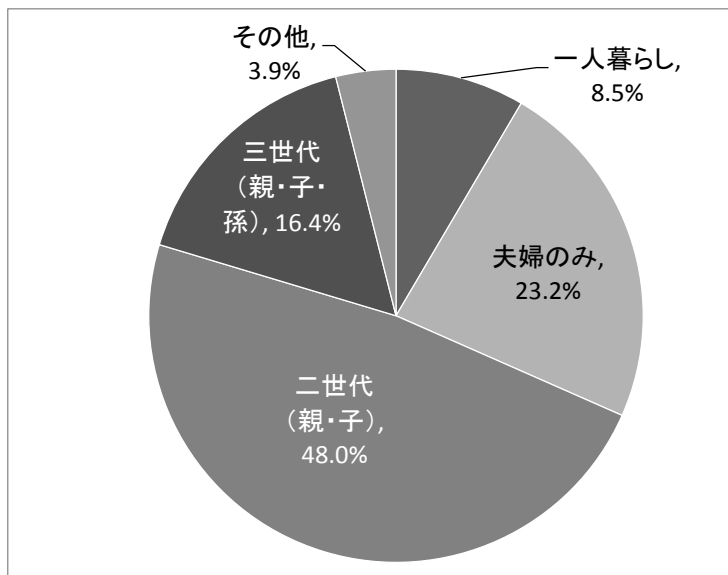
今回のアンケート調査における回答者の、山梨市(旧牧丘町・三富村を含む)への居住年数は、「30年以上」が最も高く、半数を超える62%を占めた。次いで「20年以上30年未満」が16.1%、「10年以上20年未満」が11.3%だった。

居住年数が10年以上の回答者が、全回答者の約9割を占めている。



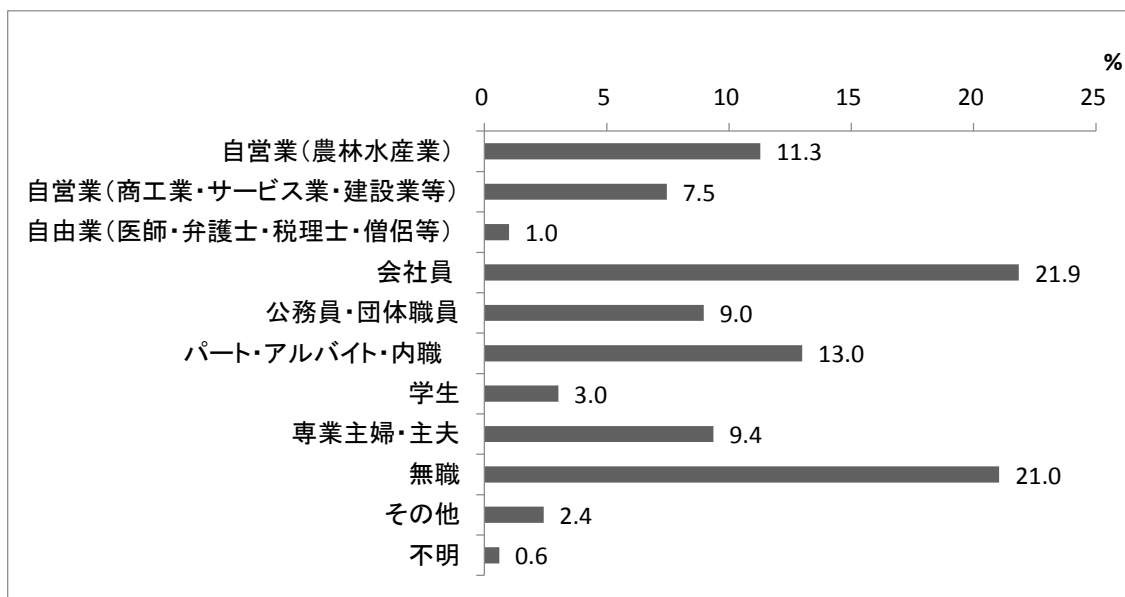
⑤ 家族構成

今回のアンケート調査における回答者の家族構成は、「二世世代（親・子）」が最も高く48.0%を占めた。次いで「夫婦のみ」23.2%、「三世代（親・子・孫）」の16.4%の順となった。「一人暮らし」は、8.5%だった。



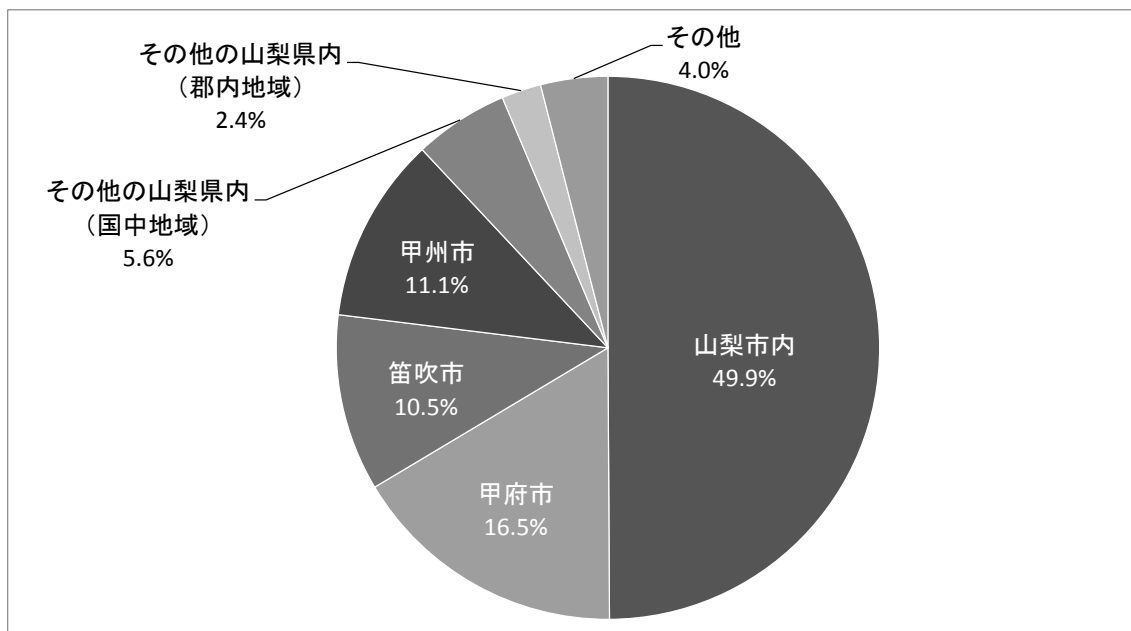
⑥ 職業

今回のアンケート調査の回答者の職業では、「会社員」が最も高く21.9%、次いで「無職」が21.0%、「パート・アルバイト・内職」が13.0%だった。



⑦ 通勤・通学先

今回のアンケート調査における回答者の通勤・通学先は、山梨市内が最も高く 49.9%、次いで甲府市が 16.5%、笛吹市が 10.5%、甲州市が 11.1%だった。

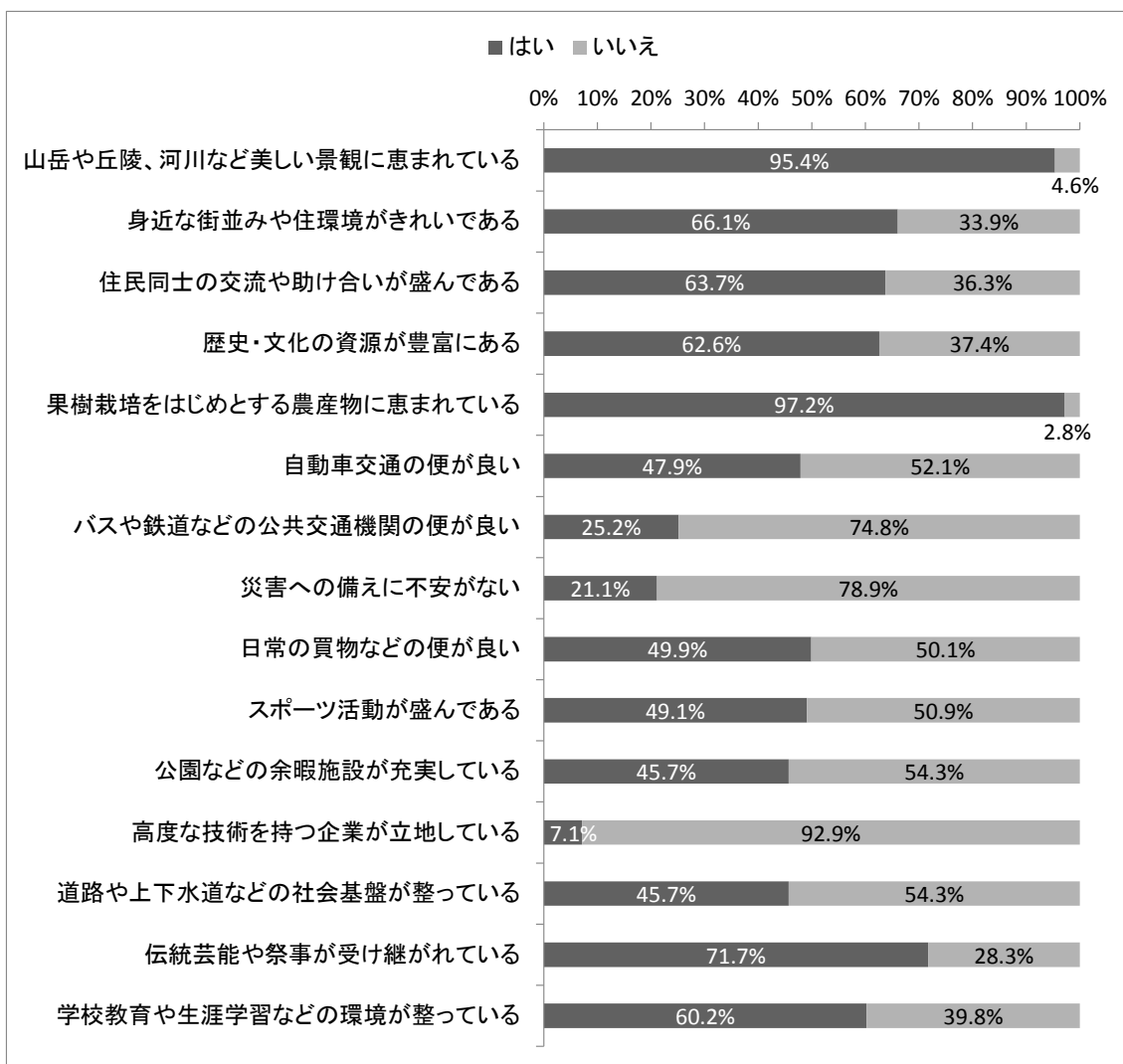


2. 山梨市の魅力・住みやすさ（S A）

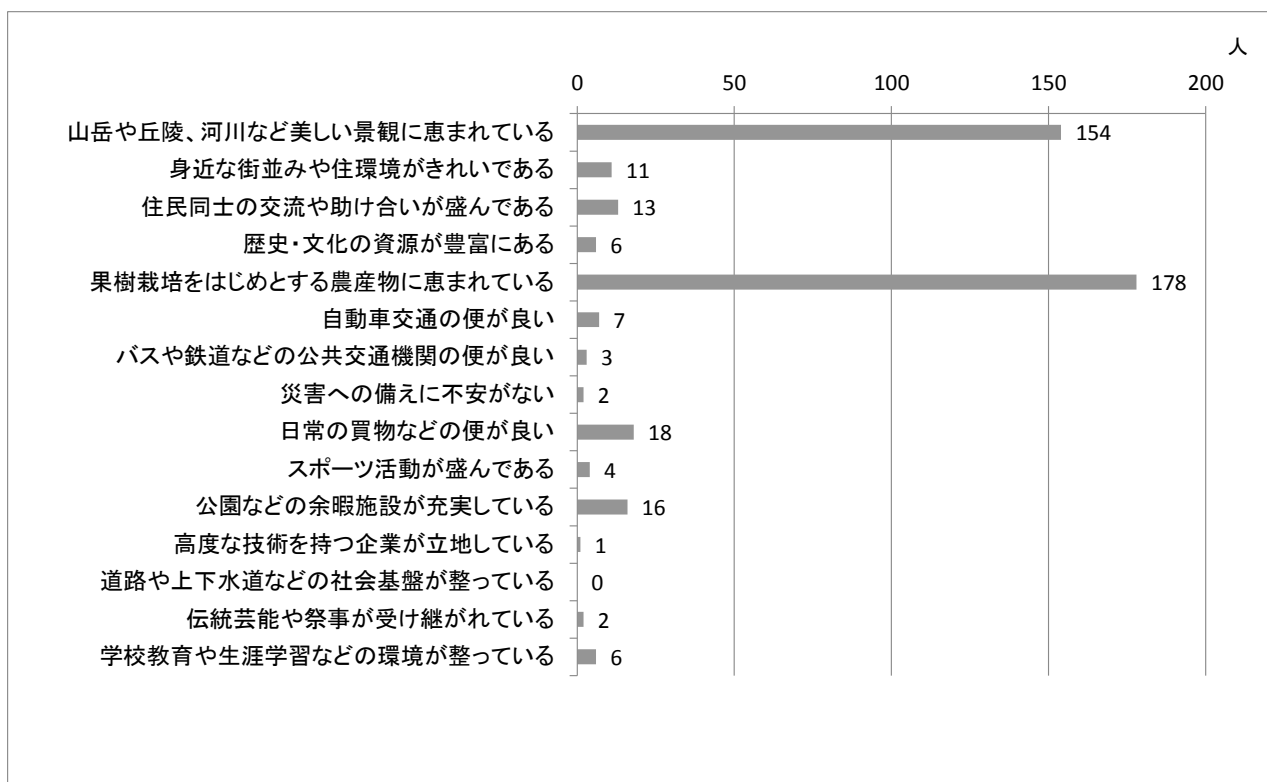
① 山梨市の魅力について

山梨市の魅力についてたずねた。肯定する「はい」という回答が最も高かったのは、「果樹栽培をはじめとする農産物に恵まれている」で 97.2%、続いて「山岳や丘陵、河川など美しい景観に恵まれている」が 95.4%、「伝統芸能や祭事が受け継がれている」が 71.7%であった。

逆に、否定する「いいえ」という回答が高かったのは、「高度な技術を持つ企業が立地している」が 92.9%、「災害への備えに不安がない」が 78.9%、「バスや鉄道などの公共交通機関の便が良い」が 74.8%であった。



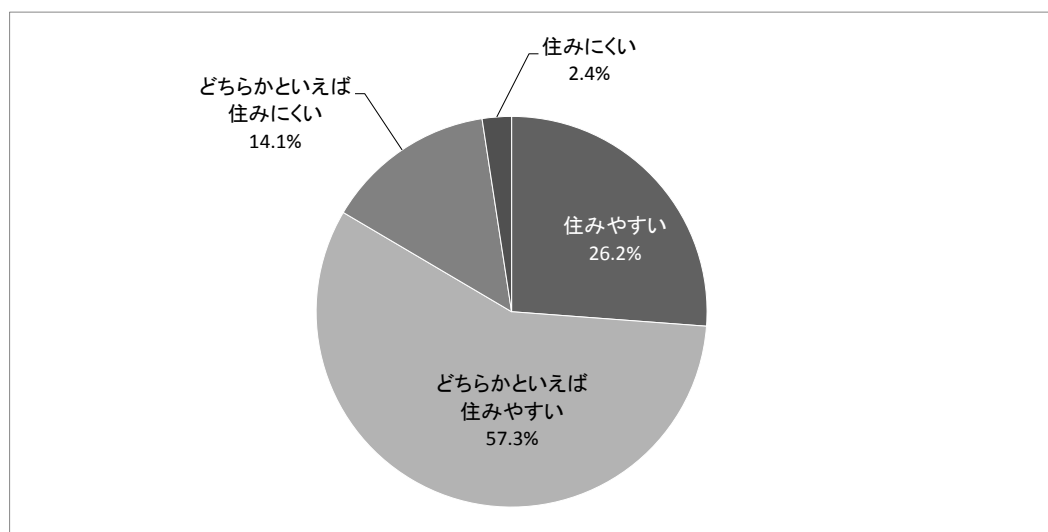
また、以上の15項目の中で、何が最も“山梨市の魅力”だと感じるかを問うたところ、「果樹栽培をはじめとする農産物に恵まれている」が178人、「山岳や丘陵、河川など美しい景観に恵まれている」が154人で、これらの回答が群を抜いて多い結果となった。



② 山梨市の住みやすさについて

山梨市の住みやすさについてたずねた。「住みやすい」が26.2%、「どちらかといえば住みやすい」が57.3%と、住みやすさに対して肯定的な回答が83.5%を占めた。

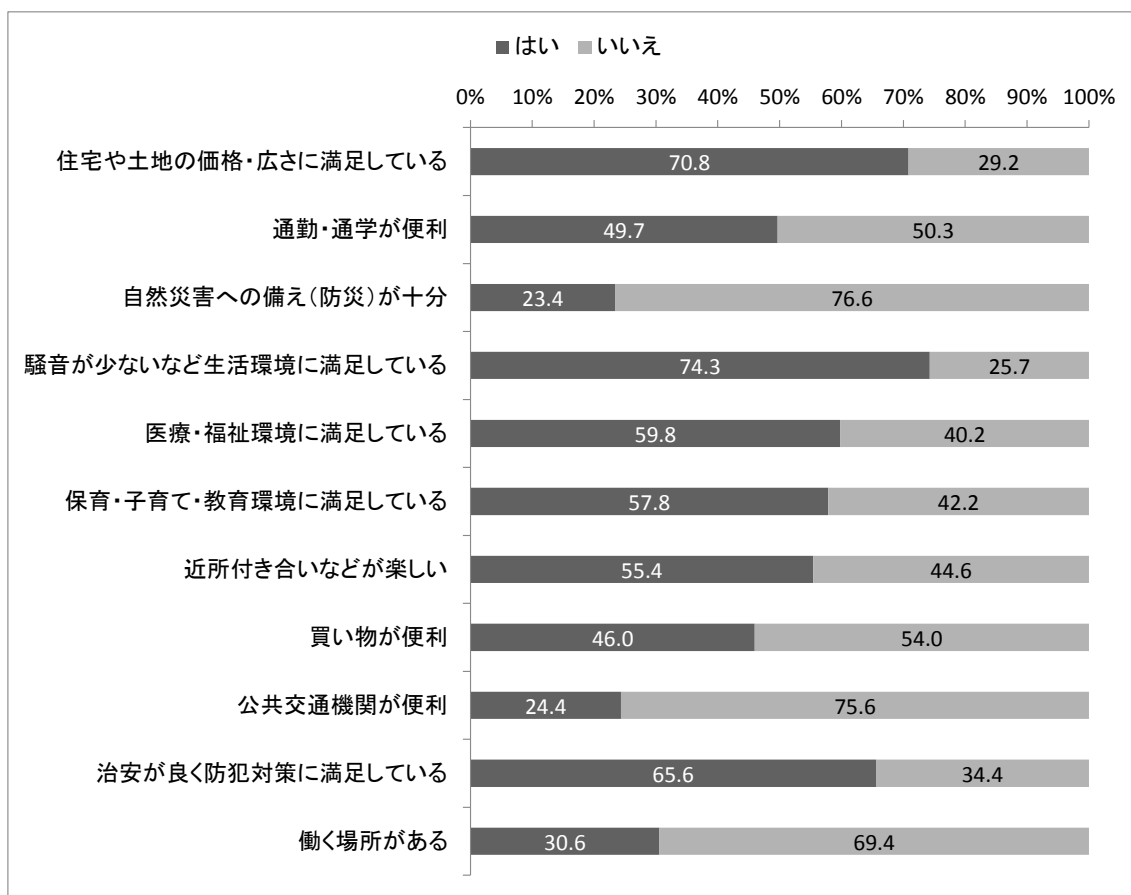
「住みにくい」は2.4%であり、「どちらかといえば住みにくい」(14.1%)とあわせ否定的な回答は16.5%あった。



③ 山梨市の住みやすさ／住みにくさの理由

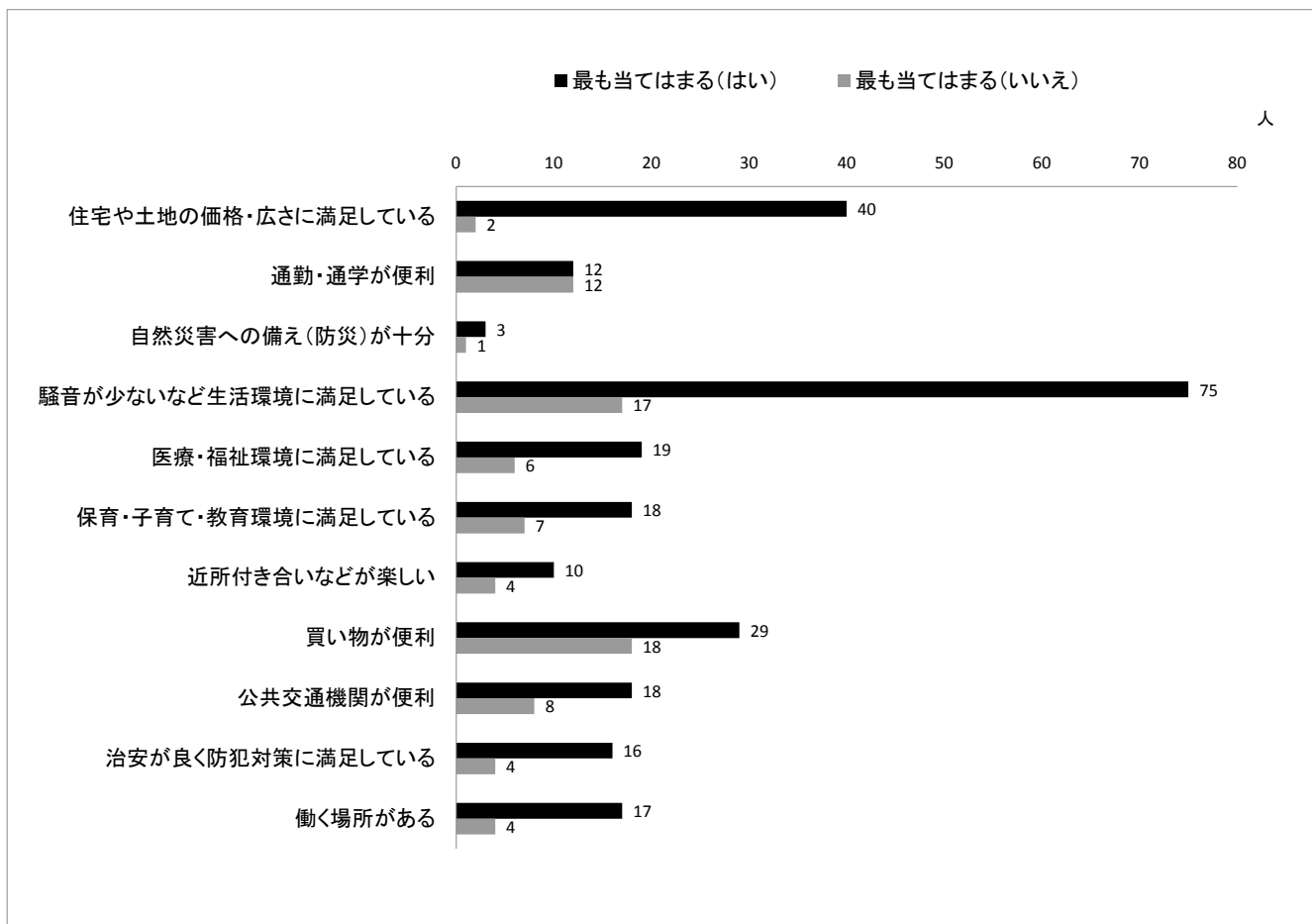
前質問における「住みやすさ」及び「住みにくさ」について、その理由をたずねた。住みやすいと感じている回答が最も多かったのは、「騒音が少ないなど生活環境に満足している」で74.3%、次いで「住宅や土地の価格・広さに満足している」が70.8%、「治安が良く防犯対策に満足している」が65.6%、だった。

逆に、住みやすいと感じている回答が少なかったのは、「自然災害への備え（防災）が十分」（23.4%）、「公共交通機関が便利」（24.4%）、「働く場所がある」（30.6%）となっている。



上記の住みやすさ・住みにくさの理由の中で、最も当てはまる理由についてたずねたところ、住みやすさの理由として「はい」の回答が多かったのは「騒音が少ないなど生活環境に満足している」（75人）、次いで「住宅や土地の価格・広さに満足している」（40人）であった。

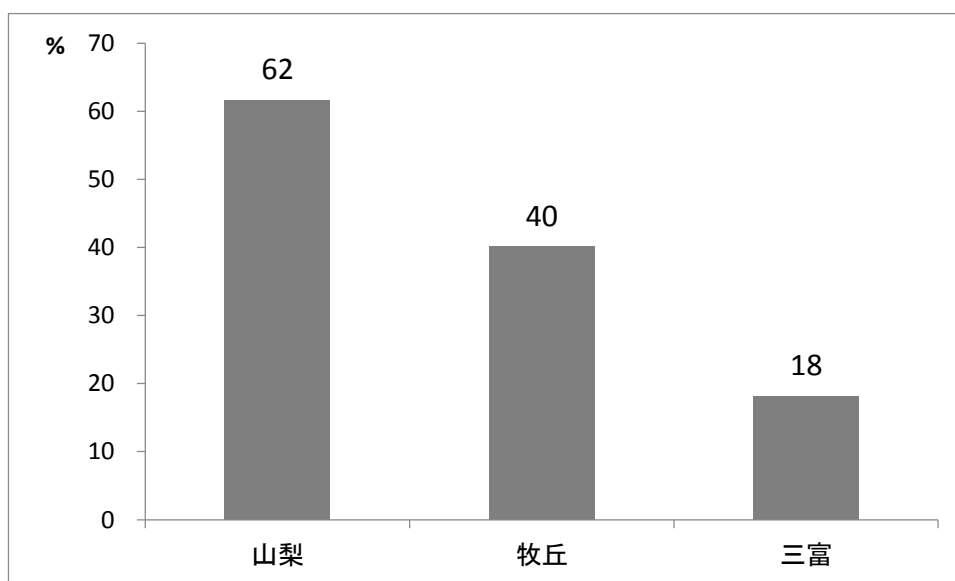
反対に、住みにくい理由として「いいえ」の回答が多かったのは「買い物が便利」（18人）、「騒音が少ないなど生活環境に満足している」（17人）であった。



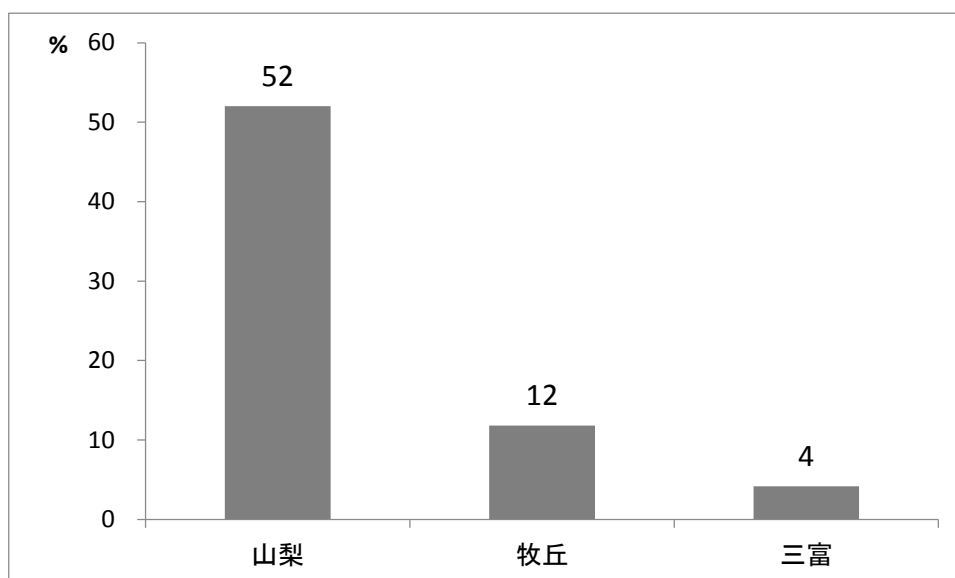
居住地域×住みやすさの理由

居住地区を山梨、牧丘、三富の3地域に分類し、住みやすさの理由とのクロス集計を行ったところ、特に「保育・子育て・教育環境に満足している」「買い物が便利」で大きな差が見られた。

「保育・子育て・教育環境に満足している」という設問に対し「はい」と回答した割合は、山梨 62%、牧丘 40%、三富 18%であり、山梨と三富で 44%もの差が出る結果となった。



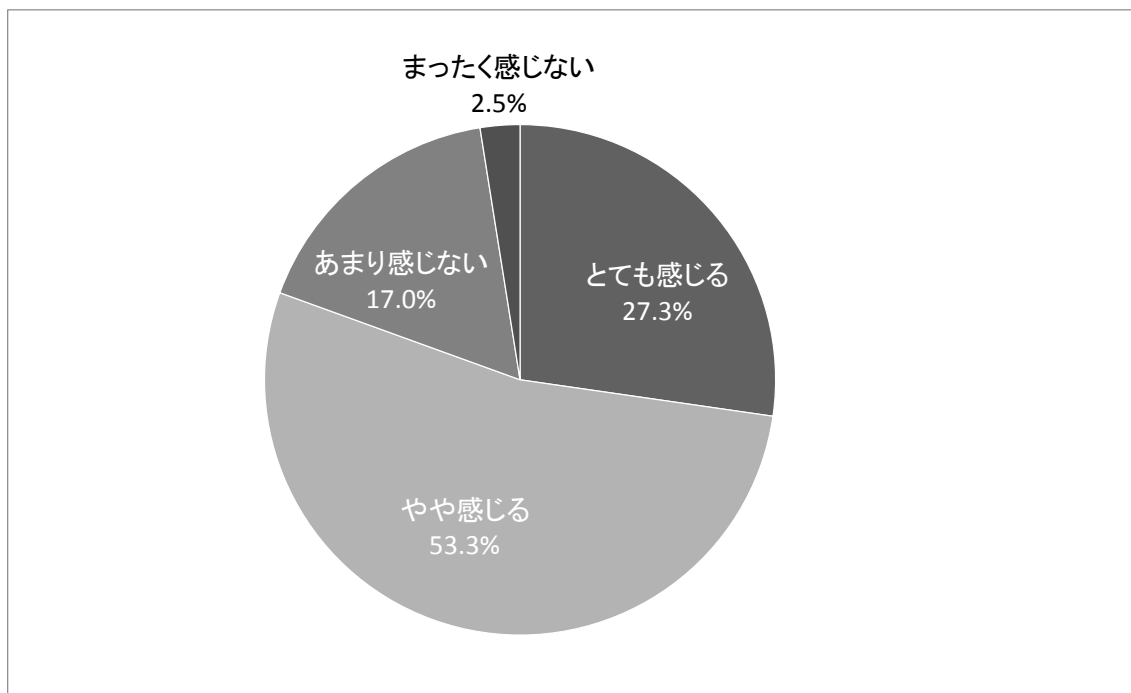
また、「買い物が便利」という設問に対し「はい」と回答した割合は、山梨 52%、牧丘 12%、三富 4%であり、山梨と三富で 48%もの差が出る結果となった。



④ 山梨市に対する愛着を感じていますか

山梨市に対する愛着をたずねた。「とても感じる」が27.3%、「やや感じる」が53.3%と、肯定的な回答が80.6%を占めた。

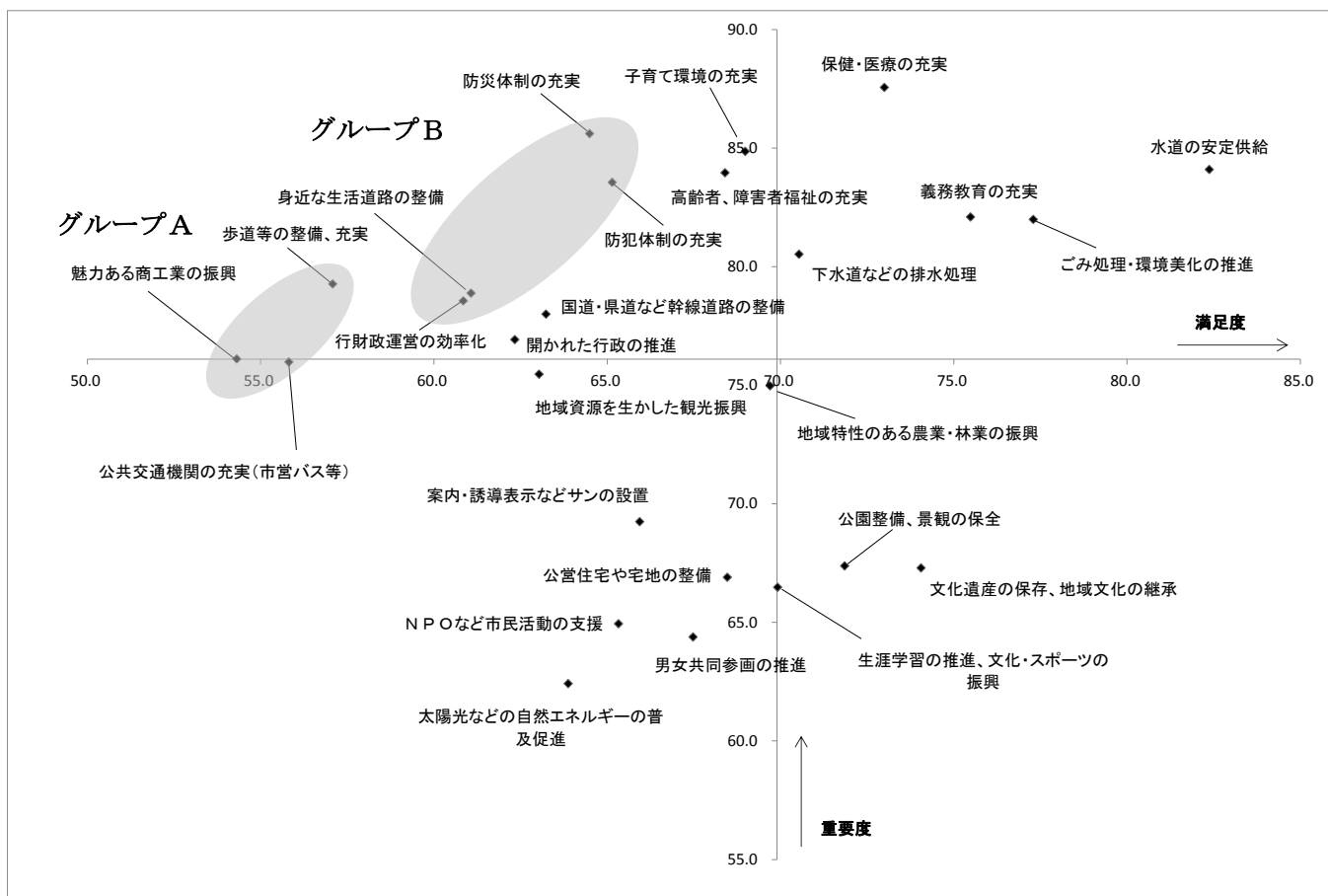
「まったく感じない」は2.5%であり、「あまり感じない」(17.0%)とあわせ否定的な意見は19.5%であった。



3. 満足度、重要度等（SA）

市が実施する施策にどの程度満足しているのかということと、各施策をどの程度重要であると考えているのかを、満足度と重要度としてたずねた。満足度については、「満足している」、「やや満足している」、「やや不満である」、「不満である」の4段階で、重要度については、「きわめて重要である」、「かなり重要である」、「まあ重要である」、「あまり重要ではない」の4段階でたずねた。集計に当たっては、満足度、重要度が高いほうから低いほうに向かって、100点、75点、50点、25点を割り振り、各施策について回答者の平均点を算出した。計算の結果を、満足度を横軸に、重要度を縦軸にとり、散布図形式で示した。

なお、図中に示した軸線は、満足度、重要度の全体の平均値（満足度 66.9 重要度 76.1）を表している。



グループ A は、満足度が特に低くなっており、以下の 4 施策が含まれる。

施策	満足度の点数
魅力ある商工業の振興	54.3
公共交通機関の充実（市営バス等）	55.8
歩道等の整備、充実	57.1

グループ B は、市民の重要度の認識は高いものの、満足度がやや低くなっており、以下の 4 施策が含まれる。

施策	満足度の点数	重要度の点数
身近な生活道路の整備	61.1	78.9
行財政運営の効率化	60.8	78.6
防災体制の充実	64.5	85.6
防犯体制の充実	65.1	83.6

満足度ランキング

順位	カテゴリ	満足度
1	水道の安定供給	82.4
2	ごみ処理・環境美化の推進	77.3
3	義務教育の充実	75.5
4	文化遺産の保存、地域文化の継承	74.1
5	保健・医療の充実	73.0
6	公園整備、景観の保全	71.9
7	下水道などの排水処理	70.5
8	生涯学習の推進、文化・スポーツの振興	69.9
9	地域特性のある農業・林業の振興	69.7
10	子育て環境の充実	69.0
11	公営住宅や宅地の整備	68.5
12	高齢者、障害者福祉の充実	68.4
13	男女共同参画の推進	67.5
14	案内・誘導表示などサンの設置	65.9
15	NPOなど市民活動の支援	65.3
16	防犯体制の充実	65.1
17	防災体制の充実	64.5
18	太陽光などの自然エネルギーの普及促進	63.9
19	国道・県道など幹線道路の整備	63.2
20	地域資源を生かした観光振興	63.0
21	開かれた行政の推進	62.3
22	身近な生活道路の整備	61.1
23	行財政運営の効率化	60.8
24	歩道等の整備、充実	57.1
25	公共交通機関の充実（市営バス等）	55.8
26	魅力ある商工業の振興	54.3

重要度ランキング

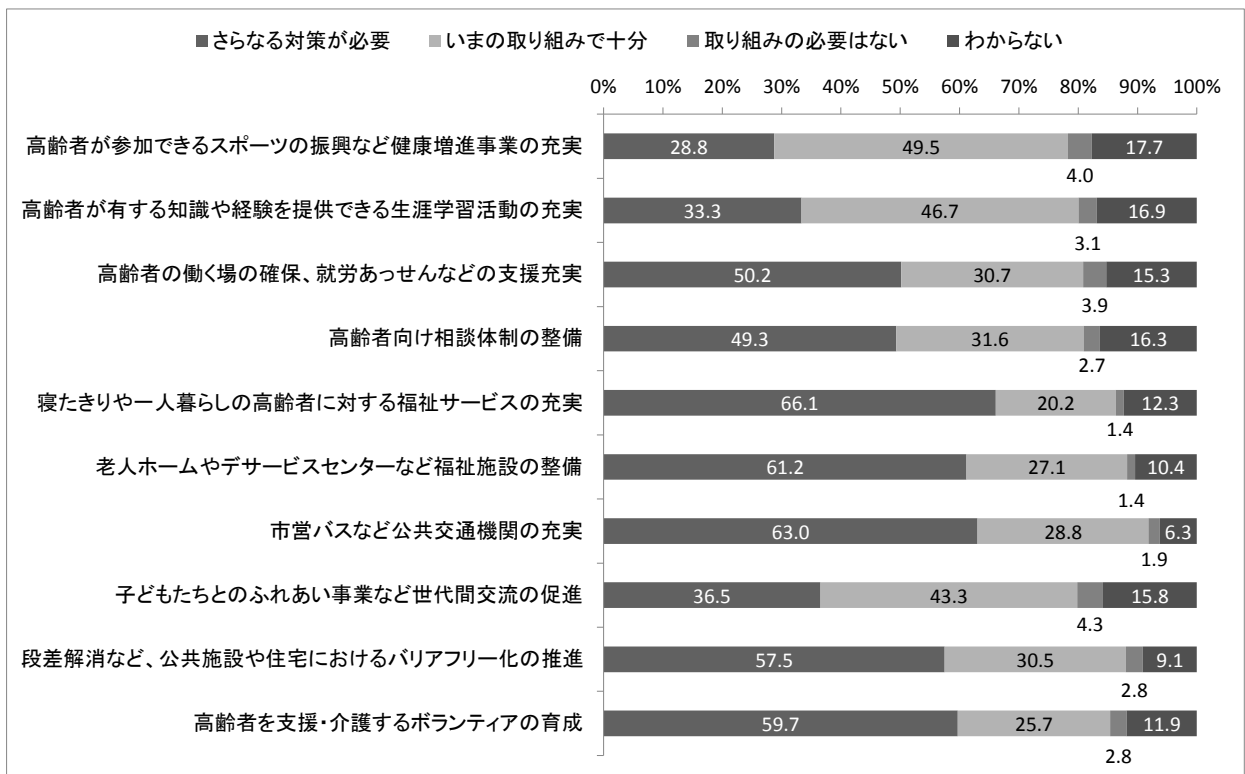
順位	カテゴリ	重要度
1	保健・医療の充実	87.6
2	防災体制の充実	85.6
3	子育て環境の充実	84.9
4	水道の安定供給	84.1
5	高齢者、障害者福祉の充実	84.0
6	防犯体制の充実	83.6
7	義務教育の充実	82.1
8	ごみ処理・環境美化の推進	82.0
9	下水道などの排水処理	80.5
10	歩道等の整備、充実	79.3
11	身近な生活道路の整備	78.9
12	行財政運営の効率化	78.6
13	国道・県道など幹線道路の整備	78.0
14	開かれた行政の推進	76.9
15	魅力ある商工業の振興	76.1
16	公共交通機関の充実（市営バス等）	76.0
17	地域資源を生かした観光振興	75.5
18	地域特性のある農業・林業の振興	75.0
19	案内・誘導表示などサンの設置	69.2
20	公園整備、景観の保全	67.4
21	文化遺産の保存、地域文化の継承	67.3
22	公営住宅や宅地の整備	66.9
23	生涯学習の推進、文化・スポーツの振興	66.5
24	NPOなど市民活動の支援	64.9
25	男女共同参画の推進	64.4
26	太陽光などの自然エネルギーの普及促進	62.4

4. 分野ごとの各施策の必要性（S A）

設問ごとに、「絶対必要である」、「かなり必要である」、「場合によって必要である」、「必要でない」の4段階でたずねた。

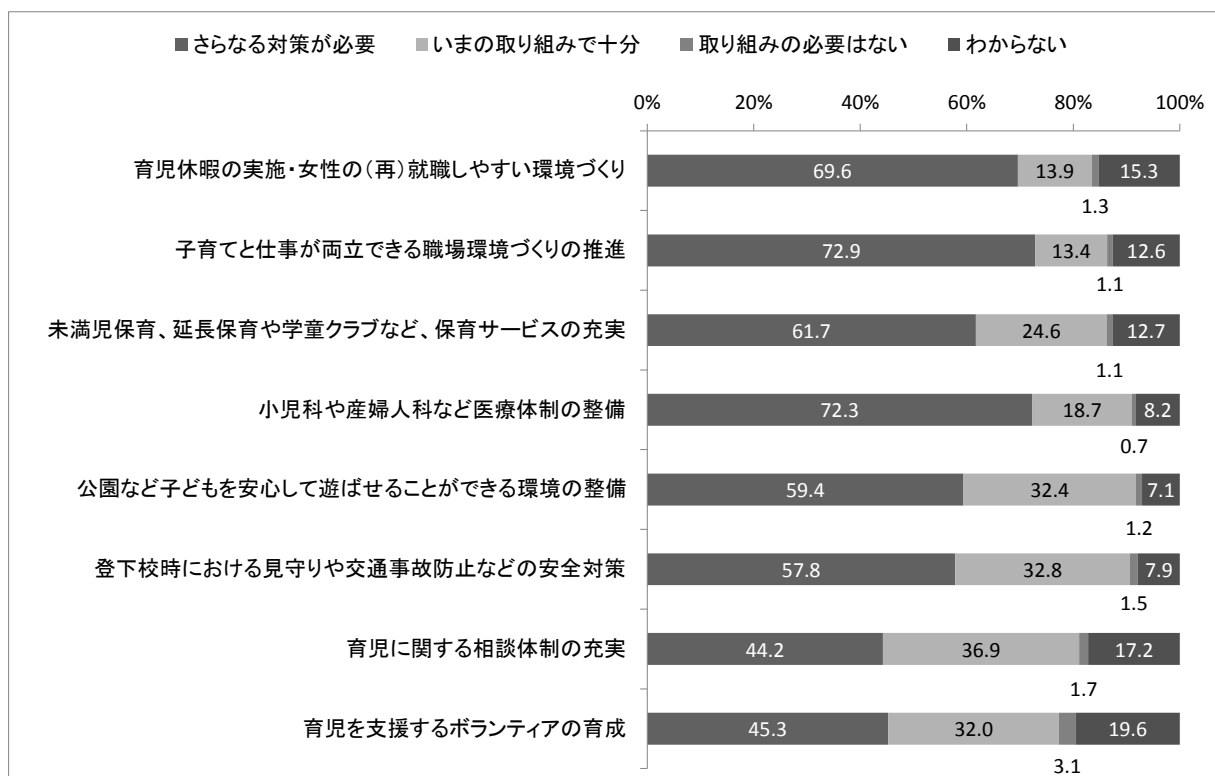
① 高齢化が進む社会に対応するための取り組み

「さらなる対策が必要」が最も高かったのは、「寝たきりや一人暮らしの高齢者に対する福祉サービスの充実」の66.1%であり、以下「市営バスなど公共交通機関の充実」(63.0%) 「老人ホームやデイサービスセンターなど福祉施設の整備」(61.2%)の順となっている。



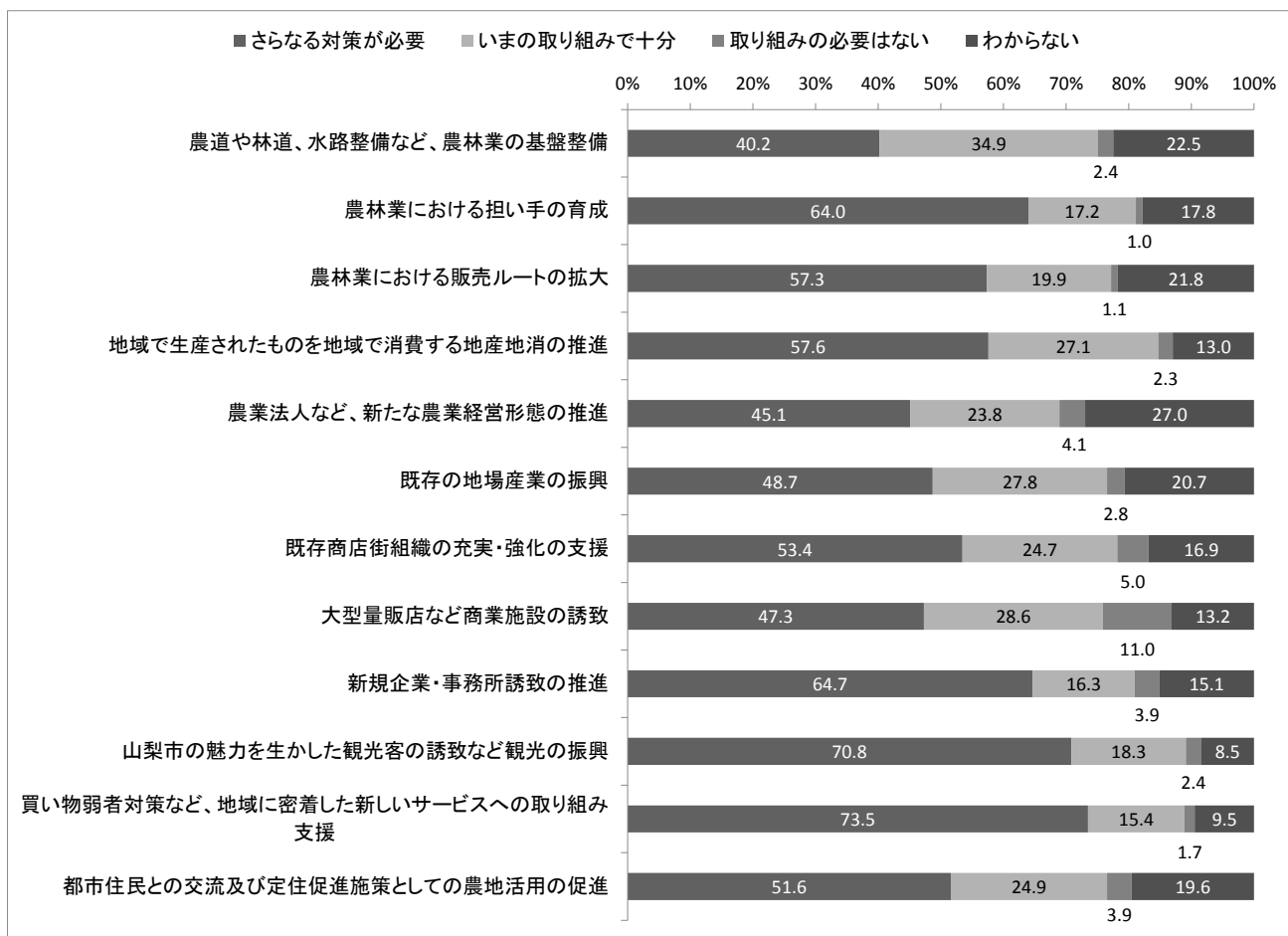
② 安心して子どもを産み育てたいと思える環境をつくるための取り組み

「さらなる対策が必要」が最も高かったのは「子育てと仕事が両立できる職場環境づくりの推進」(72.9%)であり、以下「小児科や産婦人科など医療体制の整備」(72.3%)、「育児休暇の実施・女性の(再)就職しやすい環境づくり」(69.6%)の順となっている。



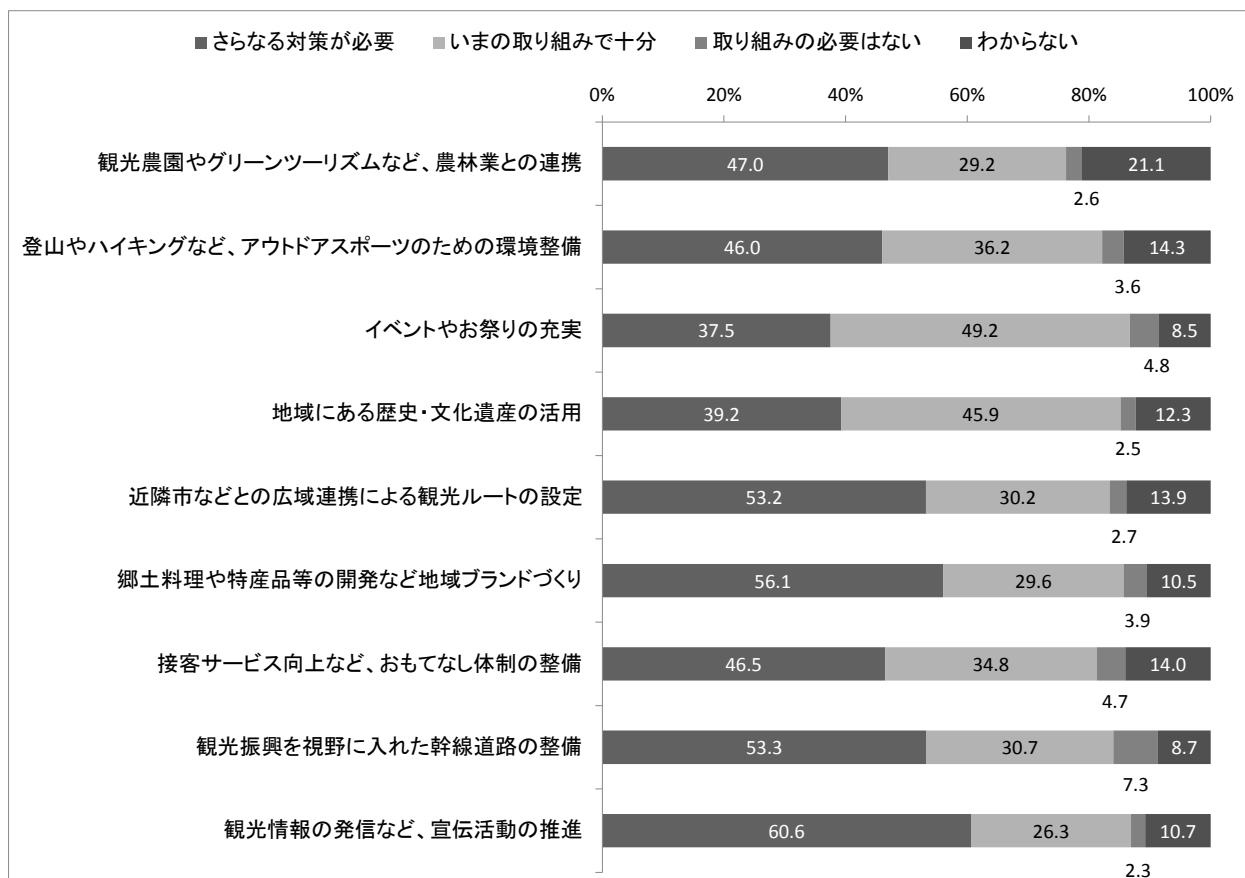
③ 産業（農林業・商業・工業・観光業）が発展するための取り組み

「さらなる対策が必要」が最も高かったのは、「買い物弱者対策など、地域に密着した新しいサービスへの取り組み支援」の73.5%であり、以下「山梨市の魅力を生かした観光客の誘致など観光の振興」（70.8%）、「新規企業・事務所誘致の推進」（64.7%）の順となっている。



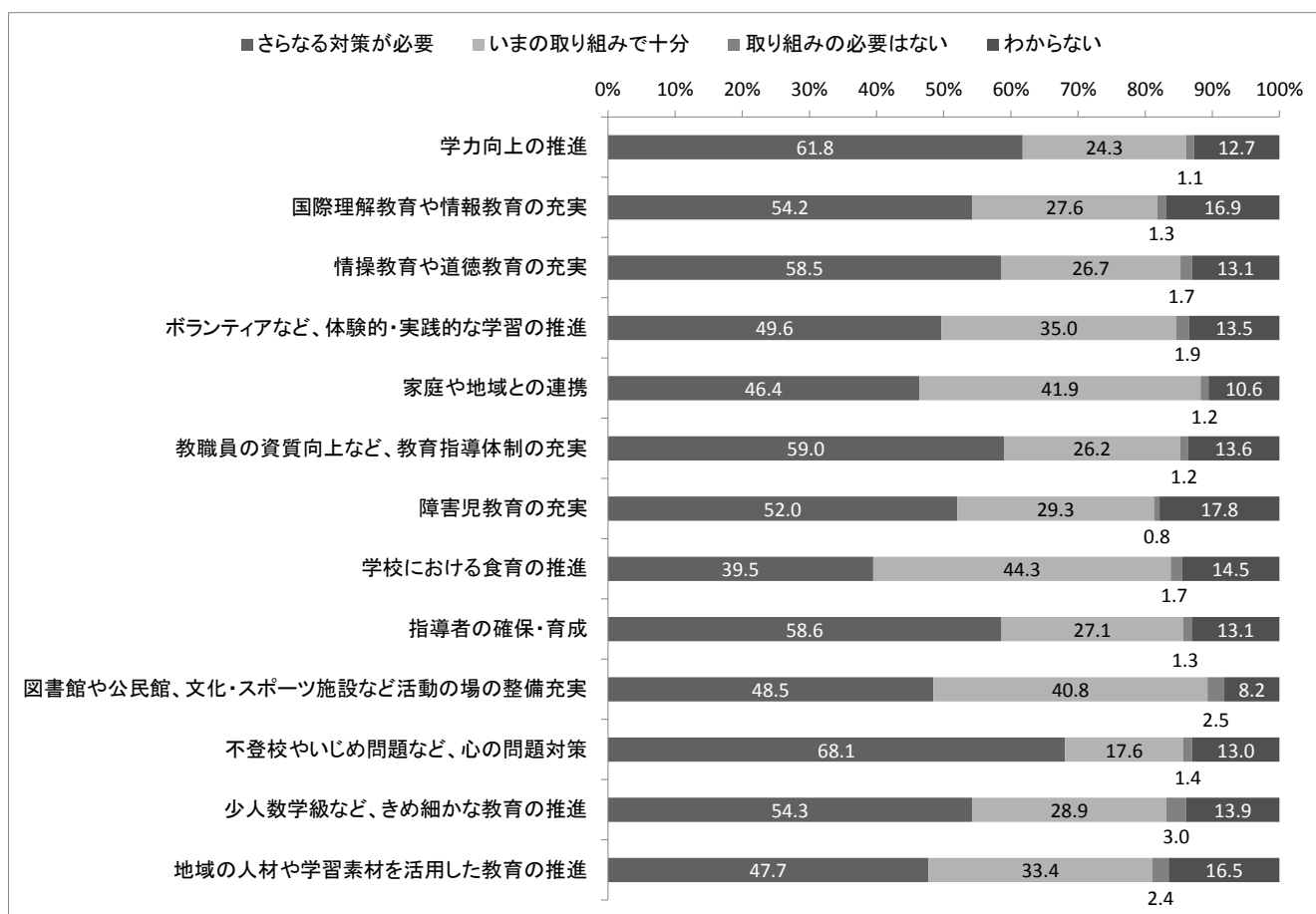
④ 観光を盛んにするための取り組み

「さらなる対策が必要」が最も高かったのは、「観光情報の発信など、宣伝活動の推進」の60.6%であり、以下「郷土料理や特産品等の開発など地域ブランドづくり」(56.1%)、「観光振興を視野に入れた幹線道路の整備」(53.3%)の順となっている。



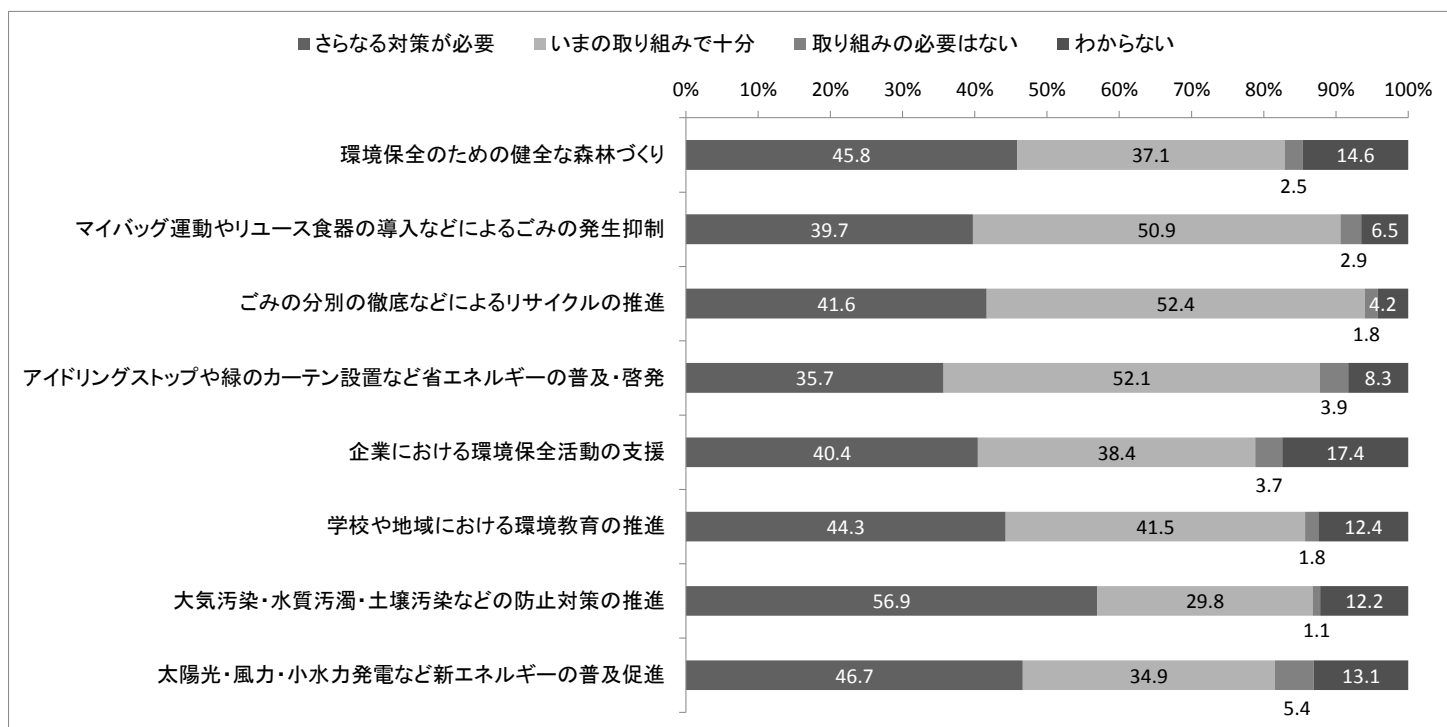
⑤ 学校教育・生涯学習分野での取り組み

「さらなる対策が必要」が最も高かったのは、「不登校やいじめ問題など、心の問題対策」の68.1%であり、以下「学力向上の推進」(61.8%)、「教職員の資質向上など、教育指導体制の充実」(59.0%)の順となっている。



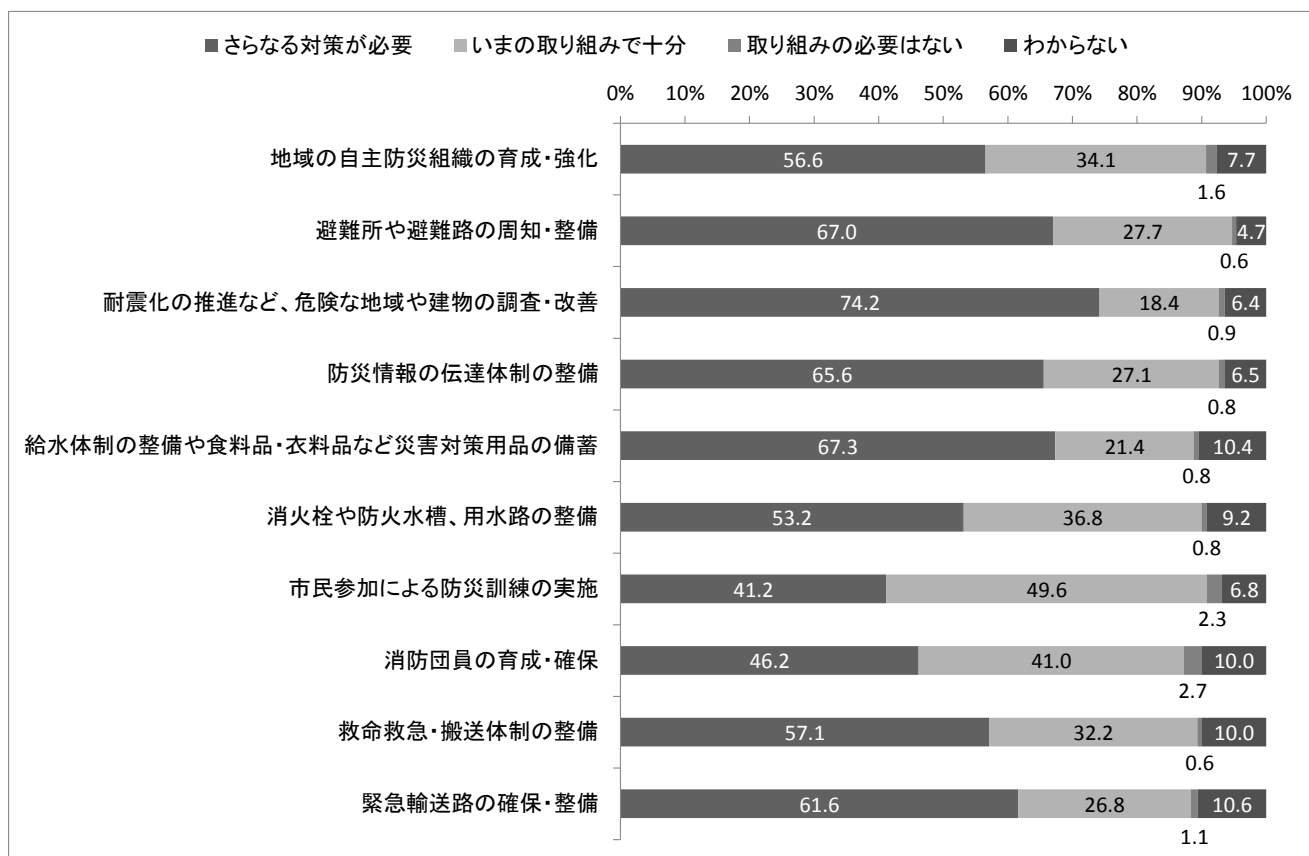
⑥ 環境問題やエネルギー問題に対応するための具体的な取り組み

「さらなる対策が必要」が最も高かったのは、「大気汚染・水質汚濁・土壌汚染などの防止対策の推進」の 56.9%であり、以下「太陽光・風力・小水力発電など新エネルギーの普及促進」(46.7%)、「環境保全のための健全な森林づくり」(45.8%)の順となっている。



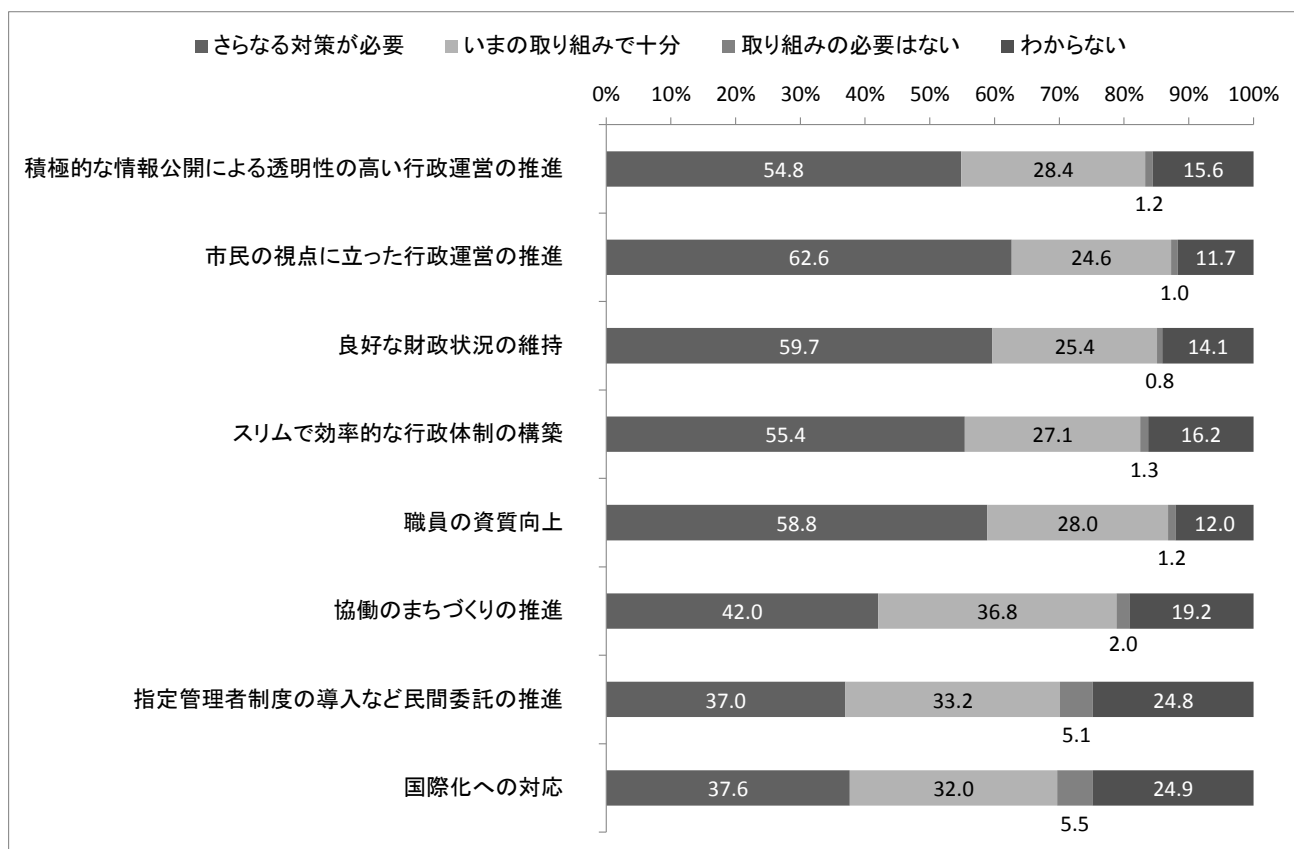
⑦ 災害に強いまちづくりを推進するための取り組み

「さらなる対策が必要」が最も高かったのは、「耐震化の推進など、危険な地域や建物の調査・改善」の74.2%で、以下「給水体制の整備や食料品・衣料品など災害対策用品の備蓄」(67.3%)、「避難所や避難路の周知・整備」(67.0%)の順となっている。



⑧ 今後の行政体制・行政運営に対する取り組み

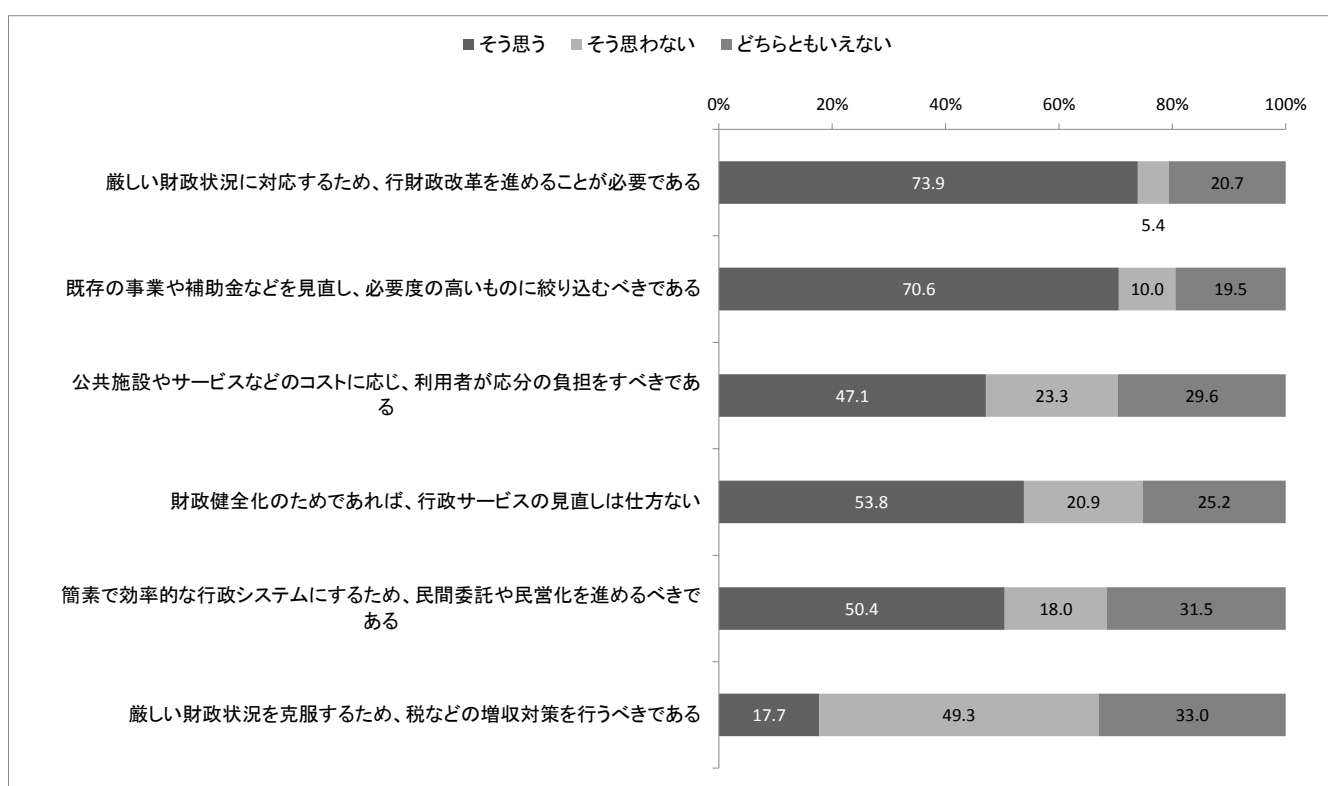
「さらなる対策が必要」が最も高かったのは、「市民の視点に立った行政運営の推進」の62.6%であり、以下「良好な財政状況の維持」(59.7%)、「職員の資質向上」(58.8%)の順となっている。



5. 市民と行政とのあり方について

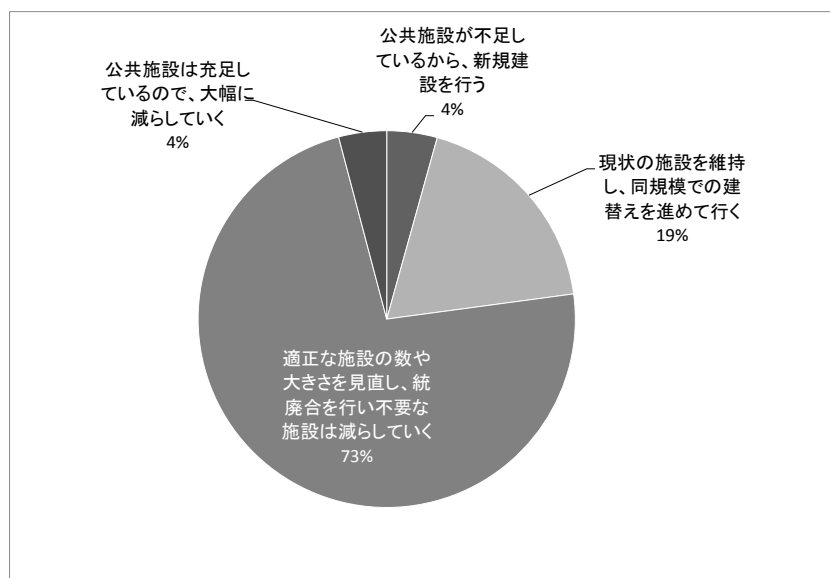
① 行財政改革や現在の行政サービスの水準と負担の関係について（S A）

行財政改革や行政サービスの水準と負担の関係について支持が集まったのは「厳しい財政状況に対応するため、行財政改革を進める必要がある」（73.9%）、と「既存の事業や補助金などを見直し、必要度の高いものに絞り込むべきである」（70.6%）で、他の項目と差をつけて「そう思う」の回答割合が高い。



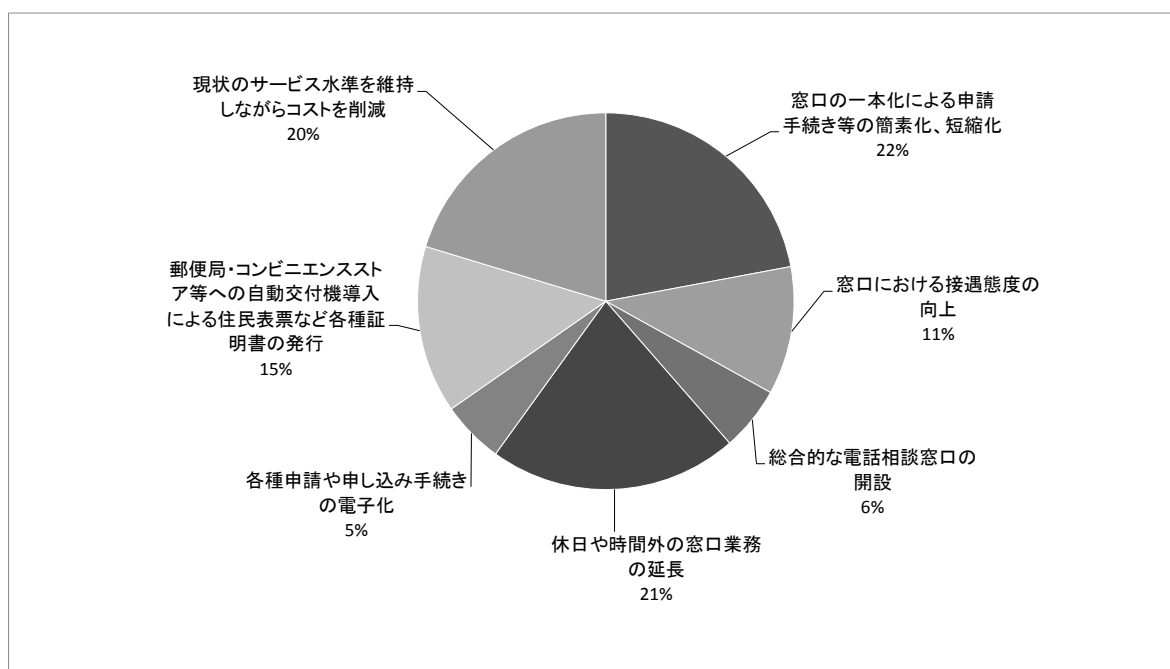
② 今後の公共施設の整備のあり方について（SA）

施設の老朽化に伴い、建替えや大規模な改修が必要となる時期が訪れることから、整備のあり方についてたずねたところ、「適正な施設の数や大きさを見直し、統廃合を行い不要な施設は減らしていく」が73%と大半を占めた。



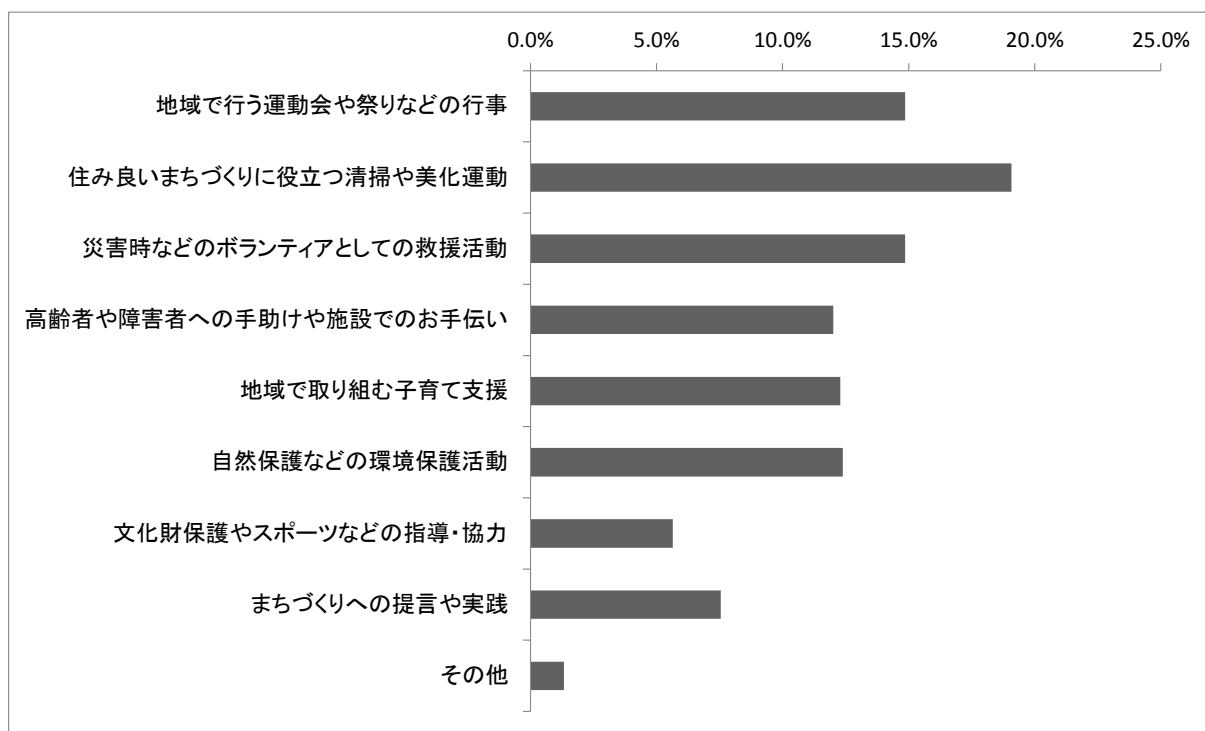
③ 市の窓口サービスについて（MA）

市の窓口サービスの向上については、「窓口の一本化による申請手続き等の簡素化、短縮化」（22%）、「休日や時間外の窓口業務の延長」（21%）を望む割合が高く、市民の期待感が示された結果となっている。



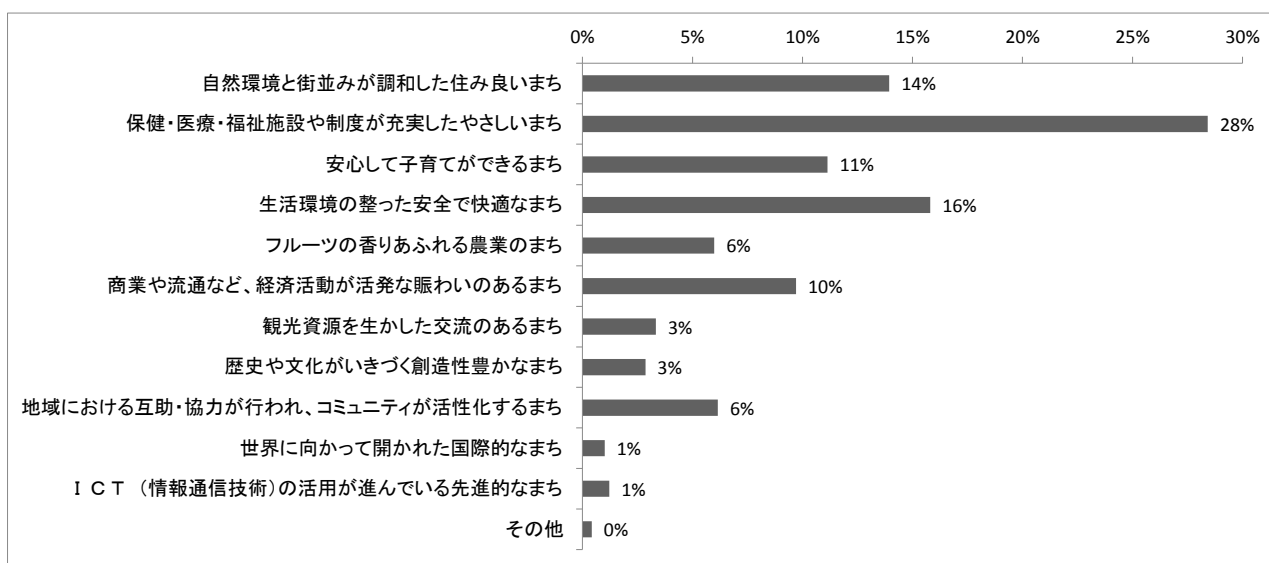
③ 今後参加したい公共的な活動（MA）

住民と行政との協働の可能性をみる本問に対しては、「住み良いまちづくりに役立つ清掃や美化運動」（19%）が最も高く、以下「災害時などのボランティアとしての救援活動」（15%）、「地域で行う運動会や祭りなどの行事」（15%）の順に回答が多い結果となっている。

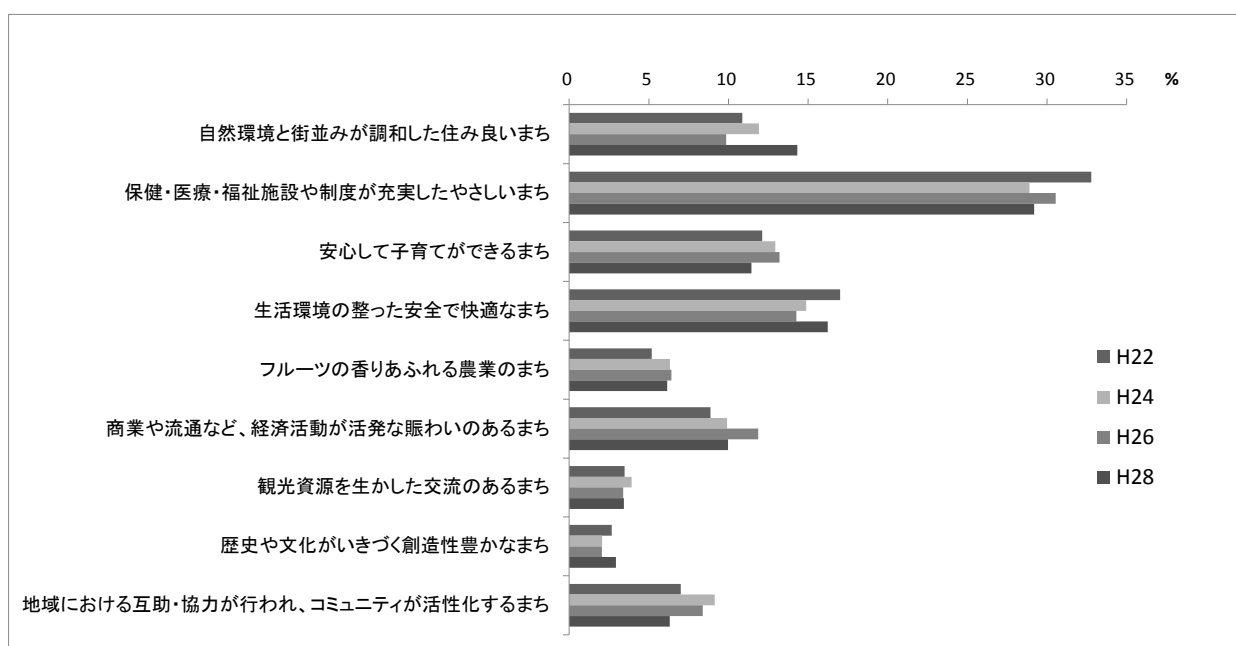


6. 山梨市の将来像や望ましい地域イメージについて（MA）

山梨市の将来像として、「10年後どのようなまちであって欲しいか」という問いに対して、「保健・医療・福祉施設や制度が充実したやさしいまち」を望む声が多く（28%）、以下「生活環境の整った安全で快適なまち」（16%）、「自然環境と街並みが調和した良いまち」（14%）を望む声が高かった。



また、平成 22 年度から経年で見ると、「保健・医療・福祉施設や制度が充実したやさしいまち」を望む声が多くなる傾向に変わりがなくなることがわかる。

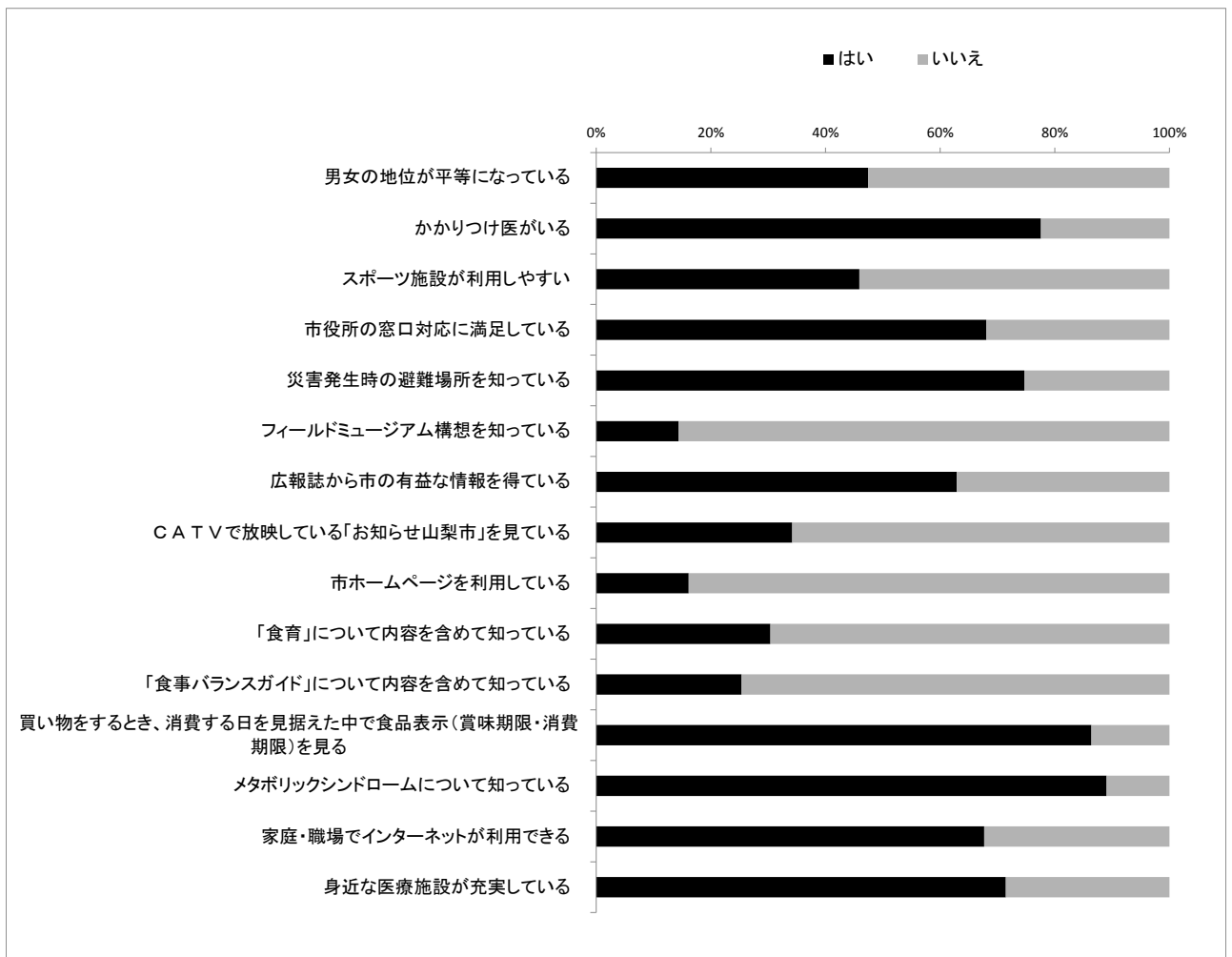


7. まちづくり指標について（S A）

第1次総合計画に示されているまちづくり指標についてたずねた。目標の達成に貢献する回答が7割を超えたのは、「メタボリックシンドロームについて知っている」(89%)、「買い物をするとき、消費する日を見据えた中で食品表示（賞味期限・消費期限）を見る」(86%)、「かかりつけ医がいる」(78%)、「災害発生時の避難場所を知っている」(75%)、「身近な医療施設が充実している」(71%)であった。

その一方で、「フィールドミュージアム構想を知っている」は14%、「市ホームページを利用している」は16%にとどまっている。

ただし、経年で比較すると、平成22年から5%以上上昇した項目は一つもなかった。

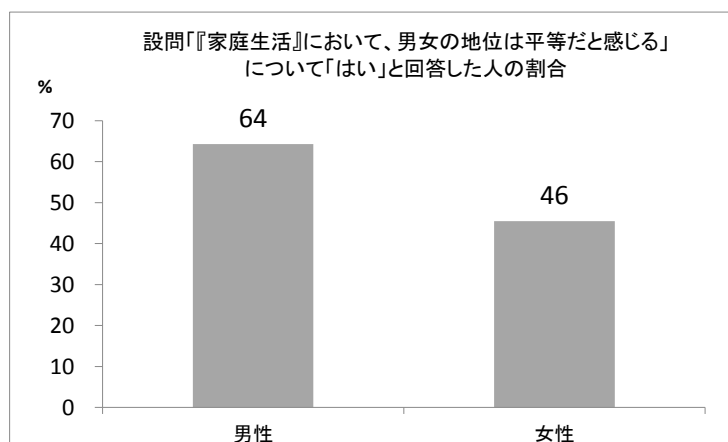
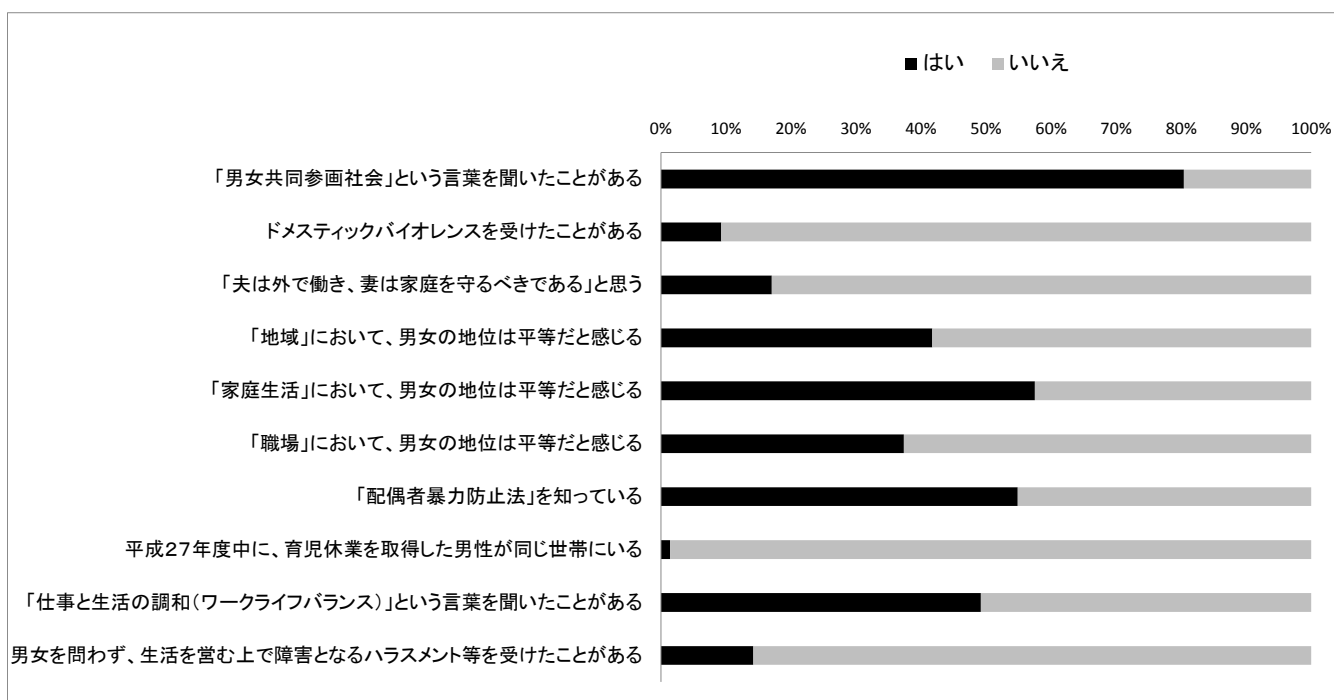


8. 男女共同参画について（S A）

「男女共同参画」という言葉の認知度は80%と高くなっている。

しかし、家庭や職場などにおける男女の平等感を質問したところ、「家庭生活」は半数以上の58%が平等であると感じているが、「地域」（42%）及び「職場」（37%）は半数より低い数値にとどまった。

ただし、「家庭生活」を男女別にみると、男性が64%であるの対し、女性が46%と差が生じていることに留意する必要がある。



9. アンケート調査結果から見える山梨市の課題

(1) 市民の住みやすさを高めるために

- ・住みにくい理由として、「自然災害への備え（防災）」が不十分、「公共交通機関」が不便との回答割合が高いため、この分野の施策を強化する必要がある。
- ・前者については、「さらなる対策が必要」な施策をたずねており、特に要望の高い「耐震化の推進など、危険な地域や建物の調査・改善」、「給水体制の整備や食料品・衣料品など災害対策用品の備蓄」、「避難所や避難路の周知・整備」等を進めていくことが課題となる。
- ・また、地域別に住みやすい理由を見ると、特に子育て・買い物環境の点で山梨地域と牧丘・三富地域で大きな差が見受けられるため、牧丘・三富での施策を強化する必要がある。

(2) 市民の満足度を上げるために

- ・特に重要度が高く、満足度が低い「身近な生活道路の整備」「行財政運営の効率化」「防災体制の充実」「防犯体制の充実」の4分野に重点的に取り組むことが求められる。

(3) 市民はどんな施策を求めているか？

- ・分野を横断して、「さらなる対策が必要」の回答割合が高かった施策を見ると、「耐震化の推進など、危険な地域や建物の調査・改善」（74%）が最も高く、「買い物弱者対策など、地域に密着した新しいサービスへの取り組み支援」（73%）、「子育てと仕事が両立できる職場環境づくりの推進」（73%）と続いた。
- ・これらのニーズの高い施策に取り組むことで、満足度の向上に繋がるものと考えられる。

施策ニーズ・ランキング

施策	「さらなる対策が必要」の回答割合 (%)
・耐震化の推進など、危険な地域や建物の調査・改善	74
・買い物弱者対策など、地域に密着した新しいサービスへの取り組み支援	73
・子育てと仕事が両立できる職場環境づくりの推進	73
・小児科や産婦人科など医療体制の整備	72
・山梨市の魅力を生かした観光客の誘致など観光の振興	71
・育児休暇の実施・女性の(再)就職しやすい環境づくり	70
・不登校やいじめ問題など、心の問題対策	68
・給水体制の整備や食料品・衣料品など災害対策用品の備蓄	67
・避難所や避難路の周知・整備	67
・寝たきりや一人暮らしの高齢者に対する福祉サービスの充実	66
・防災情報の伝達体制の整備	66

(4) 山梨市の将来像や望ましい地域イメージについて

- ・平成 22 年度から一貫して「保健・医療・福祉施設や制度が充実したやさしいまち」を望む声が最も多い。
- ・また、平成 28 年度の回答について、年代別にクロス集計を行ったところ、どの世代でも「保健・医療・福祉施設や制度が充実したやさしいまち」を選択する割合が高かった。
- ・以上から、今後は特に保健・医療・福祉を核としたまちづくりを進めていくことが市民にとって望ましいと言える。

(5) 第 1 次総合計画で設定したまちづくり指標の成果について

- ・平成 22 年度から 5%以上アップした項目が一つもないため、今後同じ指標で目標を掲げる場合は、PDCAサイクルを意識した取り組みが求められる。
- ・特に「市ホームページを利用している」に対して「はい」と答えた割合は 16%にとどまり、対策が必要である。

(6) 男女共同参画について

- ・『家庭生活』において、男女の地位は平等だと感じる」との設問に対し「はい」と答えた割合は男性が 64%、女性が 46%。
- ・さらに『地域』において、男女の地位は平等だと感じる」との設問に対し「はい」と答えた割合は男性が 50%、女性が 34%。
- ・以上から、男性と女性の意識に差があることから、この差を埋めていく施策を講じることが求められる。

10. 自由記述について

山梨地域

◆高齢化が進み、市でも大変だと思いますが、よろしく願い致します。主人も恵信の特養に3月より入所出来ました。月20万がかかりますが市より少しずつでもお金が返ってくるので、とてもうれしく思います。一寸した心遣いが老人にはとてもうれしく励みになっております(85歳女性1人暮らし)。ふれあいペンダントも入れて頂き感謝しております。

◆○市内の3つ高校生が自転車通学が多いと考えます。車への道路整備は進んでいる割に、通学路への配慮が欠けていると思います。朝、夕、小中学生を含めて、登校時にはハラハラすることが多くあります。○子育て中の母親が(幼児期の)戸外で遊ばせる為の遊園地が少ない。小規模でも子ども親が集まって遊べる場所が少ない。例、万力公園がありますよと云われても距離が遠い等…。すくすく育てる会の者として望みます。

◆地域の特性を生かした町づくりをお願いします。

◆○水道は生活インフラとして極めて重要であり、人の生命にもかかわる重要なものであるからこそ多くの場合、地公体が公営企業として実施していると思いますので、老朽化した水道管(メーター以降、利用者宅の配管を除く)のメンテナンスは、過去の経緯、布設ルートに関係なく事業者(市)の責任で行うべきだと思います。過去の布設の経緯等がわからないのは、利用者側には関係ない話であり、引越ししてきたもの等には皆目見当もつかないと思います。事業者が利用者の敷地外に布設したものについて、利用者にはメンテナンスさせるのは理屈がわからない上、いままでも他の地公体では聞いたことがありませんでした。ぜひとも改善をお願いします。○各種窓口をワンストップで案内してほしい。補助制度など、同じ役所の窓口なのに他の部署の補助金や交付金のことがわからず、以前、申請時期を失ってしまったことがあった。まだたらいまわしの方がよかった。市の広報を隅々まで読めばわかるというのかもしれないが、民間の金融機関などは、保険の請求に来たお客さんに、死亡保険金の支払いなら「もしかしたら」入院保険金も対象ではないか?というような案内や、自動車保険の場合「もしかしたら」付帯の保険が適用になるか調べてみる。」など、お客さまが気が付かない部分まで支払うのが当然となっている。民間企業とは異なり、市役所からすれば、お客(市民)を選ぶことができないと考えているかもしれないが、市民からみても市役所は選べない。市役所の職員は行政のプロだと思う。そのプロが他の部署のことがわからないというのは、個々の職員の意識レベルの問題ではないかと思う。

◆道路整備の件、歩道と車道の境界線を白線だけでなく、歩道と車道に段差がある所には歩道側に黄の点線を入れて欲しい。昼間は良いが夕方から夜になると白線だけが見えて段差がわからない。外灯もない。

◆夕方6時に流れる放送の音楽はちょっと淋しいです。皆様に愛される曲に変更できたらと思います。

- ◆山梨市駅南口の整備は、せつかく始めたのですから時間がかかっても50年後でもやって良かったと思える様な思い切った工事をしてほしいです。市にはもっとリーダーシップを期待します。
- ◆税金が高い街だ。
- ◆もっとより身近に、現場の現状を行政の人には考え、目で見て、受け取め、受け入れてほしい。他人行儀に感じるんだよね。行政の人の対応に。まちづくりじゃなく、人づくりも大事に。
- ◆あまり広くなくても良いと思うのですが、低学年の子供達が、おじいちゃん、おばあちゃん達とバトミントン、キャッチボール、など遊べる場をほしいと思います。よろしく願い致します。今は子供達の親が仕事をしているので。
- ◆将来運転免許証を返納してからの生活を考えると不安です。現状を見るとたぶん交通手段は皆無に近い状態になると思われます。交通網の充実は夢の、又夢。恐らく行動範囲は家だけに。
- ◆荒れた畑や土地。住んでいない家や狭い道や暗い道の整備。
- ◆新エネルギーが普及するのは良いことではあるが、農林業が減ってしまうことがないようにしていただきたいと思います。また、新エネルギーが普及したことにより、新エネルギーを導入した場所の近くに住む住人に迷惑とならないような基準を設けていただきたいと思います。
- ◆教育に関して、発達障がいや不登校、ひきこもりに対しての対応策がまだ不十分。外国に比べ遅れている。この支援対策がしっかりしていないと、20年、30年後の山梨が心配である。この子どもたちが社会的に自立できる対応をしておかないと、やがてはどこでも人材不足の恐れは出てくると思える。専門家の数も少なく、特に山梨県は他の都道府県よりも遅れていると言わざるをえない。物理的な面（支援センター等）の確保も考えていかないと、少子化とあわせて新たな問題が発生するとも懸念できる。
- ◆行政運営→ムダ・ムラはいつの時代も感じられる。
- ◆ポイ捨て禁止条例を制定して頂きたい。歩行喫煙禁止条例を制定してもらいたい。
- ◆他県と比べて、子どもの教育やスポーツ向上への推進認識が浅く、子どもたちが気軽に利用できる施設や環境も少なく感じている。又、山梨ならではの特産物や緑に囲まれた美しい景観などを、外部に知らせたり、大きなイベントを開催したりするような取り組みも薄く感じている。山梨市内のコミュニティを目的とするイベントも、勿論大切だが、外部から移住したいと思えたり、山梨の魅力にひかれたりできるようなイベントを開き、盛上げてもらいたい。（巨峰の丘マラソンは外部からも沢山来てくれている）（山梨の特産を取り入れた「朝一」などのマーケットをもっと広く外部に伝え活発化してほしい）
- ◆市営バスについて。スーパーなどに停留してほしい。本数を増やしてほしい（マイクロバスなど小さなバスで）。免許を返納して、バスが頼りな生活な人もいるので。
- ◆○下水道が設備されていても加入してない家がある。○道路が工事がされていても行き止りが多い。きめ細かい道路整備が必要である。
- ◆山梨市駅前周辺が店舗の徹退等で空地が増えて、どんどんさびれていっており、市の玄関口として再活性化を図る必要がある。駅のバリアフリー化、南北道路の開設、南側の整備計画は良いが、北側に商業店舗等の誘地等の施策が必要。例：トヨタレンタカーの徹退、いちやまの移転、ウ

エルシアの撤退、不二家レストランの撤退、メガネスーパーの撤退、等々いずれも跡地は空地化している。買物は車で塩山地区か石和に行かないと欲しいものが買えない。休日の街の駅でのフリマもマンネリ化し魅力がなくなっている。

◆道路、橋等の補修工事が非常に永く感じられます。通行（可）だったり不可だったり、勝手になっていたり、橋の上の雪対策を見直してほしいと切に思います。

◆個人の活動に使用できる施設の提供。

◆60代後半の私達でも、まだまだ外との結びつきやお役に立てることもあると思っております。それと同時に老いて行く不安も確実に増えて来ております。家の中のバリアフリーや、断熱等の住環境の充実への補助等要望します。

◆以前から感じていたのですが、お隣り「甲州市塩山は活気がある」と思っていたのは私ばかりではない様です。勿論山梨市にも頑張っている企業や商店も沢山有ると思いますし、万力公園、フルーツ公園、西沢渓谷といった観光スポットも有し、県内外からの集客数も相当数有ると思えますが、もう少しインパクトのある、ミュージアムであったり、ギャラリーであったり、市内出身の林真理子さんの文学館等があったら、魅力あるスポットとして、印象に伸るのではないかと思います。併せて企業の誘致にはぜひ力を入れてほしいと思います。若者の雇用が安定したなら、活気に満ち、市の財政も潤うのではないのでしょうか。

◆今後、外国人が多くなるのでアンケートは、英語など外国語又はローマ字をつけて下さい。

◆○小さい子供がいます。フルーツ公園や万力公園など、子供を遊ばせる大きい施設はありますが、車でしか行くことができません。お散歩がてら、遊ぶ事が出来、近所の子供・親同士が交流できる場所が欲しいです。○保育園に年度の途中から入れる事が難しいです（保育士不足）。家の近くの保育園に入れる事が難しい状況があります。改善をしていただきたいです。

◆このようなアンケート調査をどのように計画に反映したのかフィードバックすることが必要。例えば、山梨市駅南口に係る調査については、理念までは策定されているが、以後の基本計画等の進捗度が不明。いずれにしても、アンケート調査と同様に計画策定段階で市民意見を反映（パブコメ等）させながら、市民と対話しながら、進めることに期待する。

◆峡東地域は従来果樹地帯であったため、工場の誘地も少なく、今後は農業の担い手も不足する現状です。早く農振除外をし、山梨市駅橋上駅舎を拠点とする県道および駅南西通り線の道路拡幅、および都市計画に基づく新路線と商業施設の早急な充実を計り、他の市町村に行かなくても買い物ができ、食事をするところも有る時代のニーズに合った町づくりを切に望みます。

◆1人子供がいると、働きたくても2人目ができらうであろうということではなかなか働くのが難しいのが現実です。子供がカゼをひいても休めないなど、子供がいる母親が働きやすい環境があるといいと思う。

◆市の職員は、意識を高く持ち、積極的に仕事をしていただきたいと思います。

◆一部地区にかたよりに感じる。

- ◆○公共交通機関を充実させて、お買い物や病院や施設を利用しやすくする工夫が必要だと思います。○皆が参加して、皆で創り上げるという意識を高め、ボランティアの方達を応援する為に、サービス券などを発行すると良いと思います。
- ◆山梨市の駅前には整備されて居るにも拘らず駅の庁舎がみすぼらしいので、近代的に改築して貰いたいと思います。山梨市の玄関ですので。JRに働きかけて下さい。
- ◆○公園等のトレイでは座ってする方でないと、お年寄りなど足が弱っている人には、和式は不便で大変なのでぜひ改善してほしい。○リハビリなど、厳しくなってしまったので、市の方で個人がお金を出してでも、1人1人数時間リハビリをする場所、スタッフなどを与えて、医療費がかからない様になる為にも、早め早めに予防する意味でもやってほしい。デイサービスでもなかなか難しい様です。人手不足で仕事のない人が補助して皆んなが幸せになれる様になってほしい。
- ◆今ちょうど25歳で、仕事、結婚、子育て等、将来について、具体的に考えることも多くなり、市とのつながりが身近に感じられるようになりました。産業等については、あまり分かりませんが、どの世代においても人との関わり、公共機関との関わりが離れないので、まずは市の職員の対応、支援が大切になってくると思います。女性だけでなく、お年寄り全ての人に対して住みやすい環境であれば、それだけで心が満たされる人もいるはずです。
- ◆今の経済情勢を分析し、今後どのような行政が必要なのかを考えて、まちづくりを行うべきだと思う。たとえば、観光に力を入れるなら、特産品を開発してブランド化し、県外へ広報活動をするべき。商業については、立地をもっと検討すべき、分散しすぎていて買物が不便、甲州市のように一ヶ所にまとめるべき。八幡方面ばかり開発していて、すごく不満を感じる。山梨市全体が発展するようお願いいたします。このアンケートをまちづくりにしっかり反映してください！
- ◆地域の特性を生かした県内外を問わず参加できるような企画・イベントなど、また子供・高齢者のための福祉に関しても、ご高配をいただきたいと思います。
- ◆年金でくらすのが大変です。一人暮らしなので、いろいろ困ることばかりです。
- ◆元のいちやま跡にファミレスや、ショッピングで楽しめるものを誘致して、甲州市に負けない街にしてください。他の市に比べると税金も高く、少々住みにくいです。CD（市民の歌）も税金のムダ使いでは…欲しい人だけで良いと思う。アンケートをもっと簡単なものにして下さい。
- ◆高齢化が進む中で、農業後継者が減りつつあるので、農業用河川、農道の改修を市を中心として行なっていただきたい。補助金も少ない中、高齢者の負担では改修は行なえない。隣接する他の市では、河川、道路、農道の整備がどんどん行なわれているのに、山梨市は遅れている。道路整備等行なわれないと観光客も呼び込むことも難しい。
- ◆幹線道路だけでなく生活道路の拡幅を計画的に進める事により、より災害に強い山梨市になると思います。
- ◆公害のない優良企業を誘致して市民の増加による市の活性化発展を希望致します。
- ◆笛吹市や甲州市にひけを取らない街づくりを期待します。自虐的でもいいので効果的なPRをお願いします。山梨市発の全国的なイベントも期待します。

◆フルーツ公園はとてもすばらしいです。山梨市の観光資源だと思います。更なる整備をしても
らいたいと思います。東京、他県から来た私の友人も、こんなすばらしいところが山梨にもある
んだねと、大喜びをしていました。また友人を連れて来たいと話していました。山梨市が住みや
すく、すこしでも発展するようになるとよいと思います。宜しく願います。

◆サイクリングロードがあればいいなと思う。

◆子育て中なので、安心して子育てのできるまちづくりが第一です。中でも、障がい児に対する
暖かい配慮や環境作りに力を入れ、見直しをして頂きたいと思います。健常児も障がい児であっ
ても、明るく輝く未来のためにも、子育て事業に力を注ぐべきだと感じています。

◆新しいインフラの整備は最小限に留め、既存インフラの整理、統合、改修を進めて欲しい。将
来の世代に負の遺産を残さないよう、目立たないことかもしれないが、耐用年数の過ぎたものの
補修を計画的に行って下さい。

◆学童利用料について、4月より下がりましたが、夏休みの利用について、今まで通常の倍でし
たが、下がってから夏休みは倍以上です。おやつもお弁当も持参の上、あまり家計に優しくあり
ません。厳しい現状を見てほしいです。市町村によっては、インフルエンザ予防接種の補助があ
りますが、山梨市はありません。インフルエンザにかかれば、仕事を休まなければならない、しか
し、予防接種の代金は高額で子供が多ければ、負担が大きいです。この時期になると、悩みの種
になります。予防接種が気がねなく受けられるようになることを希望します。

◆限られた財源の中での行政は大変だと思いますが、未来への投資としての子育てと教育、生活
弱者に対してはおしむことなく対応していただきたい。図書館の件など、一見多額な費用がかか
ったとしても、今ではなく先々のことを考え、ベストな方法を選んでいただきたい。これか
らの公共事業は必要なものに対しては出しおしめせず、不必要なものは思いきって完全打ち切
りをする事で、市民の共感を得ることが出来ると思う。

◆○水道代が異常に高い。○むだな道路を作りすぎ。○山梨市に働く職場がなく、遠くの会社に
勤めている。○住民税等が高く、金銭的にもたいへん。

◆○医療の充実・子供が安心して生活できる充実した環境○一人親への充実環境・交通事故防止
の充実したパトロール強化○税金、国保などの見直し○一人親の病気の人への国保は免除○収入
に合った払い見直し○不審者が出るのでパトロール強化○市役所の職員（社員）が怖い！

◆私達の納めている税金を大事に使ってほしいと思います。ムダ使いしないほしい。お金を使
う時、考えながら使ってほしい。

◆道路の整備

◆○山梨大学の醸造科を誘致。果樹・発酵・ワイン科として設立。○駅前東西の道を並木道に
する。○厚生病院と加納岩病院が共同で東京圏の介護を引き入れる。

◆今一番の願いはこれから先どうなるかわかりませんが、高齢者入居の金額、国民年金生活者
では利用が出来ません。2ヶ月で3万～7万位の人が多いです。その定度でも利用出来るこ
とを願ってます。

◆市、各担当者の意識の向上を望む。

◆○市の核となる商業施設を作って欲しいです。他の市に比べて、娯楽施設がなさすぎます。○夜になると外灯が少ないため、危ない場所が多いです。○狭い道が多いので、ミラーの設置場所を増したり、道幅を広げるなど、できる範囲で検討して欲しい。○公営住宅がもう少しあると良いと思う。○働く場所を増して欲しい。

◆ふた昔前頃までは、商店街・生活の利便性・その他について、圧倒的にとりの甲州市をリードしていたが、とりの甲州市に総ての面で逆転された事態となっている。発展することが必ずしも住みよい地域とはならないと想いますが、ちょっとした買い物は殆ど甲州市の方に出かけてしまう現状を考えると、革新系の市長が長く続いた、道路拡張等インフラ整備が遅れた等々、原因は多方面に及ぶと想われますがこの辺の総括なくして山梨市の発展は望めないのではない想っております。若い人が職や情報を求めて笹子峠を超えて行かないよう、市長様はじめ市役所職員の皆様方の叡智を結集した行政運営を行っていただけますよう、願ってやみません。

◆○公共交通機関をより充実させて欲しい。○市議会議員、市職員を減らす等税金を上げる前に無駄な支出を減らして欲しい。○山梨市に住むメリットが感じられないので、何か作って欲しい。

◆市役所職員の資質の向上、大変に言いにくいのですが、その露玉である市長様自身の政治に対する考えに全面的に支持しかねるところ大であります。とにかく、何度も言いますが、助役一人でも二人でもよいので、専門の本当のプロフェッショナルが市内にはゴロゴロしています。財政も苦しいのは承知していますが、その点市長様は金銭に対して非常にフェアで立派だと思っています。身近なところで住みよさは向上するはずです。私にはどうしても一部の職員のカンちがいた仕事に対する考え方を改めさせるべきと思います。そのために助役一人！！早急に！！

◆○市役所近くに入料品店等身近なお店がほしい。○公共施設に無駄使が多い。たとえば亀甲橋の電気、あの小さい橋にお祭りのような街灯、今は片側だけになっているが。

◆農家はS・Sやトラクターやモアや様々な小型特殊自動車に分類される乗物をもっている。公道を走っているのにナンバーを取ってない。従って税金を払ってない。全ての農家が脱税・道交法違反をしている。これらの自動車税をきちんと集金したら、市全体でいくらになるのでしょうか？取組みが必要ではないでしょうか。農家を優遇するなら、他の事でやったらいいと思う。

◆山梨市は市長様をはじめ、職員の皆様が、人間性豊かで、市民生活向上の為に、一生懸命に努力して下さっているので、とても幸せだと感じています。窓口サービスや、行政の担当の方の対応が親切で、温かみがあり安心して生活できるので、有り難いです。これからも、明るく、住みよい山梨市の為に、山梨市の職員の皆様と市民が手を取り合って、頑張っていきたいと思います。

◆山梨市に居住してから、40年の年月が過ぎましたが、今から40年前を振り返ると、駅前も、商店街も、かなり充実し、変わっているので住み良くなりました。総合病院も、加納岩病院、厚生病院も新しく新築されたりしたので良かった！！ファミリーで食事出来る場所がもっと沢山出来てほしいと願います（回転寿司、夢庵、COCOS、ディニーズ、びっくりドンキ〜等々）。学生、OL、友達等、会食出来る場所を明るくにぎやかな町並を期待します。

- ◆○山梨市駅よりの交通の便が悪い為、高いお金を支払ってタクシーを利用して病院に通っている。○観光客に食事をとる所を聞かれても食べる所がない。駅前に学習塾はいらない。○駅利用、客迎への所、駐車場がない。○食品の期限切れの所が多い為、もっと商品への点検が必要。
- ◆職員の資質向上を図りつつ、適正な要員数へ削減する。
- ◆○上下水道を予定年度には必ず入れて頂くようにしてほしい。○甲州市、笛吹市のように商業施設を誘致しないと、地元にお金が落ちず活性化しないのでは？(ベッドタウンになってしまう)。
- ◆山梨市は国道20号から離れ、大きな企業を誘致するには、なかなか難しい所にあります。その反面、桃やぶどう畑が広がり、静かでもとても過ごしやすいと思います。山梨市の良い点をもっとももっとたんさんの方に知ってもらい、若い人も安心して子育てできるような魅力的な市になってほしいです。ソーラーパネルのキラキラとした人工的な光ではなく、朝露にぬれた桃の葉がキラキラと輝いて、子供の元気な声でいっぱいの子山梨市になりますように。20年後、30年後もずっと、この地で過ごしたいと思う市民の声をどうか聞いて下さい。
- ◆○商業施設がまとまった地域がないため、他の市に買い物に行ってしまう。山梨市にもこういう場所があればよい。○我が家には、障がいのある孫がいるため、将来近くで働くことができる場所があればいい。また、障がい者や高齢者が安心して暮らせる街作りをしてほしい。○福祉関係の課や相談センターなどを1ヶ所にまとめていただければ、手続きなどが、スムーズにできると思います。○農業振興も積極的にしていただき、たくさんの方に山梨市に来てもらいたい。
- ◆CD屋さんなど、チェーン店があると若者が喜び、もっと町が発展していくと思います。
- ◆昔からあるお祭りごとや地域の行事は、できるだけ大切に守り、後生に引き継ぐべきだと思います。山梨市のいい所はどんどん伸ばし、ダメな所は改めて改善していけば、住みよい街になり、みんなが愛してくれる山梨市になると思います。その為には、市の顔でもある市役所職員の気持ちをやさしい窓口対応になることを期待します。頑張ってください。P. S、市役所職員の中には、いつも親切に対応してくれる人もいます。その方々には感謝しています。
- ◆交通がとてつもなく不便です。バスが全然こないです。利用者が少ないのはわかりますが、どうにかならないでしょうか？あと、電車の時間に合っていないのも少し辛いです。子どもの世話をしない親が増えていることも問題だと思います。土曜日でも学童にいるなど、本当に親が仕事しているのであれば、しょうがないとは思いますが。親が遊ぶために子どもを預けているのは、子どもがとても辛いことではないかもしれませんが、将来心がゆがんでしまうのではないのでしょうか。
- ◆他市から引っ越してきて、子育て支援（支援センターやインフルの補助金など）が少し物足りなく感じてます。高齢化の為には、子どもを沢山の方に産んで頂き、人口を増やす事が大事だと思うので、若世帯が住み良く、子育てしやすい町づくりをすると良いと感じています。
- ◆町造りの基本である道路の整備が悪い。目先の事しか考えていない用な気がする。第一高速道よりのアクセスは山梨県一悪い。一宮インター→山梨市間他市内の道路整備の悪さがピカーと思う。
- ◆アンケートの内容が難しくすぎて、回答に迷いました。直感で答えているものが多いです。そもそも、自分が市政にあまり関心をもっていないのだと反省しました。

- ◆○通学路の整備をしてほしいです（車道と歩道の間をガードレールか柵等で）。○水路にふたをかけてほしいです（転落防止の為）。○水の流れが急な所があります。危険防止をしてほしいです。○街灯の設置。○自分で自分が守れない子どもと高齢者の安全面を考えてほしいです。
- ◆駅の周辺に昼ちょっと気軽に入れる、食事をする所が出来たら良いと思います。県外の人がお茶を飲む所を探してたりします。
- ◆近隣の市町より活気がなく死の街である。人口減少は本市ばかりでなく、若者が勤労出来る事が第一である。計画しても財源がなくては何も出来ない。まずは資源、財源を第一に、笛を吹いても何も踊る事は出来ない市議会議員、市職員が多すぎる。
- ◆山梨市は、自然や果樹園が豊かなのでこのままなくならないようにしてほしい。人が住みやすい、くらしやすい事は大切だが、一度くずしてしまえば、元に戻す事の方が時間もかかるため自然を大切にしまちづくりをしてほしいです（今の山や森をくずさないでほしい）。
- ◆明るい未来のためには、現在のすべての住民の住みやすさの追求はむずかしい。必ず負担しなければならぬ人々がいると思う。しっかり見極めてブレずに進んでほしい。市や街のコンセプトをしっかりと出し、このようなアンケートを元に実行してください。
- ◆山梨市駅に降りたつと、いつも思う事は駅前広場の正面にはこれというものがない。今も郵便局と貸事ム所ビル。何か寒々しい光影である。県外の人々を引きつける様な、例えば塩山の甘草屋敷、勝沼のワインの里、そういう物を設置したらどうか。道の駅もあまり利用度が少ない様だ。4～5百人程度の中ホールセンターでも正面に置けば、県外からのいろんなジャンルの出演者もJRを利用しやすいし、又当市位の人口にふさわしい観客も集る、そして公共の社団法人を作ってそれに有能な人材を配置して東京都の人達を誘致してはどうか。
- ◆山梨市駅前開発と、商業施設の充実。
- ◆商店が少なくなっているが、山梨市にお金が落ちる観光対策に取り組んで欲しい。
- ◆山梨市の自然の豊かさと、文化資源の豊かさは他市町村よりも良いものがあると思うので、後生に残していけるよう最大限に努めていってほしいです。活気あふれる街にするためには、子育てしやすい環境を整備し、若い世代に選んでもらい、移り住む人を増やすか、移転を防止するかだと思います。財政難はどこでもそうだと思いますが、大手企業誘致、観光資源フル活用による収入増を目指し、又、市役所内のリストラを同時に進めていくことが重要だと思います。山梨市民が山梨市に「お金」を落とせる仕組み作りも課題だと思います。
- ◆○山梨市でも、インフルエンザ予防接種の助成を、子供にも行なってほしい。○国道140号沿いの歩道をもっと広げてほしい。○車を気にせず安全に自転車に乗れる。○雪が降っても（積もっても）、歩道が確保されやすい。
- ◆子育てとは保育ではありません。義務教育の9年間とっても大切です。他の市町村(近隣)との格差、質等、又、山梨市内でも小・中学校とも格差、質等、差がありすぎます。もっと教育委員会がしっかり子どもの現場を考え仕事をして下さい。
- ◆進んで行政運営に関する事を、やった事が無く、目先に届いた物を見て考えてから自分で考えてから後で実行するようにしています。

- ◆民間企業を増やして税金を安くなるような働きをしてほしい。「山梨市が一番税金高い」と引越してしまう人もいます。とても不満があるからです。市民の住みやすいようにお願いします。「甲州市はとても良い」と主婦の中ではいつも話しています。見習って下さい。
- ◆山梨市の商業、農業ともあまりぱっとしない。大型商業施設や特産品などが少ないので。これからは高齢者が増えるので、福祉施設などに特に力を入れて、充実した福祉のまちづくりを。
- ◆車のすれ違いができないような道路の河川の整備などの対策を考えてほしいと思います。
- ◆私たちが支払っている市民税は何に使われているか気になる。
- ◆○体育館の使用に不便を感じます（利用時間、料金、個人での利用の可否、予約など）。○夕方6時の音楽が切ないメロディ、しかも音がぶるぶるふるえて悲しい笑いをさそうと、知り合いの多くが嘆きます。どうにかなりませんか。○山梨市民歌がとても素敵です。もっともっとたくさんの方に市民の耳に届くよう、活用して下さい。6時のメロディに使用するのも、とてもいいと思います。○おだやかで、あたたかくて、すみやすい、これが山梨市の魅力だと感じます。新しいこと、変わったことに目を向けすぎず、市民の安心感を第一に考えてもらいたいです。
- ◆○出産から老後まで、住民が質素であるが、不安のないまち作りを徹底してほしい。○10年、20年後を見通した街作り、市作りを希望します。
- ◆消防署と厚生病院の東側の行き止りの道路の開通を早急にしてもらいたいです。又、開通の予定はありますか。厳しい財政だとは思いますが。
- ◆耕作放棄地が多すぎる（景観上の問題、農への参入を希望する若者へのスムーズな受け渡しが困難）。居住地の眼前にも荒れはてた地が広がり、オーナーに連絡をとるも、たらいまわしにされ解決されずにいます。景観、農業の保持の為に、もっと市で努力をして頂きたいと考えます。
- ◆真剣に回答しようと思うと、時間がかかり大変だった。ネットで回答できるようなシステムがあると回答しやすいと感じた。笛吹市や甲州市と比較すると、子育て支援センターの活動が足りないと感じている。無料で英語教室や体操教室を開講しているので、かなりの人が他市の施設を利用している。また、ママヨガ等、母たちのケアでも他市の施設を利用することが多い。
- ◆300kmも離れていない原発事故は未だ全く収束しておらず、大気や海に放射能物質を放出し続けています。食品も水も汚染されているはずですが、国は計測も公表も消極的な上、基準値も100ベクレル/kgとかつての廃棄物並の値を変えません。市は積極的に計測し市民に公表して頂きたい。特に学校給食には気を配って頂きたい。10年後も市民が健康で元気で生活できるよう。
- ◆市県民税が高すぎる。もらえるかわからない年金を払うより、自分達で貯蓄した方がいいので、義務ではなく同意にしてほしい。県が進めている総合競技場を山梨市に誘致。
- ◆○今回、「山梨市民歌」というCDが配布されました。私の家庭ではこのCDをまだ一度も聞いておりません。封も切っていません。この「CD」は、いったい何のために作成し、全世帯への配布をしたのでしょうか？何の必要があったのでしょうか？はなはだ疑問であります…。それこそ、「税金」のムダ使いというものではないのでしょうか？私は、身近な人たちにこのCDの件を聞いてみたところ、全員から「必要ない」と返答されました。また、組に入っていない友人宅には「CD」は配布されていません。○大切な税金の使い方をもっと考えていただきたいです！

- ◆行政改革さらなる推進。行政費用の抑制を図る。市会議員の削減。市役所職員の削減。
- ◆人が幸せに暮せるまちがいいです。不自由を常に、たるを知る事でも幸ってあります。
- ◆財政が困難であれば、まず第一に議員の数や公務員の給料を減らし天下りなどもすべて廃止にすべきです！福利厚生も手厚すぎだと思います。山梨市の公務員は、本代も10冊までは、市役所が負担すると聞きました！全て廃止して下さい！！毎回、道路工事も同じ場所ばかり…。3月になると…。無駄に税金使って財政が困難と言っているのは、おかしいのでは？と感じてしまいます。税金の使い方をちゃんと考えて下さい！！
- ◆市の道路全体が整備される様希望します（子供から大人まで毎日使う、生活道路のため）。
- ◆市に大工場、又は商事会社等ほしい。
- ◆高令者、障たい者、子ども、会社へ行くお父さん、パートをしながら働くお母さんと、様々な人達のグループを作って、座談会などを数回もち、思いの事を聞く機会があると、もっと質問の意図するところが掴めると思います。団地にいる人は近くにコンビニやスーパーがなく、困っている人もいます。例えば、そんな一つ一つを解決することにより、市民が喜び、楽しめる豊かさを見つけてくれる。そう思う事で山梨市は住みやすいんだよと、他市に言えると思います。
- ◆○山梨市のホームページが使いづらく魅力にも欠けます。○窓口をはじめとし、行政サービスの質に個人差があります。質の悪い人のチェック機能が必要だと思います。○ムダをなくす努力が見える化してください。例えば、このアンケート紙についても、もっと簡素化できるのでは？○50年後、消滅するかもしれない！という危機感を具体的に持ち、行政・市民が一丸となって取りくめる体制作りをお願いします。○図書館も貧相、まともな書店もないことを大変残念で恥ずかしく思っています。市民の文化レベルを向上させる環境作りが必要です。
- ◆もう少し問いが少ないとうれしいです。
- ◆区画整理でせつかくきれいになったはずの街がさびれていく、というより淋しい。個々の店が戸締めになっていく商店街(駅前)もう少し人が集まってくれるような集合商店街がよいと思う。
- ◆道路整備の充実を希望。
- ◆若者の結婚を早め、市営住宅入所の所得制限を見直し、多くの若夫婦と子沢山(3人以上)の奨励を是非検討して頂きたいと思います。他市町村への流出を止め、転入を計る努力をお願いします。期待をしています。
- ◆私の住民税は13400円です。1日日当分以上を山梨市の為に労働しています。皆さんは、それを知ってかしら分かりませんが、貴重な税金です、無駄使いしないようにお願いします。大事にお使い下さい。そして、企業の誘致などにとりくみ住民税が安くなるようにして下さい。
- ◆小原西二区のリサイクルステーションのダンボール等を捨てる扉が壊れてるが直すことはしないのでしょうか、もう何年も経ちますが…。産婦人科を増やしてほしいです。高度医療が出来る医療機関が遠すぎて正直大変です。
- ◆働く所が少なく困っている。税収のことも考え有力な企業の誘致など、活気あふれる町にして欲しい。福祉施設などで働く人の確保や給与の補助、皆が生きいきと働ける環境を整えるべき。

- ◆「しまむら」・「家電 (K 2)」・「1 0 0 円ショップ (セリア)」・「ホームセンター (くろかねや・D 2・ナフコ)」・「A v a i l」山梨市になくて、となりの市にあります。買物は山梨を通りすぎとなりの市に行きます。そうすると自然にとなりの市の病院・スーパー・パン屋・花屋…などに行くようになります。何が言いたいのか、わかりますよね？！
- ◆○橋の整備について…熊本地震の影響が現在も続いている。村にとって大事な橋が大規模に崩壊したが、山梨市には大きな川が多く、たくさんの橋がかかっている。私は山梨地区に住んでいるが、災害時、仮に根津橋・亀甲橋が同じように崩壊したら、物資はどこから入ってくるのか。市役所・支所は全て橋向こうにある。山梨市外 (笛吹市など) から山梨市山梨地区住民向けの物資は入ってくるのだろうか。
- ◆山梨市は買い物の不便。塩山や石和に買い物の時は行く事が多い。
- ◆徹底した行財政改革を推進し、税負担の軽減や公共料金の値下げをお願いしたい。特に、年金生活者に対して…。
- ◆駅の駐輪所に屋根をつけて自転車がぬれない様にしてほしいです。学生もかわいそうです。
- ◆高齢化社会に伴う若い人達の県外への流出を防ぐ為にも、安心して働ける場所、県内への企業、事務所等の誘致、推進の取り組みが必要だと思います。又、市民がこれからも安心して暮らして行けるまちづくり、構想が望ましいと思います。
- ◆市は、多数の仕事、改善、指標があつて、実行していると思うが、我々には情報として伝ってこない。もっと市民 1 人 1 人に情報を開示して、市の取り組みを理解してもらえば、賛同者も多くなると思います。「市役所の人は何してるの？」わかりません。広報読まない人はほとんどです…。でも、山梨市は大好きです！
- ◆山梨市には何もお店がない。交通の便が悪く出て歩けない。もっとバスを増やして欲しい。
- ◆最近感じる事として、平和な日本、自然環境豊かで住み良い我が街“山梨市”に住み、本当に有難く思います。時代は、地球・国際化・I T化などの数十年は想像も付かなかった環境の変化が我々の回りで起こり、市民としても取り巻く環境への対応を一人一人が将来に向けて、真剣に考えねばならない時期かと思っています。今後、持続可能な社会を築く為にも、地方創生の機運を上手に活用し、市民一人一人が主体的に考動する、革新ある行政を期待します。
- ◆市役所に何でも相談出来る所が必要。防災について市内の地区別、組があるのだから、各組の中で病人か障がいのある人のチェックを組で把握し、医者、看護師、保健士などの資格を持ち、それぞれの分野で協力出来る人を把握しておき、防災に力を入れつつ、急な災難時に対応出来る人を組の中で何人いるのか組長が知り、知らせ役割を決めておくと思う。各家庭で災害がおきた時、重機やトラック、病人、けが人を運べる車を持つ人、薬局など縦割りでその人達がそれぞれの利用価値で動ける様、決めておいたらどうか。毎年度それらに変動がないか調べておく。
- ◆高齢化が進む中、高歳者だけでなく、若者にもっとわかりやすい行政の説明や手助けをしてほしい。実際に市役所で手続きする際に、説明とか不十分だったり、対応に問題があると感じました。他にもそう感じている人はいると思います。
- ◆市内人口減少対策として、働く場所の確保等を今後も推進して頂きたいと思います。

- ◆下水道工事後、路面沈下して車イス、押し車など障がい者が復旧を待っています。早急な改善を待ちます。歩道です。厚生病院歩道橋周辺住民の直接要望ですが聞き入れて貰えますか。
- ◆車を運転できる今はいいけれど、自分が年を取った20年後、30年後に果たして「住みやすい」と言えるのか、現状では不安です。まず交通網が充実していないので外出できない、近隣の店が（ある程度の規模があるお店さえも）次々と閉まってしまい、「欲しい物を自分で選んで買うことができない」事でストレスな日常になるのでは…と感じています。又まだまだ見直しが必要と思う小さな行政の事柄もたくさんあります。このアンケートにしてもこのぶ厚い用紙の郵送料…いくら？過日有無を問わず、全戸配布された市民歌のCD（配布される事さえ事前に知りませんでした…）も果たして必要？年配者ではCD機器を持っていない人だっているのでは？スリムな財政…等、言葉はきれいに並べていますが、改善すべき点きまだまだあると思います（ちなみに数千万とも風の便りできく職員さんの退職金…民間ではとてもとても頂けませんよ！）。
- ◆全般に河川の工事が遅れている。早くに計画してほしい。それにちなんで抗ブタの設置が少ない。特に下井尻地区は危険な場所が多い。早く検討してもらいたい。
- ◆○中央線をまたぐロータリー、商店街の要望等から現在のものが作られたようですが、土地の関係からか小規模で且つ急坂です。冬期には車のスリップが多発したり、街の景観を阻害していると思われま。上神田川3区の商店街も昔の風景はなくさびれる一方です。長期的な展望にたって鉄道上のロータリーの改善に取り組んでほしいものです。○駅に南口という願いは多年にわたり市民の要望です。カーボン、今のまま居すわると聞いておりますが、この会社の建物が駅南の発展を阻害しております。カーボンに対して抜本的な市の対応を切望してやみません。○駅前の開発の結果、学習塾・予備校が林立して、街の景観を台無しにしております。将来的に市の表玄関をどうしたらよいか考えてみてくださるようお願いいたします。
- ◆山梨市は牧丘、三富も加わり、面積も広く行政運営はますます大変ですが、他県からの移住者もあり、特に牧丘地区には文化人も多くいますので、それらの人の意見など参考にさせていただきたいと思。県内でもこの辺は他の者を受け入れない面が多々あり、過去、いやな目にさんざんあいました。道徳面での教育も大切だと思います。子供の頃よりいろいろな場面での教育に力を入れてもらいたいと思。これからの将来のために役に立てる大人になるために！！
- ◆「PDCA」をしっかりと行うことが大事と思。計画ばかりでは何も進まない。目標の達成状況を判断し、次の計画に進む事です。人口減少に対しスリム化を計り、山梨市が長く存続出来る事が大切だと思います。
- ◆もっと頑張れ！もっともっと職員を減せよ！金がなければ、コストダウン、職員はコスト！
- ◆農作業車のナンバー・保険・整備等、義務づけの必要がある（一般道路等での事故の保障がない）。
- ◆水道水が、田舎なのに美味しくないので、悲しいです。雨が降った後は特に薬臭さを強く感じます。又、夏になると、水がなまぬるくなるので、冷たい水が出るとうれ。しいです。
- ◆子育て世帯にもインフルエンザの補助をしてもらいたい。金銭面で大変なので。

- ◆○フルーツ公園の上にある太陽光発電がルール違反で環境を壊していると聞いているが、なぜ市は指導しないのか？○フルーツ公園上のほったらかしの場も、とんでもない工事をしているが、許可を市で出しているなら大問題。すぐに指導してほしい。住民反対運動になる話も出てっていると聞いている。防災事故（山くづれ）、排水、違法工事など調べて、すぐに手を打ってもらいたい。
- ◆休日、根津記念館について池に餌をやったり、庭に咲いている花々を見て、こんなに美しい所が山梨市にあったなんて東京に行った時より感動しました。主人は「つまらんとこ」だったと言いますが、友人と2時間も時を忘れて遊んだり、スマホで写真とったりして楽しかったです。
- ◆○市議会議員の給料を日当性に変更する。研修旅行等は自費で行くようにする。○子供の数が年々少なくなり頭をかかえる問題ですが、住み良い子育てが安心してできるように補助する。保育料の無料化をお願いします。山梨市で子育てを！
- ◆山梨市駅のロータリーが使いにくいです。車を利用する際の駅周辺での駐車場を増やして欲しいと思います。自宅からJRを利用する際、距離があるので、車で駅までつなぐ事になります。もう少し、市営の駐車場があると便利なのですが。
- ◆新しいことをするよりも今あるものを最大限いかしてほしい。これ以上改善の余地なしと思ったことがないので、まだまだやれることはある。世界的な農業都市になる環境、人材はある。
- ◆市政に対して知らない事が多すぎた事に気づき、大いに反省しています。広報誌やCATVを良くみて、市政に参加して行かなくてはいけないと思います。これからも宜しくお願い致します。
- ◆人口を増やすことが先決。山梨市を東京の通勤圏とするため、JRに快速電車を走らせる。住み良い場所であることのPR。空屋のREFORM及びRENTAL（安く）。
- ◆通勤・通学時、道路が狭く危険が多いので何とかしてほしい。事故があってからでは遅いので。大野団地の南側の道路が危険なので、道を広くするとかミラーや街灯をつけるなどしてほしい。実際、事故も何件も起きているし危険です。
- ◆私は精神疾患の専業主婦です。少しでも生活費を稼ぎたくても企業の理解が無い様な気がします。今は4人に1人は患うと言われていています。働きに行きたくても企業の理解、一人一人の理解も必要なのではないでしょうか。もっと精神疾患の方でも働きやすい様になれば良いのですが。主人はおれが頑張るから専業主婦でも大丈夫だよと言ってくれています。家を建てたくても結婚して12年、まだ建てられない事もあるし、いつも私も働きに行ければと思っています。子供達も狭いアパートでガマンさせていて、子供達の部屋もあげたいとも思っています。精神疾患の方でも働きやすい街になって行って欲しいです。
- ◆市営バス運行に乗客の1人もいない事をよくみかけますが、何か考えがありますか。
- ◆○工場誘致○人口増加対策○道路整備街中の細い道路の整備
- ◆景観を活かした町づくりをしたほうが良い。地域住民との連携を取るべきだと考える。納得の出来る行政運営をするべきだ。
- ◆万力公園の整備を充実してもらいたい。ベンチや屋根がくちている。市民会館の駐輪場に有る置きざりにされている自転車を片付けてほしい。万力大橋を清掃して頂きたい。

- ◆○私の地区は、市長経験者が住んでいた地域、市長の所有している農地周地は、普通車が楽に「ゆき来き」できる道路が作られている。○全国的に人口減の時代に神徳橋から厚生病院までの立体公差の道はすばらしいが、災害多発の日本には拵げるはいいが立体化までする必要はないと思う。財源きびしい時代「がまん」も必要だ！
- ◆旧市役所のあと地は、どうなるのでしょうか？図書館ができるということもききましたが、図書館にはならないのですか？市民のための施設を希望します。図書館がよいです。
- ◆空屋対策、使われてない農地利用、婦人部（会）削減（消滅）、について検討してもらいたい。
- ◆夜間等、子供が発熱などした際、市内の小児科の受け入れ体制がないので、甲府市の小児救急センターまで、受診しに行くというのが現状です。小児科の時間外の対応等できるように、山梨市で働きかけていただければ…小さいお子さんをお持ちの方は、そう考えているのではないかと思います、どうでしょうか？
- ◆昨年秋に花かげホールで行われた「やまなしきらめきコンサート帰ってきたぞ林兄弟」がとても感動的なイベントだったので、またあのような音楽イベントをやってほしいです。
- ◆八幡バイパスから、八幡小学校に入る道路が夜になると暗くて、わかりずらく、皆様がこまっています。なんとかならないでしょうか。
- ◆山梨市にショッピングモールをつくってほしい。
- ◆今回は、2015年度のふるさと納税がまとまり、ほとんどの県内市町村が前年度を上回り、山梨市も3位、1億1735万円あまりです。それでもお返しの物が市の特産品と、森林セラピー体験とかがあり、もう少し移住体験もどうですか。都会の人たち、今はふるりの無い人が多く、一家で体験してもらいたいのかと思う。又、市の動物園ももう少し内容を見直す。例えば、アルパカなど人気が出ると思う。又、公園内の足湯（天然温泉の運び湯）なども良いと思う。街の駅の足湯は水道水で無意味です。
- ◆季節によっては早く日が暮れるので、特に農道など外燈があると良い。
- ◆子育てこそ全ての源だと思っています。結婚・出産がより安心して出来る体制があるといいと思います。産婦人科が1軒しかないと不安です。子供を出産しても安心して暮らせる為に、よりよい行政を希望します。教員、特に中学の部活動については、外部コート（退職した教員など）を雇用して、教員は本来の職務に重点をおけるようになると、質の高い授業が出来ると思います。
- ◆通学路整備が不十分だと思う。道路の白線が消えかけている。歩道と車道の上に設置されているポールがこわれている。色あせている等。
- ◆右折専用車線が極端に少ないと思います。プチ渋滞が多いと感じます。
- ◆家の中にいると放送が聞こえない。緊急時の際、心配。避難所まで老人には少々遠い。河川の清掃がだんだん出来なくなる。認知症のふりをして介護を受ける者あり、厳密に？
- ◆生活排水路が一部不整備で、蚊、ハエなどの発生で不衛生大変困る。環境整備を望む。
- ◆市営バスの充実（同じ道路だけでなく違う路線への運行）、市独自の法令化（歩きタバコ禁止、ポイ捨て禁止、他市では2000円バッキン）、大学誘致・商業施設誘致。

- ◆期限付きの事業が多く、それにあわせてやるため、途中での再考ができにくいと思います。そのため段取りがうまくいかず、あとさきになり、無駄な労力、無駄なお金を使うはめになると思います。ビジョンをしっかりと持ち、総合的にどう実行に移していくか判断できる人材、ポストを確保してほしい。リーダーがしっかりとリーダーとして市民のために働いてほしい。
- ◆旧市役所後地利用は箱物ではなく、多目的広場災害時の避難場（ヘリポート場）イベント広場はいかがですか。
- ◆公営の老人ホームを設立して誰もが入れる様にしてもらいたいです。
- ◆万力公園と山梨市駅、市役所を中心とした街づくり、公園を中心に商業地区、大型店とちがう専門店を誘致し、活性化を計る。人口を増やす事と、人口の流出を防ぐ事を考え、税収を上げる事を考えて下さい。
- ◆東山梨駅周辺をもっと整備してほしい。東の玄関口として。平成16年よりセーフティーパトロールをしている、1人として（24名）参加。
- ◆もっと企業誘致に力を入れて人口減少に歯止めをかけてほしい。
- ◆市役所北側にある社会福祉協議会建物が、古くなっていていつも気になります。市役所にスペースがあればお貸ししたらいかがでしょうか。地域の活性化なかなかむずかしと思います。小さな活動拠点がたくさんあると良いと思います。医療では思春期の子供達を（心身のバランスやその他の悩みを相談できる）診てもらえる医療機関があると良いと思います。
- ◆結論。活力のあるまちづくりを行なうには、人口を増やすことだと思う。
- ◆すべてに共通して考えられることだが、交通・道路が不十分である。県全体、またまわりの市をみても、山梨市の道路行政は最低である。甲州市、笛吹市とくらべても10年先を見すえての道路行政ができていない（特に日川地区はわるい）。もっとまわりの市町村をみて計画をたてていくべきである。エネルギー政策も同じことがいえると思う。
- ◆もっとにぎやかで活気のある町を築いてもらいたい。観光事業や産業開発が全く見えていないのがさみしい感じです。
- ◆八幡北のJAフルーツ山梨販所は、好評でひとが入り買うのが大変。例えば、観光バスのコースに入れてくれて、極上品がここなら安価で買えるという評判をとり、他県にも名がとおる運営をすると広さも今の二倍、三倍にして場所も考えてほしい。フルーツ公園・乙女湖・広瀬湖を春は桜（種類を多くして長期間楽しめるもの）、夏は地産のフルーツ、秋は紅葉としてひとを集め、売店を多くつくって土産物、ここで食事、また峡東地域の歴史探訪などパンフレットを多くして関心を深めてもらう。これらは市でなくとも民間でも計画してもらっても良いでしょう。
- ◆この様なアンケートは良いと思う。記入が面倒ですが、市長と市民の間が近くなれば意見も言えるが、会える事があまり無い。学校の役員会議に来て、子育て世代の意見を聞いた方が良い。学校なら行きやすいから。本音を言う人は多いので、山梨市の今後役に立つと思う。
- ◆アンケートの内容が難しく、判断しがたいものもありました。山梨市は大好きです。これからも住みやすいまちであって欲しいです。

- ◆国において地方創生やアベノミクス等、様々な対策を講じているが、一般国民には、その対策の影響を感じることはできません。市におかれましても、市庁舎内の行政対応は以前とは異なり、誰一人私語を言わず緊張感をもって仕事されておられると思います。今後も継続されることを望みます。さて、少子高齢化が思っている以上に早く進み、その対応が難しいと思いますが、山梨市に住みたいと思うもの（幼稚園・保育所の増設、万力公園の有効利用、市民図書館在り方、簡単に貸し借りできる方法を取り組めた農地を利用した農業法人化等）を市独自においてオリジナリティに富んだ施策にし、全国に発信してほしいと思います。
- ◆これからは、物の命の大切さを実行していきたいと思います。
- ◆○道路又河川等のビニール、プラスチック類、缶類、煙草の吸殻等のゴミがとても多く感じる。
- 若い人達の働く場所が非常に少ない。
- ◆○現在元の市役所の空地が駐車場になっておりますが、市として老人ホームを建てて頂けるような案がありますか。○甲州市は街が大変発展しております。山梨市は本当にさみしい市になっています。考えて下さい。住みたい町ではありません。企業を呼んでも税金が高く、出ていってしまいます。税金で町が潤うより、人が集まり消費されれば、市の財政も潤うのではないかと。
- ◆理想は多々あっても施策に予算はつきものです。補助金、交付金などの制度をタイミングよく活用できる思考と、有効なお金の使い方を検討されるよう責任をもって行政運営して下さい。予算があるから用途を考える、利権、私利私欲で構造的不正のない、一部業者に旨味のあるような行政運営とならないようお願いいたします。ちなみに、山梨市の歌CDを作成配布されましたが、予算を使って作られた費用／効果はいかがでしょう？よくわかりません(地域の人々の声です)。
- ◆○毎年3月、4月頃まで果樹の枝に袋が付いたままです。前年の年末には消防車が「火の用心」を呼びかけ、袋の付いた果樹畑の側を「チン」「チン」鐘を鳴らして走っています。北風の中を袋が舞っています。道路にタバコの吸殻を何の躊躇いもなく、毎回同じ様に捨てる人がいます。峡東地区を観光振興の目的で首長が何か申請を出した様ですが、一目瞭然の有様に却下されませんか。○「いちやま」の移転に伴い、書店が山梨市からなくなりました。以前は天真堂二店（現在はコミック誌等、古本販売）と、いちやま店内の書店でした。電子書籍等により、書店は全国的に減ってますが、高校・中学・小学校が存続する中で、将来の山梨市民文化度が気になります。
- ◆市営住宅入居を一人暮らしでも可としてほしい。
- ◆高い税を納めています。公金を市民の為にどう使っていくか真剣に考えて頂きたい。特に子育て支援、学校教育へのサポートを将来のために投資してもらえるとよいと思っています。
- ◆フルーツ公園に登って行く所の歩道の草刈りと植木の手入れは早めにした方がよいです。
- ◆市営バスが山梨店オギノにあってほしい。高齢者の方が使いやすいと思う。いつもタクシーでこられて、大変だと思う。甲州店は、市営バスが来ているようだ。なので山梨店にも市営バスを運行してほしい。
- ◆牧丘地区など山間部に新規就農や移住者が多くいる。この人達の意見や要望に耳を傾けることで何かヒントが得られるのではないかと思います。

- ◆「まちづくり」もですが、もっと市民からだけではなく、市の収入が増える方向にしてほしい。まわりの市よりも、税金面では最も高く「住み良い市」ではなく、「住みにくい市」、これが「山梨市」ではないでしょうか？「高齢者」「障がい者」ばかりではありません！市営住宅にしても、もう手つかずの所もあるとの事。ひどいです。お役所目線はなしにして、もっと細かく見てほしいものです。「住みたくなるまち」言葉だけではできません。
- ◆皆の税金で、給料を頂いている旨、職員の方は自覚して、更なるサービス、気持良い対応をお願いします。
- ◆一般市民は、行政運営などは、詳しくつっ込んだところまで知りません。それよりも、窓口業務の対応で、まずは山梨市というところを判断します。自分の住んでいるところが気持ち良いか、対応する職員で決まると言ってもよいくらい大事な事だと思います。若い夫婦やお年寄りなど口コミで移住者が増える「まち」になればいいと思います。
- ◆山梨市以外から人が来たくなるまちづくり、フルーツパークをはじめ観光施設の活性化が近道だと痛感しています。消防団員の確保を市のとりくみにいれる。
- ◆ご当地ナンバーの導入（ど根性ガエル等）、シェアビレッジ等。
- ◆小、スポーツセンター、花、フラワーポット、作って下さい。
- ◆空き店舗、公共施設の跡地、学校の跡地等の活用を図って欲しい。牧丘、三富庁舎の跡地も支所として使うだけなら広すぎ、企業誘致に固定資産税の減免等の策を講じ、積極的な企業誘致を、今後公共施設の設置は必要ないと思う。商業施設を誘致するなら、点ではなく、継続して誘致した方が良くと思う。今のままでは、甲州市、笛吹市へ行きますよ。
- ◆○水道水が薬品くさく感じています。友人にもよく言われますが、水道管の管理や水質は大丈夫なのではないでしょうか？○子育てをしていますが、山梨市に転入して以降、やりにくさを感じています。相談や手続きに行っても好意的でなく受け取られているように思う。友人達も同じように話しています。市役所の人とのやりとりで笑顔をみたことはほとんどない。○人口の割に市役所が人でにぎわってないのが不思議です。手続きや相談でもっと人が行きやすい市役所作りをして欲しい。○医療や福祉のサービスも不安。他の市ではもっと選択肢があるのに…転入して税金は上がっているのに納得できないです。
- ◆県内唯一の社会人のラグビーチーム、T O S E Nクリーンファイターズ山梨が山梨市にあるため、市も協力して応援してはどうですか。今後のスポーツ活性化のためにも目を向けてみてはいかがでしょうか（2019年W杯もひかえていますし…）。
- ◆消防署の前の道はなぜ行き止まりのままなのではないでしょうか？線路を挟んで反対側の地区へのアクセスがよくなり、緊急時の心配も減るのではと思うのですが…。
- ◆高校卒業後、15年近く東京都で働いておりましたが、4月より山梨市に帰ってきました。街並み等は整備が進み、住みやすくなったと感じております。しかし、市全体において活気があふれているとは言えません。漠然とした感想になってしまいましたが、我々もふくめて「活気ある市」を目指していきたいです。
- ◆市議会議員の定数は10人程度で十分。市役所職員の資質に差が有りすぎる（教育が必要）。

- ◆お盆の時に出るお供物のゴミの回収は、一般生ゴミとは別に回収してほしい（甲府市では実施しているようです）。
- ◆○フルーツラインが出来たのに、その周辺にお店がないので、少しでもお店が並び、活気を感じられたら…と思う。○中学生は、フルーツラインを登下校道にする事が学校で決められているのに、夜は真っ暗になり、防犯上も危険だと思う。コンビニ等での明るさがあってもいいと思う。
- 魅力ある大型スーパー店が欲しい（山梨市には無い為、イオン、石和、アピタまで、行く事が多い）。
- 高齢者が農業をしても、後を継ぐ人がいなくて、農地を借してしまう人が多いが、そういう農地を有効に使える様な制度にして欲しい（宅地にすぐにできる様）。
- ◆大規模な商業施設がなく、市内での買物ではたりない。甲州市、笛吹市へ買物に行く事が多くある。一度に買物がすむからである。又、10年後の農業をどう考えているか？後継者がいない世帯が多く、農業が成り立つのか？遊休土地になるのか？今から対策が必要と思います。土地を売って住宅にする必要も無く、活用の方法等。現状も、10年後も住み良い山梨を作っていくことが必要と考えます。
- ◆○障がいを持った子供、親に対しての対応、経済的フォロー、医療に対しての意識が薄い。○市役所で務めているからといって、横柄な態度、対応はやめるべき。あいさつや笑顔もない人もいる。又、迅速な対応が望ましい。“ヒマそうにしてるなー”と感じる。○災害時、対応策をしっかりとマニュアル化し、早い対応を望む。○又、市役所内での各部署連携が必要。行ったら「担当者が居なくて、知らない」というのは、おかしい。
- ◆行政のIT化、家庭と医療を結ぶテレビ電話等の活用、市役所職員の減員。
- ◆○空き屋、放棄地が増えている。安全、安心の面からも問題である。何か対策を。○山梨市には観光客を集客する建物、自然環境が少ない。独自のものを開発し、魅力ある町に…。○少し高齢化の進み方が早い。若者が居つく場所にするためには、職場の確保が肝心なのは。○自然環境の変化で農作物の収穫が不安定。その対策が必要では…。
- ◆今の時代、農業中心では街は発展していかないと思う。もっと大型商業施設の誘致が必要だと思う。甲州市（塩山）を見習うべきでは？わざわざ買い物に行くのに、甲州市に行くのが多いってのもどうかな？と思っている。このままでは、人口は増えるとは思わない。
- ◆市内の若者の数がとても少なく感じます。若者が市内に残って働けたり、市内に残りたいと思うよう、まちづくりや環境づくりが必要だと思います。
- ◆○子どもたちが安心・安全に遊べる施設（雨が降っても、暑くても、寒くても）土日でも利用できる所があるといいなと思います。→にらちびみたいな所、にらさき市支支センター。フルーツ公園や万力公園は満足しています。○子どもたちの給食内容の安心・安全を。放射線量とか気になります。地産地消のものを取り入れてくれたら一石二鳥。
- ◆山梨市は市県民税が他の市より高いと聞きました。それが生かされている様に思えません。少し職員をへらす事を考えていませんか？市役所に行っても、仕事をしている様に見えない方がいます。

- ◆毎日の激務御苦勞様です。より良い山梨市の実現の為に市民一体となって相互に協力しあう事が大切だと思います。まず実施にあたり、目線・要望を利用者に合わせる事からスタートして頂きたく思います。相手の立場に立ち、思考・計画・実行・チェックを原点に！！
- ◆市営バスは小型に。利用者が少ない為。
- ◆甲州市は活気がありうらやましいです。山梨も頑張って魅力ある市にして下さい。
- ◆無駄なお金を使わないために、新しく図書館を作ることをやめたことは賛成です。新しく道路を作ることもどうか…と思っています。(以前は相模原に住んでいましたが) そこと比べると渋滞はほとんどないので、今あるものを、大事にしていくようにして下さい。新しいものは、それほど必要ないと思います。自然を大事にして下さい。
- ◆先日、学校教育課の電子入力ミスにより給食費の引き落としがされず、通知を子どもが持ち帰りました。その文面では、だれのミスなのか、それに対して、該当者からのおわびはなく、嫌な想いをしました。学校事務に説明をたのんだとのことですが、保護者側に不備がないのに銀行に出向かねばならず、手間をかけるのに、担当者からの説明もなく、不愉快でした。学校教育課のミスなのに、学校側への不信感を抱かせることになりかねません。今後、どのようなことでも、おわびの必要なものは、きちんと担当者が丁寧にした方が良くと思います。
- ◆山梨市市駅周辺の商業施設の充実を望む。文化的要素の本屋が一件もない(小原は除く)。公共交通機関の不便さ(高齢者はどうしますか?)。
- ◆甲州市では中央線を渡る道路が3本も整備されたが、山梨市では万力大橋から後屋敷に計画された道路が30年以上前に計画されたが頓挫。次に駅前から市役所前を通り花みずき通りから中央線を渡る道路も進まない現状にある。後屋敷から市役所方面に大型バスで行く場合、北か南に大きく迂回しなければならない。甲州市などとも相談し、東西に通れる道路(国道411号と山梨市国道141号)とを市中心部に近い位置で継ぐなど、道路整備を考えるべき。とにかく市内どこを見ても道路がせまい。防災、災害時を考えると不安である。
- ◆私は救急車を必要の無いのに呼んだ者には、程度により有料にするべきだと思う！！救急車は税金で動いているのだから、タクシー代わりに使うのは、間違っている。そのように行政サービスであっても、常に税金はかかっているのだから、増税、増税言う前に取れる所からは、しっかり取って、減らせる所は減らしてほしいものです。
- ◆甲州市や笛吹市のように子育て支援施設を増やしてほしい。「たっち」だけでは…皆他の市の施設を利用しています。そして「山梨市は全然ダメ」と言っています。
- ◆私達が支払っている税金なので、大切に使ってほしいです。このアンケートはどの位の税金が使われているのでしょうか？もう少し、市役所の方の対応を良くして欲しい。検診の申込みをしやすい様に改善して欲しい。
- ◆観光を市の重点項目の一つとしているが、山梨市駅前について私の感じた事を書く。県外の友が帰る時に駅前でもくだものを土産にしたいと言われ、困った事があった。名産のくだものを売っている店がないからである。駅前に当地でできたくだものを売る店が必要ではないかと考えるが、検討願いたい。

- ◆高齢化と少子化はまったなく進んでいます。このままでは地域運営にも障害が出る事は間違えありません。従来の制度の見直しを常時行い、効率的な運営を期待したい。
- ◆市内循環バスなどの充実をお願いしたい。病院や駅やスーパーを回れるようにしたら、もっと活性化すると思います。子供～高齢者まで車がないと何もできない。配送サービスはもっと閉じこもりにつながる。市内循環バス、笛吹市などの連携をとり、流通を活発にしていきたいですね。防災については、どう対策しているかわかりません。学校を通して教えてほしいです。あと、学童保育18：30までにしてほしいです。残業できないです。
- ◆私は山梨市駅より甲府に通っています（会社）。山梨市駅には無料の駐輪場が1ヶ所（橋の袂で狭い駐輪場）しかないので、南口には無料の駐輪場を設置してほしい。自転車の有料駐輪場があるのは山梨市だけ。塩山、春日井、石和、酒折、甲府駅とも立派な無料駐輪場を備えています。
- ◆第1子を育てていますが、子育て支援がとても充実していると思います。このままこの環境が続き、さらなる発展を望みます。また、生活しやすい市だと感じています。
- ◆ポストをオギの店に施設してもらいたいです。下石森オギの店近くに、店内に切手、葉書等も販売してもらいたいです。買物がてら有ってくれたらと思っています。
- ◆娘たちの世代が安心して心豊かな子育てができ、「この市が大好きだ！」と他者に言える、そんなまちづくりを希望している。それは物だけでもなく、今のままでもない。けど、今、十分に市のまちづくりは行なわれていると思う。私もこの市が好きだから。でも、若い人の人口が増えないのは、何か足りないからだと思うので、頑張してほしい。
- ◆国策に準じて市策が行われていたが、その総括がされぬまま次の国策へと対応している。y e s！ばかりでは発展はないので、市独自のビジョンと企画を建て、結果を評価し、修正して行くべきである。健康日本21や食事バランスガイドはどこへ行ったのか？国の下受けだけだと市民の幸福は国に左右されてしまう。あくまで自治体が市民の幸福をつくり出し、守るべきである。
- ◆山梨市駅前の市営駐車場の利用料金が相場とかけ離れている。限度額等設けるべき。
- ◆車がないと生活しにくいのはおかしい。笛吹川沿いを含め各河川のゴミが目立つ。市でゴミを受け付け、ゴミ清掃の会社を市でも民間でも立ち上げ処理、清掃する。自分の家の周囲でゴミを拾いそれを受付け、買うシステムをつくってはどうか？
- ◆古くからの住宅周辺道路では、水路等に蓋がないような道路が大変多く感じます。水利組合との兼ね合い等、難しい部分もあるのですが、市が主導でどうにかならないか？厳しい財政状況を強調するが本当に市職員の人員数は適正ですか？休日でも市役所窓口は利用できないし、対応悪いし他の市町村と比較しても資質が低く感じます。
- ◆山梨市は果樹と自然環境を売り物に観光山梨を目指すべきである。フルーツ公園、万力公園をもっと活用すべきである。
- ◆法人税を割引（0円も可）してでも企業誘致を行い雇用確保をするべき。
- ◆厳しい財政状況の中で市の職員の為の運動場はいかがなものか。三ヶ所地区に於いて通学路にもかわらず、一部区間の舗装がされていないが、市の職員の為のお金はだせても地域の為にお金はつかわないのか、山梨市に税金を収めるのがいやになる。

牧丘地域

◆牧丘の地に嫁ぎ53年になります。当地は人口も多く、自然も豊かで、中心街も活性化しており、交通の便も良く、特に生活に不便を感じることなどなかった様に思います。その後時代の流れと共に若者の他町村への転出が多く、人口減少が目立ち急速に高齢化が進んできました。従って日常生活にたいへん支障をきたすことが多くなりました。私が町に望みたいことは、いくつかありますが、特に次の二点をお願いします。(1) 日常生活に欠せかせない食料品が確保できる商店。(2) 傷がい者の給付請求の手続きの簡略化(毎月同じことを申請しなければならない負担を是非、軽減してほしいです)。

◆各問の中に意見を書かせてもらいました。必ず吸い上げてください。

◆私は基づき牧丘に住んでいます。山梨市に総合され牧丘は全く進足がなく、良くなるのは市役所、及び山梨市の行政で牧丘が発展していく方法ももっと具体的に市民に、特に牧丘の人にわかりやすく書面説明するなど、もっと牧丘に感心をもって行政も対応して頂きたいと思います。

◆観光どころよりも、住民が住みやすいまちづくりをまずはすべきです。公共交通施設や社会基盤など、まだ改善すべき点はあると思います。

◆財政が厳しい中でよく運営していただいていると思っています。本当にご苦労様です。ご尽力に感師しております。

◆例えばイオンモールのような有名な大型ショッピングモールでも建てば、他市からも人が来て活性化すると思います。

◆農道に崖などの危険な箇所が多いので、フェンスをつけたりコンクリート舗装をして欲しい。

◆観光イベントについて要望します。イベントを行う時期、またそのイベントの費用対効果をもう一度ねり直して、もっと山梨市に有益になるように、市民が感じられるものにしていただきたいと思います。

◆海洋センタートレーニングルーム整備のお願い…。使えるものが少ない。せっかくのトレーニングルームなのに使用不可が多いため、利用者が少なくなる。もっと多くの人に利用してもらえるようにしてほしい。充実したトレーニング器機をそろえてほしい。

◆花かげ湯、従業員の中にきわめて態度の悪い女性があります(女性同志の私語が多い)。気に入らない人には、いらっしやいませ、ありがとうございますも言わず顔を見るとよそを向いて知らん顔です。こんな人はやめてもらい、山梨市内の人を雇ってはいかがですか。

◆交通機関(バス)の横の連絡が今少し密になって欲しい。例えば巡回式。

◆広いグラウンドなどを使用して、個人が作った野菜やジャムなどを朝市を開いて一般の人々に提供できる場があれば良い。1ヶ月に1度か2度開催できれば町起こしにもなると思う。

◆R140の除草をいつもしっかりやってほしい。草をよけて学生が自転車にのっているのが危ない。市が合併してからせぎに水が流れなくなって不衛生である。

- ◆牧丘は良いぶどうが穫れワインを作る人も少しずつ増えているのにそれを提供する場やイベントがない。勝沼ばかりが美味しいワインができるわけではない。牧丘出身のソムリエもいるので、評価をしてもらい、生産者と消費者が自由に語り合える場を作るのはどうか。
- ◆先日、市営住宅にて約1年半困っていたことを電話しました。対応した職員の人の話を最後まで聞かず横柄で、市では把握できないから警察へ通報しろと、どういう状況か調べる気もまったくないようだった。出来ることに限界があるにしても、もう少し市民の気持ちを汲んだ、まともな対応が出来ないのだろうか？ご近所トラブルをさげたいので思いきって相談したのですが、相談したことすら後悔させられ、本当に嫌な気持ちになった。合併した時より、今までの村のアウトホームな感じは村からの職員のみで、あいさつすら出来ない職員がほとんどです。良い職員もおられるのでとても残念です。働いているので、あいさつや親切な電話対応はとても大事なことだと感じています。一部の職員だけだと思いますが、ベテランの職員にも質の向上の為、教育が必要だと今回の件で痛感した出来事でした。職員の資質の向上を期待します！
- ◆休みの日に子供達が広い場所で遊べるように、校庭などで自由に遊べるようにして欲しい。
- ◆山梨県＝山梨市ともなりませんし、これといった特徴があるわけでもない気がします…。どうか市民から集める税金を大切に、大切につかっていただけますよう、お願い致します。若く頑張る者、高齢者に優しい市になりますように！！
- ◆アンケートの内容が少しでも行政に反映されますことをお願い申し上げます。山梨市(牧丘町)は自分が生まれ育った街なのでよりよくなってほしいです。老人も子どもも若者も住みよいまちとは言えません。住民税も高いですし…。でもずっと住みたい所なので、宜しくお願い致します。
- ◆当市の特性を良く認識され、バランスのとれた施策のもとで行政を運営されていると思います。残念なのは、市の地形があまりにも長細く、公共交通の便利が悪く、メイン行事は旧山梨市地域で開催、公共施設も集中していると思います。駅、商業施設など日常の生活活動の範囲からも外れがちになります。
- ◆牧丘町の諏訪地区は交通の便、環境もよい地域です。若者の世帯が居住できる新規の市営住宅等を建設して、牧丘町の若者、児童の人口が増える対策が取れたら良いと思います。
- ◆今年度は、図書館、産婦人科、山梨駅南、4小統合笛川小、笛川学童クラブ新校舎等、身近な環境が大きく変化したり、していく予定ですが、今の行政の説明がとてもopenで納得して見守り、完成を楽しみにしています。ただ、笛川小→笛川中にまだ我が子が通う中、給食センターに関する説明が2年前、担当課長からされて以後ない中、センター化される??となれば、大雪の時など、まだまだ不安もあるので、牧丘・三富地区には再度説明会を開いて頂き、保護者が納得した上で建設して頂きたいと思っています。開かれた行政であり続けていただきたいです。
- ◆子供、若い人、高齢者にやさしい、山梨市を希望しております。若い人達が働く職場が近くにあり、安心して子供を育てる事ができる。高齢者も若い人達の子育ての手伝いをしたり、充実した生活が送れるようになってほしいです。若い人達と高齢者がそれぞれ必要としている事をお互いに助け合う事が自然に出来るようになってほしいと思っています。

- ◆他地域より住むメリットがあった方がよい。例、老後は、温泉が無料。例、バスが無料、例、小学生で英語がペラペラになる。例、特に女性は離婚すると経済的に弱く、子供がいる場合、大学まで行けない。何か1つでもいい。日本中で一番住みたくなるメリットがほしい。
- ◆山梨市駅前の整備は、本当に必要なのか？牧丘、三富地区も山梨市の一員なので、もっとこちらにもみて欲しい。小学校統合も良いが、廃校になった3校の再利用をもっと真剣に考えてほしい。
- ◆近頃、山梨市の行政の努力が伝わってきません。目指しているものが見えず、成果も見えませんが。近隣の市と比べ、かなり遅れを取っているように思われ残念。牧丘の保育所を見て下さい。子育ての環境とは思いません。保育士の評判もあまり良くないです。個人経営の園にどんどん流れています。早く手を打って下さい。もう1つお願いします。市役所の職員さんの暗いこと、一般企業での修行をお勧めします。市役所に行くと気持ちが落ち込みます。残念です。期待してます。
- ◆国道140号から牧丘地域に入る旧道入口が整備されたが、本当に必要な整備だったのか疑問に思う。貴重な財源を本当に必要な所に使ってほしい。甲州市は多くの子育て支援施設があるが、山梨市はとても少なく、インフルエンザの予防接種の助成もない。子育てする環境としては甲州市の方に魅力を感じてしまう。山梨市もこれからより子育てしやすい環境になってほしいと思う。
- ◆牧丘支所にもっと力を入れてほしい。
- ◆大きな箱物は必要ありません。コンビニくらいの小さな支所がいくつか必要です。すべて現在の市役所まで行くのは大変です。物事をわかりやすく、手間が少なく、きっちりできることが必要なので、市役所も民間ばりに手早くがんばって頂きたいです。
- ◆中学校で土日祝に部活がある時、スクールバスを出してほしい。市営バス18:00台のバスを出してほしい。
- ◆山梨市のまちづくりにおいて、より多くの人々が心豊かに暮らし活動していけるように、他の機関同士の連携をしっかりと下さるようお願いいたします。そして未来の山梨市を明るいものにしていく為に、いじめ、ハラスメントの撲滅に力を入れて頂きたいものと切に願っております。

三富地域

- ◆よりよい市になりますよう、住民も積極的に行動することが大事だと思います。よろしく願い致します。
- ◆身近に働く場所があれば良い。商業、企業等の誘致に取り組んでほしい。
- ◆統合された小学校施設整備は早急な取組みが必要です（介護施設、観光施設）。
- ◆駅前、駅の活用を考えてほしい。あの建物は何に使っているの？
- ◆甲州市の方が何となく人間味のある街に感じます。買い物もほとんど甲州市です。
- ◆保育園、小学校があったので、安心して越してきたら、無くなっていくばかり。このままでは、人がいなくなるばかりなのでは？議員のカンチガイ、ムダ使いはやめて。何につかうべきか、キチンと管理すべき。市や国はあまり信用できません。

山梨市まちづくり総合計画策定
事業レビュー実施結果

2016年度 第2次山梨市総合計画策定 事業レビュー実施概要

1. 目的

- ・第1次総合計画に基づく実施事業及び成果評価の現状を把握する。
- ・市民意見や外部意見を参考として施策や事業のあり方を検討する。
- ・計画及び予算、評価の連動性を考慮した評価管理手法を検討する。

2. 実施方法

- ・第1次総合計画に定められている実施事業14事業を対象に、上位計画の実現・達成という観点から事業のあり方を議論する。
- ・今後の参考とするため、議論内容から事業の必要性・効率性・有効性の評価を行う。ただし、当日の議論の場において評価結果の取りまとめは行わない。

3. 参加者

- ・専門委員：PHP総研レビューチーム
- ・市民委員：総計審委員、市民部会委員
- ・説明委員：担当課職員

4. 専門委員名簿

班名	氏名	所属等
1班	熊谷 哲	PHP総研主席研究員 元 内閣府行政刷新会議事務局次長
	岡野 恵之	龍ヶ崎市職員
	片山 清宏	NPO法人 湘南ビジョン研究所副理事長 元 厚木市職員
2班	小村 雄大	民間企業 元 内閣府行政刷新会議事務局参事官
	熊井 成和	館山市 健康福祉部長
	内田 文子	元 団体職員

2016年度 第2次山梨市総合計画策定 事業レビュー実施結果

評価方法

必要性・効率性・有効性の3つの観点から、専門委員、市民委員がそれぞれの立場で以下の項目について○、△、×で評価。評価結果は、必要性・効率性・有効性における○、△、×の総数を示すこととする。

1. 必要性 以下の3項目を評価

- ・ 広く市民のニーズがあり、かつ市の予算を投入しなければ達成できない事業目的か。
- ・ 民間事業者や市民が実施できない、あるいは委ねることができない事業か。
- ・ 政策目的(成果目標)の達成手段として適切で、優先度の高い事業となっているか。

2. 効率性 以下の4項目を評価

- ・ 事業費の使途・内訳は、目的に即した真に必要なものとなっているか。
- ・ 単位当たりコストや受益者の負担などは、妥当な水準となっているか。
- ・ 競争性の確保や民間とのコスト比較など、支出先の選定や支出額は妥当か。
- ・ 他の手段・方法等の比較が行われた上で、より効果的・低コストで実施できているか。

3. 有効性 以下の4項目を評価

- ・ 成果目標は理にかなったもので、成果実績は適切に把握・測定されているか。
- ・ 活動実績は見込みに沿ったもので、かつ投入された資源に見合ったものであるか。
- ・ 作成・整備された成果物や施設は、当初の想定通り十分に活用されているか。
- ・ 類似の事業がある場合、他部局・他自治体と適切な役割分担を行っているか。

事業番号

1班-①

事業名

次世代エネルギーパーク推進事業

1. 評価結果

(1) 必要性			
専門委員評価(3名)	○	△	×
	2	5	2
コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・趣旨は理解できるが、目的を達成するための事業・手段となり得ていない。 ・市が実施する必要性の高い事業であるが、達成手段として改善の余地がある。 ・山梨ガバメント協会などの環境関連の団体・NPO、民間企業との連携を深めることで、エコハウスやまなしの管理のほかにも、子ども達への普及啓発や、バイオディーゼルの製造など、利益が出る形での業務委託などが出来れば、全てを山梨市が担うことがなく、官民連携での環境保全が出来ると思います。 		
市民委員評価(9名)	○	△	×
※未評価6項目	3	13	5
コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・学校、PTA、育成で実施可能(教育、ローソク)。 ・目的と事業の関係が曖昧。 ・新エネは次世代の循環型社会に向けて重要だがなぜ廃食油というマイクロな点にフォーカスしているのか不明である。 		
(2) 効率性			
専門委員評価(3名)	○	△	×
	0	11	1
コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・低コスト化は一定程度図られてはいる。 ・新エネルギー施設やエコハウスのさらなる有効的な活用策を検討すべきである。 ・エコキャンドルなどの消耗品は軽微な予算ですが、バイオディーゼル燃料の製造は今後、コスト高になることが懸念されます。製造機器の減価償却などを踏まえ、今後の方向性を示す必要があると思います。 		

市民委員評価（9名）	○	△	×
※未評価9項目	4	18	5
コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・エコハウスの貢献度が不明。 ・管理委託の方法は妥当か。 ・バイオディーゼル燃料製造における施設費に対する投資対効果が見えにくい。 ・エコハウスの使用目的が不明確。 		
（3）有効性			
専門委員評価（3名）	○	△	×
※未評価8項目	0	8	4
コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・CO₂の削減や省エネ住宅、再エネの導入などの指標による実績評価が必要。 ・成果目標は理にかなっているが、成果実績が参加者数や視察者数で、政策目的を把握・測定する指標になっていない。 ・新エネルギー促進の観点から、成果指標はCO₂の削減などが適していると思います。 		
市民委員評価（9名）	○	△	×
※未評価8項目	0	18	10
コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジャブルでない。 ・効果／成果が定量的でない(エコハウス)。 ・バイオマス(廃食油)の活用における管理特性と目標値が不明。 ・国交省や経産省の補助事業等の連携が必要。 		

2. 改善・見直し意見

専門委員	<ul style="list-style-type: none"> ・何を目的に整備し事業を推進するのか、その整理・位置づけ・認識が不十分である。委託先の選定も含めて、抜本的に事業のあり方を見直すべき。 ・エネルギー施設のエコツアーや環境教育などについては一定の活動実績を評価できるが、人材育成や地域活性化等の政策目的につながっているか不明であり、測定可能な成果実績の指標を導入すべき。エコツアーは環境課のみならず観光担当課・産業担当課と連携し、地域資源を活かした観光施策・産業政策としての位置づけも明確にし、本事業を地域活性化に結びつけるべき。 ・廃食油を利用した学習活動については、廃食油の精製費用を含めた費用対効果を検証すべき。環境教育全体の中でエコキャンドルづくり
------	--

	<p>くりが最も有効であるか検証すべき。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エコハウスの展示については、市内のエコハウスの需要創出につながっているか検証すべき。民間企業のノウハウを活用すべき事業であり、指定管理導入により、実施主体にエコハウスの有効活用についてのインセンティブを持たせるべき。 ・新エネルギーを軸にした、目的、実施方法、活動実績・成果実績などに事業の整理・組み直しが必要と思います。また、子ども達や市民の取り組み結果がフィードバックされることで、市民のやる気を促すことにつながると思います。
<p>市民委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・エコハウスのあり方：地元に住んでいながら一度も訪れたことがない。地元住民も無関心な人が多いと思う。 ・広報で知る程度。廃食油でキャンドル作り、夏の日よけにがうりの育て方ぐらい。もっと事業PR必要。 ・目的と事業内容がリンクしていない。事業ありき、やれることをやっている、前任者のやっていることを引き継いでいるだけな感じ。 ・目的達成のための施策にブレークダウンされていない。特性要因図等活用し具体的施策を立案抽出する必要あり。従来延長だけでなく新しい発想を！ ・エコは流行り言葉になりがち。儲かるエコを追及しないと力が入らない。市民の暮らし向上、市の経費削減、エコビジネスの展開。温暖化を逆手にとって熱帯フルーツの研究(農林課と)。 ・廃食油の収集・製造までは良いが消費量について聞きたい。 ・エコハウス来館者の中で体験宿泊を希望した方はいないのか？ ・事業参加者視察受け入れ回数の目標値設定の根拠等が不明確。 ・見込み 150/300(H28)と表示するのはおかしい。 ・全体的に「ふんわりしすぎ」の話し合い。レビューまで至っていない。 ・目的－手段－実績(指標)の対応が不十分ではないか。 ・環境課が市政の環境政策に対しての各種事業について <ol style="list-style-type: none"> ①その事業についての達成率、不達成率に対する評価 ②不達成率に対する改善策 ③現在進行しながら出来る改善策、出来ない改善策の反省点 ④各種事業に対する投資額・大小なる評価 ⑤指定管理について内容精査する必要拡大など ①～⑤確とする問題点反省評価に不足している感がしました。市政発展のために頑張ってください。

- ・次世代エネルギーパーク推進事業の展開の中で目的は明確であるが、各目的の具体的展開及び時限的な管理特性・目標(成果目標)が不明確であり、また、中短期のアクションプランに対するレビューがないと第三者として判断ができない。
- ・エネルギーパークのPR、エコハウスの活用目的、新エネ推進における廃食油にした理由が不明。
- ・温暖化対策の市の方針に環境課様からも展開するボトムアップ提案も見せて欲しい。
- ・「強み」を活かす—10年前から実施している〇〇〇〇KIDS ISOはどうなったか。活かしてほしい。

事業番号

2班-①

事業名

介護予防事業

1. 評価結果

(1) 必要性			
専門委員評価(3名)	○	△	×
	2	6	1
コメント	<p>・「要介護状態の発生を防ぐ」という目的に対して、要介護に至る原因を再度分析し、原因に対応できる対策(手段)を考える余地があると思われます。</p> <p>・特に先食いである点に留意した対応が必要。</p> <p>・短期的に利益をもたらす事業でなく、民間や市民に委ねるには限界がある。が、効果測定の試みがうかがえず、現状では市民に必要性を理解されにくいと思われる。</p>		
市民委員評価(4名)	○	△	×
※未評価3項目	3	6	0
コメント	<p>・民間事業者は、入れたとき(個人情報)を守れるか。</p> <p>・事業の根拠(学術的)。</p>		
(2) 効率性			
専門委員評価(3名)	○	△	×
	0	1 1	1
コメント	<p>・CATVは全体で整理して見直した方がよい。</p> <p>・個別取り組みに対する直接解(幅広く告知する、わかりやすく行うなど)に対する効率性は検討できていると見えるが、事業目的(ひとりでも多くの高齢者が要介護状態の発生を遅らせる)にかなっていないかどうかの検討が不十分に感じる。</p>		
市民委員評価(4名)	○	△	×
※未評価7項目	4	5	0
コメント	<p>・CM(CATV)効率は良い。</p> <p>・妥当。</p> <p>・低コストに近いと思うか(常に要チェック)必要。</p>		
(3) 有効性			
専門委員評価(3名)	○	△	×
※未評価1項目	0	6	5

コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・地域元気あっぷ教室の開催回数などはかなり充実していると思います。なお、参加者が固定化しているという問題も認識されているのは今後の対策を考える上で一つのヒントになると思います。 ・いきいきトレーニングは認定率が相対的に低い。 ・当初想定がない(弱い)。 ・広域検討は有効(市の規模・勤務先など)。 ・具体的にイメージできる目標が定まっていない結果、効果が出ているように見えてもほんとうのところはわからないように感じられた。(役割分担については議論なく不明) 		
市民委員評価(4名)	○	△	×
※未評価5項目	5	5	1
コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート(データ)の分析(参加者、非参加者)。 ・他市町村の実績(比較)はどうか。 		

2. 改善・見直し意見

専門委員	<ul style="list-style-type: none"> ・目指すべき姿としての「目的」は要介護状態の発生を防ぐ、要介護状態の悪化を防ぐというものであり、具体的でわかりやすい設定かと思います。 ・事業内容についても、元気あっぷ教室などは、回数はかなり充実していると思われます。 ・なお、議論中、要介護状態になる原因として、認知症、転倒などの怪我、生活習慣病などを説明されていましたが、その原因に対して、本事業がどう役立っているかを具体的に示すことができれば、説得力のある説明になるのではと感じました。事業参加者と非参加者を比較するようなデータ分析などができれば有効だと思います。更に、そのデータを活用して、効果的なポピュレーションアプローチにもつながるかと思います。 ・なお、元気あっぷタイム放映については、具体的な効果を説明する根拠がやや弱いと感じました。
	<ul style="list-style-type: none"> ・将来給付の先食いである以上、厳しく有効性がチェックされるべき。 ・アウトカムは給付費の減あるいは介護認定者数の減もしくは1号被保険者の要介護率の低下などになるべきだが、そうになっていない。

	<ul style="list-style-type: none"> ・因果的経過を踏まえて、各施策の心身機能の向上の確認からはじめ、対象者及び高齢者の活動量拡大、社会参加拡大をモニターできれば Good なのではないか。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な目標を設定しては？ <p>リピーター××人とこれだけの取り組みをして、こんな成果をあげた、というごく限られた範囲での明確な結果を追求しても良いのではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険の費用を効果的に使い、結果として支出を抑えることにつながったという確証につながれば、啓蒙活動も思い切ったことができるようになるはず。 ・CATV より効果的な手段はないか？ <p>日々体操ができるように、ということだけであれば、DVD 配布のほうが実績がきちんと測定できて効果的なように感じる。社会教育担当と連携し、コンピュータや DVD 利用のリテラシーを高めることも対象者となる市民には必要な取り組みと考えられる。</p>
市民委員	<ul style="list-style-type: none"> ・要介護になる人、原因(①認知症②筋コックク菌③脳梗塞)など判明している。 ・現在よく対応している。今後引き続き頑張りたい。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・事業効果についてデータを回収する(アンケート等)。参加したくなるようなデータ把握→効果をおおいに広報する(CATV 利用など) ・食事指導。早期対応の施策はどのような状況か。→要介護となる原因として大事な(重要な)ところから優先的に対策を立てたらどうか。 ・中央集中型だけでなく、市民の身近な地域での事業展開。 ・事業内容の理解と評価する時間が足りず、正確な評価不能です。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・生き生き元気あっぷ放映について宣伝が不足していると感じました。視聴率をあげるように努力してほしい。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者のアンケートを分析し、効果の把握。

事業番号

1班-②

事業名

万力公園他松くい虫防除・被害木倒木事業

1. 評価結果

(1) 必要性			
専門委員評価 (3名)	○	△	×
	2	5	2
コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・公園管理や防除体制の構築等、市が行うべきものだが、民間との役割分担（公園外）も考慮すべき。 ・政策目的を達成するための手段として適切とは言えない。 ・アカマツの保存に関しては必要性は高いと思いますが、その実施主体は山梨市だけでなく、市民や市民団体、市内企業などにゆだねることが出来ると思います。特に山梨市の土地の特徴は8割が森林を占めており、また民有林が多いため、市民の取組が肝要と思います。 		
市民委員評価 (5名)	○	△	×
※未評価2項目	9	4	0
コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・万力公園は市のシンボル。 ・技術的に専門家の知恵を。 		
(2) 効率性			
専門委員評価 (3名)	○	△	×
	5	7	0
コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・コストは明快かつ低減の努力も伺える。 ・市の事業としての効果、効率性、優先度を見直す必要がある。 ・松くい虫の防除に関するコストは、妥当な水準になっていると思いますが、そもそも論として、H25時点で150本の枯損を踏まえた上で、管理方法・コストを考える必要があると思います。 		
市民委員評価 (5名)	○	△	×
※未評価3項目	10	7	0
コメント	—		
(3) 有効性			
専門委員評価 (3名)	○	△	×
	2	9	1

コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・公園のみならず周辺地域の枯損の状況を踏まえ、この事業が有益に働いているかどうかは再検証が必要。 ・市内全体の松くい虫防除が必要である中で、3公園のみに集中的に予算を投入していることが妥当か検証が必要である。 ・当該事業の目的の設定にもよりますが、「環境保全」の場合、市民の環境保全活動などが成果指標になり得ると思います。また、「公園の適正管理（公園に訪れた人の快適性の向上）」であれば、公園の来場者数などが指標になり得ると思います。 		
市民委員評価（5名）	○	△	×
※未評価1項目	9	8	2
コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・公園で出た枯枝等は公園の環境保全のために再使用されている。 ・万力公園の価値のPR不足。 		

2. 改善・見直し意見

専門委員	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の被害状況の把握と、それに対する公園での防除及び公園外での防除のあり方について、市民を巻き込んだ取り組みが望まれる。 ・単に松くい虫防除のために本事業を実施しているという位置づけでは、市内全体の松くい虫防除が必要である中で、3公園のみに集中的に予算を投入していることが妥当であるとは言えない。本事業が政策目的である環境保全の意識向上にどのように結びついているかを明確にすべき。具体的には、公園の赤松が市民の誇りであり、市民がみんなで守る象徴としての木であることから、枯損させないために本事業が必要であると位置づけることが必要。 ・H24～H25に150本の枯損が出た影響から地上散布を再開したなど予算を増加させているが、市民が本当に公園内の赤松を環境保全のシンボルとして捉えているのか、市の事業としての効果、効率性、優先度を見直す必要がある。 ・上記にも記載しましたが、都市計画課の当該事業の目的として、「環境保全」となるのか、「公園の適正管理（公園に訪れた人の快適性の向上）」となるのかを再確認してほしいと思います。また、松くい虫防除に特化することなく、万力公園全体で考えた上での、目的の設定が必要と思います。
------	--

市民委員	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業が公園管理全般ではなく松くい虫防除に限定されるのであれば「環境保全の意識を高める」まで手を広げるより「松くい虫による被害から守る」に止めるべきではないか。 ・農林課との連携が必要ではないか？市域を超えた広域的連携も必要ではないか。 ・保全・再生計画では一定の樹種転換もやむを得ないのではないか。 ・金桜公園は樹幹注入の対象外？(質問)
	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画課の事業レビューでこのテーマが選ばれた理由がわからない。(試行だから？) ・市の公園をどうしたいのか？どうしようとしているのか？維持管理をしているだけ？ ・公園を観光ビジネスにつなげる施策、市民がもっと活用／利用するための施策立案を。 ・レビューのやり方：各課の主管する事業のうち、どの部分の話か明確にする必要あり。(例：主管する費用のうち、いくらの部分の話をしているのか？)
	<ul style="list-style-type: none"> ・万力公園は、子どもからお年寄りまでが親しみを持ち管理は十分できている。松くい虫の被害にご努力をされているにも関わらず被害がでる。

事業番号

2班-②

事業名

地域生活支援事業

1. 評価結果

(1) 必要性			
専門委員評価 (3名)	○	△	×
	6	3	0
コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・目指すべき姿としても目的をもう少し具体的に落とし込んだほうが市民の理解を得られると思われます。 ・任意事業の必要性は明確ではない(給付できるものを並べているような印象)。 ・当事者に必要だろうという合意は形成できそうなメニューだが、市民からそれ以上の必然を感じてもらえるかどうか疑わしい。 		
市民委員評価 (7名)	○	△	×
※未評価7項目	10	4	0
コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者の社会参加という目的にポイントを絞り事業推進することが必要。 ・効率や生産性だけを追求出来ない分野なので行政での対応が必ず必要。 ・予算は必要である。民間事業者も視野に入れた時(個人情報を守れるか)。現状で良い。 		
(2) 効率性			
専門委員評価 (3名)	○	△	×
	3	8	1
コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・事業費が大き(1)、(2)、(3)は見直し等の余地が大きい。(メニュー助成的なもの(4)以降は、相応な競争あり) 		
市民委員評価 (7名)	○	△	×
※未評価11項目	5	11	1
コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・事業コストの再度の精査の必要性はどこにあるか不明。 ・成果実績がないのは説明責任不足。 ・成果目標の設定が難しいし、数値化できるかも疑問がある。 ・現状でいき、今後は増減していくべき。コストは、常に見直し増減。まとめのデータをもち、よく把握している。 		

(3) 有効性			
専門委員評価 (3名)	○	△	×
※未評価1項目	1	5	5
コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・目標値が設定できないということは、指標そのものの設定が間違っている可能性があると感じました。 ・ニーズの把握やCS調査が充分ではなく目標や達成評価が不十分。 		
市民委員評価 (7名)	○	△	×
※未評価11項目	4	11	2
コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・目標値・成果目標がない。評価・判定は客観性に欠ける。 ・指標の設定の仕方により目標値を持ったものとし、それに対する達成度を把握することにより不足するサービスなどの方法等を検討する必要があるのでは。 ・まとめのデータをもち、よく把握している。活動実績、利用者数など把握して確実にだすべき。 		

2. 改善・見直し意見

専門委員	<ul style="list-style-type: none"> ・目指すべき姿としての「目的」を「社会参加」に設定されている点は高く評価できると感じました。もう一步具体的に落とし込むことで、さらに市民理解につながると思われます。 ・議論の中でご担当者が説明された、「社会参加」→「外出の機会を持ってもらうこと」、→「月曜日から金曜日まで毎日外に出ること」というものがありましたが、市民の皆様に具体的にイメージしていただける、「最終的な成果指標」につながる大きなヒントであったと感じました。 ・一方で、「社会参加」という面での、「現状」の把握、分析にやや課題があると感じました。「目指すべき姿(目的)」と「現状」を比べることで、何が足りていないのかを考えるきっかけになり、「社会参加」という視点での問題を探すうえで大きなヒントになると思います。月曜日から金曜日まで毎日外に出られない対象者がどれくらいいるのか、その原因は何か、という分析をすることで、その原因に対応できる「対策」が導き出されるものと思慮します。現在実施しているそれぞれの事業が、その原因に対応できる対策になっているかを考える上でもヒントになると思います。 ・社会的に立場の弱い方(障がい者)への施設であり、全体的な必要性は疑う余地はないが、それ故に国から言われるメニュー通りになりがちなので、自治体で変えられる領域でどのように地域のニー
------	---

	<p>ズに合った施策としていくかが問われる。(全体的にデータ不足。ニーズが把握できているかが分からない。障がい者のご家族から聞いてみては?)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記の状況の中で、任意事業や補助対象外事業がそれなりにある。それ自体は悪いことではないが、市としての方針や考え方がなければいけないのではないか。最終ゴールの社会参加へ本気でどうつなげるか一考を! ・そもそも相談件数が多いということは、よいことか(内容によるのではないか)。 <p>・まずは目標をもって臨んで頂きたい。市としてどうしたいかが「社会参加を促し」「家族の負担低減をもたらす」のであれば、その目的を実現するための具体的な目標はどんなことなのか。現在の事業内容は当事者の個別の顕在化したニーズに予算の範囲内で対応しているだけの様に見受けられる。社会参加できていない原因を積極的に探り、ぜひ社会参加に繋がるような事業を展開して頂きたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉サービスの充実を図るだけが課題でしょうか? 「福祉サービスが充実した方がいい」とはすべての市民が言うと思うが、限られたリソースで何をするのか、何をしないのかをシビアに考えられるのは担当課をはじめとする市職員だけではないか。「自立した生活を営む」ための福祉サービスを明確に定義して頂きたい。
<p>市民委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者が自立するための支援に力を入れていただきたい。 ・各活動実績の指標(管理特性)の設定をする場合本事業の目的を明確にしそれを達成するために何が必要か優先順位をつけ重点項目をもう少し絞り込みその中であるべき目標(活動目標・成果目標)を数値化できるものに作ることで客観的評価が可能となりうる。 ・障がい者の社会・仕事参加は本来給料の額よりも活き活きと働ける職場、やりがいをさらに改善することが必要かと思う。 ・社会福祉協議会と市の福祉課がどのように連携しているのかもっとわかりやすく提案して欲しい。 ・社会参加の為、就労・居住支援の場所を市内に検討して欲しい。 ・相談に対する内容等の満足度のアンケート分析→事業。 ・この事業により身近な障がい者が自信を持って生活している姿に接し、うれしく思っています。小学生のころから接していた人なのでその思いが強いです。この事業は改善を加えながら力強く推進して欲しいです。 ・目的の中で「社会参加」の言葉に対して具体的なもの、内容を出して把握しておく。

事業番号

1班-③

事業名

農業廃棄物処理事業

1. 評価結果

(1) 必要性			
専門委員評価 (3名)	○	△	×
	0	8	1
コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・農家支援の側面が強いが、それが公共性の観点から目的及び手段としてふさわしいかどうかは疑問。 ・政策目的を達成するための手段として適切でない。環境保全よりも経済支援の目的が強い。 ・農業者が市民全体に占める割合は8.8%ですが、山梨市の産業構造を考えると必要性は高いと思います。ただし、JA フルーツ山梨との役割分担を再確認してください。 		
市民委員評価 (6名)	○	△	×
※未評価1項目	6	10	1
コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化するなかでも環境保全のため予算は是非欲しい事業。 ・環境課との連携が必要。 ・農業者の環境保全意識の向上の徹底は継続的に啓蒙していくことが必要である。 		
(2) 効率性			
専門委員評価 (3名)	○	△	×
	5	6	1
コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・コスト低減の努力は伺えるが、そもそもの受益者負担のあり方を考え直すべき。 ・環境保全も目的を達成するためには受益者負担を高めるべき。 ・農業用プラスチックの処理費用については、概ね効率的と思いますが、排出者（農業者）の手数料の有無については今後検討する必要があると思います。 		
市民委員評価 (6名)	○	△	×
※未評価2項目	4	16	2
コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・競争見積もりをしているのか？ ・一発で処理できるもの(キャップ等)は通常の廃棄ゴミ処理をして市のコスト負担を軽減できる可能性もある。 		

(3) 有効性			
専門委員評価 (3名)	○	△	×
	1	10	1
コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・何を成果として捉えるのか認識不足。 ・成果実績が適切に把握・測定されていない。 ・「環境保全」の視点か、それとも「農業者」の視点か、により成果目標の設定が異なると思います。その際、この事業をやめると誰が困るのか、市民・農業者のいずれかを想定しながら検討するとよいと思います。 		
市民委員評価 (6名)	○	△	×
※未評価3項目	4	13	4
コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・他者次第。 ・受益者(農業者)負担方法での合理的な方法を更に検討することが必要と思う。 ・ほかの関連事業費と整合していく検討の余地もあると思う。 		

2. 改善・見直し意見

専門委員	<ul style="list-style-type: none"> ・農家支援なのか、それとも環境保全なのか、位置づけを明確にして事業を再構築すべき。 ・果樹振興という大きな政策目的を達成するための手段として農業廃棄物処理事業を位置づけたうえで、その効果を検証できるような成果指標を設定すべきである。本事業は環境保全、農業支援のどちらであるのか曖昧。環境保全を重視するのであれば、農業用廃プラスチック、農薬空き容器をそもそも排出しないような取組みを支援するとともに、使用量を減らすために農家の自己負担を増やすべきである（不法投棄対策と併せて）。 ・上記にも記載しましたが、対象者の設定により、成果指標が異なります。その際の成果指標の設定が、現在の環境保全への参加意識率の向上なのか、それとも農業者の件数または出荷額などが成果になるものと思います。
市民委員	<ul style="list-style-type: none"> ・廃プラ、農薬空瓶処理費用を市が負担するのは無理がある。 ・農業資材を販売しているところにも負担させてもよいと思う。 ・(高齢化で)廃止されるビニールハウス等が少なくなると予想されるので補助金の見直しも必要かと思う。

- ・ 目的を測る指数に工夫の余地があるのではないか。
 - ・ 受益者負担に改善の余地があるのではないか。処理センターに持ち込めば一袋 500 円の費用がかかるはずなので個人の負担もありうるのでは。また、農業用プラスチックや農薬の販路は J A 以外にもあるのでもし回収するのが J A 販売分限定でないのであれば J A のみ負担するのもよくないのではないか。
 - ・ 目的は環境保全だが、実態は農家支援になっている印象を受ける。
-
- ・ 廃棄物に関する農業従事者の意識のさらなる向上が必要。
 - ・ 廃棄物を減らすための新技術／新材料(自然にかえる材質、高耐久／耐候性のある材質の調査等)の研究と導入方策検討。
 - ・ 農業従事者のしりぬぐいをしているだけではだめ。
 - ・ 無農薬作物をセールスポイントにすることで農家にもメリットがある。
 - ・ (一般共通)成果の指標が未達時の分析と次の施策立案反映がされていない。
-
- ・ 活動・成果目標の設定に関しては①本来目的はなにかを共有する(農業の振興と共に環境保全の両立一減農薬農業の擁護) →②管理指標の決定。
(a.環境配慮の農業経営の推進 b.農業廃棄物の処理の合理化等) ③目標値設定(※数値化可能な目標を検討する) そのうえで PDCA を回すことも必要と思う。

事業番号

2班-③

事業名

健康増進事業

1. 評価結果

(1) 必要性			
専門委員評価 (3名)	○	△	×
	2	7	0
コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・企業健保、国保等分担。 ・状況分析（現状分析）弱い。 ・当事者に必要だろうという合意は形成できそうなメニューだが、市民からそれ以上の必然を感じてもらえるかどうか疑わしい。 		
市民委員評価 (5名)	○	△	×
※未評価6項目	8	1	0
コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・民間事業者を視野に入れた場合、個人情報などの問題が難しいのでは。 ・各事業3つにわけ、優先度を明確にしてほしい。 		
(2) 効率性			
専門委員評価 (3名)	○	△	×
	2	9	1
コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・企業健保、国保等分担と連携でより安く効果的に！ ・医師会折衝は、しっかりと行い、価格設定などを行う。 ・予防接種費用の検討がきちんとされているようで安心した。 ・人間ドックの助成額をどのように見直したか伺いそびれたが、価格検討はしてもらっていると判断しています。 		
市民委員評価 (5名)	○	△	×
※未評価4項目	6	6	0
コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・現状に応じて、見直しを増減する(予算コスト)。 ・健診の受診率が上がると市の負担がどのくらいになるのか。それと、病気を防いだ場合、保険の部分でどれくらい負担が減るのか具体的な提示が欲しい。 		

(3) 有効性			
専門委員評価 (3名)	○	△	×
	0	6	6
コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標を受診「率」で表すことで、他自治体との比較や厚生労働省などが示している基準に達しているかなどの分析が可能になると思われます。 ・データがあるけど使っていない状況（活かす検討を）。 ・ニーズと現状の達成度分析。 ・健診結果の活用も検討を！ 		
市民委員評価 (5名)	○	△	×
※未評価8項目	6	6	0
コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・データをよく把握している。 ・活動実績、利用者数だと△。 ・成果物や施設は、ほぼ活用されている。 ・自治体等との役割分担はされてると思う。しかし、常に再確認はしていくべき。 		

2. 改善・見直し意見

専門委員	<ul style="list-style-type: none"> ・妊婦訪問から産前産後サポートまでの一連の事業を見ると、非常に充実したメニューをもっていると感じます。また、健康カレンダーについても、非常にわかりやすく作りこまれており、市民の皆様に対する情報提供に力を入れていらっしゃる事が理解できます。残念だったのは、議論の中で、胃がん検診の受診率などのデータが示されなかった点です。「現状」の把握・分析について、やや課題があると感じました。 ・おそらく、現場では国保データヘルス計画や各種がん検診等のデータはお持ちであると推測しますが、それを、市民の皆様によりわかりやすく説明できる体制をつくることで、目的に掲げていらっしゃる「市民各自の健康に対する意識啓発」につながるものと考えます。 ・企業健保、国民健保との分担連携による市民全体の効率的な受診率の向上がポイントではないか。 ・また、地域特性（罹患率、死亡率など）の分析による施策推奨のメリハリが必要。最終的なゴールの設定は？ ・当地は医療機関が充実しているので、その利点を効かした推進策があるべき。また、そのような環境であるがゆえ、利用料折衝など
------	--

	<p>はしっかりと行うべき。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母子保健事業は秀逸と思われる。 ・健診カレンダーはわかりやすい（が、使われているのか？）。 <p>・「健康な人づくり」イコール検診や予防接種の補助なのでしょうか？本件に限った話ではないが、大きな目的（というか、企業でいうところのビジョン的なもの）に対し適切な目標を設定せずに個別具体的な取り組み（本件でいえば健診や予防接種など）につながってしまうため、何人受診した的「アウトプット」しか出てこないように推察されました。</p> <p>・なぜ行政が健康づくりを推進するのか、市民が気をつければよいことをなぜ行政が敢えていろいろ啓蒙活動するのか、というももとの部分までいちど立ち返ってみたほうがよいように感じます。レビュー内でその部分をどうお考えかお伺いすることができませんでしたが、予算が限られてくる中、精査が必要になってくる部分だと思います。本事業の必要性を否定するわけではなく、受診数を越えたアウトカム設定のため、いちど検討していただきたいと考えます。</p>
<p>市民委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・別事業 母子健康事業、乳幼児健診、産前産後サポート事業については、お母さんとの横のつながり、相談などよくできていると思います。 ・健診の重要性は疑うところはないが、市民全体でどのくらい受診しているかあまりに曖昧だと感じた。（数値だけがすべてだとは思わないが効率性の評価等には必要だと感じる）（健診の有効性を裏付けて受診率を上げることに役立つと思う） ・個人的には健診の際の対応はとても充実していると思う。 ・妊娠から出産、乳児健診、保育、小中までのつながりは素晴らしい。この充実ぶりをもっと宣伝したほうがよい！ホームページとかに大々的に紹介しましょう！ ・受診数をもとに受診率の目標値設定し、達成率の向上(国)。 ・事業実施毎に市民全体への呼びかけがしっかりできていると思っています。その健診を受ける、受けないかは市民個人の意識に左右されてくるので事業推進に対する難しさがわかります。 ・データを統計的に把握し、健診やその後の精密検査受診に活用することも必要と思われる。

事業番号

1班-④

事業名

橋梁長寿命化修繕事業

1. 評価結果

(1) 必要性			
専門委員評価 (3名)	○	△	×
	6	3	0
コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・市が実施しなくてはいけないもの。 ・市が実施する必要性の高い事業である。 ・橋梁だけでなく、道路、上水道・下水道などのインフラや、ハコモノの公共施設の維持管理・修繕の必要性は高いと思います。しかしながら、その前提は、すべてを維持できる場合であるため、今後の方向性を検討する必要があると思います。 		
市民委員評価 (2名)	○	△	×
	4	2	0
コメント	-		
(2) 効率性			
専門委員評価 (3名)	○	△	×
	4	8	0
コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・計画の有効性や持続可能性、実現性をもう一度検討した上で、さらに選択と集中を進めるべきではないか。 ・多額の費用がかかるため計画どおりの進捗が望めるのか疑問。 ・事業費については、他の事業と比較すると高額ですが、必要なものであると思います。ただし、上記に記載しているように、橋梁を含め、維持できるもの・維持すべきものを検討し、必要なインフラ・ハコモノに資源を投下しなくては、どの施設も朽ちていくことが懸念されます。 		
市民委員評価 (2名)	○	△	×
※未評価2項目	3	3	0
コメント	・集中投資も。		

(3) 有効性			
専門委員評価 (3名)	○	△	×
	0	9	3
コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・成果をしっかりと捉える必要がある。 ・成果実績が適切に把握・測定されていない。 ・現在は、成果指標が空白ですが、目的が「安全な交通環境の維持」の場合、その目的に即した指標を設定する必要があると思います。 		
市民委員評価 (2名)	○	△	×
※未評価2項目	2	4	0
コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・修繕のグレード分けでコストダウンを。 		

2. 改善・見直し意見

専門委員	<ul style="list-style-type: none"> ・橋梁のみならず、他のインフラを含めた総合的な計画のもとで優先順位を明らかにし、真に必要なものに集中的に資源を投下していくという考え方をよりいっそう徹底していくべき。 ・378橋のうち建設後50年以上経過した橋が20年後には83%に達する中で、100年計画は持続可能な計画か疑問。事業費（予防保全型）144億円の根拠と、緊急度区分ごとの橋の情報を公開して、専門家が広く検証できる状況をつくるべき。 ・下水道、道路、学校、公共施設等の改修・建替費用を合わせた上での100年計画を策定し、市の都市計画、まちづくり全体の中での優先順位の位置づけを明確にすべき。 ・インフラのみならず、ハコモノとセットで考える必要があります。また、庁内での連携・情報共有や、市民の方との共有、特に若い世代との話し合いが必要です。庁内や市民への情報共有として、龍ヶ崎市ではマンガを作成しました。これが山梨市の取組が参考になれば幸いです。 http://www.city.ryugasaki.ibaraki.jp/procedure/2015040200073/
市民委員	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震老朽化対策は橋だけではない。(建屋、水道、公園...) ・人命・生活に対し優先的に進めて欲しい。 ・予算の市民へのオープン化して欲しい。 ・国や県からの予算はあるのか(山梨市へ配分されるお金)。

事業番号

2班-④

事業名

地域子育て支援事業

1. 評価結果

(1) 必要性			
専門委員評価 (3名)	○	△	×
	4	4	1
コメント	<p>・不安を除くことが目的で支援をするのはその手段だと思われます。更に、もう一步踏み込んで、不安を除くことで市民が得られる「理想的な姿」を強く出すことも考えられると思います。</p> <p>・一見、固定人員の時間に見合う相談件数だが、これをもって是とすべきか。</p> <p>・当事者にとって必要不可欠なサポート事業になるよう練り上げられていると感じました。</p>		
市民委員評価 (3名)	○	△	×
※未評価3項目	8	0	1
コメント	—		
(2) 効率性			
専門委員評価 (3名)	○	△	×
※未評価2項目	0	8	2
コメント	<p>・単に相談件数とコストを比較すると1件あたりのコストが高めであるような印象を受けました。相談から解決に至るまでの一連の活動内容をしっかり示すことも市民理解のためには必要かと思いません。</p> <p>・目標は子育てをもっと前へ上へ掲げ、打ち出す方がよい(“売り”になりうる)。</p> <p>・出生率の上昇まで担うのであれば、日々の活動は適切な担い手に引き継ぐことも考えることも必要かもしれないと感じます。</p>		
市民委員評価 (3名)	○	△	×
	5	6	1
コメント	—		

(3) 有効性			
専門委員評価 (3名)	○	△	×
	1	1 1	0
コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・不安の解消につながったということが市民の皆様理解できる指標があるとより良いと思います。 ・費用の使途としての妥当性チェックはあれど、ニーズを満たすように工夫しているかが疑問。 		
市民委員評価 (3名)	○	△	×
	5	6	1
コメント	-		

2. 改善・見直し意見

専門委員	<ul style="list-style-type: none"> ・議論の中で、目指すべき姿としての「目的」は子育ての不安を除くこと、だと認識しました。シートの目的に掲げていらっしゃる、側面的な支援や支援の環境づくりは、目的というよりむしろ、手段であると思いますので、目的と手段をしっかりと整理することで、市民の皆様にとってわかりやすい事業説明につながるものと思います。 ・また、目指すべき姿に対して、今、どこにいるのかを示す「現状」の把握と分析についてのご説明がやや弱かったと感じました。相談内容やアンケートなどの中に、それらのヒントが潜んでいると考えられます。目指すべき姿に対して、現状をしっかりと把握・分析することで、何が足りていないのか理解するきっかけになると思われます。 ・ご説明の中では、相談内容などをしっかりと分類されているのが理解できましたので、その中に潜む、問題点とその原因について常に考えるという視点も必要かと感じました。 ・また、事業の効果については、おそらく、現場の肌感覚としては、効果が出ているとの感触をお持ちではないかと予想されます。この「個人の肌感覚」を、専門職でない人でも理解できる「具体的な形」で表せるようにすることは、課題の共有にもつながり、また、市民の皆様にとってもわかりやすい成果につながると思います。ぜひ、チャレンジしていただきたいと思います。 ・全般的な印象として、山梨市の子育て環境は、妊婦訪問に始まり、かなり充実しているという印象を受けました。データや現場の状況などを有効に活用して、説得力のある事業説明に努めることで、充
------	--

	<p>実した子育て支援が広域的な PR につながり、移住や定住の誘導につながると思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・館とセットになっているが、移動サービス化などの必要はないか。→いくらか地域の広がりをもつ、公立保育園での相談などの分析をしてはどうか？ ・相談件数の数え方等は妥当か。また、そもそも相談件数が多いことはよいことではない。(内容や状況による) ・子ども環境整備をもっと市として前へ打ち出すべき。社会的移動増なども目標とすべきでは？ <p>「よくできています」から「山梨市に欠かせない事業」へ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熊井委員のコメントにもあったように、担当部局の工夫と努力が感じられる取り組みだと考えます。きっと、当事者の市民にとっては頼りになる事業なのだと思います。 ・ですが、ほかの事業同様、具体的かつ適切な目標を設定しなければ、ほんとうに必要な事業か検討することができません。利用者数、相談件数だけでなく、上位目標やビジョンに対し何ができていて何が不足しているのかをきちんと示すのもみなさんの役割だと思います。 ・山梨市の独自性と近隣都市に比べての優位性を示しうる高いレベルで取り組まれていると感じました。だからこそ、市民の方々と協働し、より高みを目指していただけたらうれしいです。
<p>市民委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・目的達成の検証が相談件数などだけで具体的にどのように達成できて成果があがっているのかわかりづらい。 ・市に相談する時点で何らかの問題を抱えていると思う。家族や地域に相談できない人なのかもしれない。 ・なぜ子育てを支援するのか。本質を突いたところからの事業を願いたい。 ・広報に載っています、ホームページをみてください、よりも周知させる手はあると思うので思いやりを。

事業番号

1班-⑤

事業名

小学校英語教育推進事業

1. 評価結果

(1) 必要性			
専門委員評価 (3名)	○	△	×
	3	6	0
コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性は高く、山梨市ならではの側面も見られる。委託については改めて検討すべき。 ・英語教育推進の上位目的が何か明らかになっていない。 ・グローバル化の進展や国の動向を勘案すると、必要性は高いと思われれます。民間委託は以前実施していたとのことですが、現在と当時とは異なる部分もあるかもしれませんので、再度確認、検討をしてください。 		
市民委員評価 (4名)	○	△	×
※未評価1項目	6	2	3
コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・独創性のある教育を。 		
(2) 効率性			
専門委員評価 (3名)	○	△	×
	2	10	0
コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・他市の実績等からすると、低コストで実施できているとは言えない。比較検証の上で、他の実施方法を検討すべき。 ・ALT、JTE の効率的な活用策をさらに検証すべき。 ・事業費については、今後、増加することが見込まれるため、再度、検証をお願いします。また、気になった点としては、1校あたり140時間の英語教育を実施しており、$2,600 \text{ 万円} \div 8 \text{ 校} \div 140 \text{ 時間} = 23,214 \text{ 円}$となります。龍ヶ崎市は18,440円のため、コスト高が気になります(地域間の違いの場合もあります)。 		
市民委員評価 (4名)	○	△	×
※未評価1項目	4	7	4
コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・市内在住外国人の協力を得る。 		
(3) 有効性			
専門委員評価 (3名)	○	△	×
	3	9	0
コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・定着や個別指導に生かせる評価軸が定まっていない。 ・政策目的の達成状況を把握するための適切な指標を設定すべき。 ・小学校6年間の英語教育の成果は、全国学力・学習状況調査のみならず、学校評価も活用し、新たな指標を設定してください。学年 		

	ごとの違いなども把握することで、今後の英語教育を進める際の参考になると思います。		
市民委員評価（4名）	○	△	×
※未評価3項目	0	7	6
コメント	・市内全体の英語力の向上は？		

2. 改善・見直し意見

専門委員	<p>・体系的な評価軸を設計し、その達成状況を検証し、その結果をカリキュラムや個別の学習指導に生かすという仕組みを構築すべき。今のままでは、やっているだけに陥る可能性あり。より教育効果を高めコスト削減を図るという観点で、委託についても再検討を。</p> <p>・英語教育は国や他自治体でも推進しているところ。市としてなぜ英語教育を重点にしているのか、その目的は何か、英語を学んでどういう人材になってほしいのかを明らかにした上で、成果指標を設定すべき。</p> <p>・小学校での英語の授業数が増えていくとますます中学校との連携が重要となる。また、単に英語の授業数を増やすのではなく、他の授業や学校教育全体の中で英語教育を推進する体制をめざすべき。</p> <p>・市の他の事業担当課と連携し、小中学校の英語教育を推進していくべき。</p> <p>・ALTの増員を前提にするのではなく、現在の時間割、スケジュールの中で対応が可能か否かの検証をしてください。また、山梨市の率先的な取組の成果がより現れるよう、義務教育9年間を踏まえた、英語教育のカリキュラムの構築をお願いします。</p>
市民委員	<p>・ALTの評価をしっかりとし、学年別(小・中)にあった方に指導してもらえたらよい。</p> <p>・英語を好きになることはとても大切だが、まず日本語(きれいな言葉・日本語)を使えることが大切なことではないかと思う。他(外国)に目をむける、興味を持つことも大切だが、まずは自分たちの住む山梨市を知り好きになって欲しい。</p> <p>・市の職員たるものが「金髪で青い眼」のALTを希望するなど、このグローバル社会にそぐわない人権を無視した発言。</p> <p>・「英語を楽しく感じるため」だけにこんな予算を組むのは妥当ではない。国より先に始めたのだから、「国が言っている」は通用しない。</p>

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">・もっとはっきりとした数字で成果を聞きたかった。 |
| <ul style="list-style-type: none">・学校教育の範疇だけの英語教育だけではだめ。・日常的にネイティブの英語に触れる場を作る。(ALTに土日、公民館に場を作る)・成果指標を具体的に(例：TOEIC点数、英検取得者等)。 |

事業番号	2班-⑤	事業名	収納率向上対策事業
------	------	-----	-----------

1. 評価結果

(1) 必要性			
専門委員評価 (3名)	○	△	×
	8	1	0
コメント	・目的の設定は適切だと考えます。		
市民委員評価 (3名)	○	△	×
※未評価3項目	9	0	0
コメント	-		
(2) 効率性			
専門委員評価 (3名)	○	△	×
※未評価3項目	3	6	0
コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・直営ゆえの効率性向上に取り組む必要が厳しいながらある。 ・山梨県全域で徴収率がいまひとつな中では健闘されています。事業の性質上、だからOKとはいえませんが・・・。 		
市民委員評価 (3名)	○	△	×
※未評価3項目	9	0	0
コメント	・評価が難しい。		
(3) 有効性			
専門委員評価 (3名)	○	△	×
	4	6	2
コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・難しいとは思いますが、やはり、何らかの形で目標設定があると、市民の皆様の理解の一助になると思います。 ・滞納に絞って目標を立てるなども一考。 		
市民委員評価 (3名)	○	△	×
※未評価5項目	6	2	4
コメント	-		

2. 改善・見直し意見

<p>専門委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・目的設定で掲げている、財源確保と公平性確保は適切だと感じました。また、一定の成果を上げている事業だと感じます。 ・ただ、目標値が明確に設定されていない点がやや残念といえば残念です。やはり究極的には繰越滞納額を減らしていくことを目指すことになると思いますので、滞納繰越額の経年変化を示しながら、できれば、目標を設定するのが、ご担当が頑張っていられっしゃるといふ面も含め、市民理解につながると思います。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・目標については、隘路（あいろ）案件、難案件に絞り、あえて立てることも一案。 ・こういった機会も含めて、お堅い、分かりにくい問題の所在、大変さを市民に知ってもらうことは有益かつ重要。市の取り組み、県の状況、取り組みなどと併せ状況を伝えるべき。 <hr/> <p>「がんばっています」からベストプラクティスへ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・徴収を頑張っても現年と繰越がいつまでこいになってしまう・・・という話はいろんな自治体で伺います。その解決法としてよそで聞いた話ですが、3年くらい徴収に人的資源を注いで、回収不能な額を確定させてしまう？ということができるとのこと。ある程度の区切りをつけるためにも、いちど手をつくしてみるのもよいのではないのでしょうか。 ・山梨県内が全般的に徴収率が低いという話はよく指摘を受けますが、県内をベンチマークにするのではなく、全国と同規模自治体の好事例となるような取り組みを期待します。 <p>課長さんがスタッフのがんばりを評価されていることが強く伝わってきて、心が温まりました。</p>
<p>市民委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・固定資産税はなぜ納税者が少ないかを見直して欲しい。 ・滞納が繰り越されているのは前年の職務怠慢である。生ぬるいことを言っていないでしっかり仕事する。自分の給料もそこから出ていると思えばよいと思う。 ・国民の義務である納税を果たせないのであれば強固な姿勢でのぞむべき。権利の停止も止むなし。 ・差押えた物品を官公庁オークションで売却して多少なりとも足しにする。 ・税収がなければ行政も回らないと思う。 ・税金を徴収するために税金を使って余計な出費だと思う。滞納者への通信費や人件費など。

- ・目標値の設定について前年度を上回るとの説明があったが、やはり数値にした方が次の目標に向かって対策を講じるためにはよいと思う。
- ・滞納分の収納の大切さがよくわかりました。納めない人、納めたくても様々な事情により期限的に納めることが出来ない人、それぞれの対応にご苦労いただいていると思います。徴収スキルの向上を図りながら県との連携を強化し引き続き頑張りたいと思います。

事業番号	1班-⑥	事業名	文化財管理活用事業
------	------	-----	-----------

1. 評価結果

(1) 必要性			
専門委員評価 (3名)	○	△	×
	3	6	0
コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・民間の役割分担と責任を果たしている範囲については再検討すべき。 ・市が実施する必要性の高い事業である。 ・文化財の保存は必要であると思いますが、活用することが目的にならないように留意してください。活用は手法であり、何のために活用するのか、その目的設定が肝要です。 		
市民委員評価 (5名)	○	△	×
※未評価1項目	9	5	0
コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・市民ボランティアの育成。 		
(2) 効率性			
専門委員評価 (3名)	○	△	×
	3	9	0
コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・コストが低いために評価は妥当と見なされるが、効果との関係における望ましい水準とは別物。 ・個人や神社が所有している文化財が有効に活用されていない。 ・現在のところ、コストは低い為、効率性の面からは妥当な水準と思います。しかしながら、今後、文化財の保存と活用を整理した後、再度、検証をお願いします。 		
市民委員評価 (5名)	○	△	×
※未評価3項目	1 2	5	0
コメント	—		
(3) 有効性			
専門委員評価 (3名)	○	△	×
	0	1 0	2
コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・保護・保全は当然のこととしても、活用されてこそ文化財。その成果評価は不十分。 ・成果実績が適切に把握・測定されていない。 ・現在のところ、文化財の活用について、有効性の判断は難しいと思います。今後、文化財の活用について、市民の方などが観光ボランティアなどで活躍する施策展開が出来れば、その実績等が一つの成果指標になるものと思います。 		

市民委員評価（5名）	○	△	×
※未評価7項目	3	10	0
コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・指標の道正化。 ・イベント参加者の重点的な向上(例：小中学生比率とか)。 		

2. 改善・見直し意見

専門委員	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の認知度、接触機会、PR 活用など、さまざまな観点からの文化財活用を図るとともに成果指標を設定すべき。宝の持ち腐れや立てただけの計画にならないように。 ・個人や神社が所有している文化財が有効に活用されていない。市の他の担当課と連携し、文化財をストーリー性を持たせて再編集することにより、市民に地域の貴重な地域資源として再認識してもらい、様々な事業やイベントで有効に活用していくべき。 ・文化財の維持管理・活用を通して、市民が自分たちの地域に誇りと愛着を持てるように、市民と協働でさらに進めるべき。また、小中学校教育にも活用すべき。 ・文化財を何のために活用するのか、目的の設定について検討お願いします。また、今後、歴史文化基本構想の策定に取り組むとのことですが、計画を作って終わりにならないよう、計画策定後のアクションが肝要ですので、それを踏まえた計画策定をお願いします。
市民委員	<ul style="list-style-type: none"> ・市の文化財のリスト(どこに何があり、見れるかを公開しているか)の作成し、市役所内や公民館(街の駅)に文化財についての解説や資料(写真)を置いてほしい。 ・文化財活用事業をもっと増やしてほしい。 ・山梨市には民俗資料館がない。近隣市町村との差は僅かかもしれないが、長い後世の市民のために各時代の生活用品、文化財を蓄積しておくべきと考える。過去に保存を願い出たとき、市に場所も維持費もないと断られ、残念ながら処分するしかなかった。貧困な市だとがっかりした。長期計画で資料館が建設されるよう切望する。 ・観光課と連携し文化財ツアープラス桃・ぶどう狩りを企画。高速バス+市内めぐり。対象：市民、市外。 ・学校教育の中で各文化財を教育できないか。紹介(企業コマーシャル入り)DVDの作成。 ・文化財だけでなく伝統行事／文化の保存。地域+市の協力(無形文化財、郷土料理、織物、特産品)。 ・山梨CATVの協力(文化財探索番組)、ポケモンGOの利用。

事業番号

2班-⑥

事業名

広聴広報活動推進事業

1. 評価結果

(1) 必要性			
専門委員評価 (3名)	○	△	×
	2	6	1
コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・目的設定をもう一步踏み込んで、具体的なイメージとして表す工夫をすることで、更にクオリティの高い広報につながると思います。 ・必ずしも、時折のトピックみたいなものが必須という時代でもない。 		
市民委員評価 (3名)	○	△	×
※未評価3項目	5	1	0
コメント	—		
(2) 効率性			
専門委員評価 (3名)	○	△	×
	3	9	0
コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・CATVは全体で一度どうすべきか議論すべき。 ・直営 (品質は良いが、¥は?)。 ・広報誌を拝見するまでは「何も自前で版下を作らなくても・・・」と思っておりましたが、県内の事業者レベルを考えると、へたに外注するより効率がよいだらうなと感じました。すばらしい! 		
市民委員評価 (3名)	○	△	×
※未評価2項目	8	2	0
コメント	—		
(3) 有効性			
専門委員評価 (3名)	○	△	×
	0	1 2	0
コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・他課も含めて何をどの媒体でどれだけというところの統制を考えたほうがよい。 ・ボリューム過多により、きちんと市民に届けたい情報が届き (広報)、市民から情報を得られているか (広聴) という点を把握するために、きちんと目標を立てて適切なレベルを設定していくべきでは。 		
市民委員評価 (3名)	○	△	×
※未評価2項目	6	3	1
コメント	—		

2. 改善・見直し意見

<p>専門委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・外部委託ではなく、ご担当がデザイン、レイアウト、コピーライトを手掛けていらっしゃるということですが、非常にクオリティの高い広報だと思います。他の事業ですが健康増進事業などで見させていただいた市民向け告知媒体などもデザイン性が高いと感じたのは、広報作成のノウハウが、他の部署においても生かされているということも感じました。 ・目指すべき姿としての「目的」に、時代に対応した的確な情報提供、とありますが、もう一步踏み込んで、時代に対応した的確な情報提供とは何か、もう少し具体的に考えてみてはどうかと思います。市民が必要としている情報とは何かにとどり着くヒントが見えるような気がします。 ・なお、ご担当としても課題と認識されている、ネットを活用した情報発信のうち、Facebook、ツイッターについては、ゼロベースで考えても良いかなと感じました。 ・いずれにしても、議論の中でも出たように、いかに市民が必要としている「内容」を把握し、情報として発信できるか、が今後の課題であると思われます。 頑張ってください。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・広報誌そのものは非常にレベルが高い。ただし、タウン誌などもある中、今後情報量が増える、税収が減るなどの事態に対しては直営人件費が高いことも踏まえ、この先、例えば催事に絞るなどといった検討も必要。 ・ITものは相当の分析を行うべき。 ・全体に市民のニーズ、満足度のモニタリングが欠如している。広聴として統一的に行ってはどうか。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・「広聴」をよりしっかりと・・・ <p>広報誌はすばらしいと思いました。ジョブローテーションもきちんとされているとのこと、庁内で広報スキルの高いスタッフが増えるのは良いことだと思います。ただ、それに比べて広聴はふた世代前くらいのレベル（市長を囲む会）でとどまってしまっているのがとても残念です。ほかの事業でも、よくやっていると思うけど市民の声を聞いているのかな？と思うところが多々ありましたが、本事業で全体的に広聴スキルが不足しているのか？と感じられてしまったのは残念です。高くアンテナを張り、より積極的な広聴を目指していただけるとよいと思います。</p>
-------------	---

	<ul style="list-style-type: none"> ・広報スキルもブラッシュアップを！ <p>市民のかたからご意見ありましたが、広報誌の文字数が若干多いように感じます。せつかくスキルがあるのですから、より少ない量で伝えたいことを言い切る工夫もぜひお願いします。また、地域の情報誌が少ないとはいえ、すべて市で負う必要はありません。</p>
市民委員	<p>広報誌について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間のタウン誌との差別化をしない用の整理と選抜が必要。 ・ツイッター・フェイスブックの更新については、情報を随時更新し市民から気になる存在になるとよいと思う。 ・市民の意見として、マンネリ化から脱して特集を組んでほしいと希望があったが検討していただきたい。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・広報を実際どのくらいの人を読んでいるのか知りたい。 ・市長への手紙は年間何通きていて、そこから事業になったものがあるのか。 ・時々フェイスブックページを見るが、あまり多くの人が見ていないのかなと思う。 ・ネットでの配信も便利で有効な手段ではあるが、使えない人たちに対する発信も考える必要がある。

事業番号	1班-⑦	事業名	観光宣伝事業
------	------	-----	--------

1. 評価結果

(1) 必要性			
専門委員評価 (3名)	○	△	×
	0	7	2
コメント	<ul style="list-style-type: none"> 山梨市における観光の位置づけと観光協会の役割が不明瞭。 まちづくり全体の中での観光政策の位置づけが明確でない。 何のために観光協会に補助金を支出するのか、再度、山梨市と観光協会の役割分担の検討をお願いします。 		
市民委員評価 (3名)	○	△	×
	7	2	0
コメント	<ul style="list-style-type: none"> ボランティアの育成、協働で。 		
(2) 効率性			
専門委員評価 (3名)	○	△	×
	0	7	5
コメント	<ul style="list-style-type: none"> 補助金の所管課が自ら交付団体事務局となり、日常経理と監査・監督を一体化しているのは極めて不適切。 観光協会の事務局を実質的に観光課職員が担っており、補助金の支出と受入団体が同一となっている。 補助金の性質上、補助内容の適否を判断するのが、観光課であると思います。このため、観光課が補助金を受け取り、自分で補助金の支出を行い、補助金の執行状況を検査しているのは、効率性の面からも効果が出にくいと思います。 		
市民委員評価 (3名)	○	△	×
※未評価7項目	1	10	1
コメント	<ul style="list-style-type: none"> アウトプット成果が不明。 もっと協働の活用を。 		
(3) 有効性			
専門委員評価 (3名)	○	△	×
	0	10	2
コメント	<ul style="list-style-type: none"> 成果が明確に描けていない 成果実績が適切に把握・測定されていない。 目的が「特産品の販路拡大」であるならば、成果指標の一つとして、特産品の売上数や金額があげられると思います。 		
市民委員評価 (3名)	○	△	×

※未評価1項目	1	9	1
コメント	・観光客の把握(難しいですが)市ホームページの閲覧数。		

2. 改善・見直し意見

<p>専門委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・そもそも市が観光施策を推進すべきかどうかというところから再検討すべき。補助金執行のあり方としては不適切なため、そのあり方は早急に見直すこと。 ・観光イベント及び観光宣伝事業がマンネリ化している印象。市のまちづくり全体の中での観光振興の目的と位置づけを明確し、目的達成のための効果的な観光宣伝事業に再編すべき。成果指標はイベント入込客数では測れない。観光振興によって具体的にもたらされた商業活性化などの指標を検討すべき。 ・他の市担当課から観光協会へ支出されている補助金の全体像と補助金額を精査し、本事業の目的に沿った補助金のあり方を精査すべき。 ・今回の議論では、支部ごとの状況について議論が出来ませんでした。各地域の実態に応じた施策展開や支援等を検討する必要があると思います。また、人の動きを把握するツールの一つとして、「地域経済分析システム (RESAS:リーサス)」の活用も検討してください。
<p>市民委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市観光協会のミッションがいまいち不明。役割と成果は何？ ・市民全員がおもてなしの心を持つ。市民が観光ガイド(教育、ツアー)する。協働で推進する。 ・観光集客の目玉づくりとPR(HPで発信)→強み、弱みの把握と対策実行。 ・観光PRのホームページ作り(毎月の行事をPR)。 ・山梨市保有の強みと観光をセット(市産婦人院、温泉、特産品、人間ドック・・・)。 ・努力していただける部分は多く見られた。 ・さらなる工夫が必要だと思われた。 ・成果指標、目的の確認。 ・SNSの有効利用。

事業番号	2班-⑦	事業名	ふるさと納税推進事業
------	------	-----	------------

1. 評価結果

(1) 必要性			
専門委員評価 (3名)	○	△	×
	2	7	0
コメント	・あまりブームに流されない(でも利用すべき)。		
市民委員評価 (5名)	○	△	×
※未評価6項目	7	2	0
コメント	-		
(2) 効率性			
専門委員評価 (3名)	○	△	×
※未評価2項目	5	5	0
コメント	・同封品、将来的な波及効果の最大化など工夫できる余地も大きい。		
市民委員評価 (5名)	○	△	×
※未評価8項目	8	4	0
コメント	-		
(3) 有効性			
専門委員評価 (3名)	○	△	×
※未評価2項目	0	8	2
コメント	<p>・愛着もってもらおうという目的に合致する対策と考えられるのは、体験型メニューの返礼ですが、ある程度の効果は理解できるものの、より一層の充実が課題だと思われます。</p> <p>・収支は明瞭なのであとはプラスアルファのモニタリング。そして、プラスアルファの拡大。</p> <p>・ふるさと納税してくれた方がどうなればよいのか、きちんと目標を設定したうえで、返礼品に目標達成につながるかどうかの仕掛けを入れていっていただきたい。</p>		
市民委員評価 (5名)	○	△	×
※未評価8項目	11	1	0
コメント	<p>・一定のPRはできていると思われるが納税者の関心が「もの」にとどまってしまうように、どこまでも山梨市がついてまわるような返礼方法の工夫が必要ではないか。一過性のものとならないようなアフターケアをつける。</p>		

2. 改善・見直し意見

<p>専門委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・返礼品を充実させたことで、寄付件数、金額ともに増加していることは評価できると思います。また、返礼品の中に「体験型メニュー」を加えていることは、単なる返礼品競争という面とは異なる取り組みであり、今後の可能性を強く感じるものだと思います。 目指すべき姿としての「目的」設定が、市の PR、観光振興、地域の活性化（産品振興）、市の魅力発信、市への愛着醸成など、かなり多岐にわたっていることで、かえって市民の皆様にはわかりづらくなっているのではないかと思います。 ・議論の中では、山梨市に愛着を持ってもらう、市の産品を広く普及するというようなものと理解しましたが、これらを主な目的として設定し、他を付随目的として整理する方が、指標も設定しやすく、市民の皆様にも、市ががんばっているという点を理解してもらいやすくなると思います。 ・なお、具体的な策はご提案できませんが、返礼品の産品としての正しい価値という点からは、単に、お得な返礼品という視点だけでなく、将来の産品価値の向上につなげる工夫も必要ではないかと思えます。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ブームに流されず、ブーム終了時で意味ある制度になるよう試行、検討してほしい。 ・一粒で二度おいしい「体験型」を大事にしていくべきではないか。また再訪などをモニタリングできる手段の工夫も制度や産品の中で仕掛けて欲しいところ。 ・財源的にプラス、注目事業でもあるので是非、他市と違う良いものへ。
	<ul style="list-style-type: none"> ・「山梨県山梨市」のプレゼンスをきっちり訴求できていますか？率直に言って、ああ山梨のどっかだな、という印象を持たれてしまう返礼品リストだと感じました。山梨県がもっている地域資源（桃・ぶどう・柿・さくらんぼ・温泉・森林）をすべて市内で備えているゆえの難しさですが、それでいいのでしょうか。牧丘のぶどう、加納岩の桃（がいまでも有効かわかりませんが）といった特性を歌うことだってできると思います。山梨市という地域をブランド化するためのひとつの PR 事業なのであれば、今後は返礼品ひとつをとっても、より尖った戦略を立てていくべきではないでしょうか。広く返礼品提供業者を集めるのではなく、ピーチ専科ヤマシタさんや hototo さんなど、エッジの効いた取り組みを進めてい

	<p>る事業者をうまく巻き込んでいければなお良いと思います。</p>
<p>市民委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 税務課や観光課との連携はどうなっているのか。 ・ 返礼品の笛吹市や甲州市との相違・差別化は図れるのか。峡東地域では似た内容になるのでは。 ・ 興味をもってもらい、知ってもらいことは全国各地の自治体で必死に行われている。その中でいかに抜き出るか。 ・ 事後の情報発信などその時だけではない交流をはかる。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・ 山梨市独自の特産品の商品の開発(峡東地区全体が果物であるため)。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・ ふるさと納税者から山梨に来てもらう人にまで高める。そして山梨市に住んでももらう人に。 ・ 特産品にどこの生産者か、どこで買えるかという次につながるPRをする。 ・ 桃を食べてもう一度食べたいときはどうするか連絡の取れる手段を考える。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特産品計画の研究充実に引き続き努め市の特産品をはじめとする市のPR、観光振興、地域の活性化をしてください。 ・ 制度のPRの工夫。 ・ 企業とのタイアップ研修。 ・ 来市者入り込みのための工夫をし、体験型の新企画。 ・ 山梨市を知っていただき、山梨市に特化した魅力を認知してもらえるような特産品の工夫。

事業レビューから見た問題と課題

1. 問題

(1) 目的が不明確

目的がはっきりしていない事業が散見され、以下のパターンが確認できた。

- ①何のためにその事業を行うのか、目的の深堀が足りない
- ②複数の異なる目的が想定されるが、どれを重視するのか位置づけが不明確
- ③目的が多岐に渡りすぎ、どれが主目的なのかがはっきりしない

(2) 上位施策が意識されていない

本来であれば、事業は上位の施策を達成するための手段となるはずである。ここを意識せずに事業を淡々で行うだけでは、施策の実現はおろか、政策の実現はおぼつかない。

(3) 事業が政策目的を達成する手段として適切ではない

事業は目的を達成する手段であるが、目的と事業がつながっていない。

(4) 目的に即した適切な成果指標が設定されていない

目的がどのぐらい達成したのかを確認できる成果指標（アウトカム指標）が適切に設定されていない。

(5) PDCAが回っていない

指標の実績値を押さええているだけで、なぜその結果になったのかについて分析し、次の事業展開につなげていく余地がある。

2. 課題

上記の問題を踏まえ、特に以下の課題に取り組むことが必要である。

(1) 上位施策を踏まえて適切な事業の目的を設定すること。

(2) 事業目的と成果指標、事業内容（手段）が関連しているか点検し、関連していなければ目的に即して事業を再構築すること。

(3) 成果実績の確認で一喜一憂せず、なぜその結果になったのか、原因を分析し、次の事業展開に反映させること。

以上

山梨市まちづくり総合計画策定
市民部会WS（ワークショップ）結果

市民が考えた山梨市の課題

第1回市民部会検討結果取りまとめ

2016年2月18日

第1回市民部会WS結果

1. 健康・福祉

大項目（グループ）	小項目（ポストイット）
子育て	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援策 ・子育て支援対策 ・子育て環境
子供	<ul style="list-style-type: none"> ・小児救急が市内に無い ・インフルエンザワクチン支援が無い ・産科医療の充実 ・発達障害の子供が見過ごされている ・子どもの健康問題（食育・給食） ・アレルギー対策 ・子供のアレルギー体質の増
高齢者	<ul style="list-style-type: none"> ・地域からの孤立 ・独居老人の増加 ・高齢者の一人暮らしの増加 ・高齢 ・高齢化 ・高齢者世帯の増加 ・高齢者のみの世帯への対策 ・高齢化による医療費増 ・老後の生活費 ・高年の時間の使い方
障がい者	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者の居場所が少ない ・障がい者の就労場所が少ない ・施設の障がい者対応（駅等） ・精神障がい者への偏見や知識不足
介護	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅介護 ・介護の負担増
交通	<ul style="list-style-type: none"> ・買物難民 ・高齢者の移動手段 ・高齢者の車の運転の問題 ・公共交通手段（老人と子どもが自由に動けない）
地域	<ul style="list-style-type: none"> ・隣組のコミュニケーションが希薄 ・地域内互助組織の弱体化 ・多様な地域 ・公共施設の集中
医療	<ul style="list-style-type: none"> ・病気（ガン） ・過疎地での医療 ・救急医療 ・薬の使い方 ・個人病院が少ない ・医療の相談 行政・病院
予防	<ul style="list-style-type: none"> ・寝たきりゼロ ・寝たきり予防（老人） ・体力向上 ・散歩 ・介護予防 ・認知症予防（高齢化社会） 早期発見 ・高齢者温泉利用促進 ・健診率の向上 公的補助会 ・メタボリック改善 ・栄養指導 ・予防医学（健診の充実） ・成人病予防 ・人間ドッグ 料金が高い

2. 産業・経済

大項目（グループ）	小項目（ポストイット）
観光	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観光資源・施設の周辺に商業施設が少ない ・ 観光イベントの不足 ・ イベントの開催時期（人が動きやすい時期を狙う） ・ 目玉になる観光施設がない ・ ”ない”ものをたくさん作る！ ・ 魅力ある”人”に人は集まる ・ 里山を多く残し自然と共生の場を造る（人口増に） ・ 都心から近くにこんな素晴らしい生活がある！最高の生活をアピール！ ・ 観光者の飲食の場の不足 ・ 景観の良さを売り物にする ・ 観光ぶどう園等が少ない ・ 人（住んでいる人）の魅力
労働	<ul style="list-style-type: none"> ・ 製造業ではない企業の誘致 ・ 働く場所が少ない ・ 元気な限り働くことのできる環境を！ ・ 物を造る労働× サービス提供の労働○（シルバー、グレー産業） ・ 働く場が少ない ・ 勤務する会社が少ない ・ 働ける会社が少ない ・ 工場が少ない ・ 働く場の環境が良い 田園空間
インフラ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通が不便 車がないと移動できない ・ 道路整備 もっと広くまっすぐな道を！ ・ 道路整備が進んでいない ・ 公共バスの整備 ・ ”あずさ”が停車しない ・ 理想的な都市計画 実現しやすい環境 ・ 自転車で回れるルート
農業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業法人を多数設立 ・ 後継者不足 ・ 農業従事者、後継者 ・ 農業の後継者不足 ・ 高齢者の労働力活かす 農業など ・ 農家の高齢化 ・ 農業法人の誘致（大規模） ・ 荒廃農地の有効活用方法 ・ 荒廃農地の増加 ・ 農地と宅地の交換 ・ 農業の活性化 ・ 農業の活性化（都会の人が流入してくる、やってみたいと思う） ・ 農家を区別する プロの育成（法人）／アマチュアの募集（都会の人） ・ 農業技術の修得が難しい ・ 農産物の販路拡大 ・ ブランド品の確立 ・ 農作物ブランド力で他市に負けている ・ 農家への行政のサポート ・ 6次産業の推進 ・ 降雨量の増加と農業のマイナス ・ 農家の方達の方向性が決まっていない様子

大項目（グループ）	小項目（ポストイット）
商業施設	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅周辺がさびしい ・ 駅前に商店等が少ない ・ 駅前にホテルがない ・ 有名チェーン点（吉野家など）が少ない ・ ホールセンター等の集客施設が少ない ・ 商業施設が少ない・小さい ・ 商業施設が分散している ・ 0時過ぎると暗くなる ・ 有名店が市外へ移転 ・ 集客する商業施設がない ・ 集客力のある施設が少ない ・ 市外からの買い物客が少ない ・ サービス産業に特化。コールセンター等であれば都市でなくてもできる
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職・住近接（接近）の街をアピール ・ 資源の活用 ・ 地域の魅力を掘りおこす（この地ならではの産業とは？） ・ 新しいモノ・仕事を生み出す発想力が少ない ・ 特産品が少ない ・ 人口減→企業減→税収減・・・負のスパイラル ・ 子供から老人まで（いっしょに）共生できる街に！ ・ 世代間のコミュニケーション不足 ・ 山梨市の認知度低い ・ 情報発信不足 ・ 情報収集不足 ・ ネット・口コミの集客力活かす

3. 教育・文化

大項目（グループ）	小項目（ポストイット）
環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全性 ・ 通学路の安全対策がおくれている（自然豊かなため） ・ 面積が広いため通学するのに時間がかかる ・ 山梨南中学区の道路事情がよくない。安心して通学できない ・ 最近では市外の学校へ進学する子が多い ・ 中央線の高速化 ・ 産婦人科が少ない（というか、ない） ・ 万力林をもっと有効活用できたらよい（市民会館を含めて） ・ 道路が広がった分、車が多くてスピードを出して危ない ・ 学校空き教室の利用 ・ 未利用保育所の跡地利用について ・ 統合小学校の跡地利用について ・ ワーキングだけでなく、自転車で周るコースづくり ・ 鳥獣被害対策で狩猟免許を取ろうと思うが、家族に理解されない
コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 引きこもりの利用・活用（町へ出す） ・ 昔の文化（財）が失われている ・ 文化財知られていない ・ そもそも、あまり山梨市の歴史を知らない ・ 石和スコレーセンターのような文化活動の拠点がほしい ・ 伝統継承 ・ 文化財整備が遅れている ・ 伝統をつくる ・ 山のお祭りを復活させたいが、人手・カネが足りない（そもそも、他にどんな祭りがあるか知らない） ・ 地域の文化が分からない ・ 小規模クラスが多くなってきている（児童・生徒の減少） ・ 学校間の交流が少ない ・ 小学生と中学生の交流がない ・ 大学を呼ぶ（キャンパス） ・ 図書館利用者減 ・ 消防団活動で理解がうすい ・ 発掘 ・ 校舎が広すぎる！ ・ 施設の老朽化 ・ 子どもは社会が育てる ・ 家庭への社会的援助 ・ 万葉の森 あまりおもしろくない（和歌の説明をしていただいたことがあるが）
どんな人を	<ul style="list-style-type: none"> ・ 移住・Uターン促進 ・ 英語 ・ 地球人 cosmopolitan ・ 国際交流を増やす ・ やさしさ ・ 誉める ・ 情操教育が少ないのでは？ ・ ヴァリエティ ・ 個性 ・ 自由結社 association ・ 豊かさ ・ 世代連携 ・ 深さ ・ 助け合い ・ 自主性 ・ 開かれた openness ・ 押しつけない ・ 伸び伸び ・ より高く

大項目（グループ）	小項目（ポストイット）
やりかた	<ul style="list-style-type: none"> ・山梨市と言えば・・・という目玉（特色）がない ・万力公園の案内板を英語表示にする ・英語力 ・もっと回覧板を活用できれば（アパートは入らない） ・息長く ・何かの問題とかに取り組む人が限られ、市民総参加になっていない ・下剋上 ・各地区の子供が少なくなって元気が失われている ・隣の芝生 ・コミュニティ連携 ・励まし（合い） ・一歩から ・いそがずあわてず ・玄人・素人 ・スポーツ、また芸術とかで指導者が少なくなっている ・連携した運動に結びついていない（関係機関とか地区）
考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・市ががんばっているのが知られていない
学校教育	<ul style="list-style-type: none"> ・学校に芝生 ・小中学生が忙しい。暇な時間が少ない。 ・小中学生のフィールドワークを増やす（万力公園など） ・テスト結果悪い
制度	<ul style="list-style-type: none"> ・部活はありがたいが、先生方が忙しすぎる。外部コーチをもっと入れてもよい。 ・学校開放 ・姉妹都市交流 ・小規模特例校を深化させていただきたい ・小中一貫教育の取り組み ・各地区・部門の発表とかあるが、限られた人だけの参加である ・制度よりも運営
メディア	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども向けのテレビを ・発信力をつける ・ネットでも

4. 環境・基盤整備

大項目（グループ）	小項目（ポストイット）
ゴミ	<ul style="list-style-type: none"> ・不法投棄が多い ・リサイクル率のアップ ・山梨市の観光シーズンである秋に周囲は小バエで一杯である。どうするか。 ・ゴミの減量
動物	<ul style="list-style-type: none"> ・犬のトイレの整備 ・フンの後始末設備の充実 ・犬の散歩マナー ・万力公園、道路に犬のフンが沢山こぼれている。どう解決するか。 ・犬のフン、ネコのフン(処分の方法) ・山間地域において、シカ・イノシシが問題となっている
上下水	<ul style="list-style-type: none"> ・水路整備が進んでいない ・下水道の整備 ・基盤ライフライン排水、臭い(下水・浄化槽) ・下水道を整備して欲しい ・道がせまく上下水の整備がされてない。死地が多すぎる。 ・環境・基盤 おいしい水？山梨なのに ・浄化槽地域において排水を水路に流すが道向かいに水路がある場合、道路下に排水パイプを通せない(占用がとれない) ・上水の引き込みで同じ場所に何本も細かいパイプがはいっている ・上水道の整備(山間地域)
街づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・山梨市駅南側の開発 ・空き家増加→防犯・防災 ・東山梨駅 住宅地としての開発 ・旧市役所跡地の有効利用 ・跡地等の再開発 ・耐震化の推進 ・基盤 用途地域新規作定
乗り物	<ul style="list-style-type: none"> ・環境 高齢者の為の交通手段 ・高齢化が30%を超え高齢者の交通が問題です(バス・タクシー) ・バスの本数をもっと増やして欲しい(市民と観光客)の為に ・公共交通の便が悪い
情報インフラ	<ul style="list-style-type: none"> ・CATVとPC・スマホとの連動を考えると？
道路	<ul style="list-style-type: none"> ・舗装の整備をして ・袋小路をなくす ・観光地を結ぶ道路 ・観光客誘致のための情報提供と道路整備 ・救急車が入って来れる道路 ・リニアの駅ができた場合、山梨へ入る道路をどうするか？ ・道に枝がとびでていてこまる。法律上とびでている枝はきれない ・舗装の老朽化による穴が多い ・西関の連絡道の外灯が少ない ・他県・他地域との出入口の整備 ・側溝の整備(大切) ・企業とのタイアップで山梨市に誘致する道路をアピールする ・新しい道路は必要ないのでは？行けない所はないので。 ・歩道の管理 ・道路の整備 ・メイン道路が無い ・大野バイパスのような広い通りができて農業振興地域のため、ただ通りすぎるだけの道 ・建築許可にならない道が多い

大項目（グループ）	小項目（ポストイット）
雪	<ul style="list-style-type: none"> ・大雪の日の対応をどうするか？おもに道路の除雪や個人宅の除雪（高齢者世帯） ・融雪剤の蓄えが少ない ・除雪作業が遅い（障がい者・高齢者対応）
施設	<ul style="list-style-type: none"> ・休校の小学校校舎の管理や活用 ・古民家・旧施設の規制緩和 ・山梨市立美術館を創設できないか ・図書館はどうなるのか ・市役所付属施設の充実（図書館） ・旧庁舎の跡地の活用 ・旧いちやま跡地は？商店等の誘致 ・フルーツ公園以外の公園 ・駅南口の開発どうするのか？ ・子どもの夢のためにも万力公園の動物園の充実を！ ・空き家対策は？（街の駅の活用） ・（サッカー用）人工芝グラウンドがない ・「街の駅」の有効活用。インフラ整備としての……。このままで良いのか？ ・観光客へのおすすめ施設がない ・乙女高原グリーンロッジの利用問題 ・農地と街づくりの棲み分け ・特区の必要性（娯楽でもよい） ・医療 ・街の駅を市役所のサービスと同じにして欲しい！「駅前出張所化」 ・耕作放棄地が多い ・災害時の備蓄倉庫の整備（大切） ・用途地域内のインフラ整備がすすまない ・土砂災害危険区域の整備
エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模水力
自然	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな自然をアピールする方法が少ない ・笛吹川の土手を桜並木にし、季節ごとにもみじ、あじさいをも植える ・駅前の「ゆり木並木道」を他の道路にも普及する（ゆりの木に限らず）

5. 協働・行財政

大項目（グループ）	小項目（ポストイット）
協働への理解	<ul style="list-style-type: none"> ・役割分担を明確にする ・協働による継続的・発展的事業の構築 ・協働の意見がわかりづらい ・協働の仕組みがわかりづらい ・少数意見を排除しない！ ・市民の中で強かに協働を進めるリーダーが多く必要 ・協働の意味が普及していない ・協働を進めるすべが分からない ・役所／市民とも協力体勢が薄い ・市民団体の役所（事務局）が決めたことはやるが、決まるまで行動しないことが多い ・協働の周知 ・協働のプラス面の広報 ・協働事業のメリットを知らしめれば協働が行われるようになる ・企業との協働 ・協働のまちづくり支援制度が活用されていない ・協働すること自体が少ない
企業	<ul style="list-style-type: none"> ・新事業の創出 バイオマス、自家発、サービス ・大中企業誘致 ・山梨市への雇用創出につなげる
人口減	<ul style="list-style-type: none"> ・限界集落 ・農業者の高齢化 跡継ぎがいない 耕作放棄地 ・農地の問題 ・人口増や交流人口増による活性化 ・空き家が増える ・閉鎖的な町内会 ・地域のコミュニティの老化・衰退
財源・税収等	<ul style="list-style-type: none"> ・市民ニーズにあったことを行う ・無駄な事業・歳出の削減 ・財源が減ることによる行政サービスの低下 ・公表された財政情報をもても良く分からない ・市民にわかりやすいお金の提示（予算） ・文化・教育への予算（財政）投与 ・ふるさと納税 ・総合計画と予算がリンクしていない ・市民のお金が市内に落ちない ・人口減による財源減対策として地域資源を生かした産業や雇用の創出 木質バイオマスなど ・税収の減 ・市の財政がオープンになっていない？ ・歳入確保 ・総合計画のフォローアップ不足（？） ・農業収入の安定
市と住民（広報）	<ul style="list-style-type: none"> ・市民と役所がもっと近い関係になるには？ ・区民の意見の吸い上げ不十分 ・峡東地区3市の中での宣伝が少ない（新聞紙上） ・市民からの提案制度がない？ ・市民と市役所 情報共有化 ・官・民・各種団体間の情報の共有と利用 ・区民へまかせることをしていない（予算を区へ渡す） ・まちづくり政策課が昨年より設置されているがますますの充実と市民が活用しやすい雰囲気づくり

大項目（グループ）	小項目（ポストイット）
コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・大勢の人達をまき込んでいくには ・世代を越えたコミュニティが不足 ・住民同士のつながり希薄 ・何でも市へ頼る（自己解決力不足） ・井戸ばた会議のできる場所 ・組長会議に出ない
市の強み弱みの把握	<ul style="list-style-type: none"> ・山梨市の文化的、歴史的に誇れる部分をもっと市民が自覚できる施策をして ・自分の住む地域がどんなところか、市民があまり知らない ・山梨市の強み弱みが把握できていない
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・事業選択に市民目線が必要 ・公共交通が無い ・議会が自由に質問しているようにみえない ・インフラの老朽化 ・公平公正に行うことが大切 ・国・県に関係する事業について引っ込み気味であるので、もっと働きかけるべき ・食料等の自給率（市内）が低い ・役所・市民団体で似通ったものがあるので統合を ・公民館機能が旧態依然としている ・ご意見箱の活用（市のあちこちに置く） ・街の駅の活用 ・事業の取り組みに地域差がある（人が多いところが優先される⇒格差拡大） ・コンパクトシティの研究不足（メリット／デメリット）

山梨市の目指すべき方向

第2回市民部会検討結果取りまとめ

2016年3月22日

第2回市民部会WS結果

(1) 山梨市のいいところ・残していきたいところ

1. 健康・福祉

大項目(グループ)	小項目(ポストイット)
自然	<ul style="list-style-type: none"> ・西沢溪谷&大平牧場 ・笛吹川 ・乙女高原 ロッジ ・自然と触れ合えるフィールドに近い ・桃畑(残したいもの) ・農業景観 ・散歩やトレッキングに適した所が多い。国立公園等。 ・山、川の自然を残したい ・天気がいい ・里山に近い ・森林浴ができる場所がたくさんある ・美しい景観とおいしい空気、おいしい水がある ・自然が多い ・水がいい ・水が良い ・空気がきれい ・緑が多い
医療	<ul style="list-style-type: none"> ・28年度から認知症初期集中支援チームがスタートする ・病院がある ・産後のケアが良い ・総合病院が複数ある ・救急に対応できる ・認知症の専門病院があり鑑別診断ができる ・産科がある ・牧丘・三富地区にも病院があること ・総合病院が2カ所ある ・小児に対応できる病院がある ・精神科の病院が2ヶ所ある ・総合病院×2がある
施設	<ul style="list-style-type: none"> ・(オーチャードビレッジ)フフ ・温泉の入浴料が安い ・温泉がたくさんある ・市営温泉(残したいもの) ・サイクリングロード ・温泉が安い 65才以上 ・市バスがある ・花かげホール(美しい音楽ホール) ・保育園が充実している ・市民体育館(残したいもの) ・フルーツ公園(残したいもの) ・スポーツ広場(夜間照明付のスポーツ施設) ・運動(スポーツ)に参加する機会が多い ・万力公園(残したいもの) ・スポーツ等で活躍している子どもが多い ・大きな公園が複数ある ・中学生までの医療費がタダ ・フルーツ公園で運動できる ・障がい者施設(精神・身体)が充実している
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・健康寿命が長い(農業者が多い) ・地域のつながりが強い ・健康な身体をつくるために必要なたべものをつくることができる ・学童保育がある

2. 産業・経済

大項目（グループ）	小項目（ポイント）
農業	<ul style="list-style-type: none"> ・桃の花の景色を残していきたい ・地産地消が可能な環境 ・耕作放棄地の解消方法を考える ・農業の活性化(ブドウ・モモ以外の可能性を模索) ・荒廃農地の有効活用 ・一年中、旬の果物が収穫できる ・果物 ・農業(ぶどう、さくらんぼ) ・果樹の生産量 ・プロ・アマと一緒に農業に従事できる ・果樹園の風景 ・桃畑の景観(桃の花) ・ピンクのじゅうたん(春の桃の花の景色) ・果樹園(ブドウ、モモ、サクランボ、スモモ)
居職住環境	<ul style="list-style-type: none"> ・働く場所の環境が良い ・飲食(外食)に困らない ・中華・ラーメン屋が多い ・職・住隣接 ・都心から近くにこんな素晴らしい生活する場所があることをアピールする ・仕事と趣味を両立できる環境がより整っている ・豊かな自然に囲まれた居住環境 ・市街地の周辺に果樹園が広がっている
自然環境	<ul style="list-style-type: none"> ・自然が豊か ・景観 奥秩父の山並と南天に富士を望む ・水源、発電、水飲む ・景観(自然)の良さを売り物にする
HUMAN	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の仕事についての気付が得られる(良くも悪くも) ・仕事以外の仲間が得られる ・仕事以外のことで回りの人から支援を受けられる(面倒見がいい) ・子供のあいさつ ・いろいろな業種のことを聞くことができる
観光施設	<ul style="list-style-type: none"> ・フルーツラインの活性化 ・新三大夜景(温泉) ・温泉がたくさん ・フルーツ公園・フルーツラインの再活性化 ・フルーツ公園 ・フルーツ公園
医療関係	<ul style="list-style-type: none"> ・医療施設 ・調剤薬局が多い ・充実した(多くの)医療機関 ・ドラッグストアが多い
インフラ	<ul style="list-style-type: none"> ・駅が2つある ・駅南側開発(今後)
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・点在している寺院・神社(公園化)

3. 教育・文化

大項目（グループ）	小項目（ポストイット）
子どもの教育	<ul style="list-style-type: none"> ・文教地区という山梨県での位置 ・学校の雰囲気落ち着いている（子どもの気持ち比較的おだやか） ・学校で競歩大会・マラソン大会ができる環境である ・学校教育と社会教育の連携（場所・人） ・長い歴史のある学校である（校風が明確） ・しっかりあいさつできる子どもが多い ・帰ってきた時に近所の人達に子供があいさつしている ・地域の子供達のあいさつあるゆったりとした
学校施設	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園が多い ・安心・安全な生活環境 ・3世代家族の中で育てている子どもが多いのでは？ ・コミュニティの中核施設整備 ・消防団の地区行事参加（他の団体も？） ・閉校小学校施設の有効活用 ・小学校・中学校共同行事催行 ・自治会・組・区（〇〇委員等含む） ・30人学級（授業） ・夏季林間学校 ・地域の文化行事への子どもの参加 ・電車利用により他市の学校にも通学できる ・施設面 プール、体育館、図書館、市民会館等がすいてる（逆に問題？） ・旧牧丘小学校
自然	<ul style="list-style-type: none"> ・三富・牧丘と合併して色々な交流広まった ・乾徳山 ・河・山・自然・温泉豊富 ・西沢溪谷 ・美味しい食物（ほうとうや地元の野菜等使用）がある ・農業体験 民宿
福祉・健康・安全	<ul style="list-style-type: none"> ・学校・病院が多い、県立校3校 ・集団登校
民俗・文化	<ul style="list-style-type: none"> ・恵林寺・方光寺 ・切り妻屋敷（江曾原） ・民俗資料収集 例：道祖神（牧丘） ・伝統文化の保存 資料整備・予算 ・差出の礎 もっとPRを 万葉集 ・天神祭（徳和） ・歴史文化財は意外とある（知られていないだけかも）
伝統行事・文化祭	<ul style="list-style-type: none"> ・山梨市周辺 高校連合文化祭（東山梨又は笛川） ・フルーツ公園 子供が遊ぶ（元気） ・八幡神社 ・地域文化行事の活性化 企画と予算 ・市川 打ちばやし ・岩手タイコ ・差出の礎と亀甲橋 ・祭り 地域・域外（例：源流祭り） ・各地区でのお祭り ・市民文化祭 再編（各地域集落センターの連合） ・地元の成功者を教育に取り入れる活動 根津氏
団体 スポーツとか	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館における文化活動 ・サッカーとかのスポーツクラブ ・やらまいか（隊）おどりがあ ・中流まつり開催か ・子供クラブ（地域の） ・子供クラブ活動（育成会？） ・万葉の杜（古い寺が残る） ・文化祭・体育祭（もっと中・高・学生が参加した方が良いが・・・） ・フルーツライン（美しいながめ） ・笛吹川沿岸地域 万力公園集中化 ・万力公園（市民会館）
国際交流	<ul style="list-style-type: none"> ・英語教育が進んでいる ・英語活動（教育） ・姉妹都市交流

4. 環境・インフラ

大項目 (グループ)	小項目 (ポストイット)
自然	<ul style="list-style-type: none"> ・桃畑の花がさくときれい ・自然が多い ・川に魚がいる ・桃の花や菜の花の小道がある ・山の景色が美しい! ・素晴らしい自然がある! 西沢渓谷とか ・星が美しい(牧丘を星の街に) ・ハイキングのできる山がある ・フルーツパークがある。夜景が美しい。 ・笛吹川の流れが美しい。さらにそれを充実する ・フルーツ公園から見る桃の花を残す ・水が美味しい! →西沢渓谷がある ・川の美しさ! お魚つりで何かイベントを! ・ぶどう畑がいい! ・水がきれい ・果物が美味しくできる ・桃畑が美しい。それを残す。 ・山間部は夏でも涼しい。寒い。 ・奥秩父連峰が美しい! それをアピールする ・空気がきれい ・桃畑がある風景! ・高低差のある地形 ・標高が高い ・自然が豊富(野菜など) ・レジャー(自然)の多様性 ・豊かな自然 ・南へ広がる街。南北東西に流れる川。 ・きれいな空気 ・きれいな水 ・自然の豊かさ
空き家	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家・空き学校 ・完全空き家がない実状
災害	<ul style="list-style-type: none"> ・災害が無い ・災害の少なさ ・災害の少なさ ・災害への取り組み ・災害にあいにくい ・ダムがあるから川がはらんしない ・台風が来てもいつのまにか通過している ・地盤がかたい方だと思う(地震)
インフラ	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道の整備のしやすさ ・地下水(井戸)の水道水 ・公共温泉の多さ ・駅が2つある ・東京に近い ・国道が有る ・東京からの入口、アクセス ・最近、高速バスができた ・東京に近い。JRでも車でも。
人工景観	<ul style="list-style-type: none"> ・動物園がある(万力公園) ・ユリの木の並木道が美しい! ・万力公園 ・万葉の杜と万力公園をもっとアピールしたい。残したい。 ・フルーツ公園からの風景(三大夜景) ・フルーツ公園。万力公園。 ・人工湖がある
行政	<ul style="list-style-type: none"> ・市民部会ができた
偉人	<ul style="list-style-type: none"> ・根津氏(成功者)東武鉄道(スカイツリー)と何かリンクできないか? ・日川高卒出身の深沢七郎 作家
医療	<ul style="list-style-type: none"> ・総合病院が2つある ・総合病院の多さ ・産婦人科ある
教育	<ul style="list-style-type: none"> ・学校が沢山ある ・高校が2つあること ・専門学校がある
住みやすさ! 県内有数	

5. 協働・行財政

大項目（グループ）	小項目（ポストイット）
協働の理解	<ul style="list-style-type: none"> ・協働の理解が広がっていないので、逆に斬新な取り組みが生まれる余地がある ・まちづくり政策課 協働の窓口として昨年4月に新設されたばかりなので、今後に期待 ・新エネルギー検討部門がある
災害に強い	<ul style="list-style-type: none"> ・自然災害が少ない 県内では住みやすい地域として名が挙がる ・比較的災害に強い。 ・住環境が良い 静か、きれい→ベッドタウンに適している
交通	<ul style="list-style-type: none"> ・都心に近い田舎 ・東関東道路とリニア駅がつながる ・交通網 道路整備 ・東京（八王子）に近い ・特急列車が停車する
文化	<ul style="list-style-type: none"> ・文化講座の実施 ・古い文物が民間には残っている気がする。＝旧態依然ともいう ・地域の伝統・文化の継承 ・神社、仏閣で重文が沢山ある。 ・文化財保護 ・公民館の活用（まつり、発表の場） ・歴史がある（多くの史跡） ・古い文化 神社や石碑等、民俗に関連する物も
自然	<ul style="list-style-type: none"> ・景観が良い ・豊かな自然に恵まれている ・余り手を入れない自然（万力公園など） ・自然美活用 保護 ・自然の保護 明るい森林の維持 ・ボランティア観光ガイド ・森林セラピーガイドの会 ・観光ボランティア ・自然、高い山（秩父連山）から果樹栽培、桃の花など ・自然 ・森林資源がある（バイオマス、観光） ・森林 ・自然が豊か（都会には無い） ・森林が面積が広い ・フルーツ公園、万力公園がある ・温泉が多くある
医療	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関が多くある ・医療関連施設 ・地域医療が進んでいるところ、保健農園がある
農業	<ul style="list-style-type: none"> ・県内でも土壌が良く、気温も安定（風が少ない）。果物の生産性が高い。 ・果樹農家の熱心な取り組み ・駅の周り、近くに桃・ぶどうなどの畑が多い ・国内最大級のぶどう・桃産地 ・果樹生産量（ブランド物） ・農業が盛ん ・桃・ぶどうの技術がある
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・マラソン大会が人気 ・予算の明確化（市民目線の開示） ・市役所と市民の交流場所の設定 ・市立の産科ができる ・空き家バンク制度 地域居住や居住への足掛かりとして、税金などにもつながる 日本の中で先進地なので活用を ・区・組などの地域社会のため・よこのつながり ・性格がおだやかな人が多い ・街づくりの会がある ・駅南が開発される（発展の可能性が大） ・市のハードを使った各種団体による催し物（商工会、どっとこむ、朝市、ホテルまつり、花火大会など） ・朝市がある

(2) 山梨市が目指すべき方向性

1. 健康・福祉

大項目（ビジョン）	小項目（将来の山梨市のイメージ・キーワード）
[全体を包括するビジョン]	
<ul style="list-style-type: none"> ・みんなが来たいまち ・住みやすいまち ・自然と笑顔があふれるまち 	
<ul style="list-style-type: none"> ・おなかの中から墓の中まで安心のまち ・福祉の町 ・健康の町 ・医療充実のまち ・楽しい町 	<ul style="list-style-type: none"> ・山梨市で産みたい人殺到 ・人口増を目指す制度 ・健康な人が病の人を診れる(ボランティア)システム ・医療機関の充実 ・健康、福祉制度が充実し、生活ができる ・施設の充実 ・山梨市で育てたい人殺到 ・子育てしやすい社会 ・山梨市で送られたい人殺到
<ul style="list-style-type: none"> ・全てのいのちを大切にすまち ・おいしい町 	<ul style="list-style-type: none"> ・誰もが元気にくらするまち 食農・自然エネルギーを生かした ・全てのいのちを大切にすまちづくり(有機農業の郷、健康福祉のまち) ・人と自然の共生 ・健康のための空気と水 ・おいしい水 ・色:桃色、緑色、空色、水色 ・自然環境の活用 ・自然豊かな山梨市
すみずみまでしあわせなまち	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の連携 ・地域内で格差がない ・子どもからお年寄りまで一緒にくらする

2. 産業・経済

大項目（ビジョン）	小項目（将来の山梨市のイメージ・キーワード）
農業循環型の街	<ul style="list-style-type: none"> ・農業→企業→市民(雇用)→農業 ・クリーンな働く場 ・農業循環型街造り ・温泉と医療を組み合わせた産業 ・世界でも有名な特産品 ・農業法人と趣味の農業の区分け→新規就農者 ・農業法人化→機械化→シェアして仕事と趣味の両立
新鮮な果物にあふれるまち	<ul style="list-style-type: none"> ・桃の景観
くだものまち	<ul style="list-style-type: none"> ・果樹景観
農業も出来る街	<ul style="list-style-type: none"> ・50年後、農業が出来る環境を維持
地産地消のまち	<ul style="list-style-type: none"> ・山梨市はすべて農耕地。農耕地はすべてドーム。 ・桃以外の農産物が主流になっている
災害に強い街	<ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心 明るい地域社会 ・50年後 最強防災都市 ・災害につよい重要データの保存システム
自然と共生するまち	<ul style="list-style-type: none"> ・50年後、農業が出来る環境を維持
バランスの取れたまち	<ul style="list-style-type: none"> ・東京(八王子)のベッドタウン
豊かな住環境の街	<ul style="list-style-type: none"> ・田園都市
変わらないまち	<ul style="list-style-type: none"> ・50年後の田園調布
のどかなまち	<ul style="list-style-type: none"> ・土のある暮らし ・50年後、東京へ通勤する居住環境 ・自然豊かな住環境

3. 教育・文化

大項目（ビジョン）	小項目（将来の山梨市のイメージ・キーワード）
[全体を包括するビジョン]	
いのちをつなぐまち	
・いのちを育てるまち ・子育てのまち ・子どもの情操教育のまち	人口減少となっても地区の子供達はゼロにはならない(遠距離登校でも残る) 不登校の子どもが元気になる 大人と子どもの助け合い 児童・生徒は更に減少し、小・中学校の統合は進むが、安全な通学が確保される！ 三世代の中で、地域の中で育つ子どもたち 学年を越えた交流のある教育 伸び伸びとした子ども 文化財教育を通じたふるさとづくり 自然を愛し、地域の人々を愛し育つ子どもたち 三世代がつどう中流まつりの開催 日本人としての再教育機関
・人々をつなぐまち ・笛吹川祭のまち ・コミュニティ活性化のまち ・文化財を生かした中流まつりで結ぶ国際化のまち ・笛吹川中流域の豊かな自然と文化のまち ・中流まつりサミットの開催のできるまち ・笛吹川中流域の豊かな自然・観光と文化のまち	まとまりのある地域を残す 地元の自然、歴史、教育を地元の子供に残していく(実感させる) 笛吹川祭りの中心地 ロボットが自然を案内(登山の案内とか?) QRコードをかざすと立体映像でお祭りが 50年後も、現在の自然と景観を残し、更に発展維持する
・いのちをまもるまち ・森林セラピーのまち ・保養のまち ・保養と親睦のまち ・自然と交流できるまち	自然を活かす 癒し、ヒーリング 観光と結ぶ 学校・病院が充実した山梨市 看護大学(帝京) 企業の研修コースに(寺・温泉・農業活かす) 介護士養成 大都会とは違う つながりがある人間関係・教育環境を残す
・国々をつなぐまち ・国際交流のまち	グローバルコミュニケーション 地元に住み、世界とつながることが出来る人をつくる 世界各国の祭りに参加しあう
・伝統をつなぐまち ・農業体験を通じた国際化のまち ・伝統継承のまち	文化財は今よりも整備が進み保存されている 山梨市統合再発見 地域の伝統文化を伝える郷土づくりの教育 自然、歴史、文化財を観光や教育資源に 徳和天神祭

4. 環境・インフラ

大項目（ビジョン）	小項目（将来の山梨市のイメージ・キーワード）
移住しやすい街！山梨市	<p>子育て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(子育てに)安心！産んで育てて、健康で長生きの街 ・子供を育てる環境が整っている ・働く場 ・2つの高校のレベルアップ→山梨大学への推薦入学確保 ・教育設備 ・子どもの声がする <p>自然とまちの共生</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然と共生するまち ・「自然」と「安心」するまち ・現状維持。いまの自然を残す ・自然中心の観光 ・飲んでみて(水)、食べてみて(果物)、見てみて(山々)、山梨へ住もう ・医食住 ・水と山での健康づくり 山梨 ・笛吹川の美しさを残す(土手の強化、桜並木で人を呼ぶ) ・登山者がおとずれる ・川で泳ぐことができる ・自然を生かした住居 <p>住みやすさ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・別荘地の開拓 ・山梨市内への移住。新築等への支援対策(業者は市内) ・空き家を利用したウィークリー借家 ・人口増 ・芸術(小説・映画)とふれあうまち ・深沢七郎記念館(笛吹川、樽山、節考、小説、映画) ・桃、ぶどう畑の休耕田の減少 ・他県から市内への農業転入の支援対策 ・農地法、市条例緩和 ・雇用を増やす
<ul style="list-style-type: none"> ・医療万全！長寿のまち ・安心のご長寿の街！山梨市 ・「安心」への道しるべがある町 	<p>医療関係の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療と教育の街 山梨へ ・医→人口景観 ・産婦人科医院の継続 <p>災害対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害に安心で住み良い山梨 ・自然災害(地震・水害)の少なさを全国に発信 ・地震に強い山梨へ移住しよう ・自然と文化の星降る街 山梨！ ・笛吹川の氾濫がないこと(土手のすばらしさを強化) 安心の生活 ・災害がおこらない <p>老後生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(長生き)ご長寿都市山梨へ ・医療設備 ・高齢者が老人ホームに入らなくてもよい <p>インフラ(手法)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小規模水力発電(エネルギー) ・用途地域内の上下水整備と4m道路の整備が完了している ・用途地域見直し ・インフラ整備の法令・条例緩和 ・人口を増やすためのインフラ整備 ・下水道 ・特に北部の出入り口の整備 ・夏の涼しさと空学校を利用したスポーツ合宿の誘致 ・金がないならの工夫したインフラ整備(民間に負担させない)

5. 協働・行財政

大項目（ビジョン）	小項目（将来の山梨市のイメージ・キーワード）
[全体を包括するビジョン] 役所が目立たないまち	<ul style="list-style-type: none"> ・どんな手続きも家で出来るようになる ・子育てを充実させる 税金の活用 ・産・官・学・民・金（融）の協働 ・文化に力を入れる ・文化的施設（図書館等）を拠点とした、にぎわい創出 ・市民間の交流の場を作る ・市民の目線での対応 ・市民の意見の吸収、反映 ・市民の声を生かす場（機構）組織の構築 ・少数精鋭の頭脳集団（市役所） ・市民と役所が一体で仕事出来るスペースを確保し、一定時間共同作業する ・行政の透明性により市民が役所にいきやすくなる ・市の予算の多くを区に移管 ・自然を媒体する市民交流 ・一宮インターまで直結し商店街でにぎわう
教育と人造りの街	<ul style="list-style-type: none"> ・人財・人材 発掘・育成 ・英語が市の公用語に ・愛する地域に誇りをもてば協働も行政もよりよくなるはず ・まちづくりはひとづくり ひとづくりはまちづくり
<ul style="list-style-type: none"> ・自立する街 ・自給自足できる街（食料・エネルギー） 	<ul style="list-style-type: none"> ・三世代でいっしょの生活 ・安定した生活
<ul style="list-style-type: none"> ・歴史と文化の街 ・外国人が訪れる街 	<ul style="list-style-type: none"> ・山梨市のいいところをみんなが知っていて、みんなが案内・紹介できる。週に1回のフリーツアーができるような
財政豊かな街	<ul style="list-style-type: none"> ・農業は企業が行って耕作放棄地がなくなる＝プランテーション 雇用もOK ・環境ビジネスでうるおう市 ・森林の活用が進み→ナノセルロース→新産業の創出
（その他）	
<ul style="list-style-type: none"> ・協働のまち ・安全安心な街 ・官公庁のある（国）街 ・にぎわいの街 ・産院から墓場までまかせられる街 ・子育ての街 ・自然・文化・農業・医療など特徴を生かしたまち ゆりかごから墓場まで 	<ul style="list-style-type: none"> （その他） ・希望活動人口を増やす ・健康寿命を延ばすため施設（森）、人、金を役所／市民参加で

(3) さらに山梨市が目指すべき方向を検討するために必要な情報

1. 健康・福祉

大項目（グループ）	小項目（ポストイット）
高齢者の生活の現状	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の単身化 ・高齢者の買物 ・高齢者の交通手段 ・高齢者施設は足りているのか？
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通手段の使い勝手について市民の意見は？ ・オンデマンド交通は何故できないのか？可能性はあるか？ ・地域間格差の問題は？ ・子育て支援制度の充実度について、近隣市町村との比較は？ ・そもそも日本の少子高齢化に歯止めをかける策はあるの？ ・障がい者の就労施設の整備は？ ・障がい者の自立支援の施設の整備は？ ・国の社会保障以外に市独自で何かしらの保障をしているところはあるのか？ ・コミュニティハウスに対する補助制度は？

2. 産業・経済

大項目（グループ）	小項目（ポストイット）
農業	<ul style="list-style-type: none"> ・農地の活用・農振の除外 ・野良の実態 誰がどこでどの位何を造っているのか（地区毎に知りたい） ・農業振興地域が今一つわかりづらい ・農業後継者確保のための施策はありますか？ ・農業就業者の平均年齢 ・農業(くだもの)をするにあたり、山梨市はどういう農作物が適しているの？
企業誘致	<ul style="list-style-type: none"> ・山梨市のアンテナショップの状況 ・上場企業を呼べないのですか？ ・市内と市外で働く人の割合 ・企業誘致について ・企業誘致のための施策は？（税制面etc…） ・大学・専門学校の誘致 ・山梨市内の旅館・ホテルの数は？
インフラ	<ul style="list-style-type: none"> ・インフラの整備 ・山梨市駅南口～県道整備に対するビジョン ・東山梨駅周辺の開発計画 ・東京のベッドタウンになる場合、中央線の高速化の話し合いはどうなっているの？ ・特急のとまる本数は？（一日あたり）
介護等	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢一人暮らし対策 ・介護特区として、高齢者受入の人員は？
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の区政について 加入者減少 ・フルーツ公園の活用 ・他県の人々の山梨市の印象 ・自分が山梨市をプロデュースするとしたら、どんなふうにする？ ・難民受入の条件は？山梨市での受入れは？ ・山梨市に住んでよかったですか？ ・神社等の維持。建物改修。 ・県外の方で山梨市に宿泊した事がありますか？ ・防災都市を想定して、官庁移転を模索できるの？ ・子育てはしやすいですか？ ・公園等の管理 木、草、堀

3. 教育・文化

大項目（グループ）	小項目（ポストイット）
伝統	<ul style="list-style-type: none"> ・各区単位(各地区)の伝統・文化 ・山梨市内有形無形文化財 ・文化財保護 行政現況 ・文化保全の仕組みはあるか？民間を使ったクラウドファンディングとかできないのか？
総説	<ul style="list-style-type: none"> ・市民総参加の行事がなく情報発信が少ない ・外国人はどのような人が住んでいるのか ・「まち」づくりをする土地がない ・山梨市の特徴 中央を笛吹川と中央線が2分している ・山梨市民の働いている場所 ・全国に山梨市と似ている都市はあるのか、その地域は何をしているのか ・各地区(自治会)の組織がこわれて活動できず困っている ・国際姉妹都市は今後増やす計画か？増やすのであればどこが候補か？募集できるのか？
教育	<ul style="list-style-type: none"> ・大学との官大連携 状況と先進地の取り組み状況 ・義務教育課程での地方創生先導取組事例 ・大学誘致は行っているのか？(行ったことはあるのか？) ・全国の小・中・高一貫教育の事例 ・子供(高校卒業)の進路とUターン率はどうか？ ・人口動態 年齢構成変化、総人口 ・英語教育の先進で何をしようとしているのか ・子供や市民が減少している ・小・中・学生の絵や作文・習字をインターネットで公開(市のHP)できないか？ ・児童センターの数と利用数 ・教育施設遊休化見込み ・各小中学校の生徒の動き
祭・観光	<ul style="list-style-type: none"> ・笛吹川の歴史(産業や生活との関連) ・笛吹川流域 都市連携の可能性、流域総人口 ・推計観光客統計 ・観光地のWi-Fi整備状況 ・観光 旅館・民宿の実態 ・観光客が訪れる場所(市内の) ・各地区の祭りの総代が交流する場はあるのか？ ・市の広報誌で地区の祭りの予定や参加募集は発表しているのか？ ・山梨市の祭りを県外にPRしているのか？ ・フルーツ公園、万力公園の利用客状況は
医療・保養	<ul style="list-style-type: none"> ・帝京系列の専門学校、大学(山梨県内)(市内) ・看護師需要、介護士需要 ・認知症対策(なったらどうしよう？) ・救急医療体制、老人福祉行政の現況

4. 環境・インフラ

大項目（グループ）	小項目（ポストイット）
移住者対策	<ul style="list-style-type: none"> ・市内居住者の東京方面への通勤者数 ・山梨市外への通勤者数 ・ここ最近の市外・県外からの移住者数 ・県外からの転入者優遇措置一覧(税、補助金など) ・県外から市内への農業移住者の年度別割合 ・山間部の利用開発は？ ・別荘地開発に着手しているか？
住居	<ul style="list-style-type: none"> ・山梨市の所有する不動産はどれくらいあるのか？ ・山梨市が住みやすいと思っている方の割合 ・市内の業者による市内移住者への新築割合
インフラ	<ul style="list-style-type: none"> ・街の駅での行政サービス(市役所の業務の代行)は考えていないのか？ ・古民家耐震緩和条例制定への意志 ・山林の整備(フルーツライン)は怎么样了の？ ・上下水道整備理解への意志 ・用途地域見直しへの意志 ・災害の発生状況は？ ・北南口の開発 具体的に お店とか作るのか？ ・市道指定整理見直しへの意志 ・農地法緩和への意志 ・過去山梨市では、大地震があったのか？ ・笛吹川の土手の強度数値 ・バスの運行は怎么样了の？今後の計画 ・道路の整備計画 ・山梨市はインフラ整備に消極的だが整備をしてどれだけ利用すれば利益が出るとか計算したことがあるのか ・山梨市 自然災害の歴史 ・JRとの連携で“あずさ”を停車する計画は？ ・水道行政の全動き
医療	<ul style="list-style-type: none"> ・国保の個人負担額はどう決めているのか？(支払い額) ・特区制定(医療、観光)etc… ・市内救急車出動数 ・病床数 人口比 ・医療は充実しているのか？
福祉(老人など)	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の高齢者2人暮らしの人数と割合 ・山梨市の老人(一人世帯への)対策(見守りとレスキュー体制) ・市内一人暮らしの高齢者の人数と割合 ・山梨市の長寿のデータ
農業	<ul style="list-style-type: none"> ・農家の実際の収入 ・桃、ブドウ畑の休耕田の割合 ・農業研修センターの設立は？ ・野菜・果物のブランド化は？
観光	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家を民泊にするにはどうすればいいか？ ・金峰山など奥秩父登山者数(1年間)
教育	<ul style="list-style-type: none"> ・人口比 教育施設の数 ・日川高、山梨高の山梨大への推薦枠(何年度～)
偉人伝	<ul style="list-style-type: none"> ・深沢七郎記念館を作るための資料収集はできるのか？

5. 協働・行財政

大項目（グループ）	小項目（ポストイット）
協働	<ul style="list-style-type: none"> ・協働をすすめるにあたりリーダー的な市民は何人にいますか？ ・市役所職員の働きがいのある職場とは ・NPO法人の数と活動状況 ・協働で行っている事業はどんな事があるか ・現在行っている特色のある協働事業は何？ ・協働の具体例 ・協働によりどのようなまちにするのか 具体的な展望
財政	<ul style="list-style-type: none"> ・歳出の優先順位の決め方 ・歳出の内訳 県全体・近隣都市との比較 ・事業の改廃の実態 いらぬ事は本当にやめてるの？ ・一般行政費 近隣の市よりー10% ・BDFプラントの稼働状況 ・現在の財政状況をひとことと言うと？ ・各種財政指標の数値と意味と県内他市との比較 ・建設事業費22%？で大 近隣市の約倍 ・人口が減る中で今後の市の運営にかかる費用 歳入歳出の見込み
子育て	<ul style="list-style-type: none"> ・市立産科の利用者予測 ・子育て支援 他と比べてどうなのか？
農業	<ul style="list-style-type: none"> ・時代遅れの農地法 国はわかっているのか？ ・遊休農地 ・遊休農地対策 ・道路整備 ・農家の支援対策費(甲州市の対比)
消費動向	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の買物の仕方 ・市民の消費動向(市内・市外・ネット)
森林	<ul style="list-style-type: none"> ・ナノ・セルロースの産業化 ・森林資源の金銭的価値 ・林野庁を誘致できないか？ 山梨は森林率4～5位 東京に近い
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・大型Hotelではなく民宿が盛んな地方公共団体は？ 上手くやっている要因が判ればそれも ・観光による財政効果は？ 見えるものがありますか？ ・道州制はどうなった？ ・空き家が少ない市町村は？ どのような対策を施しているのか？ ・企業誘致のアプローチ方法は？ ・移住促進目標値1040人に対して200人分の雇用・仕事を創出するというは少ないのではないか ・企業誘致できるエリア(土地)地目変更可能性 ・インターネットの普及率(全世帯の) ・人材・スキル・資格保有者(マイスター制) ・市職員は山梨市に住んでいるのか？ 住んでいない人がいるとは思えないが

山梨市のビジョン

第3回市民部会検討結果取りまとめ

2016年4月23日

第3回市民部会WS結果

1. 健康・福祉班

WSにおける健康・福祉班のビジョン案・サブビジョン案の検討結果は以下の通り。

ビジョン案

いのちが輝き続けるまち

単に長生きすることではなく、それぞれの人生が輝いている、いのちが輝けるような人生が送れるようなまち。単に人のいのちだけではなく、山梨市にある貴重な空気、水、自然など、そういったいのちも輝き続けて、次世代に残していきたい。

サブビジョン案

①お腹の中から墓場の中まで安心のまち

途切れることなく、生まれてから亡くなるまで医療が充実していることが一番大切

②自然の中で暮せるおいしいまち

農業の中で人が本当の幸せを感じることができる。「おいしい」というのは空気・水がおいしい。あるいは、食べものおいしい。まち自体を味わえるような、自然の中でまちを味わっていく、それが本当の人の幸せではないか。

③すみずみまで幸せで豊かな色のまち

障がい者や、弱者、ハンディがある方がそれぞれの個性を認められて、みんなで共生して暮らせていける。「豊かな色」というのは、人も自然もさまざまな個性、「色」がある。これらが調和したら、本当にいいまちになるのではないか。

主な意見

- ・山梨市はエリアが広く地域によって状況が違うので、格差がある。南部は子育てがしやすいという意見があったが、北部は決してそうではない。
- ・最近、長野で温泉に入るサルが世界中に注目されている。作物をとられたりするので最初は困っていた。それでどうしようかと考えたときに、遠いところにエサをやったらこっちにこないだろうということでやってみたらうまくいった。こういう知恵を出すことが大事。
- ・子どもが高校で通うバスが不便。クラブ活動をやると夜、帰ってこれない。親が迎えにいかなくてはいけない。
- ・まわりでも子育てしている人が甲州、笛吹に出て行っている。家賃の問題などで。
- ・道はいいと思う。よく整備されている。公共交通の問題が大きい。
- ・牧丘では寝たきりにならない人が多い。おそらく、農業をしながらの暮らし、地理的な環境が大きいのではないか。
- ・農業の平均が70歳。後継者を育てながらやっている人もいるけれども、自分の代で終わり、という人も。
- ・甲州市や笛吹市と比べると、観光施設も少ない。これが山梨市の特徴ではないか。買物に行きたいのであれば甲州市に行けばいいし、ガチャガチャうるさくないところで住める、というのが特徴かも。
- ・施設をつくるのではなくて、桃畑があるとか里山が近いとか、で呼び込んだ方がいい。自然を壊さずに。
- ・農業のやり方を変えながら、都市の人を呼びこむ。景観を守りながら、暮らしができるような。体験型に。
- ・体験を教えられる地元の力も必要。
- ・都会の人を招いて味噌をつくったり、ぶどうジュースをつくったりしている。かなり関心は高い。夏休みに長期間いてもらえるような定住化に取り組みたいと思っている。
- ・健康寿命をのばしていくことは大事。健診率を高めていくことが重要。
- ・リニアができれば東京まで20分で行けるようになる。
- ・産科もあるし小児科もある。子育てしやすい。
- ・ベッドタウンになったけれど、こころの健康度が低いのが埼玉県らしい。コミュニティをつくろうとしなかった。
- ・団地をたくさんつくって、高齢化してゴーストタウン化しているところもたくさんある。
- ・農業や自然を活かした健康もひとつのキーワード。
- ・農業をやっている人が減っている。6次産業化を推進していて、やりたい人はたくさんいるが、若い人はやっているけど、高齢者はなかなか取り組んでいない状況。

- ・ライオンの森に行ってきたが、地域の活性化にかなりつながっている印象。婦人会のひとたちが都会の人たちに昼ごはんをつくってくれる。そこで山梨市に住みたいと思ってくるといい。
- ・来たくても住むところがないという人もいた。何件も。空き家バンクはあるが。
- ・自然はいくらでもあるので、山梨市らしい自然の魅力がビジョンに反映されるといい。豊かな自然の中での暮らしだけでは、日本全国にあてはまる。
- ・延長保育の利用数が減っているが、子どもの数が減っていることがその原因の一つ。
- ・三富・牧丘の保育園が合併して園児数が大勢になってオムツもかえてもらえないとか、対応が悪くなって、隣の甲州市にあずけるようになった親も結構いる。
- ・地元には保育園があれば、おじいちゃん、おばあちゃんに迎えにいらえてもらえるが。
- ・指標は利用率にしないといけない。
- ・ジムに通っているが、お年寄りがたくさんいる。踊りを踊ったり。
- ・いきいきサロンのイメージがデイサービスの地域版みたいになってしまっている。ボケ防止の運動とか、幼稚園児がやるようなものではやりたい人があまりいないかも。せつかくサロンが地域にあるのだから中身をもう少し考えた方がいい。
- ・少しでもお金が入るとか、観光客の対応とか、仕事でみんなで触れ合えるし、健康になるようなものがあるといい。
- ・自分が必要とされているという意識で集まるといい。
- ・カフェがあるといい。手作りジャムとか漬物とか、得意な料理をもっている人が多い。そこに子どもも来れる感じになるといい。
- ・自分のつくったものがお金になればすごくうれしいはず。少額でも。
- ・多世代の交流。おじいちゃんおばあちゃんがない子どももいるので、情緒の教育にもいいはず。知恵の伝承にもなる。
- ・都会の高齢者を地方へという流れがあるが、小学校の廃校を活用して呼び込んで、学校の温泉プールも活用したらいいのではないか。
- ・山梨市は糖尿病患者が多い。病院の患者も。桃や葡萄の食べ過ぎ？
- ・人口が減ると、山間地域を維持するのが難しくなってくる。コンパクトシティ、まちを中心にインフラや公共施設を集中させて行政コストを減らすという考え方についてはどう思うか？
- ・山の維持管理をどうするか？人がなくなった途端に荒れてきて山崩れが起きたり、いままで人がいたために鳥獣害が起こらなかったところが、人がいなくなると起こるところも出てくるはず。長期的にどっちがコストがかかるのか？コストがかかるのであれば、人口をある程度、地域で維持していった方がいいのではないか。
- ・里山は守って行きたい。水もなくなってしまう。

(山梨市の方向性のキーワード)

- ・地域の交通網：高齢化が進むのが避けられないので、重要な課題
- ・医療の充実、健康な暮らし、田舎でもうすれている地域のコミュニティ、農業の活性化、自然の活かし方、暮っていて楽しめるものがあるといい

- ・自然を活かす：自然を活かしながら健康・福祉づくり
- ・都市との交流：都市の人間を呼ぶことにより人口を増やす
- ・多世代との交流：お年寄りと子どもの交流で活気あるまちにしていく
- ・災害が少ないまち

- ・自然と温泉のまち、自然と健康のまち、福祉と医療が充実のまち、子育てがしやすいまち、長寿と健康のまち、高齢者が住みやすいまち

- ・色が豊かなまち 果物をよく食べている

- ・自然に感謝、四季を感じることができる、他人を思いやる、まち全体で子どもを見守る、このまちで死にたいという人が全国から集まってくる：終活のまち

- ・農業を楽しめるまち、自然と共生するまち、空気と水がきれいなまち、高齢者と子どもが集えるまち、赤ちゃんから高齢者まで住みたくなるまち、障がい者と共生できるまち、安心して任せられる医療のまち、絆が強いコミュニティ

- ・多様性にあふれるまち、いつでも帰って来られるまち、おいしくて楽しい暮らしのまち、子どもからお年寄りまでみな笑顔のまち、すべての命が輝くまち、都市と農村の交流・滞留拠点のまち、安心して子育て・安心して老いることのできるまち、人と自然の共生のまち、環境にやさしい農にあふれるまち

- ・「ゆりかごから墓場まで」は昔よく使われていたので使いたくない。終活はいい。
- ・第2回の市民部会で出た、「お腹の中からお墓の中まで安心なまち」がいい。言い得て妙。
- ・災害が少ないというのちを守るとこととリンクする。
- ・お年寄りのパワーを生かしたカフェ、みんなが集える
- ・知り合いの大月の人も山梨市の病院にくるといふ人が結構いる。
- ・地元の人が農業を楽しむだけではなくて、農業を通じた交流とかがあるといい。

→農業の楽しみを伝えるまち

- ・農業をやっていると楽しい。ストレスがなくなる。是非やってみてください。人間、土をいじるのが基本。
- ・いのちが輝き続けるまちについては、いのちは人のいのちもそうだし、食べものもそうだし、自然環境、川も森も木も。
- ・いきがいカフェ
- ・これから農薬のことなどを考えていかないと。果樹地帯は減ってきているので、自然との共生の話をしていかないといけない。有機農業とかに切り替えていかないといけないので、自然との共生や環境にやさしいということを入れないと。
- ・安心して食べられるというイメージを入れるか。
- ・「おいしい」まちというのがキーワード
- ・色＝個性
- ・すみずみまで幸せで豊かな色のまち
- ・みんながお互いに認め合って
- ・障がい者が住みやすいということはみんなが住みやすい。ハンディがある人が特別視されることなく、みんなで支え合って、個性を認め合うというイメージ。

2. 産業・経済班

WSにおける産業・経済班のビジョン案・サブビジョン案の検討結果は以下の通り。

ビジョン案

ふるさと郷土が育む四季の色あいあふれる、にぎわいのまち

郷土の自然と人が主体となり、桃をはじめとする四季の色あいたる産業、観光産業などを大事に育てながら人々のにぎわいを創出しつづけるまち

サブビジョン案

①果樹でつながるまちづくり

②ヒトにやさしく、住みやすいまち

雇用の面や、セラピーみたいな新産業も含めて

③都市と自然の交流のまち

主な意見

- ・今までの議論では農業のウェイトが高い。農業従事者は18%、農協などの関連はサービス業などに含まれるだろうが、それを含めたとしても、6割、5割以上は非農業。
- 農業を中心に据えるのはいいが、その他の点検もしたい
- ・農業を兼業をしているのが山梨市の特徴。ここの市庁舎も元々はNECの建物。働く場所、企業が撤退している。企業もこなければ、人も八王子など東京方面へ出て行ってしまっているのがこの10年。だから、ベッドタウン化するのであればそれもひとつの方向。
- ・山梨市に観光客がくるかというとなかなかこない。工場を誘致しようとしても難しい。東京一極集中の中で圏央道はあるものの、山梨市でつくるメリットがあるのか。残っているのが農業ということになるが、いい部分もある。
- ・いま、アンテナショップを強化するなど大切なことだと思うが、将来、人口が微増して、次のステップとして観光でこういうことをPRしていこうというのはいい。
- ・50年後に子や孫がこういう議論をできるような場を残してあげることの方が大切だと思う。その時に向けて、いま、山梨市が何をできるのかを考えるのが課題。
- ・非常に住みやすいまちだと思っている。ただ、人口については伸び悩んでいて、人口をどう伸ばしていくかということに行きつくのかなと思っている。
- ・前回の市民部会では、企業の税収が増えて、人口が増えていくようなサイクルをどう考えていくかで終わったと思う。好循環をどう生み出していくか、まだどこがスタートかわからない。そこが、農業か、企業誘致か。
- ・仲間内の「無尽」がある。飲み会。情報提供の場。市民部会の2回目の後に話をしてきた。地下2000メートルまで掘って、核燃料の研究所からスタートしたらどうかといったら笑われた。
- ・農業は天候に左右されて安定した収入が得られない時もある。もちろん、いい時もあるが。だから親が子供たちに安定的な仕事に就くように言い聞かせてきた。それで最終的には人口が少なくなってしまったのが現状ではないか。
- ・棲み分けをする時期だと思う。農業やる地域、住む地域をもっと市民が理解して次のステップに進んでいく。土地は財産なので、売ればお金になるという考えが根強い地域。次の世代につなげていくような意識がもっとないといけない。
- ・山梨県の中でも峡東地域の土はかなりいいので農業に向いている。
- ・バックアップの都市にしたい。例えば国会図書館で負えない蔵書を山梨県の安いところで建物をつくって引き受ける。それで働き口を増やす。バックアップの施設。
- ・防災都市。ダムがあるおかげで災害が少ない。
- ・農業の方の収入が減っている。人口減は防げない。山梨市だけがどこからか人を引っ張ってきたらそれでいいのかというとそうではない。他の地域も同じようなことをやっている。いまあるものを守って行くしかない。市役所が一番大きい企業。いまの状況であれば

農業を守って行くしかない。

・北杜市の明野の農業は大規模でロボット化してやっている。ソーラーによるエネルギーも活用している。団地をつくって人を優遇して入れている。そういうのを見て、山梨市をみたときに、何をやったらいいのか。

・桃しかやっていない人が圧倒的に多い。桃に香りをつけたらどうか。味とかはいろいろある。

・マンゴーをやったらどうか。山梨県では6か所で試験栽培やっている。

・農業をやってみたい方はいると思うので、そういう方に対するアピールの必要があるのではないかな。

・企業誘致については、製造業は無理と思う。アジアへ進出する。意外と山梨市の地盤は固いと聞いている。防災面ではいいのではないかな。安全のアピールも必要ではないかな。防災都市の関係で、企業立地、林野庁の移転などへつなげられないかな。

・データをみると、果樹と野菜は比較的収益がいい。農家だけでいうと、そこそこいいレベル。ただ、笛吹市は一経営体の収益や一経営体あたりの大きさが経年で増えている、あるいは減らない。甲州市は新しい取り組みをする個数が多い。そこら辺が少しずつ離れつつある。

・RESAS（地域経済分析システム）のルート検索のデータをみると、ほったらかし温泉の観光客数が、3市を並べても上位。関東の西側からの観光客が多い。観光の可能性は残しておいてもいいのではないかな。

・関東の西側からの導線は動きやすい。川崎からくると20分ぐらいしかかからない。

・ただ、通過点になっている。勝沼のワインにいくか、石和のお泊りにいってしまうか。ここにお金が落ちない。

・来てくれるのはありがたいが、お金を落としてもらいたい。

・リニアの駅ができて、ここに観光客を呼んだとしても、景観、夜景をみて石和に泊まる、勝沼でワインを買って。

・医療と景観、西沢溪谷のセラピーといったこと+医療、これらをタイアップして何かできるのではないかな。中村産婦人科もできる。

・道路が整備されても道路で速く動けるだけで、どこに泊まるか、競争が起きる。

・ドローンでものを運ぶ、ドローンを活用する研究拠点にするとか。クルマの無人走行であれば、過疎のまちこそテストコースにもってこい。そういうところの研究の拠点とか。

・高齢者の介護、特養とか都内の足りない部分をもってくるとか、ソフト面での誘致に力を入れ、地元の雇用先確保につなげていく。

・アドバルーンをいくつかあげることが必要ではないかな。

・市内のピーチ専科ヤマシタでは、若手の農業者を活用して、県も成功事例として紹介している。hototoも頑張っている。

・そういう頑張っている人たちの情報が市民に流れてこない。

- ・だいたい、いまの農業のスキームは、県の試験場が地域ブランド品種を決めて、その推奨品種に対して補助金を出して、結果として県と同じようなブランドが全部統一化されて、それ以外をやると補助金が除外になってフィーが高くなって競争力が失われる。ひどいところだと、特定品種にならないと市場に出せない。検査するときも自費ですごくコストがかかったりなどして。
- ・輸出は県でもやり始めているようだが、桃は日持ちの問題がネック。
- ・農協がついているんだけど、作り手は基本的に個人。つくり方は基本的に極秘。横の連携はない。
- ・農業で笛吹、甲州と数値を比べてると、いろいろな数字で劣るので、相当頑張らないといけないし、目玉をつくらないといけない。
- ・笛吹市は行政が海外に売り込みをしている。山梨市もそういう働きをしないとイケないと思うし、海外輸出は検疫が厳しいし、TPPでどうなってくるかわからないが、一農家でやれる問題ではない。市が農業・林業を主軸に考えていくのであれば、大きな枠組みの中で体制を考えていかないとイケないのではないかな。
- ・東京では高尾山の年間登山者が多い。山梨市は山岳資源が豊富。乾徳山にしても、2000～2500メートルの山で、わりとアクセスがよく近くまで行ける。
- ・いま登っている人の層はかなりバリエーションがあって、シーズンはじめにどこか登山に行こうとか、冬場だと大菩薩嶺など登山しやすい。そういう山並みがそろっているので群団で捉えるとおもしろい。
- ・初期の「山ガール」ブーム+αでいうと、導線が簡単で、片道3時間弱ぐらいで、計5時間弱ぐらいの日帰りするのに楽で、かなりお得感がある。コンビニエンスにしては、2000メートル級がある。
- ・大弛峠は自転車でもかなりありだと思ふ。
- ・今年ヒルクライムを行った。
- ・なかなか観光資源がつぶぞろい。
- ・農業遺産を3市で検討しているが、観光の部分でなんで連携できないのか？3市のつながりをつくって進める方がいいのではないのか。農業遺産を考える前に、観光について3市で考えた方がいいのではないかな。
- ・ワインツーリズムについてはバスが出ていた。ワインだと勝沼になってしまう。
- ・山梨市でもコンクールで入賞するなど、最近はいろいろなところで頑張っているワイナリーが出てきている。
- ・落ち着いた空間提供と山梨の濃ゆい四季の表現。東京と違って山梨市はおちついた空間を提供できるのではないかな。東京で一生懸命働いている人の中に、落ち着いた空間を求めている人がかなりいるのではないかな。一日のサイクルの中で求める場合とか、リタイアしてその後の余生をとという人もいれば、いまの東京に疲れてしまった人など、いろいろな人を引き受けられる空間提供が山梨市はできるのではないかな。

・東京にはない濃い四季が表現できている。ここが魅力で観光客がくる部分がある。農業、文化財、温泉施設をそれぞれの分野で表現をしていく。いままで山梨市は表現がへただったのではないか。

・土がある暮らし。

・拡大する、変革する、というスピード感ではないかもしれない。

・自然だけではなく、そこに住むっていうことは人も大事。

・桃というと、笛吹のイメージがある

・山梨市の色というと緑。ロゴもそうだから。

・雪の白というイメージではない。雪景色が楽しめるというわけではない。

・郷土と人が育む四季の色合いあふれるにぎわいのまち。四季の色合いは自然、緑、農業、桃の花。にぎわいはざわざわ感、若い人が集うとか。

・山梨市は田舎だから郷土と言う言葉があった方が都会と差別化できる。

・観光に直球でいくよりかは、アクセスがいいから観光にくる人もいるし、八王子あたりから住みに来るひともいるみたいな感じの方がよいのでは。

→都市と自然の交流のまち

・農業というと広すぎる。桃の生産が日本トップクラスなので絞った方がいいのでは？

→果樹でひろがるまちづくり

・「人」といった時に癒しの方が強いのでは。

・「人」は入れなくても、交流の中に入っている気がする。

・山梨市は住みづらい。そこに地縁・血縁があった人でないと、ポンときても入りにくい。

・地縁が強すぎるということが言われている。取り払おうとしている地域もある。

→人にやさしく住みやすいまち

3. 教育・文化班

WSにおける教育・文化班のビジョン案・サブビジョン案の検討結果は以下の通り。

ビジョン案

いのちへつなぐまち

いのち=生命といより大事なものという意味、つなぐ=いまつながっているものをより強固にしていきたいという想いを込めている。

サブビジョン案

①いのちを守り、育てるまち

山梨市の自然環境、人間性、家庭教育を含めて。

②豊かな学校教育を支えるまち

学校をよりよくするために、先生だけではなく地域の人たちも学校を支えていく。

③人々をつなぐまち

学校、スポーツ、祭りなどを通じて、人々がつながる。地域コミュニティがより強固になる。

④伝統をつなぐまち

たくさんある文化財、伝統・芸能など古くから伝わっているものを未来につなげていく。

⑤国々をつなぐまち

グローバルな視点をもって、日本、山梨県、いろいろなところと山梨市がつながる。いろいろな国の人が住みやすいまち。

主な意見

・「いのちをつなぐ」というのは問題が絞られ過ぎているから、「いのちへつなぐ」の方がいいのではないか。「いのち」ある生活へつなぐという形にした方がサブビジョンが生きるのではないか。

・三富小学校の廃校。この小学校の施設の有効利用。ここはビジョンとも関わってくる。指定管理は反対。管財や財政という観点はわかる。教育・文化という観点から施設を利用できなければ意味がないと思う。それをやっていくための考え方をこういう場でまとめられればいいのではないか。

・第1次総合計画の目標の達成状況を見ると、スポーツ施設の利用者数が、人口減少の中でもかなり増えている。より多くの市民の方がスポーツに親しむようになったり、市のスポーツ環境が整っている可能性がある。

・文化財が山梨市は多い。

・学校教育、英語が先進的でもあるので、そういったことを含めたサブビジョンがあるといい。

・10年先にオリンピックやパラリンピックの開催という大きな流れもあるので、そういうことも踏まえていくと、より時代に合ったものになるのではないか。

・教育については、家庭教育、学校教育、社会教育（地域での教育）。こうした区切り方も参考にできるのではないか。「いのちへつながるまち」であれば、家庭教育が強くマッチしているのかなと感じた。

・特別支援教育として聴覚障がい者のための聾学校在県内で1つだけ山梨市にある。英語教育と同時に、特別支援教育に力を入れているということも打ち出していければと思う。

・小中学校は市立で、特別支援学校は県立なので、職員間の交流があまりない。行政としてのくくりも違う。山梨市の教育委員会の人は聾学校のことを知らないはず。そういう行政の壁に関係なく、山梨市のいいものをつなぎ合わせていけたらいいと思う。帝京の福祉の専門学校もある。運営のくくりは違っても、いいものをお互いに結び付けられればいいと思う。

・ただ、普通の学校に通わせたいという親もいる。

・一人の生徒に対して教師をあてがわないといけないので、どちらがいいのかは、親や子どもの気持ちによると思う。

・楽しいまちでありたい。笑顔が絶えないような。

・いつ災害が起こるかわからないので、自分たちが命を守れるような教育は大事ではないか。

・自助・共助・公助。公助だと全般的なので柔軟にできない。まず、自助。自分のことは自分で。

- ・日本の理科教育に2つ問題がある。人間の体についての教育がほとんどない。学習指導要領にあまり入っていない。ヘルス・エデュケーション、体育・保育はあるが、ちょっと違う。子どものチャンネル（TV）があるといい。天文学も全然。これを勉強しないと、日本の気候とか、なんで台風が起こるとか、わからない。
- ・学習指導要領のしぼりがある。そこから+ α の教育をいかにできるか。もう一つは地域の方がゲストティーチャーのような形で子どもたちに教える場合もある。そうすれば教科書だけではなく学べるところがあると思う。
- ・地域でボランティアに教育を豊かにするという機会をつくりたい。
- ・総合的な学習が平成10年に生まれたが、自分がそういうところで育ってきていないので、そこに基礎的な知識がないので、自分の事業としてうまくやりきれないところがどうしても出てくる。それを地域の人材、例えば専門学校があるので、先生に講師として来てもらって、空き教室を使って、それをCATVで流すなどしたり、いろいろな部分でつながっていければ、いい教育ができるはず。
- ・学校教育ばかりに背負わせるのではなく、みんな力をもっているので、それらをつなぎあわせられるような仕組みをつくれればと思う。
- ・文科省がやっているコミュニティ・スクールが参考になるかもしれない。地域の方が学校運営に関与していく。
- ・あるアンケート調査の結果によれば、日本の先生たちは一番忙しい。時間がかかる。いちばん大変なのが中学校の部活動。先生にとっても、市民の方の応援があると、いい学校になっていくのかなと思う。先生も子どもと向き合う時間がとれる。
- ・PTAも大変なので、地域の参画もこれから重要になるはず。
- ・後援会的なものがあるといい。
- ・実際にPTA以外の後援会的なものがある。オヤジの会。PTAは学校に子どもがいる親で構成されるが、親以外にも、OBなどで構成する地域の応援団がある。大月市など。学校施設で木がうっそうとしてきて予算がなくて切れないという時に出勤したり。学校に池が無いという時につくってしまうとか。助け合いも生まれてくるのでいいコミュニティだと思う。
- ・将来のモデルにもなる。木が切れてすごいとか。実際にいい大人がいても子どもとの関わりがない。
- ・学校の横のつながりがいい。隣の学校のことは知らない。交流がない。そういうのがあればもっと友達が増えたり、文化財を知ったり、楽しめるはず。
- ・英語教育がいいのであれば、英語の踊りとかやればいい。
- ・遠足、フィールドワークを増やしたい。おじいちゃんの桃のつくり方とか。そういう独自の教育をやっていけばいい。
- ・学校が、地域の中核、人をつなげられるような場になればいい。

・そこに住んでいる方が普通に思っていることでも、他の地域から来た人に「山梨市ってこんなすごいところがあるんだね」ということを言ってもらえるはずなので、他のつながりや交流があると山梨市のいいところがより明確になり、共有できるはず。

・私は徳和に住んでいて、伝統的な民族に興味をもっている。明治30年から戦後1回か2回しかやらなかった徳和歌舞伎を復興したいと思って力を入れている。信州の大鹿村にいった大鹿歌舞伎をみってくるが、これがモデルになるのではないかと考えている。是非、徳和村の長老たちの知恵を集めてもう一度やれないかと考えている。

・民俗を大事にしていく。そういう中で自分たちもいきいきとコミュニティの生活ができるような人々の和が山梨市でつくれないか。そういう素地がこの地域にはあると思っている。万葉うたまつりや笛吹川源流まつり、いま言った徳和歌舞伎、それから牧丘にも牧丘歌舞伎があったらいい。こういうものを復興させながら、現代と山梨市のもっている伝統を合わせて、豊かな生活が山梨市でないとできないという感じになるといい。

・山梨県の観光の計画を見たが、山梨県は観光部をもっている。日本の生きる道の一つは観光だと思う。山梨市はこの路線で、外国の人にも来てもらう、それから住んでもらう。観光業を盛んにしていく。山梨市には自然がある。西沢溪谷、乾徳山。いっぱいある。もっともっと観光客を呼べる。その中で徳和歌舞伎や天神祭も入れたい。こういうものは観光の売り。観光で儲けるといって話ではなくて、観光に関わることで、人々の生活が豊かになる。山梨市から山梨県、全国に文化を変えていく可能性があるのではないか。

・子どもを育てるのは最初は親なので、親がしっかりしていないと、子どもがしっかり育たない。

・今まで伝統・文化を守ってきた、継承してきた人たちがいるからこそ、いま、残っていると思うので、そういう支えてきてくれた人たちに光があたることによって、もっと観光客が増えて、今後もより継承していこうという流れが出てくるといい。

・文化があるまちはそんなにたくさんはないのではないか。近隣は別として。

・「つなぐ」というと、いまつながっていない、ということはないか？

→それはないだろう。「いのち」は生命という意味と、大事なものの中心という意味がある。いまあるものをより強固にするという意味合い。

・スポーツの数字の結果からすると、スポーツの視点も入れた方がいいのではないか？

→教育・文化の観点からすると、「人々をつなぐ」中に入っている

4. 環境・インフラ班

WSにおける環境・インフラ班のビジョン案・サブビジョン案の検討結果は以下の通り。

ビジョン案

安心して住みやすいまち

山梨市に住んでいるお年寄りの方々や、将来の市民：いまの子どもたちや将来山梨市に引っ越してくるひとたちが住みやすいまち

サブビジョン案

①救急車・消防車が入れるまち

(山梨市に住んでいるお年寄りの方々に対して)

②自然と共生しているまち

(将来の市民の方々に対して)

③学ぶ場・働く場のあるまち

(将来の市民の方々に対して)

インフラは道路などのハードインフラもあるが、山梨市がまちとして持続していくためには原資がないとやっていけない。若い人たちが入ってくるような、学んだり働いていけるインフラが必要。

主な意見

・友人が被災地にいる関係で、物資を送っても行政の方でどれぐらい市民が必要なのがわからないのが一番の問題ということを知った。自分の住んでいるところであれば、小学校の体育館が避難所になると思うが、特定避難所として行政の指定があるかないかで物資の行きわたりがかなり違うということも知った。水やちょっとした備蓄などを行っているかどうかを知りたい。

・防災倉庫がそれぞれの地域にあり、全市民を補えるような何日か分の水や食糧がある。

・雪の時に寸断されたが、早くても4～5日分は必要。

・小さいお子さんがいるところは紙おむつやミルクが必要だが、山梨市は昨年、備蓄品として管理した。ただ、これは各地域に配備しているわけではない。区によってはあるところもある。

・サーフビバレッジと災害協定を結び、市がもたなくても、水を供給していただけることになっている。

・山梨市の医療関係の順位はいいが、東洋経済の住みよさランキングの安心度は甲州市・笛吹市より低い。全体のランキングも。ここを分析すべきではないか。

・弱い部分が押し下げている。全体としては特に富裕度が。

・駅のうしろに細くてバックもできない道路がある。道路整備が遅れているのではないか。

・東京から長野にいけるトンネルをほったらどうか。30分で東京から来れるぐらいの。そうすれば山梨市の人口はかなり増えるのではないか。

・羽田空港までいく超特急が走らないのか。

・まず山梨市のことを考えて、次に山梨県のことを考えて、次に観光地区のことを考えて、最後に国全体のことを考える。そうでないと、山梨市の事を考えられない。視野が小さくなってしまう。

・住民アンケートで6割が「住みやすい」、残りの2割が「住みにくい」と答えている。その理由はわかるか？

→特に牧丘、三富での公共交通の不便さが挙げられるだろう。乗る人が少ないので本数が少ない。ただ、西沢溪谷線は観光シーズンになると全然違う。立たないと乗れなかったり、臨時便が出たり。

・秋の観光シーズンにコバエが出る。牛糞のため。散歩で笛吹に行くとコバエがとんでいない。おそらく、肥料が違う。コバエが枯露柿にくっついて商品にならない。山梨市は住みやすいが、これが唯一住みにくい部分。

・東洋経済の住みよさランキングは701位で、こんなところには住まないよ、という順位だが、ここは災害もないし景色もいい。

・笛吹・甲州に比べて山梨市は静かなまちで、文化や教育といった面では評価が高いところ。そういう意味では安心できるすばらしいところがある。商業や交通に目を向けると不

便な感じ。ただ、道路を広げて大型車がばんばん走ることになると、騒音でうるさいという話になる。どちらをとるかということが、山梨市の方向性を決める上で重要なのではないか。

- ・東洋経済はあくまで目安でしかない。週刊ダイヤモンドのランキングでは、昔、上位にランキングされていた（合併前の山梨市）。

- ・人口ビジョンをみると、若者が東京に流出している。山梨市には山梨高校と日川高校がある。地元の山梨大学、山梨学院大学へ行けるような対策を考えると、人口の流れが少し変わるのではないか。もちろん、高校は市の管轄ではないが。

- ・卒業しても働くところがないから帰ってこれない。

- ・前にNECがあった時は地元採用があった。

- ・撤退して、辞められた方や桃農家になった方がだいぶいる。そういう企業誘致はもうできないのか？

- ・市でも企業立地を強化するためにこの4月から専門部署を立ち上げたところ。いままでは大きな企業を呼び込むのが主流であったが、ネット社会を踏まえた誘致や、市内の企業の拡大に取り組む。

- ・ICT企業なんかは地方の古民家に机を置いたオフィスを構えたりして、徳島県なんか誘致に取り組んでいる。牧丘みたいな自然の豊かなところに来てもらうといい。

- ・統廃合により空き公共施設が出てきている。企業立地の観点から活用していく。ただし、小学校などは地域のコミュニティの核であったので、それを民間企業に売ったり、入ってもらったりというのは、やはり地域の合意形成があるので、そこは丁寧にやっていく必要がある。

- ・推薦して地元の高校から地元の大学に入っても、働く場がなければ地元に残りようがない。

- ・私は山梨市にきた理由の一つは日川高校に子どもを入れたいということ。文武両道でいい。深沢七郎も出ているということで。

- ・住みにくさとして、交通網の問題、肥料等が原因でにおいやコバエへの対応。住みやすさとして、静かだったり文化的なことはあるが、若者の定住には結びついていない。高等学校、大学、企業のルートを太くできるような取り組みを環境・インフラの観点からできないか。

- ・本厚木は50年ぐらいほど前はほこりがまって秋口にはいられなかった。いま行ったら企業はいっぱいあるは、デパートはあるは、高校のレベルも上がった。昔は行く人がいなかった。

- ・産業経済大学とか青山学院大学とかができた。愛甲石田というところにアマダができた。外国からのお客さんをそこに呼んでインフォメーションをして、そこで商談をする。ああいう僻地で。それでとなりまちが本厚木。そういうまちづくりのあり方も考えられる。

- ・災害が起こらないという科学的根拠はあるのか。
 - ・おそらくない。
 - ・明治 40 年の笛吹川氾濫以来、起こってないから。
 - ・この前の雪も観測史上初のはず。
 - ・決壊した場合はどこまでいくか、ハザードマップは作ってある。
 - ・いま、国土強靱化計画を作成しているところで、災害に強いまちをどのようにつくっていくかということで検討している。
 - ・例として、地震が起こったとき、塩山が震度 5 であったら、山梨市は震度 3 ぐらいで低い。地盤の違いなどがあるのかもしれない。
 - ・それは売りになる。安心して暮らせるのが一番ではないか。居住者にもアピールできる。
 - ・富士山が噴火した時も御坂山塊で守られるから大丈夫だと聞いたこともある。
 - ・災害がきたとき、一人暮らしの高齢者など弱者が被害にあってしまうので、災害に強いまちは安心。
 - ・安心して住みやすいまち
 - ・移住はサブな感じ。
 - ・継続可能な住みやすさ
 - ・ハードの災害対策というよりも、地方だと、あそこの家には 1 人暮らしのお年寄りがいるのでみんな助けに行くとか、住んでいるのを知っているとか、そういうインフラ。目に見えないけど、そういう宝があると思う。
 - ・高齢者にも子どもにも、若者にも住みやすいまち
 - ・すべての家に消防車・救急車が入れるようにしないといけない。
 - ・生活道路を広げてあげないと。幅員 4 メートル以上の道路があるまちということ。
- 救急車・消防車が入れるまち
- ・いま住んでいる高齢者を念頭においたサブビジョン。
 - ・雇用。将来の市民を念頭に置いたサブビジョン。
 - ・働く場のあるまち。学ぶ場も大事。
 - ・自然。自然と共生できるまち。
 - ・災害に強いまちは？

5. 協働・行財政班

WSにおける協働・行財政班のビジョン案・サブビジョン案の検討結果は以下の通り。

ビジョン案

役所が目立たないまち

市民が自立、主役のまち。

サブビジョン案

①市民がガイドできるまち

山梨市のいいところをみんなが知っていて、みんなが案内・紹介できる。そのためには山梨市のいいところを勉強し直す。そして外部に発信する。

②希望活動人口を増やすまち

生涯現役者の多いまちで、歳をとっても収入を得て納税ができる人を外部からも呼び込む。

③産官学民金の協働するまち

市民の意見を吸収・反映させるまちで、市民と役所が協働で作業できるまち。協働のパートナーを外部からも呼び込む。

④市民総活躍のまち

説明不要。

⑤少数精鋭の市役所のあるまち

あえて説明を入れずに考えてもらう。

主な意見

- ・山梨市のグルメ、食は弱い。全然聞かない。よそからお客さんが来る時に、食べるところに連れて行くのに苦労する。
- ・役所が目立たないまち：協働が進めば、その裏返しとしてこうなっていく。達成するためには、市民の意見の吸収・反映が基本で、広報をやりすぎるぐらいやらないと。
- ・市民が全面に出て、役所におんぶにだっこではなくて、市民がつくるまち。市民が自立して考えていくということをやっていないと。市役所は堅実な仕事、目先の仕事に追われているので、長期的に考えることには時間がとれないのではないかと思う。
- ・市民と職員が協働するスペースを確保し、一定時間協働で作業するということが挙げたが、正直、市民もなかなか表だって出てこない。
- ・歴史と文化など、山梨市のいいところを当たり前知っていて、みんなが案内・紹介できる、週に1回フリーツアーができればいい。市民に対してにしる観光客にしる。→フィールドミュージアムというコンセプトで山形県がやった。市民が学芸員として案内する。
- ・みんなが案内・紹介できるというのは、協働のまちづくりにも当てはまる。
- ・知ってもらうことが重要。
- ・市の人は当たり前知っていて、情報発信していないかもしれない。
- ・埼玉県志木市で穂坂邦夫市長のとき、市役所しかできない仕事は何なのか、仕分けをした。10分の1にできるという結論が出た。戸籍、税金をとるとか、法律を背景としたもののみが残る。そういうアイデアがあったが、市長がやめた途端にその議論はなくなった。
- ・65歳から高齢者とくくられるが、70でも果樹園で現役で働く人も多い。歳をとっても元気で収入も得れて、税金を払える、そういう人を希望活動人口とよぶのかなと思った。これは山梨市だとイメージしやすいのではないか。農業で70歳で働いている人が多いので。
- ・民生費はおおざっぱに言えば、福祉系。介護、健康増進。生活保護も。10年前から増えて、さらに10年後にはもっと増え、歳出の大きな部分を占める。税金をもとにやるのか、そうではないやりかたで工夫するのが、市役所の行財政を考える上での重要な視点になる。
- ・希望労働人口の増加も含めて、高齢者の医療費を下げる、そういう方向に何か対策を進めて行けば、財政的にも少しは役にたつので、健康づくりの必要性がますます重要になる。
- ・徳島県の上勝町では、葉っぱビジネスで、料亭で出すつまものにもみじなど季節季節のものを山から拾ってきて、それを売って80過ぎのおばあちゃんが年収1000万円以上を稼いでいるのがテレビでよく放映される。上勝町の国保の負担比率は徳島県平均の半分ぐらい。お年寄りが元気で働いていれば医療費は減る。果樹を基盤とした山梨市でこの葉っぱビジネスのようなことができないか、検討してみるとよいのではないか。

・個別の具体的な話は産業・経済班でやるにしても、それがこういう効果を生むんですという構造的な説明みたいなものは、協働・行財政班でしていけると思う。

・山梨市は県内平均より税収が低い。NECが出た穴埋めができていないことも大きい。なんとか税収が増えるようなやり方も考えないといけない。

・これまでは合併して10年までは財政的に優遇しますという制度があって、その中でやりくりできたが、それがだんだんなくなっていく。ほっといても厳しくなるので、よけいに努力しないといけない。

・自治会への加入率は減少傾向にあるが、約8割なので、全国的にみればかなり高い水準をキープしているといつてよい。協働をどういう単位でそれをやるのかといったときに、この自治会というのは、ひとつの基盤になると考えられる。この8割を+に捉えて、どう活かしていくかと考えていくのもいいのではないか。

・協働とはいろいろな人が力を合わせてまちづくりの課題に対応していくということだと思うが、具体的にどういうところまでできるのか、のヒントが、山梨市の協働の事例ということで5つ、ホームページにあがっている。

1. 地域型：公民館等を拠点に地域活動をする。例えば、一人暮らしの高齢者に集まっていただいて話をしたり食事をしたり。自治会や小学校区、山梨市の地域をいくつかに分けた小さな単位で何かをやる。

2. まち型：山梨市の駅前を活用した朝一やイベントに取り組む。まちを舞台にする。

3. 山村型：乙女高原のボランティアなど、山村を舞台にする。

4. 他地区との交流型：体験農園など、外の人を呼び込む形での協働。

5. 事業者型：基礎データ集のp58、山梨市の特徴的な協働事例として、ライオンの森が挙げられている。

・甲州市はポーラ化粧品オルビスと組んで森林整備をやっていたはず。

(ポーラ化粧品のグループ会社であるオルビスの事業で、ポーラ本体のCSR事業ではないので、「大企業」のCSR事業としては扱わなかった)

・企業がCSRをすごく大事にしようとしている。北杜市なんかも耕作放棄地に三井物産か何かが入っていたはず。

・5番目の企業と結びつく協働のタイプは新しいタイプではないかと思う。一般的に協働というと、市内の中で行政や市民がいろいろなタイプの中で力を合わせるというのが普通の考え方だった。協働のパートナーがまちの外にもいることに気づかせてくれるような事例ではないか。

・東京圏から比較的近いということを見ると、外からいろんなものをひっぱりこめる可能性があるのではないか。笛吹市と甲州市を比べると条件は同じかもしれないが、全国に比べれば恵まれているといえるのではないか。

- ・「市役所のないまち」というのは現実にはできない。市役所が目立たないということは市民が目立つ、市民が自立。ただ、それだとおもしろみがない。
- ・山梨市のいいところをみんなが知っていて、みんなが案内・紹介できるまち。
- ・そうした場合、甲州市のような恵林寺のような、これというものがない。
- ・八幡神社とか、本当は鎌倉よりもすごいものがある。ところが、山梨市は宣伝が下手なのか。
- ・大事にしていないというのものもある。
- ・私はあそこのガイドに登録しているが、お客さんが入らない。車が入るところがないということもある。あそこの宝物館にはすばらしいものがある。
- ・鳥居も最古のものだが、車がぶつかり放題。そんなところみたことがない（笑）。
- ・山梨市のいいものをみんなで学び直すことが出発点。
- ・八幡神社の勉強会はよその県からくる。静岡や愛知など。
- ・市民がガイドできるまち、と短い言葉にした方がいいかも。
- ・希望活動人口は他で聞いたことがないので、是非、ここで使ってもらいたい。
- ・全員参加で活力があるということ。みんなが生涯現役。
- ・希望活動人口を増やすまち
- ・最初は人口減少を止めようということで、そういう言葉が出てきた。
- ・いまいる人たちにもそうなってもらいたいし、そうなりたい人呼び込むということも。
- ・外から呼び込むという意味も説明に入れる。
- ・生涯現役：収入を得て税金を払えるという意味。
- ・市民と市役所との関係を表現したところが、市民の意見の吸収・反映が大事で広報が重要というところ。ここは仕組みみたいなところだと思う。もうひとつが、市民と役所が一体となって仕事ができるスペースを確保するという場の問題。「少数精鋭の市役所職員」というのはどこかで入れておかないと、市役所に失礼ということになるかもしれない（笑）
- ・発信が十分になされないと状況がわからない、したがって市民から意見も出てこない。
- ・どう動けばいいのか、情報がないと動けないというのはある。
- ・市民の意見を吸収・反映するまち
- ・ただ、その表現だと消極的な感じ。もっと市民が主役というイメージになった方がいいかもしれない。前向きに。
- ・高齢者だけでなく若者も活躍するようなイメージがあるといい。
- ・サブビジョンの5本目に「少数精鋭」を入れる。行財政という部分も1つ必要なもので、これが合う。
- ・産・官・学・民・金が協働するまち。これは、必ずしも山梨市内に協働のパートナーがある必要はない。協働の場は山梨市内。これも、外部から呼び込むニュアンスを入れる。

以上

ビジョン実現策のアイデア

第4回市民部会WS結果取りまとめ

2016年5月20日

第4回市民部会WS結果

(1) ビジョンの明確化

1. 健康・福祉

誰が	どのような状態
おとしより	心配ごとがない 一人じゃない 生きがいがある 頼りにされる 長生き 楽しい 健康で長生き 子供が近くにいる 近所にコミュニティがある 医療費の心配がいらぬ
一人暮らしの人	さびしくない生活を送れる 友達がいる
後継者のいない人	心配なく任せる人がいる
新しい命	お年寄りをうやまう心
子供達	たくさん生まれる
幼稚園児	夢を持てる
若もの達	安心して遊べる 自分もまたここで子育てをしたい
学生	お金の心配がない
お母さん	楽しく子育て
働く人 (農業の人、労働者、経営者、商業をしてる人、職人)	賃金が増える 生き生きと仕事ができる 魅力のある職場
病气の人 障がい者	仕事ができる(自立) 安心して共生できる 差別・偏見がない
山間部の人	移動が容易にできる 買物に困らない
移住希望者	たくさん来る 地域にとけこめる
住むところのない人	すぐ見つかる いなくなる
観光客	何度も来たくなる 友達に伝える
食べれるもののいのち	安心・安全
自然の命	たくさんある

2. 産業・経済

誰が	どのような状態
体にハンディキャップを持っている人が	一般の人と広く交流できている 一般の人と同じように働くことができる
都会の人 都会へ出ていった若者	移住しやすい 働く場所が選べるくらい沢山ある 帰ってきたくなる
子供達が	夢を持てる 東京へ通学できる環境(大学、専門学校) 地元の大学で学べる
Uターンを希望している人が	満足のいく働く場所、高収入が得られる環境 増える
中小企業の経営者 働く人	安定した職業 企業を呼ぶ 良い空気、自然豊かな環境の中で働くことができる チャレンジしたくなる
観光客が	行ってみたい、見てみたい所 峡東3市をめぐる観光コースを満喫している また来て見たい観光地
自分自身が	年収が倍になっていたい 仕事をしたい 桃やぶどうに替わる果実をつくって輸出したい
農業者が 農業後継者が 隣の82才の農家のおばあさんが 20代の嫁さんが(子供2人いる) 女性	収支のバランスの取れる農業 生産者が値段を自ら決められる 一年を通じて農業ができる 安心して子育てができる 安心して働くことができる

3. 教育・文化

誰が	どのような状態
子ども達が	Volunter guests Education about health ノーベル賞を獲得 自分で命を守る 自然教育 防災教育 Life Guard Education 外国人に案内をしている(ガイド)
居住する多くの外国から来た人が おとしより(高齢者)が	郷土料理と外国の料理を合作している(Cooking) 文化・伝統を伝える 笛吹川中流域まつりを盛り上げる 交流し伝える 伝統 安心して(住む) 暮らせる 教育 歌舞伎を舞っている 近所の子どもに教えている
農家が	Education about farming and faming culture of Japan 知識として生かす 健康とか～始まる 生きる力 桃の作り方を教えている

4. 環境・インフラ

誰が	どのような状態
学生が	遊べる公園が多い
病人	救急搬送しやすい道路
被災者	隣近所との情報共有ができています
失業者	働く場所がある 仕事の斡旋 いない
学生が	行きたい学校に行ける 安心して通学できる 専門性を身に付けやすい(学ぶ) 学びやすい 事件に遭いつらい通学路(明るい道路)
だれもが	医療を受けやすい 健康でいられる 差別なく、閉鎖的では受け入れることができるか 移動しやすい(交通機関) 税金をちゃんと払っている 法以上のことを民間に求めない 気軽にスポーツを楽しめる(施設がある)
高齢者が	災害が起きても安心して避難できる 安心して老人ホームに入れる 老人施設に入所しないで安心して生活できる 自分で買い物に行くことができる 自分で自分のことができる バリアフリーの家(空間)に住める 一人でも暮らしていただける 自分たちだけで外出できる
子供が	自然のなかで伸び伸びと遊べる
農家が	鳥獣被害を心配しなくてすむ
働く人が	通勤を苦しめない
主婦が	幼児を育てやすい 子供を出産しやすい
小さな子供も保護者も	子供の通学時の事故を心配しない(通学路の整備)

5. 協働・行財政

誰が	どのような状態
役所と市民が 市役所	一緒になってPR活動・プレゼンする体制が出来あがっている 財政が豊かになる 気軽に立ち寄って話がしやすい 役所はシンクタンク(少数精鋭)で実働は市民
市民	市役所の仕事に興味をもつ 行政を理解する 市民の意識改革 考える 提案する 市を愛する 産官学民金 協働が盛んになっている 豊かな心がある 心豊かな生活を送れる 経済的に安定する 市民が市民に教えることができる 役所の計画が出される前にどしどしアイデア出しが出来る状況になっている 政策を提案できる 健康になれる NPO・ボランティアが目立つ 観光ガイドができる 元気に生き生き生活できる 積極的に行政と関わりをもつ
若者	希望に満ちて元気 若い女性が安心して子どもを産める 集まる場所がある
子供	子供の笑いが絶えない 増える
育成会 街	活発に活動する 人通りが絶えない にぎわう

(2) ビジョン実現策のアイデア

1. 健康・福祉

施策(グループ)	具体策(ポストイット)
全市民	健康診断の義務化 温泉市民無料 公共交通の充実 地域の公園整備
一人暮らし	二世帯住宅建設費補助 友達を作る集い シェアハウス補助 お年寄りと子供が集まる場所
高齢者	高齢者タクシー補助 老人が集まる所 高齢者が働ける場所の整備 旅行企画
障がい者	障がい者の作業所の充実 障がい者が自立して暮らせるまち 健常者と共に働く
自然	サル・シカ等を観光資源にする サル・シカのエサを遠くにまく 動物と共生
子供	学生の働ける場所の確保 返済不要の奨学金 子供の総合病院 父親の子育て参加 子育て世代の減税 学童保育の充実 24時間対応の小児科 産後ケアの充実 第1子10万円、第2子50万円、第3子100万円プレゼント 妊婦さんの通院費補助

2. 産業・経済

施策(グループ)	具体策(ポストイット)
企業誘致	大学・研究所等の誘致 企業を誘致する 重川周辺に市民・市が運営する水工場を作る ショッピングモール、大型商業施設の誘致
農業	市庁舎の売却 自分の大切なものをさらに高める 高く売れる農産物を開発する
商店街の活性化	小さなショップの集団を作る フルーツラインを全線開通し、コーヒー、飲食の店舗を作り、観光客を引き受ける
教育	家庭でも英語で 英語を公用語として宣言する 日本発の街とする 学校の授業はすべて英語で行う 公用の会議は英語で行う 山梨市の歌を英語で 小学校・中学校・高等学校の教育特区を作る 保育環境を充実させる
人材育成	(世界で通用する人材を育成する)英語をきたえる 山梨から世界にはばたく人材育成の街に
インフラ整備	万力公園の活性化 中央線(新線)整備(高速化) 用途地域の見直し 道路整備 道の駅みとみを整備し、西沢溪谷の入口・ツーリングの中継点とする

3. 教育・文化

施策(グループ)	具体策(ポストイット)
専門家(大人)	プロの知識や技術を学ぶ キャンプに専門家を呼ぶ 保健士、看護師、医師、農家 Art lectures 大工さん 電気屋さん 外国人 料理人 病院 空いてる古民家、寺を使って自然学校や料理教室 Foreign culture classes いろいろな国の文化
自然	子どもたちと野外キャンプ 色々なコースで 乙女高原、フルーツ公園、万力公園など
行事・イベント	フェスタ(料理) 郷土を思う心(気持) 各地区の伝統芸能を市内各地の運動会で発表会 豊かな心 国々 運動会や学芸会 赤ちゃん(命) サッカーや野球のスポーツ大会 祭り 文化(財)
子ども	職業体験コース
伝統・未来	ノーベル賞をと思う心(研究心) 市税は無料(市営住宅に入居) ITでつなぐ 身を守る教育

4. 環境・インフラ

施策(グループ)	具体策(ポストイット)
道路	通学路の整備(歩道) 道路が整備されていること 道路幅の確保 道が広がる 全ての道路に歩道が有る 道路・河川整備 市が用途地域に指定した場所は市が責任をもって上水本管の引き込みをすみやかに行う 市が区画整理をやる 道路幅拡大、自転車専用 市が道拡幅の工事費を出す 道路整備 他の地域との出入り口の整備
交通機関	公共交通機関が充実していること 公共交通の充実 交通網(バス)の整備 モノレールが市内を走っているまち
災害 施設	災害レベルの低さを調査→アピール 運動施設の整備
農地	農地に対し規制の緩和 耕作放棄地に雑草を生やしたままにしない
空き家 医療	空き家に対し規制の緩和 健診の機会を増やす 救急車を増やす(小型化)
税制	移住者に対し税制優遇 企業特区の制定 企業用地確保 地方税の減額 医療費の補助 ふるさと納税のアピール 誘致企業に税制優遇 バリアフリーのため市内業者への補助金の創設
自然	自然にふれ合える施設 市が率先して緑作り、花作りをすること 三富にキャンプ場をつくる 映画ロケ地の宣伝(全国へ山梨をアピール)
教育	長く市内に住んでいる人たちへの偏見除去のための教育 運転マナー向上を徹底する
通信	日中・夜間、老人と役所をつなぐラインの確立 独居老人宅への非常ブザーの設置 暴走族排除のための警察へのホットラインの確立 隣り近所の情報共有
介助 ブランド化	老人の重い買物袋を肩代わりする人の養成 特産品の創出

5. 協働・行財政

施策(グループ)	具体策(ポストイット)
意識改革	集中した取組を継続して、絞って 市民(年齢各層で)の中の先駆者(リーダー)の育成 市民が意識改革をするためには、役所の各課に市民を配置 専門家による市民(個人々人)の意識改革の講習会を催す 意識を変えるための実体験を企画する 市の将来の姿は(放置ベース)こうなってしまう→市民に危機感
市政を知る	市のビジョンの広報 徹底化 市議会や行財政に関わるイベントへの市民参加(オブザーバー)の義務化 市民と職員の交流 一日職員 市役所の仕事体験 市役所カフェ 市民と役所職員のお茶飲み話
取り組みの姿勢	いつも疑問を持つ まずはやってみる 考えている事を行動におこす 自分の街を好きになる、良さを知る
市民のワークショップ	子供達で未来の山梨市について考えるワークショップ 市内の各区との懇談会を十分に 若者の声を吸い上げる仕組みづくり
他市等研究	他市の協働事例研究(見学会・調査) 役所が目立たない市町村があるか否か調査し、あれば勉強に行く/講演してもらう 市外に出て良い所を吸収してくる 対比して見る
稼ぐ	農協の農業法人化 空き家の買上げと耕作放棄地の無償貸付をセットで行う もうかる農業 自給自足できる街づくり 企業誘致
人材育成	NPOの育成
その他	企業税制の優遇 市の予算の一部を区へ委譲する 市議のレベルアップ 提案ができる議会 産婦人科の訴訟リスクの肩がわり 自然の活用

(3) アクターの洗い出し

1. 健康・福祉

グループ	アクター(ポストイット)
医療	加納岩病院
	厚生病院
	中村産科
	医者(医師会)
	社会福祉協議会
	フレンドハウス山梨(精神障害)
	精神保健福祉ボランティアぬくもり
子供	大学
	校長会
	保育士会
	育成会
	PTA
	帝京福祉専門学校
高齢者	老人クラブ
	笛吹荘
	そよ風
	晴風園の方
	やさしい手系
その他	JA
	JC(青年会議所)
	商工会
	銀行
	郵便局
	友達がたくさん

2. 産業・経済

グループ	アクター(ポストイット)
インフラ	都市計画に詳しい講師 インフラ整備＝地主 中央線高速化に関連して沿線市町村
企業	中小企業経営者 流通業界のトップ 子育てNPO法人 働く女性
農業	農協 農産物の出荷組合 ぶどうの専門家 中国で指導している御坂町 志村さん 農業の活性化 県試験場、食品加工業者
教育・人材	高等学校教育に関して大手予備校 (人材の育成 英語で)山梨学院大学 新設の学科 秋田県の大学 私立 新しい 英語で授業 就職率100%
小商店舗	商店街の活性化 地元商店主 出店希望者 山梨県のアンテナショップの利用

3. 教育・文化

グループ	アクター(ポストイット)
/	文化協会 文化財とかの研究会の人 英和大学 体育協会 帝京福祉専門学校 県立大学 オリンピック出場をめざし頑張る人 厚生会 厚生病院 各国大使館 山梨市から出ている東大生 教育委員会 大学 研究室 山梨学院大学 山梨大学 山岳協会 猟友会 キープ協会 自然レンジャー 観光協会 商工会 ワイン関係の会社 県立美術館 県立博物館 坊さん 宗教法人 峡東のシルバーさん(人材センター) 消防署 消防団 JA

4. 環境・インフラ

グループ	アクター(ポストイット)
／	山梨市宅地建物取引業協会 商工会 商工会 JC(青年会議所) 青年会議所 山梨ロータリークラブ タクシーチケットの発行(年齢) タクシー協会 栄和交通 バス協会 観光協会 市民観光 山梨市PTA連合会 山梨CATV 教員組合 山梨市法人会 山梨市建設業協力会 建設業組合 建設業協会 山梨市医師会 山梨厚生会 地元消防団 消防団 スポーツ少年団

5. 協働・行財政

グループ	アクター（ポストイット）
学校・子供	育成会 教育委員会 学校のPTA役員 小・中・高の先生 生徒会
専門家	三澤さん 史跡について 国内大学の林野関連部門の専門家の講演 神社仏閣の勉強会を開く（初歩から） 財政を市民にわかりやすく説明できる学者 市職員OB
商工会	商工会 商工会 商工会青年部
個別	観光ボランティア 古道の会 街づくりの会（駅のまわり） 乙女高原ファンクラブ 森林セラピーガイド 希望会 西沢溪谷ガイドの会 無尽会 桃の花まつり実行委員会の代表の方 NPOガバメント協会 山賊 ライオンズクラブ、ロータリークラブ 藤巻真史氏（ビジネス開発について） ひがん花の会 公民館長 公民館長 CRニコル氏の講演は盛り上がった （公社）山梨青年会議所 子育てサークルの中心な人 （株）ライオンのCSR関連事業 大宮山会長
農業	農協 JA 農業経営者の代表 ホト水上氏 東仲クラブ（若手農業者の集まり） 農業生産法人
その他	国会議員（総活躍について） ハローワーク 各地区の代表者（区長等） ほったらかし温泉 老人クラブ 老人クラブ 鳥もつ隊 消防団 文化協会 山岳救助隊 建設業者の代表

【再】ビジョン実現策 のアイデア

第5回市民部会WS結果取りまとめ

2016年6月29日

第5回市民部会WS結果

1. 健康・福祉

グループ	アイデア(ポストイット)
老	<ul style="list-style-type: none"> ・介護、医療費用の公費負担の拡大 ・医療費を使わなかった人への還付 ・介護・療養・保育施設での障害者の雇用 ・地域公民館活動の多様化 ・趣味別ツアー(旅行)の実施 ・地域の公園等の整備 ・中心市街地に独居高齢者住宅 ・一人暮らしの高齢者への連絡整備 ・シルバー人材センターの充実 ・地域のボランティアによる介護・在宅医療サービス ・安心して暮らせるよう高齢者に補助金を出す ・高齢者の移動手段の確保 ・市内循環バス等、交通ネットワークの充実(無料化)
子	<ul style="list-style-type: none"> ・保育施設の充実 24H営業 ・市内企業の(バイト含む)傷病休暇、育児休暇、介護休暇の義務化 ・保健士等による家庭訪問サービスの増加 ・育児中の家庭への定期訪問 ・子どもと高齢者が集まれる場所 ・育児施設の充実(飲食店利用) ・保育施設での高齢者の雇用(ボランティアも含む) ・子供の居場所の確保
病	<ul style="list-style-type: none"> ・地域特性による病気(糖尿病他)対策事業 ・健康診断の義務化 ・市内全域の禁煙 ・24HOKの相談窓口 ・万力公園を使った無料健康づくり教室
障	<ul style="list-style-type: none"> ・道路、建物等、全てがバリアフリーで建てられるシステム ・障害者施設の横のつながりの強化 ・障害のある人の交流する所 ・SNSの利用拡大(促進)

プロジェクト案

1. 糖尿病予防

フルーツをたくさん食べるからではないかという話もあるが、山梨市に多い病気として糖尿病がある。糖尿病にならないように市民が予防していくためのプロジェクト。

2. 子育て環境の充実

24時間保育施設。飲食店を活用した育児施設や子どもが集まれる場所の設置。子どもと高齢者、障害者も含めて、みんなで助け合いながら、子育て環境を充実させていくようなプロジェクト。

※高齢者福祉についてはいろいろ意見が出たが、既に事業化されているものが多かったため、市民部会委員の意向により次回に再検討

2. 産業・経済

グループ	アイデア(ポストイット)
農業ビジョン	<ul style="list-style-type: none"> ・農業の輸出(市が主導) ・モデル事業の確立・発信 ・空き家の活用 農業体験者の滞在地 ・山梨市の土を生かした農業
行政とのタイアップ	<ul style="list-style-type: none"> ・古民家を活かす リフォーム 魅力ある家 若者の移住先に ・行政と民間のマッチング 例)用地⇄ノウハウ ・水を公共事業として販売 ・バックアップ(都市部の弱点)を売りにした事業展開
林業を活かした山梨市	<ul style="list-style-type: none"> ・森林税の生かし方 ・市の8割を超える森林の生かし方 ・広葉樹植林→腐葉土の産業 ・林業技術の後継者育成 ・日帰りではなく滞在型の観光 ・医観連携 二大病院or都市医療機関とセラピー・保養
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・空き校舎の活用 民俗資料館 伝承 ・楽しみを見出す

プロジェクト案

1. セラピーで商売を

人間ドッグ等で山梨市に来てもらって、その一部としてセラピーを医療の中に組み込むということを含めての商売。あるいは、セラピーを観光として、例えば古民家や滞在型の一部として、訪れてもらうようなパッケージをつくっていく。温泉もパッケージに組み込む。山梨市でセラピーというと、西沢渓谷、万力公園、フフなどがあるので、場所によってそれらをうまく組み込んで、いろいろなものとパッケージングすることによって、都市部の人に心の癒しの場所であったり、医療の部分を提供できるようなことを検討する。

2. 市の起業により水を売る

簡単に組み上げて売れるものではないが、市内に水を製造している工場がある。そのノウハウを教えてもらうかわりに市が場所を提供することで、市として、市内あるいは県内から個人株主を募って、水を汲んだ部分で市民の税金が少しでも安くなるようにする。山梨市の水はミネラルがかなり含まれている。企業を誘致できないのであれば、市の中で起業してしまってはどうか。

3. 次世代の農産物の検討

桃・ブドウをつくることは当たり前。次の世代がやっていくとすれば、山梨市は基本的に何でもできる土をもっている。そこで、市民から何ができるのかをもっと意見を募って、心をオープンにして話し合っ、次の時代につくっていくものを検討する。これから熱帯にもなってくる。次のモデルを次から次へ発信できるように。

3. 教育・文化

グループ	アイデア(ポストイット)
／	<ul style="list-style-type: none">・世界でも！ Unique・日本一を目指す・山梨 ヤマナシ 青梨・コミュニティスクール・まちおこし隊・日本一のイベント スポーツ・文化 登山 ハイキング 徳和散歩道・全国イベント・イベントの開催・各種サミットの開催 例)万葉サミット、源流サミットなど・水晶サミット・万葉の森・金峰山、乾徳山・民俗芸能の継承・ヒルクライム、マラソン 体力・健康

プロジェクト案

日本一、世界に通用するユニークなまちをつくりたい

1. 文化・伝統を継承していくためのコミュニティスクール

いろいろな知識や技術をもった方、歴史を知っている方がそれらを広めていく。子どもが学ぶいいきっかけになる。大人も我々の知らないものが多いなかで、そういったものを継承していく。そのなかにはまちづくり協力隊なども入ってもいい。

2. 地域の魅力を伝える全国イベントの開催

観光とかにもリンクしてくる。例えば、万葉の森があるので万葉サミット。源流サミット。乙女高原の先には水晶峠もある。サミットを開催することで、地域の魅力を伝えていく

3. スポーツを通じたイベントの開催

スポーツを通じた教育・文化を目指していきたい。周囲が山々なので、登山だけではなく、トレッキング、マラソン大会など。地域の人々も健康になったり、体力の向上をあげていく。

4. 環境・インフラ

グループ	アイデア(ポストイット)
自然と農のある暮らしを提供できるまちへ	<ul style="list-style-type: none"> ・山梨市に来る人への観光Tポイント Tポイントと観光スポットに来訪するとポイント加算 ・「行くじゃん 山梨」「住むじゃん 山梨」空き家バンクと移住をつなぐプロジェクト ・フルーツツーリズム 宿泊をし、温泉入れた農家との交流 ・使える農機具を空き家とセットにして就農希望者に紹介する ・多目的スポーツ施設の建設 ・乙女高原や自然の空き家の活用→星のふる(降る)里 山梨市 ・山の整備を充実させる 登山者の拡大 コナラ山のPR(富士山の雄大さ) ・農業体験 ・ホームステイ先の紹介・空家でのシェアハウス・農機具の貸し出し・交通(リニアの有効利用) ・耕作放棄地で花づくりを元気なお年寄りにしてもらう ・空き家バンクと山梨市への移住者とのパイプをつなぐ→都会へPR「行くじゃん 住むじゃん」計画 ・自然保護活動の充実(荒地の手入れ 行政主体) ・ICを作る
災害に強いまちへ	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が各家庭で3日くらい過ごせる食糧を備蓄している ・防災倉庫が各地域にあり何日か分の食糧があるまちに ・災害時の避難場所と経路を風景に溶け込むように表示する ・災害情報 地元の人の口コミ、情報の収集・配信 ・ハザードマップでの危険地に各種センサーを設置 異常の発信 ・防災グッズの配布(各戸) ・各地区にヘリポートを作る ・自主防災組織のリーダーの育成 ・自衛隊をよぶ
都心とつながるバックアップのまちへ	<ul style="list-style-type: none"> ・都心部の自治体との協定はおかしい。都心で大きな地震があった場合、山梨市も被害を受ける ・閉校した校舎をバックアップできる形に整備する ・バックアップ時のホストファミリーの登録制度 ・学校の誘致(校舎設置の補助) ・高齢者宅ヘナースコール設置 ・公的移動販売車
生活インフラの充実したまちへ	<ul style="list-style-type: none"> ・バス便の充実→自動運転バス ・ドクターカーがあるまち ドクターヘリがあるまち ・通勤・通学手当の支給 ・街灯の増設 ・高齢者の一人立ち→買い物サービス→ヤマト便とバスのリンク!! ・高齢者が自立できる→移動手段→バス便の充実→自動運転バス ・各区に病院 ・小消防署の設置(救急車) 救命時間の短縮 ・安心インフラ 救命タイムの短縮(地元民の救急車運転)、移動手段の共有 ・山梨市で心と体のセルフチェックとリカバリーの里(健康インフラの里)整備 ・自転車道の整備→山道等 ダウンヒル等の大会で山梨市を知ってもらう→定住へ

プロジェクト案

安心して住みやすいということを中心に

1. 農業体験を売りに住みたい人を呼び寄せる

市に登録すれば、農業体験ができる。農業体験したら住みたい。空き家バンクを活用して改築してシェアハウスなど簡単に住めるように。遊休農地もあるし、遊休農機具もあると思うので、そういったものの貸し出し、共有化。行政や農業をしていた人を巻き込んでできるといい。

2. 定住してもらったら安心して住める「安心インフラ」の構築

小さい消防車・救急車を設置したり、地元で救命隊を設置したり、医療を受けられたり、いのちが危険にさらされても安心なまちに。

3. 災害時の地域情報ネットワーク

地盤が強いというのはあるが、鉄砲水などにどうやって対応するか。やはり地元の人の口コミのネットワークをどう情報化するか。ウェザーニュースのようなもので、細かい地域でニュースを共有できるようなものがあったらいい。

5. 協働・行財政

グループ	アイデア(ポストイット)
産官学民金労言の協働するまちへ	<ul style="list-style-type: none"> ・南口再開発PJ 駅前広場の活用、カーボン跡地活用 ・新産業創出PJ 山梨市の強み→企業化 果物、林業、水力、ソーラー、サービス ・市民生活の情報インフラ向上(ネット環境、端末、ソフト) ・山間地と市街地の交流・融合→コンパクトシティ検討PJ ・農業に関わる事項での研究・協働 ・耕作放棄地の再利用 ・電気の地産地消を目指す協働プロジェクト
市民がガイドできるまちへ	<ul style="list-style-type: none"> ・観光ガイド育成PJ 自然、文化財、公園、etc… ・ボランティアガイドの養成講座 ・伝統行事の伝承の場を作る(老人の活躍の場) ・市内イベントに市民ガイド設置 ・子ども市民ガイドコンテスト 日本語版/英語版 ・写真コンテストツアー 絵とかもあり。俳句なんかもいい。絡めてツアーとか。 ・毎週末、駅前スタートの観光ツアー(登山でも何でも) 市民もOK ・市民が各自特技を登録、発信(年齢関係なく) ・山梨市PR 市ホームページで充実 市民と役所の交流をもっと活性化 ・幼少時における(特に小学校)ボランティア教育 奉仕の精神を育てる(自主性を育てる一つの手段でもある) ・平日だけでなく、土日、祭日にも行う行事を増やしていく ・まず自分の住んでいる地域の良さ(長所)を具体的に知る機会
「希望活動人口」を増やすまちへ	<ul style="list-style-type: none"> ・「ふるさと納税」活用しパートナーにつなげる。 ・例えば、保健農園フツとの協働企画 体験農業と精神医療 ・それぞれの地域で年代関係ないレクリエーション活動が活発化している ・年齢があがっても自分に合った仕事をみつけそれが収入につながる それが健康でいられる方法 ・希望活動者名簿を作成し、活動の場を提供する ・山梨市民の人材(人財)発掘 市民マイスター制度 ボランティア活動 ・70歳以上で元気に農業を営み農業を教えることができる人を「農業マイスター」と認定する ・安定した収入 ・70歳以上で医療費0の人を表彰する ・農業機械化「サポートロボ」
少数精鋭の市役所のあるまちへ	<ul style="list-style-type: none"> ・議会での発言義務制度の創設(市民が直接発言する、裁判員制度の議会版的に) ・市職員の民間研修制度(市民の仕事を経験する) ・市の業務(行財政)の選別PJ 職員がやる事、民間へ移管する事 ・市議会の役割再検討 議員さんのスキル・能力の更なる向上 ・採用後のスキルアップ ・中途採用の積極化 専門スキル ・採用試験のあり方 ペーパーテストだけではなく人物評価を重視する(意欲・人間性など)

プロジェクト案

1. 新産業の創出（産官学民金労言の協働するまちへ）

山梨市の強みを整理して企業化して新産業を創っていく
新産業の例)

- ・山梨市駅南口の再開発→駅前広場の活用、カーボンさんの跡地の活用→企業と連携してまちを活性化させていく
- ・情報インフラの向上（ネット、端末、高齢者の見守り）
- ・農業の研究開発

2. 市民がガイドできるまち

西沢溪谷など観光ガイドがいるが、もう少し広く文化財など、我々が当たり前と感じていることも、都会の方は非常に魅力的なものもあると思う。そういったものを発掘して、ガイドを育てて、それらをホームページなどで日本全国、世界へ発信して山梨市に来てもらう。

3. 「マイスター制度」の創設・活用（「希望活動人口」を増やすまちへ）

山梨市民の人材の発掘、私はこういうことをやりたいという市民のニーズを調査したり、受け付ける。市民一人一人が得意なものをもっているはず。「マイスター制度」を創設し、年齢にとらわれず、若い人にも登録してもらって、マイスターと仕事を結びつけるような場をつくったらどうか。そういうことを検討するプロジェクト。

4. 仕分け（（4）少数精鋭の市役所のあるまちへ）

職員がやることと民間に委託すべきことを仕分けして、市職員の方は役所の仕事に集中できるような方向を検討していくプロジェクト。

プロジェクト案の深堀

第6回市民部会WS結果取りまとめ

2016年7月15日

第6回市民部会WS結果

1. 健康・福祉

	プロジェクト1 糖尿病予防	プロジェクト2 子育て環境の充実	プロジェクト3 高齢者生活支援 高齢者の病院や商業施設の近隣への移住。空いた土地建物は空き家バンク等を利用し都市部の若者などの移住促進
目的	<ul style="list-style-type: none"> 健康な生活を送るために 糖尿病にならないために 健康で働いて労働生産性向上 市民の健康維持 病気の予防 保健料を下げるため 医療費をおさえるために 長生きする街、元気な街として有名になり移住者が増す 家族の負担を少なくするため 	<ul style="list-style-type: none"> 次世代の子供たちの育成 子供と高齢者がお互いに支え合うために 高齢者、障がい者の生きがいが増す 安心して働けるために 商業施設の活性化 子供の見守り 高齢者・障がい者の雇用 雇用の確保 世代間の交流促進 	<ul style="list-style-type: none"> 災害時にも迅速に対応できる 高齢者が孤立しないために 元気な人、できる人が後世に伝える(山、自然は若い人が守る) 買物弱者を無くすために 用途地域に合った土地利用ができる(似たものが集まると住みやすくなる) 家族の負担軽減 情報の共有 高齢者の認知症の減少 行政等の支援が届きやすいように 災害時の安全確保 コンパクトな街は低コストな街になる 車がなくても生活が成り立つ 介護予防 耐震化された住宅が増す 都会などから移住者を呼べる(元の家・土地を安価で貸す・売る)
市民として協力できること	<ul style="list-style-type: none"> 市民グループ(地域等)での運動活動 地域での研修会参加 声かけ 中心となる人の育成 食生活の改善 栄養管理の発表会 糖尿病の勉強会を実施する 家族、友人、知人に診断をすすめる 	<ul style="list-style-type: none"> 学校単位、地区単位での協力 中心となる人の育成 SNSを利用し呼びかけ 	<ul style="list-style-type: none"> 街中に住んでいない友人・知人に移住を呼びかける 友人・知人に空き家・土地への移住を呼びかける 中心となる人の育成 地域で高齢者へ声かけ ボランティア活動をする
地域や市役所等の力を借りてできること	<ul style="list-style-type: none"> [市と病院] 予防医療の施策を行う 健診率向上、運動 全戸を対象にドクターから糖尿病について話を聞く 医療の教育 各地区に推進委員をつくる 早期診断、早期治療を行う スポーツジム、スポーツ施設との協力 企業への健診率を高める 健診受診者への記念品 地域のスポーツ推進委員の力を借りて軽運動教室 	<ul style="list-style-type: none"> 新しくできる産科病院での呼びかけ 廃校の利用 市での助成 飲食店に! 市HPでの意見募集 協力施設、企業への減税 空き家を利用した高齢者と子供が集える場所づくり 	<ul style="list-style-type: none"> LINEなどの企業への協力 高齢者のアンケート実施 何をもとめているか 住民の意向調査実施 民間のサ高住を利用する 定住エリア、施設の整備 [地域(都会から空き家・土地に移住した人)] 山梨の自然などを発信して、移住者を増やす [建設会社(不動産関係)] 高齢者の住みやすい住宅街をつくる 高齢者の健診率向上→早期に医療につなげる 移住した地域で新しいコミュニティをつくり助け合う 高齢者の足確保 車、経済的な支援 [市役所] 移住した人の税を軽減 公共料金の減免 スーパーやコンビニへの食品や衣類の割引提供 郵便配達員による声かけ

2. 産業・経済

	プロジェクト1 セラピーで商売を	プロジェクト2 市庁舎の売却による学園都市の構築	プロジェクト3 次世代農産物の検討
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・「自然と医療」山梨市の特徴を生かす ・観光の目玉、パッケージ化 ・万力公園、フフ、西沢渓谷の有効活用 ・「究極のいやし」の提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・人の流れ、物の流れを変える ・カンフル剤になる ・街に活気が出る(人が集まる) ・費用(税金)をかけずに計画出来る ・他の市町村が行っていないという事で全国的に注目される ・非農地と農地の線引きができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・農産物 大規模化 ・農産物 年間を通した生産品種 ・住宅と農地の棲み分けシステムの構築 ・農産物 気候にあった品種をさがす ・農産物 農地の集約化
市民として協力できること	<ul style="list-style-type: none"> ・セラピーガイドに参加する ・公園、フフ、西沢の清掃・維持のボランティア 	<ul style="list-style-type: none"> ・反対しないこと 	<ul style="list-style-type: none"> ・農協をはなれる ・所有権、地縁からの脱却
地域や市役所等の力を借りてできること	<ul style="list-style-type: none"> ・[市役所広報・観光担当] PR ・[県・市]大都市圏への売り込み 	<ul style="list-style-type: none"> ・[帝京学園]学園都市がつくれる ・都市計画の再構築 	<ul style="list-style-type: none"> ・市の農林課、都市計画課の力を借りて棲み分け ・[農業委員]大規模農家の育成 ・農業に対してやる気のある人材育成と関連機関の誘致 ・農業後継者(若者)40歳以下

3. 教育・文化

	プロジェクト1 コミュニティ・スクール	プロジェクト2 地域の魅力を伝える観光イベント	プロジェクト3 スポーツイベント
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の見直し、再発見と継承 ・文化、伝統、芸能のほり起こし ・地域の文化・伝統の発掘 ・子どもへ文化→市民に広める ・文化サークルの(文化協会)活性化 ・市民同士の啓発と次世代市民の育成、文化継承 ・徳和、牧丘歌舞伎を伝える 	<ul style="list-style-type: none"> ・「万葉の森」を世界に広める ・源流を世界に広める ・市外、国際的に観光PR ・国際交流 ・色々な国の方に山梨市へ訪問していただく 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の体力増進、観光振興 ・西沢トレッキング、牧丘マラソン、乾徳山(徳和山)登山
市民として協力できること	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のまつりに参加すること ・運動会や文化のイベント ・昔の話を子どもたちに語る ・ブログページをつくる ・個人のSNSに書き込む ・隣の人に声をかける ・子供たちと交流、語る ・特色ある知識のある市民を講師に ・先生をやる、推薦する ・委員会をつくる ・NPO、財団をつくる ・広報協力 	<ul style="list-style-type: none"> ・お金を出してもらえそうな財団を回る ・クラウドファンディングで資金を集める ・[市民部会代表団などの団体]大使館に声がける ・インターネットの利用 市民の協力 ・隣接市町村の市民との交流 ・地方の大学へ進学した子どもたちの情報発信大使化 ・チャリティ用景品を用意する ・チャリティオークションをやって商品を買う 	<ul style="list-style-type: none"> ・マラソン大会参加 ・イベントへの参加 ・登山(トレッキング)コースの案内
地域や市役所等の力を借りてできること	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育の現場から教師、子どもの参加を引き出す ・先生の候補の方を説得する ・教育委員会、校長会を説得する ・先生、教育委OB掘り起し ・文化サークルの主宰者をオルガナイズ(オルガナイザーとして協力してもらう) ・各地区の回覧板にのせるよう依頼 ・[地域]全市域と共に 地区毎に企画 ・参加者を募る ・県・国の事業募集に参加してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・英語で発表できるようにする ・色々な国の伝統的な踊りを学ぶ ・笛吹川中流域連合 ・[市役所]「万葉の森」と「源流」がある地域を調べる ・[各国大使館]参加者を募っていただく ・[富士急(観光部)]? ・[観光協会]協力してもらう ・[企業、地域]出店してもらう ・[市役所(協賛)]イベントゲストに声をかけてもらう ・[企業]出資してもらう ・[県 観光部、市 観光課]協力を求める ・万葉サミット、中流サミットの開催 ・協力してもらえるボランティア団体を集める ・[市と市民]姉妹都市へ呼びかけ 	<ul style="list-style-type: none"> ・体協と連携 ・体育協会に話をする ・観光協会や商工会に話をする ・巨峰の丘マラソン大会を、笛吹川中流マラソン大会にする ・[地域]道路清掃、案内表示

4. 環境・インフラ

	プロジェクト1 「いくじゃん 山梨」「住むじゃん 山梨市」	プロジェクト2 安心インフラの構築	プロジェクト3 災害時の地域情報ネットワーク
目的	・定住促進	・安心なインフラ	・情報共有
市民として協力できること	<ul style="list-style-type: none"> ・農地の提供 ・空屋Bank活用案内 ・遊休農機具の提供 ・PR協力 出張案内 説明・市民目線 ・地区の照会(PR) ・農業できる土地を提供 ・農業指導 ・高速バスの停車駅を山梨市に置く提案(気軽に来てもらう) 	<ul style="list-style-type: none"> ・病院につれていく ・消防団 ・組に救急グッズを配布する 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の連携 ・災害時(救急)連絡網のグループ化(隣近所)
地域や市役所等の力を借りてできること	<ul style="list-style-type: none"> ・[バス会社] 停車してもらうようお願いする(山梨市駅) ・[市、テレビ局等マスコミ] PRを行う ・[市] 補助金、税制優遇、条例 ・[宅建協会] 活用契約提携 ・空き家バンクを活用する→改築 業者にお願いする ・[市] サテライト案内所 ・デパート(新宿、銀座他)に、山梨の物産展やPRをお願いする ・[農協(指導部)] ・インターネットに山梨市に移住した人の体験をのせる 	<ul style="list-style-type: none"> ・[市] 道路拡幅のために公衆用道路の基準を緩和する ・[行政 事務組合] 小さい救急車をつくる ・介護タクシーを活用してせまい道も入り、救急・災害対応 ・[市、地域] 区、自治会、組等のネットワークの強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・山梨市災害情報アプリ

5. 協働・行財政

	プロジェクト1 新産業の創出	プロジェクト2 市民がガイドできるまち、 「マイスター制度」の創設・活用	プロジェクト3 事業仕分け
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用・産業→人口増、豊かな財政 ・観光→交流人口増→お金がおちる→収入増 	<ul style="list-style-type: none"> ・まちを好きになって生き活きと活動する ・少年期からの意識づけ ・技術、伝統の継承、口伝え 	<ul style="list-style-type: none"> ・行財政の改革
市民として協力できること	<ul style="list-style-type: none"> ・農業の研究開発機関の洗い出し(研究内容を明らかにする) ・林業・果樹そのもの及びそれらの関連の2次・3次産業研究機関を探す ・勉強会への参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・マイスターとして活用できる人材の洗い出し ・高齢者による農業指導、作物の作り方指導 ・高齢の農業者から若い未経験者への伝達、指導 農業人口を増やす ・果樹産地の宣伝 ・南口の再開発の重要性の宣伝 ・加美郡からの歴史勉強会を中学高校生対象に行う(マイスターに依頼) ・地元にある文化財をガイドするイベントを定期的に行う。例えば中学生、高校生(文化部)に活動してもらう ・例えば、駅南地区のウォーキングコース(ワイナリー巡りなども含む)を地元民から募る ・街をきれいにする清掃活動 ・地産(野菜、果物)を提供できる場所(朝市) 	<ul style="list-style-type: none"> ・市との協働事業を実際にやってみる ・企画、管理、行動立証、見直し等、お金の管理(予算化も)以外にも参画する ・企業や市役所を訪問できるようにし、仕事の内容を広く伝える、理解してもらう
地域や市役所等の力を借りてできること	<ul style="list-style-type: none"> ・既存施設の活用 BDFプラントの高稼働、森林資源の活用 ・JAとの調整 県機関への協力依頼 ・情報収集 データ作り 国・県との連絡調整 ・情報の発信 各種メディアを使って全国へ ・果樹関連の2次製品研究のトップランナーを調査し、そことの連携の可否を市が判断する ・山梨市のよい所(産業、名勝地など)を広く知らせる(市民と市役所) ・[果樹試験場]農業のこれからのあり方、最前線のレクチャー ・農家と研究機関との連携による農業開発 ・市役所に用地確保、資源の調査、財源確保 ・民間企業 事業提案 ・[市役所と企業]中央道と山梨市を結ぶ道路整備 ・[地域と市役所]桃の花のきれいな時に駅周辺で大きな祭りを開く ・駅南地域(一宮、御坂方面) 駅を利用しやすいように周辺の整備(駐車場からJRIにスムーズに入れるように) ・他県、他市からの入居者に山梨市の魅力を聞く。この地で生まれ育った者には気づかない事があるかも? 	<ul style="list-style-type: none"> ・業界団体や各種団体からの人材の推薦 ・地域材内発掘、地域資源提供(人材、文化財、農林水産資源の紹介) ・市を知るための学習会 職員が講師になったり企業から専門知識をもった方を講師としてお願いする ・市役所に情報の取りまとめ・一元化、窓口 ・市民が誇るべき文化財についての講座を設ける ・資料づくり、関係機関との調整 ・自然環境のPR ・市役所(観光課)と協力して宣伝 ・JAと協同で耕作放棄地の解消 ・ボランティア教育(小学校 地域などと連携) ・各地域住民にその地域おこしになりそうな項目を小学生～若い社会人まで募集する ・地域の美化など(ゴミの少ない箇所)、成功例を広報などで公開して欲しい ・山梨市の歴史、文化財の再確認→子ども達に伝える場を作る 山梨市を好きになるきっかけづくり ・人材発掘をして生かせる環境づくり、ネットワークづくり ・清白寺、八幡神社、他の文化財などそれぞれの第一人者に講師を役所にしてもらいたい 	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所の業務内容の検討、精選 ・[各種団体]市政への提言、得意分野での協働、人材交流 ・役所に対して、現状の決まりを打ち破って何処まで一般市民に公開できるかを真剣に検討して欲しい ・市役所に予算配分 ・他市役所への出張勤務

山梨市未来会議

第9回市民部会WS結果取りまとめ

2016年9月25日

第9回市民部会WS結果

山梨市未来会議（第9回市民部会）の開催について

1. 目的

- ①山梨市に育った若者が、将来にわたって大切にしていきたい価値観を確認し、現在策定作業中の第2次総合計画に反映させること。
- ②総合計画の実現のために進めていくまちづくりの取り組みについて、若者自身の主体的な参画や協働の可能性を探ること。

2. 開催概要

- ①日時：9月25日（日）13：30～17：00
- ②場所：山梨市役所501会議室
- ③参加者：中学生の皆さん20名程度（生徒会委員）と市民部会の皆様
- ④コーディネーター：PHP総研 コンサルタント 茂原純
- ④進行
 - ・自己紹介
 - ・ワークショップ1「将来にわたって大切にしたいこと」 50分
 - ・ワークショップ2「地域づくりで自らやりたいこと」 50分
 - ・市民部会委員の皆さんとの意見交換 30分
 - ・最後に一言

山梨南中学校

WS①「将来にわたって大切にしたいこと」

グループ	山梨市のいいところ、好きなおところは？
地域	<ul style="list-style-type: none"> ・住みやすい環境。 ・信玄堤。 ・子どもが楽しめるところが多い。 ・イベント(花火大会、ほたるまつりなど)が多い。 ・安全・安心に住めるところ。 ・地域の人がとても協力的。有価物回収のときに、惜しみなく古紙等を提供してくれる。 ・地域の人がとても優しい。笑顔で挨拶してくれたり、「いってらっしゃい」「おかえり」などと言ってくれる！！ ・地域の愛。 ・エコを感じる。 ・地域の人やさしく、交流がある。 ・ほたる祭り、花火大会などのイベント。 ・昔ながらの雰囲気。 ・学童センター。 ・学校などに行きやすい環境がある。 ・クーラーがついていて学習しやすい。
観光	<ul style="list-style-type: none"> ・ぶくぶく。 ・ほったらかし温泉。 ・観光スポットが多い(温泉、西沢渓谷など)。 ・初花(はつはな)。 ・駅の近くにみんなが立ちよりやすい万力公園がある。 ・フルーツ公園。 ・岩下温泉。
自然	<ul style="list-style-type: none"> ・自然豊か。 ・町と自然が一体化。 ・自然が美しい。 ・自然がたくさんあって都会からきた人がリフレッシュできる。 ・ちどり湖。 ・富士山を見ることが出来る。 ・自然に恵まれており、果物や西沢渓谷などの景観が美しい。 ・雁行堤(がんこうてい)。 ・自然災害が少ない。 ・川がきれいなところ(水がきれい)。 ・自然ゆたかで空気がきれいなところ。 ・美しい畑。 ・川がきれい。 ・水が豊富でおいしい。 ・雨量が少なく住みやすいところ。 ・雨量が比較的少なくて住みやすい。 ・木が多い。
果物	<ul style="list-style-type: none"> ・果物が豊富。 ・果物(桃、ぶどう、さくらんぼなど)の生産がさかんでおいしい。 ・ぶどう、桃などの特産物。 ・果物(もも、ぶどう)が豊富であるところ。
町並み	<ul style="list-style-type: none"> ・フルーツ公園からの風景、夜景がとてもきれい。 ・町並みがきれい。 ・駅周辺は山梨市の名産や稲やかさが一目でわかる。 ・駅。 ・図書館。 ・美しい町並。 ・フルーツ公園からみる景色がきれいなところ。 ・いちやま、オギノ、ベイシヤ。 ・スーパーやショッピングセンターが少ないことを利用して自然を強く感じることができる景観になっている。 ・根津嘉一郎。 ・万力公園。

WS②「地域づくりでやってみたいこと」

グループ	①自分で「やってみたい」と思うこと
観光	<ul style="list-style-type: none"> ・観光客に優しく接する。 ・観光客に優しくする。(道を聞かれたら丁寧に答え、ついでにおススメするものを教える。) ・外国人の観光客にやさしくする。 ・長く続いているお店を大切にする。 ・人と積極的に接し、接客のしかたを学ぶ。
将来	<ul style="list-style-type: none"> ・将来は山梨市に貢献できるような職につく。 ・子供を大切にする。 ・保育園・幼稚園をよりさかんにさせる。 ・山梨市の気候を生かし、ぶどう・もも以外の果物をふやす。 ・子供があこがれる職業をつくる。 ・大学を招たいする。 ・学童センターのあそびをもっとふやす。
グループ	②友達など仲間と一緒に「やってみたい」と思うこと
奉仕活動	<ul style="list-style-type: none"> ・学校でのゴミO運動をもっとやる。 ・草取り。 ・ゴミ拾い。 ・ゴミ拾い。 ・ゴミの分別。ゴミ拾い。 ・奉仕作業。 ・花を植える。 ・季節に1回、季節ごとの花や木を植える。
観光	<ul style="list-style-type: none"> ・観光スポットに英語を話せる人をおく。 ・英語をはなせる人をふやす。 ・他の県にない場所をつくる! ・駅を利用する際に広場の細かいところなどをよく見て素晴らしさを再発見する。 ・農家へのボランティア。
宣伝	<ul style="list-style-type: none"> ・CMを作って全国放送する。 ・地域のPR。 ・ど根性ガエルをPRする。 ・山梨市の曲をPRする。 ・特産物を知ってもらうために宣伝する。 ・盛り上がりを見せる大きなイベントに、もっと多くの人を呼ぶために宣伝すること。 ・パンフレット作り(各中学校ごとに)。 ・山梨市から有名人をだす。
グループ	①②共通
交流	<ul style="list-style-type: none"> ・ばあちゃん家の手伝い(ぶどうづくり)。 ・お年寄りの手伝い。 ・ご近所さんと笑顔で接する。 ・ご近所とのコミュニケーションをもっと活発にとる。 ・地域の人との交流。 ・ご近所さんにあつたときにちょっとした挨拶を交わす。 ・地域行事に参加し、活動を盛りあげる。 ・中学校同士の交流を増やす。 ・小・中学校から老人ホームのお手伝いを増やす。

山梨北中学校

WS①「将来にわたって大切にしたいこと」

グループ	山梨市のいいところ、好きなところは？
自然	<ul style="list-style-type: none"> ・緑がきれいに見える。 ・自然がたくさんある。 ・緑に囲まれた自然の風景。 ・身近に自然がたくさんある。 ・緑が多く、自然豊かなところ。 ・空気が澄んでいるところ。 ・空気がきれい。 ・四季それぞれの景色がきれい。 ・空気が澄んでいる所。 ・フルーツ公園からの景色がいい。 ・火星や土星などが地球に近づいたときに見やすい！！ ・夜になるとたくさん星が見えるところ。 ・川がきれいなところ。 ・水道水がきれい。 ・富士山みれば天気がわかる。 ・世界遺産である富士山がきれいに見える。 ・富士山が見えるところ。 ・富士山がとてもきれい。 ・山を見れば四季がわかる。 ・紅葉した山が幻想的。 ・富士山がどこからも見える。
(果物)	<ul style="list-style-type: none"> ・果物がたくさんなる。 ・果物が豊富に取れる。 ・他の所ではあまり食べるのできないぶどうやももなどの果物を豊富に食べられること。 ・自然がたくさんあって、美味しいぶどうやももが食べられるところ。 ・おいしいくだものがたくさんあるところ。
(災害)	<ul style="list-style-type: none"> ・地盤が強い。 ・晴れの日が多い所。 ・台風がこない。 ・台風などの災害に強い。 ・台風などの災害に強い。 ・山が多いため災害が少ない。
(虫)	<ul style="list-style-type: none"> ・天然蚩。 ・かぶと虫とかクワガタがたくさんいる！（子供がよろこぶ） ・とんぼがたくさん。
地域	<ul style="list-style-type: none"> ・お年寄りの方がゆったり住める。 ・田舎すぎず、都会すぎないところ。 ・歴史豊かな観光地が多い所。 ・保育園が多い。 ・待機児童がいない！ ・温泉が多いところ。 ・大きい公園があるところ。 ・お祭りが年に数回ある。 ・地域の方とのつながりがある。 ・子供と大人がふれあえる機会が多い所。 ・お祭りなどの地域活動によって地域の人との交流が深い。 ・地域のお祭りがあって楽しめる所。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・コンビニの駐車場がやたらとい広い。 ・コンビニエンスストアがとても多い。 ・自動販売機が多い。 ・薬局が多い！ ・飲料水がとてもきれい。

WS②「地域づくりでやってみたいこと」

グループ	①自分で「やってみたい」と思うこと
環境	<ul style="list-style-type: none"> ・節水、節電。 ・ごみ拾い。 ・環境破壊につながることをしないように日頃から注意する。 ・リサイクル。
観光	<ul style="list-style-type: none"> ・山梨市の魅力を探しに山梨市内を巡ってみたい。 ・車ではなくあるいたり自転車を使ったりする。
農業・自然	<ul style="list-style-type: none"> ・農業に関心をもつ。 ・自然を大切にする。 ・ぶどう狩りとかいちご狩りしたい。 ・農業などの体験。
地域	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の行事になるべく参加する。 ・近所の人などにあいさつする。
グループ	②友達など仲間と一緒に「やってみたい」と思うこと
環境	<ul style="list-style-type: none"> ・川のまわりをみんなでキレイにする。 ・自然環境に興味を持ち、環境保全に努める。 ・ごみ拾いをし、「環境保全」につなげる。 ・ポイ捨てをしないことを呼びかける。ポスター、看板をつくる。 ・エコ(3R)。 ・環境保護の呼びかけをする。 ・ポイ捨てをしない。 ・川や公園などの清掃をする。
イベント	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人同士のつながりを深めるためにお祭りを増やす。 ・ハイキング。 ・大人数でフルーツ公園でおにごっこ。 ・大自然の中でBBQ。 ・乙女高原でスカイダイビング。 ・天体観測。 ・避難訓練をしておく。 ・山の日に、山にちなんだイベントを開催する。 ・もっとたくさんマラソン大会をする(自然にふれあう)。 ・農業体験。 ・くだもの狩りをもっとふきゅうさせて、県外から人をあつめる。 ・自然で遊ぶ。 ・フルーツ公園で市民を集めてとうそう中をしたい。
関心	<ul style="list-style-type: none"> ・道などにバリアフリーを採用する。 ・こうゆうワークショップの機会をもっと増やして行って山梨市に興味を持ってもらう人を増やす。 ・もっと山梨の良い所を掘り下げてみたい。 ・リサイクルするためのゴミ箱をスーパーマーケットに設置するように検討。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・山梨のいいところをPRする動画をつくってYou Tubeにのせる。 ・虫の博物館を建立する！ ・災害が少ないのを生かして、災害があった地域の人を山梨市に呼んで安心してもらう。 ・災害に対する意識を高めるために、ハザードマップをこまめに確認できるシステムを設置する。

笛川中学校

WS①「将来にわたって大切にしたいこと」

グループ	山梨市のいいところ、好きなおところは？
富士山	<ul style="list-style-type: none"> ・富士山が山梨県の中で一番きれいに見える。 ・富士山がすごくきれいに見える所。 ・きれいな富士山を学校から見るができる。
地域	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人の人柄が良く雰囲気があたたかい。 ・地域内での関わり合いが深いところ。 ・小学生生徒、中学校生徒など、登下校する際にすれちがった方にはしっかり挨拶をするところ。 ・地域の方々との交流が持てること。 ・育成会があり、地域の人たちとの交流がさかん。 ・昔から続いている地域の行事が今も続いているということ。 ・笛吹川フルーツ公園で日本三大夜景を楽しめること。 ・毎年の恒例行事が、皆が楽しむためのものになっている。 ・学校の行事などに地域の人たちが進んで協力している。
運動	<ul style="list-style-type: none"> ・坂が多いので、自然と筋トレになる。 ・運動に適した環境。
店	<ul style="list-style-type: none"> ・食料品売り場や薬局などが豊富にあり、快適な生活が出来る！！
果物	<ul style="list-style-type: none"> ・巨峰や桃など果物がみずみずしい。 ・おいしい果物がたくさんある所。 ・果物がおいしい。 ・ぶどうやももなどをたくさんつくっていること。 ・ぶどうやももを買いに来る観光客の方々との交流がもてる。 ・山梨県の有名なぶどうやもものたくさんの種類を食べることができること。 ・果物(ぶどう・もも)がおいしいからこそ、県外の人とつながりを持てること。 ・各地域に特有の名産品を持っている。
交通	<ul style="list-style-type: none"> ・交通機関が整備されていて、場所の行き来がしやすい。 ・240円で甲府に行くことができる(手軽に)。
自然	<ul style="list-style-type: none"> ・自然が豊かでとても住みやすい環境である。 ・木がたくさんあって自然豊かなところ。 ・都会などではあまり聞くことのできない鳥の声など、きいたりすることができる。 ・県外に比べて水道水がおいしい！！ ・空気が澄んでいておいしい。 ・牧場や高原、川など、自然がいっぱいだからこそ、家族で楽しめる場所がいっぱいあるところ。 ・山があって空気がおいしい！！ ・西沢溪谷の清流がきれいなところ。 ・自然がきれいなところ。 ・水がおいしいところ。 ・自然に満ち溢れた観光スポットがある！ ・自然と人が一体となって生活しているところ。 ・ありのままの自然が今でも残っている。 ・様々な動物たちが自然の中で暮している。

WS②「地域づくりでやってみたいこと」

グループ	①自分で「やってみたい」と思うこと
ボランティア	<ul style="list-style-type: none"> ・自然を大切にする。 ・環境保存のボランティアに参加する。 ・動物(生き物)を大切にする。 ・老人ホームや小学校、中学校に特産物を届けに訪れる。 ・公園や山、どこに行ってもゴミを持ち帰り、ポイ捨ては絶対にしないようにする。 ・ボランティア活動に積極的に参加する。
暮らし	<ul style="list-style-type: none"> ・なるべく山梨市に住むことを考える。 ・運動会などの行事に、今より1人でも多くの方たちに来てもらえるようにポスターをはる。
農業	<ul style="list-style-type: none"> ・ももやぶどうの種類をよく知る。 ・ももやぶどうのことについて、色々知らない人に対し1人でも多くの人に知ってもらえるように呼びかける。 ・山梨市の特産物(ぶどう・ももなど)を知り合いにプレゼントして広めていくこと。 ・自分も手伝って山梨の果物を作ってみたい。 ・ぶどう作りを手伝う。
広報	<ul style="list-style-type: none"> ・特産物や町の景色など写真に撮ってSNSにアップする。 ・山梨市の魅力を芸術を通して伝える。 ・新聞などを作る。 ・山梨市の良いところを県外の人を中心に伝えていく。
グループ	②友達など仲間と一緒に「やってみたい」と思うこと
ポスター(広報)	<ul style="list-style-type: none"> ・自然を守るためにポスターなどで呼びかける。 ・山梨限定の商品をつくり、観光客の方々に山梨について知ってもらおう。 ・ポスター・呼びかけをする。 ・ポスターをつくって地域にはる。 ・環境保全のための募金活動。 ・自然を守るため、ポイ捨て禁止などのポスターを作成する。 ・山梨市のPR映像を作成して、駅などで流す。
高齢者	<ul style="list-style-type: none"> ・お年よりを大切にする。 ・老人ホームに訪れる。
地域・交流	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の行事に積極的に参加する。 ・いつも交流しているおばあちゃんやおじいちゃんと話したりしながら交流を深める。 ・地産地消を生かしたイベントを友達と行っていく。 ・介護施設などに行き、なにか喜んでもらえるような物をつくる。
自然	<ul style="list-style-type: none"> ・自然を守る活動をする。 ・今ある自然を守っていくためにボランティアなどに積極的に参加する。 ・環境保全のボランティアなどを協力して行う。 ・みずみずしい自然を守っていくために、ゴミ拾いを積極的に行う。

市民部会とのセッション

(1) WSを踏まえて、市民部会委員がやってみたいと思ったこと

・北中の「山梨市の魅力を探しに山梨市内を巡ってみたい」「もっと山梨市の良い所を掘り下げてみたい」という意見に対して、さらに中学生の皆さんでガイドできるようになれば素晴らしいと思うので、是非、みなさんとやってみたい。

(同様の意見あり)

・自然をこれからの若い世代、孫の世代に残していくためにも、自然を守って行くことに取り組みたい。同時に、いいところをよその県の人などに味わっていただいて、これだったら山梨市に住んでみようと思っただけのようなことをやっていきたいと考えた。

・まちづくりの基本として奉仕活動、ボランティアを大切にしていかなければいけないと思った。年齢を問わずに清掃活動をやるのもひとつ。山を守って行く活動を一緒にやっていきたい。

(2) 市民部会委員が中学生に聞いてみたいこと

Q：北中のやってみたいことの中で、にぎわいの創出（イベント）の部分に関連して、なにかこんなことをやったらいいという具体的なアイデアがあれば、教えてもらいたい。

A：山梨市民の日をつくって、その日に市民がみんなが集まるようにする。

Q：南中のやってみたいことの中で、PRについてのアイデアに関連して、PRでこんなことをするとおもしろいというアイデアがあれば、教えてほしい。

A：ど根性ガエルを主人公として、山梨市のいろんなところを旅する動画をつくる。

Q1：笛川中のやってみたいことの中で、リアルな動画を活用してPRするというアイデアに関連して、他県や海外の人にアピールしていく時に、特に見て欲しい場所があれば教えて欲しい。

Q2：笛川中の動画をつくるというアイデアに対して、具体的にどんな動画をつくったらよいか。

A：観光地でゆるキャラと一緒に動画をとるといいと思う。

Q：東京の大学に行きたい、東京で就職したいという人？山梨市に足りないものがあるからそこに行くのか、より高度なものがあるからそこに行くのか？

（以下、東京に行きたいと手を挙げた人の回答）

A1：消防士になりたい。ハイパーレスキュー隊に。

A2：（同じく）消防士になりたい。東京消防庁に勤めたいと思っている。

A3：私の夢は水族館の調教師になること。海洋学部に行きたい。

A4：私は英語を使って仕事がしたいので、東京に行っているいろいろなことを学びたい。

⇒（質問者の意見）リニアも通るし、中央線も高速化する可能性もある。ここから東京の大学に通えるような環境をつくってあげればと思う。

Q：リニアに乗ったことがある人？（→いない）乗ってみたい人？（→全員）

リニアができれば親元を離れずに東京に行くことができるようになる。

Q：駅前にこういうのがあったらいい、というのはあるか？

A1：ファミリーマートしかないので食べる場所が欲しい。

A2：パスタとか食べられるところ。

A3：スターバックス。駅を利用する人が増えるのでいいと思う。

Q：農業の跡継ぎがない。高齢化している。やってみたくないのであればその理由は？

A1：天候に収入が左右されるので。

A2：自分のやりたいことをやりたいから。

Q：最近、山梨市にも外国人の観光客が増えてきている。外国人のお客さんにガイドをやってみてもいいと思っている人は？

A：東京に出て戻ってきたら、やってもいいかな。

（3）中学生の皆さんが山梨市の大人にやってもらいたいことは？山梨市に足りないことは？

・東山梨市駅の上りと下りをつなぐ通路をつくっていただきたいと思います。以前も事故があった。これ以上事故を増やしてほしくない。

・学校の新しい物品が買えずに困っているので、教育面の予算を増やしてほしい。

・サッカー等、みんなが使えるようなスポーツ公園がないのでつくってほしい。

・私は牧丘に住んでいて、三富に友達が住んでいて遊びに行くが、夜帰ってくると、街灯が少なく危険なので、街灯を増やしてほしい。

・6時になると音楽が鳴るが、その音楽が切なくて悲しい。もう少し明るい音楽に替えて欲しい。

最後に中学生の皆さんから一言

今回のWSでどのようなことに気づき、今後、山梨市にどう関わって行きたいと思ったか？

- ・短い時間の中でみんなと話し合うことで山梨市のいいところがたくさんわかったし、今後ボランティアがあれば積極的に参加していききたいと思う。
 - ・山梨市は自然もあって住みやすいまちだと思うので、より発展していってもらうためにも、ボランティアの活動があれば参加したいと思った。
 - ・普段、山梨市をこういう風にしたいとか、こういう機会がないと言えない。この機会に山梨市について考えられた。ボランティアに参加したりして、少しでも山梨市をよくできればいいなと思った。
 - ・この話し合いで、観光客とか外国人の人たちに山梨市のことをもっと知ってもらうために、積極的に話しかけたり道案内をしたり、していきたいと思った。
 - ・仲間と話し合って、実行しようと思えば実行できる活動もいくつかあったので、これから山梨市にもっと関わることもやっていききたいと思った。
 - ・自分が気付かなかった山梨市のいいところにたくさん気づくことができよかったです、山梨市がもっとよくなるようにボランティアにもっと積極的に参加していききたいと思った。
 - ・山梨市のいいところを再確認できたことと、山梨市に自分がやってもらいたいことを伝えられてよかった。これから高校や大学に行って、もしかしたら山梨市から出ることもあろうと思うが、山梨市以外の人にも山梨市のよさを伝えられたらと思う。
-
- ・知らなかった山梨市のいいところを見つけたり、改めて山梨市のいいところを確認できたのでよかった。またこういう会議があれば参加してみたいと思った。
 - ・山梨市のいいところがたくさんあると気付いてよかった。山梨市のためにできることはたくさんあると思うので、積極的にやっていききたいと思った。
 - ・この会議に参加して、はじめて山梨市のことについて深く考えることができたのでよかった。山梨市の未来を築くのは自分達だと思うので、自分が関わることがあれば、積極的に関わって行きたいと思った。
 - ・この会に参加して山梨市のいいところを再確認できた。山梨市のことについていっぱい調べて、小さい子やお年寄りに伝えていけるようにしたい。
 - ・自分だけではわからなかった山梨市のいいところや、こうなったらいいなというところが、みんなが集まることでいろいろわかったし、共有できてよかった。
 - ・いままで深く考えたことがなかった山梨市のいいところや、山梨市のためにできることを考えられたことがよかった。

・(宿題の)ワークシートを書いているときは、山梨市のいいところがなかなか出てこなかった。でも、こうやって同じ中学生の意見を聞いて、「あ、そういえばこういうこともあったな」とか、いろいろな発見があって、とてもおもしろかった。

・山梨市について考えるということを、いままで本当にしたことがなかったので、今回の機会で山梨市のことを知ることができたし、これからはそういったことに興味をもていきたいと思った。

・この会議に参加して山梨市により一層関心をもつことができた。いろいろなことを仲間と共有することができたり、もっと山梨市について深く知りたいなと思った。

・たくさん意見が出て、自分が知らない事を知れたのでよかった。言いたい事も言えて、すっきりできたのでよかった。

・いつも当たり前で生活している山梨市について、知らないことが多いということがわかった。ワークシートも全然思いつかなかったけど、今回、いろいろな意見を聞けて、本当に自分は知らなかったんだなと思った。これからは山梨市についてもっと深く知ることから始めたいと思う。

・みんなで集まって意見を共有できて本当によかった。将来、山梨市に貢献できたり、携わっていったらいいと思う。

市民部会WSの成果と反映について

1. 長期ビジョン

■第1回市民部会

・市民生活の観点から山梨市にどのような課題があるのかについて共有した。高齢者の足の確保や孤立対策など、特に人口減少・少子高齢化の進展に伴う課題が散見された。

■第2回市民部会

・山梨市のいいところ・残していきたいところを共有し、市民の基本的な価値観や山梨市の強みを確認した。最も多く出た意見は豊かな「自然」、次いで「医療」であった。

・第1回における課題認識も踏まえながら、それらのいいところ・残していきたいところを活かし、伸ばしていく方向で、20～30年後に自分達の生活がどうなっていたいのか、山梨市がどうなっていて欲しいのか、そのイメージ・キーワードを抽出した。

・今後ビジョンについて更に検討していくにあたり、どのような情報が必要か、必要な情報をリストアップした。

■第3回市民部会

・第2回の市民の情報ニーズに応じ、各課で回答を用意するとともに、統計情報や今後の山梨市を取り巻く社会変化等を整理して作成した「まちづくり基礎データ集」を共有した。

・各班にコーディネーターを配置しビジョンを検討した（検討結果は以下の通り）。

	健康・福祉	産業・経済	教育・文化	環境・インフラ	協働・行財政
ビジョン	・いのちが輝き続けるまち	・郷土が育む四季の色あふれる、にぎわいのまち	・いのちへつながるまち	・安心して住みやすいまち	・役所が目立たないまち
サブビジョン	・お腹の中から墓場の中まで安心のまち	・果樹でつながるまちづくり	・いのちを守り、育てるまち	・救急車・消防車が入れるまち	・市民がガイドできるまち
	・自然の中で暮せるおいしいまち	・ヒトにやさしく、住みやすいまち	・豊かな学校教育を支えるまち	・自然と共生しているまち	・希望活動人口を増やすまち
	・すみずみまで幸せで豊かな色のまち	・都市と自然の交流のまち	・人々をつなぐまち	・学ぶ場・働く場のあるまち	・産官学民金の協働するまち
			・伝統をつなぐまち		・市民総活躍のまち
			・国々をつなぐまち		・少数精鋭の市役所のあるまち

※市民部会の検討内容を最大限活かしながら、文言等の修正を加えた。主な反映・修正状況は以下の通り。

健康・福祉班	「お腹の中から墓場の中まで安心のまち」が全体を表しており、またキャッチーであるため、これをビジョンとして採用し、文言を修正した。
産業・経済班	ビジョン、サブビジョンともにほぼ提案通り採用した。ただしサブビジョンの「ヒトにやさしく、住みやすいまち」については、他の新産業の可能性も含めて、「地域資源を活かした産業の創出に挑戦するまち」としてまとめた。
教育・文化	全体を貫く「つなぐ」というコンセプトを採用しつつ、何と何をつなぐのかを明らかにするため、文言を修正した。
環境・インフラ	ビジョンについては、「安心して住みやすい」は他の自治体にも言えるので、WSで山梨市のよさとして多く挙がっていた、「静かに落ち着いて暮せる住環境」というニュアンスを盛り込んだ。
協働・行財政	ビジョン、サブビジョンともにほぼ提案通り採用した。ただし、ビジョンはポジティブな表現が望ましいとの意見が出たことから、WSでも出ていた「市民が主役」というキーワードを採用することとした。

※「めざす方向」(サブビジョン)について、総合計画における総合性を担保する観点から、足りない分野を補い、それぞれ4つの方向で調整した。

■第9回市民部会

市内の中学生の意見を聞く「山梨市未来会議」を開催し、山梨市で好きなこと、将来にわたって大切にしていきたいことを聞いた。若者の価値観と市民部会の価値観にずれがないことを確認した。

以上から、3つの「価値観」、5つの「ビジョン」、20の「めざす方向」が導き出された。

2. 市民から市民への提言

■第4回市民部会

長期ビジョンをどのように実現していくのかについてアイデアを出し合った。

■第5回・第6回市民部会

第4回のアイデアの中で、特に市民が主体的に関わり、企業や団体、役所等と協働してオール山梨市で取り組んでいくべきものをプロジェクト(各班3つ)とし、更なる深堀を行った。市民部会が提案したプロジェクト案は以下の通り。

健康・福祉	産業・経済	教育・文化	環境・インフラ	協働・行財政
・糖尿病予防	・セラピーで商売を	・コミュニティ・スクール	・「いくじゃん 住むじゃん 山梨市」	・新産業の創出
・子育て環境の充実	・市庁舎の売却による学園都市の構築	地域の魅力を伝える文化イベントの開催	・安心インフラの構築	・市民がガイドできるまち ・「マイスター制度」の創設・活用
・高齢者生活支援	・次世代の農産物の検討	・スポーツ・イベント	・災害時の地域情報ネットワークの構築	・事業仕分け

※市民の役割が大きいプロジェクトか、また市民が実際に進めて行ける実現性があるかを考慮し、各班2つのプロジェクトに絞り込んだ。プロジェクトの選定結果は以下の通り。

・市庁舎の売却による学園都市の構築、次世代の農産物の検討、安心インフラの構築、災害時の地域情報ネットワークの構築、新産業の創出、事業仕分けについては、広範な市民の参画が難しい、または実現する可能性が低い等の理由で市民主体のプロジェクトとしては外すこととした。

・産業・経済班が1つのプロジェクトのみとなるため、教育・文化の「スポーツ・イベント」を移動させ、スポーツ・ツーリズムのプロジェクトとして位置付けた。

・環境・インフラ班も1つのプロジェクトのみとなったため、健康・福祉班の「高齢者生活支援」を移動させ、定住促進関連のプロジェクトとして位置付けた。

・特に山梨市民全体に呼びかけながら、市民としてやってみたい具体的なアクションを抽出し、「市民から市民への提言」としてまとめた。

■第9回市民部会

・上述の「山梨市未来会議」で、中学生が若者として山梨市のためにやってみたいことのアイディアを出してもらった。

・更に、中学生と市民部会のメンバーと一緒に山梨市のためにできることはないか、接点をさぐった。そこで、共に取組めそうな感触を得られたのが以下の4つであり、新規のものについては「提言」に加えた。

- ①「自然を守るためのボランティア活動を進めよう！」(新規)
- ②「公園や道、川のまわりなど、まち全体をみんなできれいにしよう！」(新規)
- ③「山梨市の地域の魅力の発掘調査を行い、ツアーを企画しよう！」(既出)
- ④「PR動画を作成して全国に発信しよう！」(新規)

以上から、市民から市民へ提言する10のプロジェクト・提言が導き出された。

山梨市まちづくり総合計画審議会
諮問・答申関連資料

梨まち1第 1-9 号
平成28年 2月10日

山梨市まちづくり総合計画審議会
会長 大宮山 磐 殿

山梨市長 望月 清賢

「第2次山梨市まちづくり総合計画」(案)について(諮問)

市では、国の「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、昨年9月に、山梨市人口ビジョンと山梨市総合戦略を策定し、主に本市の人口・仕事に関する長期ビジョンと、その具体的施策について、取りまとめたところであります。

また、平成28年度末に第1次山梨市総合計画の計画期間終了を控え、新たな本市のまちづくりの方向性を見据えた「第2次山梨市まちづくり総合計画」の策定に着手いたしました。

つきましては、第1次山梨市総合計画の検証を行う中で、国の提案する「国土強靱化」や「一億総活躍社会」の実現と、地方の変革に期待し応援をする国の施策に対して柔軟に対応できることや、このまちに住む市民の声を最大限活かした新たな総合計画の策定のため、山梨市まちづくり総合計画策定条例第3条の規定により、貴審議会に諮問いたします。

記

1. 基本構想(案)について

策定条例で規定する基本構想については、長期ビジョンとして策定する。

これは20年先、30年先を展望し、市民一人ひとりの生き方、暮らし方に視点をおきつつ、市の将来像を描いたビジョンとして10年間の計画案を策定するものである。

平成28年11月15日

山梨市長 望月清賢様

山梨市まちづくり総合計画審議会
会長 大宮山 磐

「第2次山梨市まちづくり総合計画」(案)について(答申)

平成28年2月10日付け梨まち1第1-9号により本審議会に諮問された「第2次山梨市まちづくり総合計画」(案)について、多くの市民参画のもと、慎重に審議した結果、別紙の「第2次山梨市まちづくり総合計画長期ビジョン」(案)のとおり答申します。

第2次山梨市まちづくり総合計画長期ビジョン（案）

【 答 申 】

本審議会で諮問を受けた「第2次山梨市まちづくり総合計画」（案）は、少子高齢化や技術革新といった、これからの急速な社会・環境の変化に、本市が俊敏に対応していくための指針となる、大変重要な計画であると認識しております。

本審議会では、平成28年2月10日に「第2次山梨市まちづくり総合計画」（案）〈基本構想（案）（長期ビジョン（案）〉の諮問を受けました。

「広く市民の意見を聞く工夫をこらし、市民と行政とが一体となり策定を進める」という策定方針に基づき、無作為抽出・公募による市民と、市役所職員から構成する審議会専門部会「市民部会」を設置いたしました。

この「市民部会」では、計画案の策定に向け、11回にわたる検討を行ってまいりました。

また、これからの本市を担っていく若者の代表として、市内中学生の声を聞くため「山梨市未来会議」を開催するなど、様々な世代の市民の声を計画に反映させるよう努めました。

以上のことを踏まえ、本審議会において検討を行った結果、「第2次山梨市まちづくり総合計画長期ビジョン」（案）について、次のとおり意見・要望を付記して答申いたします。

なお、計画の推進に当たっては、付記した意見・要望を十分に尊重し、「長期ビジョン」（案）と併せて、基本戦略となる方法書として策定した「中期計画」（案）を十分に検討するとともに、目標達成に向けた取り組みを行うための実施計画を策定し、本計画が適切に実施されることを要望いたします。

「長期ビジョン」(案)の概要

これからの本市まちづくりに当たって、大切にしていきたい3つの価値観。

- (1) 人のつながりとコミュニティを大切にしていきたい
- (2) 自然と共生する暮らしを大切にしていきたい
- (3) 伝統と先進性が共存する気風を大切にしていきたい

20年先、30年先を展望した上で、今後、10年間の本市の進むべき姿を現したものとして、上記の3つの価値観を大切にしつつ掲げた「将来像」は、次のとおりです。

「誇れる日本を、ここ山梨市から。」

将来こうありたいと考える将来像と、市民の一人ひとりの生き方や暮らし方に視点をおきつつ、進むべき5つ方向性を現したものを“5つのビジョン”として、次のようにあらわしています。

1. 四季折々の色あいを大切に、にぎわいのある山梨市

めざす方向

- (1) 稼ぐ農業へ挑戦するまち
- (2) 魅力ある商工業のまち
- (3) 都市と自然の交流のまち
- (4) 地域資源を活かした産業の創出に挑戦するまち

2. 市民が手をつなぎ、教育と文化を育む山梨市

めざす方向

- (1) 地域と人々がつながるまち
- (2) 文化・伝統を未来につなぐまち
- (3) 未来の人材を育てるまち
- (4) 地域と学校がつながるまち

3. おなかの中から一生涯安心の山梨市

めざす方向

- (1) 安心して子どもを産み、育てられるまち
- (2) 突然の病気や介護に困らないまち
- (3) 健康で生きがいをもって暮らせるまち
- (4) 一人ひとりの個性が尊重されるまち

4. 機能性が高く、落ち着いた住環境の山梨市

めざす方向

- (1) 自然と農のある暮らしを提供できるまち
- (2) 災害に強いまち
- (3) 都心とつながるバックアップのまち
- (4) 生活インフラの充実したまち

5. 市民が主役、役所が支える山梨市

めざす方向

- (1) 産官学民金労言（※1）の協働するまち
- (2) 「希望活動人口（※2）」を増やすまち
- (3) 少数精鋭の市役所のあるまち
- (4) 生産性の高い市役所のあるまち

（※1）産業界、官公庁、学校、民間、金融機関、労働団体、言論界

（※2）年をとっても本市のために様々な活動を行ったり、元気に就労することにより収入が得られることから、納税できるすがたを山梨市版「希望活動人口」と呼びます。

意見・要望について

「長期ビジョン」(案)で描いた将来像に向かって進むべき方向性を現した5つのビジョンごとに、『達成すべき目標』と『そのための方法』を示す基本戦略となる「中期計画」(案)を策定したので、これについても適切に検討されるよう要望いたします。

—「中期計画」(案)で構成されている8つの項目—

① 現状と課題

長期ビジョン(案)の各ビジョンにおける「めざす方向」に対する、現状と課題を抽出

② 対応の方向

現状と課題に対する課題解決の方向を示すもの

③ 基本目標(定性的目標)

②の対応を行うことで、何をめざすのかを明らかにする定性的な目標

④ 測定指標

基本目標がどれだけ達成できたのか(成果)を定量的に評価できる指標

⑤ 測定方法

④の指標をどのように把握するかを示すもの

⑥ 数値目標(定量的目標)

原則として「中期計画」(案)の最終年度となる平成34年度の数値目標を示すもの

⑦ 基準年、基準値

基準年、基準値は第1次計画の最終年度となる平成28年度であるが、第2次計画の策定が平成28年度であることから、入手困難なデータ等については、直近のものを活用

⑧ 課題解決・目標実現の具体的方策例

課題解決・目標実現に効果の見込める具体的な方策を例示

また、「長期ビジョン」(案)を検討する過程で、審議会専門部会「市民部会」が市民への提言書として取りまとめた「市民から市民への提言」—山梨市を変える10のプロジェクト—を作成しました。

これは、「長期ビジョン」(案)を実現するため、市民自らが主体的に活動し、市内外の団体・市役所などの力を借りながら「オール山梨市」として取り組んでいこうという考え方です。

このプロジェクトの実施にあたり、関係機関においても協調し推進することを要望いたします。

プロジェクト1：子育て環境の充実

子どもと子育て中のママ・パパや、高齢者、障がい者も含めて、みんなで助け合いながら、子育て環境を充実させていくプロジェクト。

プロジェクト2：糖尿病予防

山梨市に糖尿病患者が多いことが知られていないため、それらの周知や、糖尿病にならないように市民が予防をしていくためのプロジェクト。

プロジェクト3：ウェルネス・ツーリズム

人間ドックや温泉、西沢溪谷、万力公園、保健農園ホテルフフ山梨などをうまく結び付けて、都市部の人に医療や心の癒しの場所を提供できるような観光のあり方を検討するプロジェクト。

プロジェクト4：スポーツ・ツーリズム

登山やトレッキング、マラソンなど、山梨市の地形を活かしたスポーツを、地域の人々の健康や体力向上、観光振興につなげていくためのプロジェクト。

プロジェクト5：平成の寺子屋

文化・伝統を継承していくため、市民と学校や公民館が連携して、様々な知識や技術をもった市民が、学校を核に、それらを大人や子どもに広めていくプロジェクト。

プロジェクト6：地域観光祭りの拡充

万葉サミットや源流サミットなど、地域の祭りを市民が盛り上げながら、地域の魅力を全国に発信するプロジェクト。

プロジェクト7：「いくじゃん山梨」「住むじゃん山梨」

市役所や農業従事者が連携して、遊休農地や遊休農機具を貸し出しできるようにするなど、市に登録すれば、農業体験が簡単にできる環境をつくとともに、まちの住環境を発信しながら、山梨市を訪れたい人、住みたい人を呼び寄せるプロジェクト。

プロジェクト8：高齢者まちなか居住支援

高齢者が病院や商業施設の近隣で安心して住めるよう、移住を支援するとともに、空いた土地・建物には若者などの移住を促進するプロジェクト。

プロジェクト9：市民がガイドできるまち

文化財なども含めて、山梨市の魅力を再発掘し、ガイドを育て、それらを全国、世界へ発信していくプロジェクト。

プロジェクト10：「マイスター制度」の導入による新事業の創出

若い人も含めて、市民一人ひとりが得意なものを登録し、マイスターとして認定して、マイスターと仕事を結びつけるような場をつくっていくプロジェクト。

山梨市まちづくり総合計画策定条例

平成 24 年 12 月 25 日

条例第 30 号

(趣旨)

第 1 条 この条例は、総合的かつ計画的な市政の運営を図るため、本市のまちづくり総合計画（以下「総合計画」という。）の策定について必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第 2 条 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。

- (1) 総合計画 市の最上位の計画として、将来における本市のあるべき姿及び進むべき方向についての基本的な指針を示し、基本構想、基本計画及び実施計画からなるものをいう。
- (2) 基本構想 市が目指すべき将来都市像及びこれを実現するための基本的な構想をいう。
- (3) 基本計画 前号に掲げる基本構想に基づき、市政全般に係る政策の基本的な方向を総合的かつ体系的に示した、施策推進のために定める計画をいう。
- (4) 実施計画 前号に掲げる基本計画に基づき、市の行政分野全般に係る具体的な事務事業の実施に関して定める計画をいう。

(まちづくり総合計画審議会への諮問)

第 3 条 市長は、基本構想を策定し、又は変更しようとするときは、あらかじめ、山梨市まちづくり総合計画審議会条例第 1 条に規定する山梨市まちづくり総合計画審議会に諮問するものとする。

(議会の議決)

第 4 条 市長は、前条の規定による手続きを経て基本構想を策定し、又は変更するときは、議会の議決を経るものとする。

(基本計画及び実施計画の策定)

第 5 条 市長は、基本構想に基づき、基本計画及び実施計画を策定するものとする。

(総合計画の公表)

第 6 条 市長は、総合計画を策定したとき又は変更したときは、速やかにこれを公表

するものとする。

(総合計画との整合)

第7条 個別行政分野における施策の基本的な事項を定める計画を策定し、又は変更するに当たっては、総合計画との整合を図るものとする

(委任)

第7条 この条例の施行に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この条例は、平成27年4月1日から施行する。

※この条例は、公布日から施行され、その後改正された最終のものです。

山梨市まちづくり総合計画審議会条例

平成 17 年 3 月 22 日

条例第 16 号

(設置)

第 1 条 地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 138 条の 4 第 3 項の規定に基づき、山梨市まちづくり総合計画審議会（以下「審議会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第 2 条 審議会の所掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 市長の諮問に応じ、山梨市まちづくり総合計画に関する事項について調査審議すること。
- (2) まちづくりに関する事項について審議し、市長に対して意見を述べること。

(組織)

第 3 条 審議会は、委員 30 人以内で組織する。

- 2 委員は、学識経験のある者、地域を代表する者、市議会の議員及び関係行政機関の職員のうちから市長が委嘱する。
- 3 審議会に専門の事項を調査させるため、特別委員を置くことができる。
- 4 前項の特別委員は、市長が必要と認めるときに委嘱する。

(任期)

第 4 条 委員の任期は、2 年とする。ただし、再任を妨げない。

- 2 委員が欠けた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第 5 条 審議会に会長及び副会長若干人を置く。

- 2 会長及び副会長は、委員の互選により定める。
- 3 会長は、会務を総理し、審議会を代表する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、あらかじめ会長が定める順位に従いその職務を代理する。

(会議)

第 6 条 審議会は、会長が招集する。

- 2 審議会は、委員の定数の半数以上が出席しなければ、会議を開くことができない。
- 3 審議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(部会)

第7条 会長は、特に必要があると認められるときは、審議会に専門部会を置くことができる。

(庶務)

第8条 審議会の庶務は、まちづくり政策課において処理する。

(委任)

第9条 この条例に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、会長が審議会に諮って定める。

附 則

この条例は、平成27年4月1日から施行する。

※この条例は、公布日から施行され、その後改正された最終のものです。

山梨市まちづくり総合計画策定委員会設置要綱

平成 18 年 5 月 22 日

告示第 82 号

(設置)

第 1 条 山梨市まちづくり総合計画（以下「総合計画」という。）を策定するため、山梨市まちづくり総合計画策定委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第 2 条 委員会は、次に掲げる事項について調査、研究、調整又は協議するものとする。

- (1) 総合計画策定の基本方針に関すること。
- (2) 基本構想及び基本計画並びに実施計画の立案に関すること。
- (3) その他総合計画の策定に関し必要な事項

(組織)

第 3 条 委員会は、副市長、教育長及び課長職をもって組織する。

- 2 委員長及び副委員長は、それぞれ市長が指名する者をもって充てる。
- 3 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代理する。

(会議)

第 4 条 委員会の会議は、委員長が招集する。

- 2 委員会の会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。
- 3 会議の議長は、委員長とする。
- 4 委員長は、必要があると認めるときは、委員会の会議に関係者の出席を求め、意見等の聴取をすることができる。

(幹事会)

第 5 条 委員会に、幹事会を置く。

- 2 幹事会の委員は、委員長が指名する。
- 3 幹事会に幹事長を置き、委員の互選により選出する。
- 4 幹事会は、計画素案の検討、総合計画原案の作成その他総合計画の策定に関する重要項目について協議する。

(専門部会)

第6条 委員会に、次の専門部会（ワーキンググループ）（以下「部会」という。）を置く。

- (1) 保健・医療・福祉部会
- (2) 産業・観光・自然環境部会
- (3) 教育・文化部会
- (4) 都市基盤整備部会
- (5) 行財政運営部会

- 2 部会のメンバーは、委員長が指名する。
- 3 部会にリーダーを置き、メンバーの互選により選任する。
- 4 部会は、総合計画策定に係る資料収集、分析及び計画素案の作成を行う。

(報告)

第7条 委員長は、委員会における総合計画の策定作業状況、調査・研究過程及び協議結果について市長に報告し、必要な指示を受けるものとする。

(事務局)

第8条 委員会の事務局は、まちづくり政策課に置く。

- 2 事務局長は、まちづくり政策課長をもって充てる。
- 3 事務局職員は、まちづくり政策課政策調整担当職員をもって充てる。

(委任)

第9条 この要綱に定めるもののほか、委員会に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

附 則

この告示は、平成27年4月1日から施行する。

※この要綱は、告示日から施行され、その後改正された最終のものです。

— 第2次山梨市まちづくり総合計画策定経過 —

平成27年

- 12月 1日 策定委員会幹事会委員の指名通知
(委員長) 副市長
(委員) 秘書人事課長、まちづくり政策課長、財政課長、総務課長
福祉課長、建設課長、学校教育課長
※企画調整委員会構成員をもって幹事会委員構成とする。
- 12月 4日 第1回策定委員会幹事会
(議事) 1. 総合計画方向性について
2. スケジュールについて
- 12月 8日 第1回策定委員会
(議事) 1. 総合計画方向性について
2. スケジュールについて
3. 専門部会委員推薦依頼
※配布資料(策定方針案、2階層説明、幹事会名簿、策定関連の条例・要綱等)
- 12月18日 審議会委員委嘱状交付式
※人口ビジョン・総合戦略策定委員会から引き続き組織されているため、それら会議での会長及び副会長が本会議の会長及び副会長となることを確認する。
※市民公募委員3名を新たに委員とする。
- 12月18日 第1回審議会
(議事) 1. 策定組織体制並びに策定方針について
2. 審議会専門部会(市民部会)の設置について
※配布資料(組織図、各委員会名簿、策定方針案、体系資料、スケジュール、専門部会設置案、策定関連の条例・要綱等)
- 12月21日 市議会議員全員協議会
(説明内容)・第2次山梨市まちづくり総合計画策定方針について
- 12月24日 第2回策定委員会(課長会議)
(議事) 1. 審議会専門部会(市民部会)の設置について

平成28年

- 1月 7日 第3回策定委員会（課長会議）
（議 事） 1. 策定委員会専門部会（庁内専門部会）の構成について
- 1月12日 第1回庁内専門部会
（協議事項） 1. 総合計画策定方針及び組織構成
策定委員会専門部会（庁内専門部会）について
2. 総合計画の構成見直しについて
3. 審議会専門部会（市民部会）の設置について
4. スケジュールについて
※ワークショップ開催
※配布資料（策定方針案、総合計画の構成の見直しについて、策定委員会専門部会の見直しについて、審議会専門部会の設置について、スケジュール、委員名簿）
- 1月12日 総合計画策定に係る講演会
（講 師）山梨県福祉保健部参事・医務課長 堀岡伸彦
（医師、厚生労働省より出向）
（演 題）総合計画の策定にあたって政策課題をどのように捉えるべきか
—山梨県の医療福祉の現状とこれから—
- 1月21日 第4回策定委員会（課長会議）
（議 事） 1. 審議会専門部会（市民部会）職員派遣について
- 2月10日 第2次山梨市まちづくり総合計画案の諮問
（諮 問）第2次山梨市まちづくり総合計画（案）について
1) 長期ビジョン（案）
2) 中期計画（案）
- 2月10日 第2回審議会
（議 事） 1. 山梨市長からの諮問について
2. 審議会専門部会（市民部会）開催について
3. 策定スケジュールについて
※配布資料（委員会名簿、諮問書写し、長期ビジョン案の構成について、市民部会委員名簿、市民部会の運営について）

- 2月18日 第1回市民部会
 (ワークショップ内容)
 ・山梨市が「解決」又は「達成」すべき課題について・・・<課題抽出>
 ※配布資料 (WS 資料、庁内専門部会が考える5つの項目ごとの課題
 (小項目) と関連するグループ (大項目) の整理表)
- 3月22日 第2回市民部会
 (ワークショップ内容)
 ・山梨市の目指すべき方向 (社会像) について・・・<方向性抽出>
 ※配布資料 (WS 資料、市民部会が考える5つの項目ごとの課題 (小項目)
 と関連するグループ (大項目) の整理表)
- 4月13日 第3回審議会
 (議 事) 1. 市民部会ワークショップ経過報告
 2. 策定スケジュールについて
 ※配布資料 (委員会名簿、長期ビジョン検討素案、策定スケジュール)
- 4月23日 第3回市民部会
 (ワークショップ内容)
 ・山梨市の目指すべき方向 (ビジョン) について・・・<ビジョン検討>
 ※配布資料 (WS 資料、山梨市のいいところ残していきたいところ、山梨
 市が目指すべき方向性、まちづくり基礎データ集)
- コーディネーター 健康・福祉班 片山清宏 (NPO法人湘南ビジョン研究所 理事長)
 産業・経済班 小村雄大 (元内閣府 参事官)
 教育・文化班 岡野恵之 (竜ヶ崎市職員)
 環境・インフラ班 佐々木陽一 (PHP総研 主任研究員)
 協働・行財政班 荒田英知 (PHP総研 主席研究員)
- 5月11日 第5回策定委員会 (課長会議)
 (議 事) 1. 総合計画市民アンケートの実施について
- 5月11日～5月30日 第2次山梨市まちづくり総合計画住民アンケート実施
- 5月20日 第4回市民部会
 (ワークショップ内容)
 ・ビジョン振り返りとビジョン実現策について・・・<アイデア抽出>
 ※配布資料 (WS 資料、WS 取りまとめ表、第1次計画事業一覧表)
- 6月 9日 第2回庁内専門部会
 (協議事項) 1. 経過説明について
 2. 事業レビューについて
 3. 策定スケジュールについて
- ※ワークショップ開催
 ※配布資料 (長期ビジョン案・中期計画案策定までのフロー、策定スケジュール、
 WS 資料、まちづくり基礎データ集、市民部会 WS 取りまとめ表、委員名簿)

- 6月27日 第3回庁内専門部会
 (協議事項) 1. 長期ビジョン素案について
 ※ワークショップ開催
 ※配布資料(長期ビジョン素案・WS資料、第2回専門部会
 取りまとめ表、委員名簿)
- 6月27日 総合計画進捗状況中間市長説明
 (説明内容)・第2次山梨市まちづくり総合計画長期ビジョン(素案)
- 6月29日 第4回審議会
 (議 事) 1. 長期ビジョン素案について
 2. 事業レビュー実施について
 ※配布資料(委員会名簿、長期ビジョン素案、平成28年度
 山梨市事業レビュー実施要領)
- 6月29日 第5回市民部会
 (ワークショップ内容)
 ・長期ビジョン素案について
 ・実現策の再抽出について
 ・プロジェクトの選択について
 ※配布資料(長期ビジョン素案、ビジョン実現策のアイデア)
- 7月 5日 第6回策定委員会
 (議 事) 1. 審議会、庁内専門部会、市民部会での協議進捗状況につ
 いて
- 7月 5日 第2次山梨市総合計画事業レビュー研修会
 (講 師) PHP総研 主席研究員 熊谷哲
 (演 題) 事業レビュー(試行)の実施について
- 7月15日 第6回市民部会
 (ワークショップ内容)
 ・これまでの振り返り
 ・アイデアの深堀について
 ・事業レビュー実施説明
 ※配布資料(W.S.資料、事業レビューの実施について)
- 7月23日 第2次山梨市まちづくり総合計画事業レビュー開催
 1班・・・コーディネーター 熊谷哲(PHP総研 主席研究員)
 専門委員 岡野恵之(竜ヶ崎市職員)
 片山清宏(NPO法人湘南ビジョン研究所 理事長)
 説明担当課 環境課、都市計画課、農林課、建設課、
 学校教育課、生涯学習課、観光課

- 2班・・・コーディネーター 小村雄大（元内閣府 参事官）
 専門委員 熊井成和（館山市 健康福祉部長）
 内田文子（元団体職員）
 説明担当課 介護保険課、福祉課、健康増進課、税務課、
 子育て支援課、秘書人事課、まちづくり政策課
- 7月26日 市民部会協働行財政部会勉強会
 （内 容）・山梨市における協働事業の取り組みについて
 ・山梨市の財政状況（決算カードの読み方）について
 ・平成26年度一般会計決算の状況について
- 7月27日 第4回庁内専門部会
 （協議事項）1. 中期計画ワークシート作成について
 ※ワークショップ開催
 ※配布資料（長期ビジョン実現策のアイデア・市民部会
 取りまとめプロジェクト案の深堀）
- 8月 5日 総合計画進捗状況中間市長説明
 （説明内容）・第2次山梨市まちづくり総合計画長期ビジョン（素案）
- 8月 8日 第5回庁内専門部会
 （協議事項）1. 成果指標について
 ※成果指標設定の講演（PHP 総研 主席研究員 熊谷哲）
 ※配布資料（成果指標を捉える、中期計画骨格たたき台）
- 8月 9日 総合計画進捗状況中間市長説明
 （説明内容）・第2次山梨市まちづくり総合計画長期ビジョン（素案）
- 8月 9日 第5回審議会
 （議 事）1. 長期ビジョン（最終案）について
 ※配布資料（長期ビジョン（最終案）、中期計画骨格
 （たたき台））
- 8月 9日 第7回市民部会
 （ワークショップ内容）
 ・中期計画について
 ・プロジェクトの仕上げについて
 ※配布資料（中期計画骨格（たたき台）、プロジェクト案）
- 9月 2日 第8回市民部会
 （ワークショップ内容）
 ・プロジェクトの仕上げについて
 ※配布資料（WS資料、プロジェクト案）
- 9月 7日 第6回庁内専門部会

- (協議事項) 1. 中期計画について
- ※ワークショップ開催
- ※配布資料(施策の大綱・各プロジェクト及び目指す方向)
- 9月13日 若者ワークショップ開催協議(山梨北中学校)
- (内容)・実施内容の確認及び参加者確認
- 9月15日 若者ワークショップ開催協議(笛川中学校)
- (内容)・実施内容の確認及び参加者確認
- 9月15日 若者ワークショップ開催協議(山梨南中学校)
- (内容)・実施内容の確認及び参加者確認
- 9月21日 第6回審議会
- (議事) 1. 中期計画素案について
2. 全体将来像について
3. 山梨市若者未来会議の開催について
4. パブリックコメントの実施について
- ※配布資料(第2次計画体系図(将来像の位置づけ)、中期計画素案(たたき台)、プロジェクト案、策定スケジュール、若者ワークショップ開催要項、パブリックコメント募集通知案、第9回市民部会提出予定の「山梨市若者未来会議」参加お願い文書)
- 9月25日 「山梨市未来会議」開催
- コーディネーター PHP 総研 コンサルタント 茂原純
- 参加者・・・中学生(南中学・北中学・笛川中学生徒会役員)
- 市民部会委員
- (ワークショップ内容)
- ・中学生が考える山梨市のいいところ、好きなどころ
 - ・自分たちが山梨市のための地域づくりでやってみたいこと
- (中学生と市民部会委員との意見交換会)
- 9月28日 市議会議員全員協議会
- (説明内容)・第2次山梨市まちづくり総合計画策定の進捗状況及び市民パブリックコメントの実施について
- 10月 3日 総合計画進捗状況中間市長説明
- (説明内容)・第2次山梨市まちづくり総合計画長期ビジョン(案)
- ・将来像について
 - ・中期計画(素案)
- 10月 5日～10月12日 第2次山梨市まちづくり総合計画(案)に対するパブリックコメントの募集

- 10月 6日 第7回庁内専門部会
 ※各分野ごとに開催
 (協議事項) 1. 中期計画について
 2. プロジェクトの取り扱いについて
 ※これまでの協議してきた内容確認と調整
- 10月12日 第7回策定委員会(課長会議)
 (議 事) 1. 長期ビジョン(案)について
 2. 第2次計画の体系について
 3. 今後のスケジュールについて
 ※配布資料(長期ビジョン(案)、第2次体系図、
 今後のスケジュール)
- 10月13日 第9回市民部会
 (ワークショップ内容)
 ・長期、中期、プロジェクトの仕上げについて
 ※配布資料(長期ビジョン(案)、中期計画(素案)、山梨市民への提言、
 山梨市未来会議)
- 10月20日 第7回審議会
 (議 事) 1. 長期ビジョン(案)について
 2. 中期計画(案)について
 3. 今後のスケジュールの確認
 ※配布資料(長期ビジョン(案)、中期計画(中間案)、山梨
 市民への提言(案)、策定スケジュール、山梨市
 未来会議取りまとめ)
- 10月24日 第8回庁内専門部会
 (協議事項) 1. 中期計画最終案について
 2. 今後の日程の確認
 ※ワークショップ開催
 ※配布資料(中期計画中間案)
- 10月28日 第2回策定委員会幹事会
 (議 事) 1. 長期ビジョン(案)について
 2. 中期計画(案)について
 3. 市民から市民への提言(案)について
 ※配布資料(長期ビジョン(案)、中期計画(中間案)、市民
 から市民への提言(案))
- 11月 1日 第8回策定委員会
 (議 事) 1. 策定経過説明について

2. 第2次山梨市まちづくり総合計画案について

3. 今後のスケジュールについて

※配布資料（総合計画体系図、長期ビジョン（案）、中期計画
中間案、市民から市民への提言（案）、策定スケジュール）

11月1日 第10回市民部会

※最終案の中身を確認し、それぞれの部会ごとに話し合い

※配布資料（長期ビジョン（案）、市民から市民への提言（案））

11月10日 第8回審議会

（議 事）1. 「第2次山梨市まちづくり総合計画」答申書（案）に
ついて

※配布資料（答申書（案）、長期ビジョン（案）、中期計画（案）、
山梨市民への提言（案）、資料集（名簿、策定経過、
組織図））

11月15日 第2次山梨市まちづくり総合計画（案）の答申

11月28日 山梨市議会へ第2次山梨市まちづくり総合計画長期ビジョン（案）の
議案上程内容の説明

12月22日 平成29年12月山梨市議会定例会最終日

※議案第115号 第2次山梨市まちづくり総合計画基本計画（長期
ビジョン）について <議 決>

平成29年

3月17日 第9回審議会

第11回市民部会

（議 事）成果報告

※配布資料（長期ビジョン、中期計画、山梨市民への提言、
資料冊子）

<一覧表>

— 市民等による検討経過 —

○山梨市まちづくり総合計画策定審議会

回数	開催日	審議内容
第1回	平成27年12月18日	策定組織体制及び策定方針 他

第2回	平成28年 2月10日	諮問、市民部会の内容、策定スケジュール 他
第3回	平成28年 4月13日	市民部会内容報告、策定スケジュール 他
第4回	平成28年 6月29日	長期ビジョン素案、事業レビュー実施 他
第5回	平成28年 8月9日	長期ビジョン最終案 他
第6回	平成28年 9月21日	中期計画素案、将来像、未来会議開催、パブコメ他
第7回	平成28年10月20日	長期ビジョン(案)、中期計画(案) 他
第8回	平成28年11月10日	総合計画審議会答申(案)
第9回	平成29年 3月17日	長期ビジョン冊子配布 成果報告

○山梨市まちづくり総合計画策定審議会専門部会「市民部会」

回数	開催日	審議内容
第1回	平成28年 2月18日	市が「解決」又は「達成」すべき課題
第2回	平成28年 3月22日	市の目指す方向
第3回	平成28年 4月23日	市の目指す方向(ビジョン)
第4回	平成28年 5月20日	ビジョンの振り返り、実現策(アイデア出し)
第5回	平成28年 6月29日	長期ビジョン素案、実現策、プロジェクト
第6回	平成28年 7月15日	振り返り、アイデア深堀、事業レビュー
第7回	平成28年 8月9日	中期計画素案、プロジェクトの深堀
第8回	平成28年 9月2日	プロジェクトの仕上げ
第9回	平成28年10月13日	長期、中期、プロジェクトの仕上げ
第10回	平成28年11月1日	長期、中期、プロジェクト最終案の確認
第11回	平成29年 3月17日	長期ビジョン冊子配布 成果報告

○その他の取り組み

開催日	開催内容
平成28年 1月12日	総合計画策定に係る講演会開催
平成28年 7月5日	事業レビュー実施研修会開催
平成28年 7月23日	第2次山梨市まちづくり総合計画事業レビュー開催
平成28年 9月25日	山梨市未来会議(若者ワークショップ)開催

※市民アンケートの実施・・・平成28年5月11日～30日

— 行政による検討経過 —

○策定委員会

回数	開催日	審議内容
第1回	平成27年12月8日	策定方針、スケジュール、専門部会委員推薦 他
第2回	平成27年12月24日	審議会専門部会(市民部会)の設置

第3回	平成28年 1月 7日	庁内専門部会の構成
第4回	平成28年 1月 21日	審議会専門部会（市民部会）職員派遣
第5回	平成28年 5月 11日	市民アンケート実施
第6回	平成28年 7月 5日	審議会、専門部会、市民部会進捗状況報告
第7回	平成28年10月 12日	長期ビジョン（案）、第2次計画の体系 他
第8回	平成28年11月 1日	第2次計画（案）全般 他

○幹事会

回数	開催日	審議内容
第1回	平成27年12月 4日	第2次計画の方向性、スケジュール 他
第2回	平成28年10月 28日	長期ビジョン（案）、中期計画（案） 他

○庁内専門部会

回数	開催日	審議内容
第1回	平成28年 1月 12日	策定方針、組織、計画構成見直し、スケジュール 他
第2回	平成28年 6月 9日	経過説明、事業レビュー、スケジュール 他
第3回	平成28年 6月 27日	長期ビジョン素案 他
第4回	平成28年 7月 27日	中期計画ワークシート作成 他
第5回	平成28年 8月 8日	成果指標 他
第6回	平成28年 9月 7日	中期計画素案 他
第7回	平成28年10月 6日	中期計画素案、プロジェクト取り扱い 他
第8回	平成28年10月 24日	中期計画（案）、今後のスケジュール 他

山梨市まちづくり総合計画審議会委員名簿

(敬称略・順不同)

区 分	氏 名	所 属 団 体 役 職 等	備 考
学識経験者	大 宮 山 磐	山梨市都市計画審議会会長	会 長
	中 澤 昭	JAフルーツ山梨代表理事組合長	副 会 長
	藤 原 真 史	国立大学法人山梨大学准教授	
	松 川 哲 也	山梨市消防団長	
	藤 巻 一 史	山梨青年会議所理事長	～平成27年12月31日
	米 倉 裕 司	山梨青年会議所理事長	平成28年1月1日～H28年12月31日
	松 土 賢	山梨青年会議所理事長	平成29年1月1日～
	鈴 木 利 丸	山梨市農業委員会会長	
	新 谷 一 男	山梨市商工会会長	
	田 草 川 和 仁	山梨市観光協会会長	
	雨 宮 康 夫	山梨市中小企業労務改善協議会会長	
	古 屋 捷 朗	山梨市社会福祉協議会会長	
	手 塚 初	山梨市民生児童委員協議会会長	～平成28年11月30日
	秋 山 祐 守	山梨市民生児童委員協議会会長	平成28年12月1日～
	中 澤 良 英	山梨市医師会会長	
	萩 原 徹	山梨市小中学校校長会会長	～平成28年3月31日
	小 林 誠 一	山梨市小中学校校長会会長	平成28年4月1日～
	鶴 田 一 路	山梨市小中学校PTA連絡協議会会長	～平成28年5月18日
	内 藤 沸	山梨市小中学校PTA連絡協議会会長	平成28年5月19日～
	依 田 道 彦	山梨市文化協会会長	
	奥 山 実	山梨市体育協会会長	
	小 林 匠	山梨市公民館連絡協議会会長	
	岩 崎 友 江	山梨市食生活改善推進委員会会長	～平成28年5月5日
	津 島 理 加	山梨市食生活改善推進委員会会長	平成28年5月6日～
	石 橋 生 夫	塩山ハローワーク所長	～平成28年3月31日
	斉 藤 章 司	塩山ハローワーク所長	平成28年4月1日～
	大 澤 美 保 子	山梨市男女共同参画推進委員会会長	
	飯 嶋 美 紀	保育サポートどんぐり代表	
	若 林 宏 男	山梨中央銀行日下部支店支店長	
	中 村 昌 二	山梨CATV代表取締役社長	
内 田 正 朗	山梨県宅地建物取引業協会峡東支部長	～平成28年5月29日	
三 枝 照 二	山梨県宅地建物取引業協会峡東支部長	平成28年5月30日～	
地域の代表	佐 藤 進	山梨市区長会会長	副 会 長
	三 枝 今 朝 義	山梨市区長会副会長	
	廣 瀬 常 晴	山梨市区長会幹事	
公募市民	米 倉 仁	市民	
	廣 瀬 典 仁	市民	
	名 取 広	市民	

山梨市まちづくり総合計画審議会専門部会(市民部会)委員名簿

(順不同)

	氏名	所属部会名	備考
1	大澤 成光	環境・インフラ専門部会	(市民)
2	古屋 敦子	環境・インフラ専門部会	(市民)
3	横森 三男	環境・インフラ専門部会	(市民)
4	大野 裕達	環境・インフラ専門部会	(市民)
5	藤巻 一史	環境・インフラ専門部会	(市民)
6	窪坂 修	環境・インフラ専門部会	(市民)
7	掛本 睦夫	環境・インフラ専門部会	(市民)
8	古屋 秀樹	環境・インフラ専門部会	(市民)
9	宮澤 健一	環境・インフラ専門部会	(職員)
10	土屋 公彦	環境・インフラ専門部会	(職員)
11	望月 誠	環境・インフラ専門部会	～平成28年3月31日(職員)
12	古屋 真里子	環境・インフラ専門部会	平成28年4月1日～(職員)
13	三枝 富士夫	教育・文化専門部会	(市民)
14	加賀美 真由美	教育・文化専門部会	(市民)
15	山田 豊	教育・文化専門部会	(市民)
16	フオミチヨバ・クセニア	教育・文化専門部会	(市民)
17	依田 資	教育・文化専門部会	(市民)
18	飯島 大樹	教育・文化専門部会	(市民)
19	岡安 茂祐	教育・文化専門部会	(市民)
20	玄間 達広	教育・文化専門部会	(職員)
21	古屋 健司	教育・文化専門部会	～平成28年3月31日(職員)
22	磯村 賢一	教育・文化専門部会	平成28年4月1日～(職員)
23	中村 裕機	教育・文化専門部会	(職員)
24	四十物 治夫	協働・行財政専門部会	(市民)
25	内藤 仁美	協働・行財政専門部会	(市民)
26	萩原 邦夫	協働・行財政専門部会	(市民)
27	上野 美穂子	協働・行財政専門部会	(市民)
28	手崎 吉雄	協働・行財政専門部会	(市民)
29	林 哲夫	協働・行財政専門部会	(市民)
30	野沢 祐太	協働・行財政専門部会	(市民)
31	大沢 和洋	協働・行財政専門部会	～平成28年3月31日(職員)

(順不同)

	氏名	所属部会名	備考
32	羽田 工 三	協働・行財政専門部会	平成28年4月1日～(職員)
33	藤原 周 仁	協働・行財政専門部会	(職員)
34	日 原 智	協働・行財政専門部会	(職員)
35	阿 部 良 三	健康・福祉専門部会	(市民)
36	澤 登 早 苗	健康・福祉専門部会	(市民)
37	中 村 春 美	健康・福祉専門部会	(市民)
38	小 菅 伸 一	健康・福祉専門部会	(市民)
39	柳 場 亜 由 美	健康・福祉専門部会	(市民)
40	佐 野 友 樹	健康・福祉専門部会	(市民)
41	清 水 源 政	健康・福祉専門部会	(市民)
42	立 川 隆 次	健康・福祉専門部会	～平成28年3月31日(職員)
43	根 津 道 仁	健康・福祉専門部会	平成28年4月1日～(職員)
44	鶴 田 圭 司	健康・福祉専門部会	(職員)
45	竹 川 一 郎	健康・福祉専門部会	(職員)
46	鈴 木 俊 之	産業・経済専門部会	(市民)
47	常 葉 秀 之	産業・経済専門部会	(市民)
48	小 田 切 信 夫	産業・経済専門部会	(市民)
49	水 上 一 昭	産業・経済専門部会	(市民)
50	名 取 広	産業・経済専門部会	(市民)
51	水 上 篤	産業・経済専門部会	(市民)
52	松 沢 茂	産業・経済専門部会	(市民)
53	山 下 伊	産業・経済専門部会	(市民)
54	花 村 憲	産業・経済専門部会	(市民)
55	三 澤 達 也	産業・経済専門部会	(職員)
56	根 津 道 仁	産業・経済専門部会	～平成28年3月31日(職員)
57	竹 川 太 朗	産業・経済専門部会	平成28年4月1日～(職員)
58	久 保 川 恵 里	産業・経済専門部会	(職員)

山梨市未来会議委員名簿

(順不同)

	氏名	中学校名	学年
1	柚野佳梨	山梨北中学校	3年生
2	古屋裕奈	山梨北中学校	3年生
3	杉田晋也	山梨北中学校	3年生
4	斎藤淳	山梨北中学校	3年生
5	横澤花音	山梨北中学校	3年生
6	小原豪	山梨北中学校	3年生
7	廣瀬功季	山梨南中学校	3年生
8	石井嵩人	山梨南中学校	3年生
9	角田泰道	山梨南中学校	3年生
10	山下なづ菜	山梨南中学校	3年生
11	望月志峰	山梨南中学校	3年生
12	雨宮ゆう菜	山梨南中学校	3年生
13	岩井吏都	笛川中学校	3年生
14	野澤祐太郎	笛川中学校	3年生
15	武川葉那身	笛川中学校	3年生
16	武井 駆	笛川中学校	3年生
17	山本青空	笛川中学校	3年生
18	辻愛優美	笛川中学校	3年生
19	山下未来	笛川中学校	3年生

第2次山梨市まちづくり総合計画策定委員会委員名簿

平成27年度			平成28年度		
	氏名	役職		氏名	役職
委員長	小林 孝	副市長	委員長	飯島 尚敏	副市長
副委員長	丸山 森人	教育長	副委員長	市川 今朝則	教育長
副委員長	野中 均	理事	副委員長	野中 均	理事
委員	飯島 尚敏※	秘書人事課長	委員	丸山 一朗※	秘書人事課長
”	古屋 一彦※	総務課長	”	古屋 一彦※	総務課長
”	松土 茂治※	財政課長	”	松土 茂治※	財政課長
”	杉田 公司	管財課長	”	杉田 公司	管財課長
”	雨宮 一昭	税務課長	”	網野 次男	税務課長
”	菊嶋 茂	市民課長	”	日野原 ちどり	市民課長
”	藤巻 達也※	福祉課長	”	窪川 明彦※	福祉課長
”	古屋 貴章	子育て支援課長	”	望月 好也	子育て支援課長
”	広瀬 秀二	晴風園長	”	藤巻 達也	晴風園長
”	所 和雄	健康増進課長	”	所 和雄	健康増進課長
”	橘田 武	介護保険課長	”	橘田 武	介護保険課長
”	杉田 哲	環境課長	”	小田切 聡	環境課長
”	網野 次男	観光商工課	”	菊嶋 茂	商工労政課
”	小池 正樹	農林課長	”	穂野 今朝貴	観光課
”	清水 一彦※	建設課長	”	古宿 昌士	農林課長
”	守屋 裕史	都市計画課長	”	小池 正樹※	建設課長
”	鈴木 祐之	下水道課長	”	守屋 裕史	都市計画課長
”	中村 信明	水道課長	”	鈴木 祐之	下水道課長
”	日原 好一	会計課長	”	古屋 貴章	水道課長
”	帯津 毅仁	議会事務局長	”	日原 好一	会計課長
”	小川 鉄男※	学校教育課長	”	帯津 毅仁	議会事務局長
”	中村 貴仁	生涯学習課長	”	小川 鉄男※	学校教育課長
”	奥山 栄一	牧丘支所長	”	中村 貴仁	生涯学習課長
”	穂野 今朝貴	三富支所長	”	奥山 栄一	牧丘支所長
”	向山 正学	水道企業団事務局長	”	広瀬 秀二	三富支所長
事務局長	深澤 秀史※	まちづくり政策課長	”	向山 正学	水道企業団事務局長
事務局	中山 浩貴	まちづくり政策課	”	守屋 秀文	フルーツパーク株式会社派遣
”	鶴田 朋樹	”	事務局長	中山 浩貴※	まちづくり政策課長
”	岡 美恵子	”	事務局	深澤 秀史	まちづくり政策課
			”	古屋 健司	”
			”	鶴田 朋樹	”
			”	芦沢 千春	”

※は、幹事会委員

第2次山梨市まちづくり総合計画策定委員会 専門部会員名簿(27年度)

専門部会	課名	担当名	役職	氏名	役
健康・福祉部会 8名	福祉課	社会福祉	副主幹	宮澤健一	市民部会担当
	福祉課	障害福祉	課長補佐	小田切 聡	副班長
	子育て支援課	保育・児童	課長補佐	守屋秀文	班長
	晴風園	生活相談	主査	佐野美樹	
	健康増進課	健康企画	副主幹	土屋公彦	市民部会担当
	健康増進課	健康支援	主幹	大竹やすみ	副班長
	介護保険課	介護予防推進	副主査	望月 誠	市民部会担当
	市民課	国保年金	副主幹	古屋真里子	
産業・経済部会 7名	観光商工課	観光企画	副主幹	宮本 誠	副班長
	観光商工課	商工労政	副主幹	飯島幹根	副班長
	農林課	農林	課長補佐	立川隆次	市民部会担当
	農林課	農地	主幹	高原歳徳	班長
	まちづくり政策課	政策調整	課長補佐	中山浩貴	
	建設課	管理	課長補佐	鶴田圭司	市民部会担当
	都市計画課	都市計画	課長補佐	竹川一郎	市民部会担当
教育・文化部会 7名	学校教育課	学校庶務	副主幹	古屋はるみ	
	学校教育課	学校教育	課長補佐	角田弘樹	副班長
	生涯学習課	生涯学習	課長補佐	日野原ちどり	班長
	生涯学習課	文化財	主査	三澤達也	市民部会担当
	生涯学習課	スポーツ振興	副主幹	根津道仁	市民部会担当
	牧丘教育事務所	教育	副主幹	久保川恵里	市民部会担当
	三富教育事務所	教育	課長補佐	村田照雄	副班長
環境・基盤整備部会 9名	農林課	農林土木	課長補佐	温井一郎	班長
	建設課	土木	課長補佐	日野原 大城	副班長
	環境課	新エネルギー推進	副主幹	大沢和洋	市民部会担当
	都市計画課	都市整備	主幹	古屋 亨	副班長
	下水道課	工務	主幹	松土一仁	
	総務課	危機管理対策	副主幹	岩下浩司	
	牧丘支所	総務	主幹	藤原周仁	市民部会担当
	三富支所	総務	主幹	日原 智	市民部会担当
水道課	工務	課長補佐	萩原啓一		
協働・行財政部会 9名	秘書人事課	人事給与	主幹	玄間 達広	市民部会担当
	総務課	行政	課長補佐	芳賀光久	班長
	まちづくり政策課	まちづくり	副主幹	羽田エミ	
	財政課	経営管理	主幹	中村直喜	副班長
	財政課	財政	副主幹	古屋健司	市民部会担当
	管財課	契約	副主幹	中村裕機	市民部会担当
	税務課		副主幹	竹川太朗	
	会計課		主幹	佐藤美子	副班長
	議会事務局		副主幹	長沼裕子	

第2次山梨市まちづくり総合計画策定委員会 専門部会員名簿(28年度)

専門部会	課名	担当名	役職	氏名	役
健康・福祉部会 8名	福祉課	社会福祉	副主幹	宮澤健一	市民部会担当
	福祉課	障害福祉	副主幹	武川淑人	副班長
	子育て支援課	保育・児童	主幹	鈴木孝仁	班長
	晴風園	生活相談	主幹	町田なる美	
	健康増進課	健康企画	主幹	土屋公彦	市民部会担当
	健康増進課	健康支援	主幹	大竹やすみ	副班長
	市民課		課長補佐	佐藤美子	
	介護保険課	国保年金	副主幹	古屋真里子	市民部会担当
産業・経済部会 7名	観光課	観光企画	副主幹	宮本 誠	副班長
	商工労政課	商工労政	副主幹	飯島幹根	班長
	農林課	農林	主幹	根津道仁	市民部会担当
	農林課	農地	副主幹	芦沢義仁	副班長
	まちづくり政策課	政策調整	副主幹	古屋健司	
	建設課	管理	課長補佐	鶴田圭司	市民部会担当
	都市計画課	都市計画	課長補佐	竹川一郎	市民部会担当
教育・文化部会 7名	学校教育課	学校庶務	副主幹	古屋はるみ	
	学校教育課	学校教育	課長補佐	高原歳徳	副班長
	生涯学習課	生涯学習	課長補佐	萩原双葉	班長
	生涯学習課	文化財	副主幹	三澤達也	市民部会担当
	生涯学習課	スポーツ振興	主幹	竹川太朗	市民部会担当
	牧丘教育事務所	教育	副主幹	久保川恵里	市民部会担当
	三富教育事務所	教育	課長補佐	山下廣美	副班長
環境・基盤整備部会 9名	農林課	農林土木	課長補佐	温井一郎	班長
	建設課	土木	課長補佐	日野原 大城	副班長
	環境課	新エネルギー推進	課長補佐	羽田エミ	市民部会担当
	都市計画課	都市整備	課長補佐	古屋 亨	副班長
	下水道課	工務	主幹	松土一仁	
	総務課	危機管理対策	副主幹	岩下浩司	
	牧丘支所	総務	主幹	藤原周仁	市民部会担当
	三富支所	総務	主幹	日原 智	市民部会担当
水道課		主幹	根津昭彦		
協働・行財政部会 9名	秘書人事課	人事給与	課長補佐	玄間 達広	市民部会担当
	総務課	行政	課長補佐	芳賀光久	班長
	まちづくり政策課	まちづくり	副主幹	原田 互	
	財政課	経営管理	副主幹	平野宗則	副班長
	管財課	財政	副主幹	磯村賢一	市民部会担当
	財政課	契約	副主幹	中村裕機	市民部会担当
	税務課		副主幹	佐野和之	
	会計課		副主幹	日原勝巳	副班長
議会事務局		副主査	武内利恵		

市民の皆さんの声をお寄せください！

山梨市は市民の皆さんとともに長期ビジョンの実現に取り組んでいきます。市民プロジェクトへの参加についてのお問い合わせや、市民の皆さんのご意見、ご提案をお寄せください！

電話 …… 0553-22-1111 (代表)

FAX …… 0553-23-2800

E-mail …… info@city.yamanashi.lg.jp

お問合せフォーム …… <https://www.city.yamanashi.yamanashi.jp/citizen/site/inquiry/>



以下は5つのビジョンごとの「めざす方向」とその主な担当課です。

5つのビジョン・めざす方向の主な担当課一覧

1. 四季折々の色あいを大切に、 にぎわいのある山梨市

- ① 稼ぐ農業へ挑戦するまち
・ 農林課
- ② 魅力ある商工業のまち
・ 商工労政課
- ③ 都市と自然の交流のまち
・ 観光課
- ④ 地域資源を活かした産業の創出に挑戦するまち
・ 農林課
・ 商工労政課
・ 観光課

2. 市民が手をつなぎ、 教育と文化を育む山梨市

- ① 地域と人々がつながるまち
・ 生涯学習課
- ② 文化・伝統を未来につなぐまち
・ 生涯学習課
- ③ 未来の人材を育てるまち
・ 学校教育課
- ④ 地域と学校がつながるまち
・ 学校教育課

3. おなかの中から一生涯安心の山梨市

- ① 安心して子どもを産み、育てられるまち
・ 子育て支援課
- ② 突然の病気や介護に困らないまち
・ 介護保険課
・ 市民課 (国民年金)
- ③ 健康で生きがいをもって暮らせるまち
・ 健康増進課
- ④ 一人ひとりの個性が尊重されるまち
・ 福祉課

4. 機能性が高く、 落ち着いた住環境の山梨市

- ① 自然と農のある暮らしを提供できるまち
・ 都市計画課 (土地・公園)
・ 環境課 (自然)
・ 農林課 (農業)
・ まちづくり政策課 (定住促進)
- ② 災害に強いまち
・ 総務課
- ③ 都心とつながるバックアップのまち
・ 建設課 (道路)
・ まちづくり政策課 (交流)
- ④ 生活インフラの充実したまち
・ 建設課 (道路)
・ 総務課 (公共交通)
・ 下水道課
・ 水道課

5. 市民が主役、役所が支える山梨市

- ① 産官学民金労言の協働するまち
・ まちづくり政策課 (協働)
・ 総務課 (地域コミュニティ)
- ② 「希望活動人口」を増やすまち
・ 農林課 (就農)
・ まちづくり政策課 (市民活動)
- ③ 少数精鋭の市役所のあるまち
・ 秘書人事課 (人事)
- ④ 生産性の高い市役所のあるまち
・ 財政課
・ 税務課
・ 秘書人事課 (広報・広聴)



山梨市